

注3

大学番号：015

[平成30年度設置]

計画の区分： 研究科の専攻の設置又は課程の変更

注1

事前伺い

茨城大学大学院 理工学研究科 機械システム工学専攻(M)

注2

【事前伺い】設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人茨城大学
令和元年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名 総務部総務課

職名・氏名 法規係長
長谷川 慎吾

電話番号 029-228-8009

(夜間) 029-228-8035

F A X 029-228-8019

e-mail iba-houki@ml.ibaraki.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に

()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・大学の設置の場合：「〇〇大学」

・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」

・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」

・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」

・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」

・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」

・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」

・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成31年4月2日付事務連絡「履行状況報告書の提出について

(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

理工学研究科

＜機械システム工学専攻(M)＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	13
4. 既設大学等の状況	14
5. 教員組織の状況	17
6. 附帯事項等に対する履行状況等	42
7. その他全般的事項	44

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人茨城大学

(2) 大学名

茨城大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒316-8511
茨城県日立市中成沢町4-12-1

[〒310-8512
茨城県水戸市文京2-1-1]

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(ミムラ ノブオ) 三村 信男 (平成26年9月)		
研究科長	(マスザワ トオル) 増澤 徹 (平成30年4月)		
専攻長	(スズキ トモヤ) 鈴木 智也 (平成30年4月)	(カントウ ヤスヒロ) 関東 康祐 (平成31年4月)	任期満了のため 平成31年4月1日(元)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成30年度に報告済の内容 → (30)

令和元年度に報告する内容 → (元)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
- ・ 様式は、平成27年度開設の4年制の学科の完成年度を超えて報告する場合(令和元年度までの5年間)ですが、完成年度を超えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。)
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
理工学研究科 機械システム工学専攻 修士(工学)	工学関係	2年	86人	年次人	172人	基礎となる学部等 工学部

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		平均入学定員 超過率	開設年度から 報告年度までの 平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	86 (-) [-]	-	86 (-) [-]	-	- (-) [-]	-	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	-	1.35倍	-	
志願者数	135 (-) [3]	- (-) [-]	146 (-) [9]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]			
受験者数	134 (-) [3]	- (-) [-]	146 (-) [9]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]			
合格者数	125 (-) [3]	- (-) [-]	123 (-) [7]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]			
B 入学者数	117 (-) [3]	- (-) [-]	116 (-) [7]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]			
入学定員超過率 B/A	1.36		1.34		-		-		-				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ ()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	117 [3] (-)	- [-] (-)	116 [7] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	
2年次	/		115 [3] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	
3年次	/		/		- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	
4年次	/		/		- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	
計	117 [3] (-)		231 [9] (-)		- [-] (-)		- [-] (-)		- [-] (-)		

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成30年度	117 人	2 人	平成30年度	2 人	0 人	進路変更(1人)、就職(1人)
令和元年度	231 人	0 人	平成30年度	0 人	0 人	
			令和元年度	0 人	0 人	
合 計		2 人		0 人	0 人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。
- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 - ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 - ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{2}{117} = \boxed{1.7} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{231} = \boxed{0} \%$$

- (注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<理工学研究科 機械システム工学専攻>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置						兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
大学院共通科目	学術英会話 I	1前	1									兼1
	学術英会話 II	1前	1									兼1
	国際コミュニケーション基礎A	1前	1									兼1
	国際コミュニケーション基礎B	1前	1									兼1
	実践国際コミュニケーションA	1前	1									兼1
	実践国際コミュニケーションB	1前	1									兼1
	地球環境システム論 I	1前	1									兼2
	地球環境システム論 II	1後	1									兼2
	持続社会システム論 I	1後	1									兼4
	持続社会システム論 II	1前	1									兼2
	学術情報リテラシー	1前	1									兼1
	霞ヶ浦環境科学概論	1前	1									兼4
	人間システム基礎論 I	1後	1									兼3
	人間システム基礎論 II	1前	1									兼3
	食料の安定生産と農学	1前	1									兼5
	地域サステナビリティ農学概論	1後	1									兼3
	研究と教育—知の往還をめぐって—	1後	2									兼5
	バイオテクノロジーと社会	1前	1									兼3
	知的所有権特論	1前	1									兼4
	環境情報センシング特論	1後	1									兼1
	科学と倫理	1前	2									兼1
	原子科学と倫理	1前	1									兼5
小計(22科目)	-											
研究科共通科目	応用数学特論	1後	2									兼1
	解析学特論	1前	2									兼1
	数理工学特論	1前	2									兼1
	応用解析特論	1前	2									兼1
	連携ネット共通講座 I	1前	2			1						兼7
	連携ネット共通講座 II	1後	2				1					兼7
	量子ビーム応用解析	1前	1									兼3
	国際コミュニケーション演習A	1後	1									兼1
	国際コミュニケーション演習B	1後	1									兼1
	国際コミュニケーション演習C	1後	1									兼1
	国際コミュニケーション演習D	1後	1									兼1
	科学技術日本語特論	1後	2									兼1
	組織運営とリーダーシップ	1後	1									兼1
	社会における科学技術	1前	1									兼1
	科学史	1前	1									兼1
	先端科学トピックス I	1通	1									兼8
	先端科学トピックス II	1通	1									兼8
	計算機応用特論A	1前	1									兼1
	計算機応用特論B	1前	1									兼1
	組込みシステム開発特論	1後	2									兼1
	LSI設計・開発技術特論	1前	2									兼1
	情報システムモデル論	1後	1									兼1
	データ解析論	1後	1									兼1
	情報ネットワーク論	1前	1									兼1
	現代科学における倫理	1前	1									兼1
	研究者倫理	1前	1									兼1
	OFF-CLASS-PROJECT	1後	1				19	14	8	6		
小計(27科目)	-											

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置						兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
大学院共通科目	学術英会話 I	1前		1									兼1
	学術英会話 II	1前		1									兼1
	国際コミュニケーション基礎A	1前		1									兼1
	国際コミュニケーション基礎B	1前		1									兼1
	実践国際コミュニケーションA	1前		1									兼1
	実践国際コミュニケーションB	1前		1									兼1
	地球環境システム論 I	1前		1									兼2
	地球環境システム論 II	1後		1									兼2
	持続社会システム論 I	1後		1									兼4
	持続社会システム論 II	1前		1									兼2
	学術情報リテラシー	1前		1									兼1
	霞ヶ浦環境科学概論	1前		1									兼4
	人間システム基礎論 I	1後		1									兼4
	人間システム基礎論 II	1前		1									兼3
	食料の安定生産と農学	1前		1									兼4
	地域サステナビリティ農学概論	1後		1									兼3
	研究と教育—知の往還をめぐって—	1後		2									兼5
	バイオテクノロジーと社会	1前		1									兼3
	知的所有権特論	1後		1									兼3
	環境情報センシング特論	1後		1									兼1
	科学と倫理	1前		2									兼1
	原子科学と倫理	1前		1				1					兼5
小計(22科目)	-												
研究科共通科目	応用数学特論	1前		2									兼1
	解析学特論	1前		2									兼1
	数理工学特論	1前		2									兼1
	応用解析特論	1前		2									兼1
	連携ネット共通講座 I	1前		2			1						兼1
	連携ネット共通講座 II	1後		2				1					兼1
	量子ビーム応用解析	1前		1									兼7
	国際コミュニケーション演習A	1後		1									兼1
	国際コミュニケーション演習B	1後		1									兼1
	国際コミュニケーション演習C	1後		1									兼1
	国際コミュニケーション演習D	1後		1									兼1
	科学技術日本語特論	1後		2									兼1
	組織運営とリーダーシップ	1後		1									兼1
	社会における科学技術	1前		1									兼1
	科学史	1前		1									兼1
	先端科学トピックス I	1通		1									兼5
	先端科学トピックス II	1通		1									兼8
	計算機応用特論A	1前		1									兼1
	計算機応用特論B	1前		1									兼1
	組込みシステム開発特論	1後		2									兼1
	LSI設計・開発技術特論	1前		2									兼1
	情報システムモデル論	1後		1									兼1
	データ解析論	1後		1									兼1
	情報ネットワーク論	1前		1									兼1
	現代科学における倫理	1前		1									兼1
	研究者倫理	1前		1									兼1
	OFF-CLASS-PROJECT	1後		1				20	14	7	5		
小計(27科目)	-												

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
横断科目	機械システム工学特別実験Ⅰ	1前	2			19	14	1					
	機械システム工学特別実験Ⅱ	1後	2			19	14	1					
	機械システム工学特別演習Ⅰ	2前	2			19	14	1					
	機械システム工学特別演習Ⅱ	2後	2			19	14	1					
	機械システム工学特論Ⅰ	1前	1			19	14	8	6				
プログラム横断科目	機械システム工学特論Ⅱ	1後	1			19	14	8	6				
	機械システム工学特論Ⅲ	2前	1			19	14	8	6				
	原子炉物理学特論	1後	2									兼1	
	先進エネルギー材料特論	1後	2									兼1	
	核融合エネルギー工学特論	1後	2									兼1	
	原子力材料工学特論Ⅰ	1前	1									兼1	
	原子力材料工学特論Ⅱ	1前	1									兼1	
	中性子ビーム実習	1前	2									兼2	
	熱機関学特論	1前	2		1								
	流体機械工学特論	1後	2			1							
	機械工作法特論	1後	2			1							
	高分子材料学特論	1後	1			1							
	材料力学特論	1後	2			1							
	材料強度学特論	1後	2					1					
	機械材料工学特論	1後	2			1							
	鉄鋼材料学特論	1後	2					1					
	機械力学特論	1後	2			1							
	機構学特論	1前	2			1							
	非線形ダイナミクス特論	1前	2				1						
	生体材料工学特論	1前	2			1							
	生体機械工学特論	1後	2					1					
	アクチュエータ工学特論	1後	2					1					
	機械システム設計特論Ⅱ	1前	1			1							
	計測工学特論Ⅱ	1前	1			1							
	センシング技術特論	1前	1			1							
	生体ロボット工学特論	1後	2					1					
	メカトロニクス特論Ⅰ	1前	1					1					
	メカトロニクス特論Ⅱ	1前	1					1					
	数値計算法特論	1前	1			1							
	情報システム特論	1前	2					1					
	統計的信号処理特論	1前	2					1					
	知能情報学特論	1後	2					1					
	コンピュータ科学特論	1後	2					1					
	脳科学特論	1前	1			1							
	機械システム工学専攻学外実習	1後	2			1							
	小計(40科目)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	環境エネルギー	熱力学特論	1前	2			1						
		流体力学特論	1後	2					1				
		伝熱工学特論	1前	2			1						
		小計(3科目)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
原子力システム	原子力エネルギー工学特論	1前	2			1							
	原子炉構造工学特論	1前	2			1							
	エネルギー安全工学特論	1後	2			1							
	小計(3科目)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
デジタル製造	機械システム設計特論Ⅰ	1前	1			1							
	機械製造技術特論	1前	1			1							
	生産加工技術特論	1前	1			1							
	計測工学特論Ⅰ	1前	1			1							
	計測画像処理特論	1前	2			1							
小計(5科目)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
スマート加工	精密加工学特論	1後	2			1							
	塑性変形学特論	1後	2			1							
	材料設計学特論	1前	2			1							
	小計(3科目)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
横断科目	機械システム工学特別実験Ⅰ	1前	2			20	14	2	1				
	機械システム工学特別実験Ⅱ	1後	2			20	14	2	1				
	機械システム工学特別演習Ⅰ	2前	2			20	14	2	1				
	機械システム工学特別演習Ⅱ	2後	2			20	14	2	1				
	機械システム工学特論Ⅰ	1前	1			20	14	7	5				
プログラム横断科目	機械システム工学特論Ⅱ	1後	1			20	14	7	5				
	機械システム工学特論Ⅲ	2前	1			20	14	7	5				
	原子炉物理学特論	1後	2									兼1	
	先進エネルギー材料特論	1後	2									兼1	
	核融合エネルギー工学特論	1後	2									兼1	
	原子力材料工学特論Ⅰ	1前	1									兼1	
	原子力材料工学特論Ⅱ	1前	1									兼1	
	中性子ビーム実習	1前	2			1						兼4	
	熱機関学特論	1前	2		1				1				
	流体機械工学特論	1後	2			1							
	機械工作法特論	1後	2			1							
	高分子材料学特論	1後	1			1							
	材料力学特論	1後	2			1							
	材料強度学特論	1後	2					1					
	機械材料工学特論	1後	2			1							
	鉄鋼材料学特論	1後	2					1					
	機械力学特論	1後	2			1							
	機構学特論	1前	2			1							
	非線形ダイナミクス特論	1前	2				1					兼1	
	生体材料工学特論	1前	2			1							
	生体機械工学特論	1後	2					1					
	アクチュエータ工学特論	1後	2					1					
	機械システム設計特論Ⅱ	1前	1			1							
	計測工学特論Ⅱ	1前	1			1							
	センシング技術特論	1後	1									兼1	
	生体ロボット工学特論	1後	2					1					
	メカトロニクス特論Ⅰ	1後	1					1					
	メカトロニクス特論Ⅱ	1後	1					1					
	数値計算法特論	1前	1			1							
	情報システム特論	1前	2					1					
	統計的信号処理特論	1前	2					1					
	知能情報学特論	1後	2					1					
	コンピュータ科学特論	1後	2					1					
	脳科学特論	1前	1			1							
	機械システム工学専攻学外実習	1後	2			1							
	小計(40科目)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	環境エネルギー	熱力学特論	1前	2			1				1		
		流体力学特論	1後	2					1				
		伝熱工学特論	1前	2			1						
		小計(3科目)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
原子力システム	原子力エネルギー工学特論	1前	2			1							
	原子炉構造工学特論	1前	2			1							
	エネルギー安全工学特論	1後	2			1							
	小計(3科目)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
デジタル製造	機械システム設計特論Ⅰ	1前	1			1							
	機械製造技術特論	1前	1			1							
	生産加工技術特論	1前	1			1							
	計測工学特論Ⅰ	1前	1			1							
	計測画像処理特論	1前	2			1							
小計(5科目)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
スマート加工	精密加工学特論	1後	2			1							
	塑性変形学特論	1後	2			1							
	材料設計学特論	1前	2			1							
	小計(3科目)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
プログラム 知能機械	人工知能特論	1前		1		1						
	機械学習特論	1前		1		1						
	発展ロボット工学特論	1前		1		1						
	移動ロボット工学特論	1後		1		1						
	アドバンス制御工学特論	1後		2		1						
	小計(5科目)	-										
プログラム ライフサポート	医用工学特論	1前		2		1						
	生体機能計測学特論	1後		1		1						
	デジタル制御特論	1前		2		1						
	介助ロボット工学特論	1前		1		1						
	小計(4科目)	-										
合計(112科目)												
卒業要件及び履修方法												
<p>1 修了要件 2年以上在学し、30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、学位論文又は特定の課題についての研究の成果の審査並びに最終試験に合格することとする。ただし、在学期間に関しては、優れた業績を上げた者については、1年以上在学すれば足りるものとする。</p> <p>2 履修方法 ○共通科目において、大学院共通科目から2単位以上、研究科共通科目から3単位以上、計5単位以上を以下の要件を満たしたうえで修得すること。 ・倫理科目、英語科目、社会理解科目、情報系科目、体験型科目の 카테고리からそれぞれ1単位以上を修得すること。 ○専攻科目から以下のとおり25単位以上を修得すること。 ・プログラムコア科目4単位以上(選択必修4単位以上) ・プログラム横断科目21単位以上(必修11単位、選択必修10単位以上)</p>												

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
プログラム 知能機械	人工知能特論	1前		1		1						
	機械学習特論	1前		1		1						
	発展ロボット工学特論	1前		1		1						
	移動ロボット工学特論	1後		1		1						
	アドバンス制御工学特論	1後		2		1						
	小計(5科目)	-										
プログラム ライフサポート	医用工学特論	1前		2		1						
	生体機能計測学特論	1後		1		1						
	デジタル制御特論	1前		2		1						
	介助ロボット工学特論	1前		1		1						
	小計(4科目)	-										
合計(112科目)												
卒業要件及び履修方法												
<p>1 修了要件 2年以上在学し、30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、学位論文又は特定の課題についての研究の成果の審査並びに最終試験に合格することとする。ただし、在学期間に関しては、優れた業績を上げた者については、1年以上在学すれば足りるものとする。</p> <p>2 履修方法 ○共通科目において、大学院共通科目から2単位以上、研究科共通科目から3単位以上、計5単位以上を以下の要件を満たしたうえで修得すること。 ・倫理科目、英語科目、社会理解科目、情報系科目、体験型科目の 카테고리からそれぞれ1単位以上を修得すること。 ○専攻科目から以下のとおり25単位以上を修得すること。 ・プログラムコア科目4単位以上(選択必修4単位以上) ・プログラム横断科目21単位以上(必修11単位、選択必修10単位以上)</p>												

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
大学院共通科目	学術英会話 I	1前		1								兼1
	学術英会話 II	1前		1								兼1
	国際コミュニケーション基礎A	1前		1								兼1
	国際コミュニケーション基礎B	1前		1								兼1
	実践国際コミュニケーションA	1前		1								兼1
	実践国際コミュニケーションB	1前		1								兼1
	地球環境システム論 I	1前		1								兼2
	地球環境システム論 II	1後		1								兼2
	持続社会システム論 I	1後		1								兼4
	持続社会システム論 II	1前		1								兼2
	学術情報リテラシー	1前		1								兼1
	霞ヶ浦環境科学概論	1前		1								兼4
	人間システム基礎論 I	1後		1								兼4
	人間システム基礎論 II	1前		1								兼3
	食料の安定生産と農学	1前		1								兼4
	地域サステイナビリティ農学概論	1後		1								兼3
	研究と教育-知の往還をめくって-	1後		2								兼5
	バイオテクノロジーと社会	1前		1								兼3
	知的所有権特論	1後		1								兼3
	環境情報センシング特論	1後		1								兼1
	科学と倫理	1前		2								兼1
	原子科学と倫理	1前		1								兼5
小計(22科目)	-											
研究科共通科目	応用数学特論	1前		2								兼1
	解析学特論	1前		2								兼1
	数理工学特論	1前		2								兼1
	応用解析特論	1前		2								兼1
	連携ネット共通講座 I	1前		2		1						兼1
	連携ネット共通講座 II	1後		2			1					兼1
	量子ビーム応用解析	1前		1								兼7
	国際コミュニケーション演習A	1後		1								兼1
	国際コミュニケーション演習B	1後		1								兼1
	国際コミュニケーション演習C	1後		1								兼1
	国際コミュニケーション演習D	1後		1								兼1
	科学技術日本語特論	1後		2								兼1
	組織運営とリーダーシップ	1後		1								兼1
	社会における科学技術	1前		1								兼1
	科学史	1前		1								兼1
	先端科学トピックス I	1通		1								兼5
	先端科学トピックス II	1通		1								兼8
	計算機応用特論A	1前		1								兼1
	計算機応用特論B	1前		1								兼1
	組み込みシステム開発特論	1後		2								兼1
	LSI設計・開発技術特論	1前		2								兼1
	情報システムモデル論	1後		1								兼1
データ解析論	1後		1								兼1	
情報ネットワーク論	1前		1								兼1	
現代科学における倫理	1前		1								兼1	
研究者倫理	1前		1								兼1	
OFF-CLASS-PROJECT	1後	1			21	14	6	4				
小計(27科目)	-											
横断科目	機械システム工学特別実験 I	1前	2			21	14	1	2			
	機械システム工学特別実験 II	1後	2			21	14	1	2			
	機械システム工学特別演習 I	2前	2			21	14	1	2			
	機械システム工学特別演習 II	2後	2			21	14	1	2			
	機械システム工学輪講 I	1前	1			21	14	6	4			

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
プログラム横断科目	機械システム工学論講Ⅱ	1後	1			21	14	6	4			
	機械システム工学論講Ⅲ	2前	1			21	14	6	4			
	原子炉物理学特論	1後		2								兼1
	先進エネルギー材料特論	1後		2								兼1
	核融合エネルギー工学特論	1後		2								兼1
	原子力材料工学特論Ⅰ	1前		1								兼1
	原子力材料工学特論Ⅱ	1前		1								兼1
	中性子ビーム実習(未開講)	1前		2		1						兼4
	熱機関学特論	1前		2		1						
	流体機械工学特論	1後		2			1					
	機械工作法特論	1後		2		1						
	高分子材料学特論	1後		1			1					
	材料力学特論	1後		2		1						
	材料強度学特論	1後		2						1		
	機械材料工学特論	1後		2				1				
	鉄鋼材料学特論	1後		2						1		
	機械力学特論	1後		2				1				
	機構学特論	1前		2				1				
	非線形ダイナミクス特論	1前		2								兼1
	生体材料工学特論	1前		2				1				
	生体機械工学特論	1後		2						1		
	アクチュエータ工学特論	1後		2						1		
	機械システム設計特論Ⅱ	1前		1		1						
	計測工学特論Ⅱ	1前		1			1					
	センシング技術特論	1前		1		1						
	生体ロボット工学特論	1後		2					1			
	メカトロニクス特論Ⅰ	1後		1					1			
	メカトロニクス特論Ⅱ	1後		1					1			
	数値計算法特論	1前		1		1						
	情報システム特論	1前		2					1			
統計的信号処理特論	1前		2					1				
知能情報学特論	1後		2					1				
コンピュータ科学特論	1後		2				1					
脳科学特論	1前		1		1							
機械システム工学専攻学外実習	1後		2		1							
小計(40科目)	-											
プログラムエネルギー	熱力学特論	1前		2		1			1			
	流体力学特論	1後		2					1			
	伝熱工学特論	1前		2		1						
小計(3科目)	-											
原子力システムプログラム	原子力エネルギー工学特論	1前		2		1						
	原子炉構造工学特論	1前		2		1						
	エネルギー安全工学特論	1後		2			1					
小計(3科目)	-											
デジタル製造プログラム	機械システム設計特論Ⅰ	1前		1		1						
	機械製造技術特論	1前		1		1						
	生産加工技術特論	1前		1		1						
	計測工学特論Ⅰ	1前		1			1					
	計測画像処理特論	1前		2			1					
小計(5科目)	-											
スマート加工エロログラム	精密加工学特論	1後		2			1					
	塑性変形学特論	1後		2		1						
	材料設計学特論	1前		2		1						
小計(3科目)	-											

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
プログラム 知能機械	人工知能特論	1前		1			1					
	機械学習特論	1前		1		1						
	発展ロボット工学特論	1前		1			1					
	移動ロボット工学特論	1後		1			1					
	アドバンス制御工学特論	1後		2		1						
	小計(5科目)	-										
プログラム ロボット	医用工学特論	1前		2		1						
	生体機能計測学特論	1後		1		1						
	デジタル制御特論	1前		2		1						
	介助ロボット工学特論	1前		1		1						
	小計(3科目)	-										
合計(112科目)												
卒業要件及び履修方法												
<p>1 修了要件 2年以上在学し、30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、学位論文又は特定の課題についての研究の成果の審査並びに最終試験に合格することとする。ただし、在学期間に関しては、優れた業績を上げた者については、1年以上在学すれば足りるものとする。</p> <p>2 履修方法 ○共通科目において、大学院共通科目から2単位以上、研究科共通科目から3単位以上、計5単位以上を以下の要件を満たしたうえで修得すること。 ・倫理科目、英語科目、社会理解科目、情報系科目、体験型科目のカテゴリーからそれぞれ1単位以上を修得すること。 ○専攻科目から以下のとおり25単位以上を修得すること。 ・プログラムコア科目4単位以上(選択必修4単位以上) ・プログラム横断科目21単位以上(必修11単位、選択必修10単位以上)</p>												

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 本授業科目表は、開設年度から提出年度までの間において実際に実施された授業科目に関する情報として記入してください。
 - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成30年度】

- ・担当教員見直しのため、「人間システム基礎論Ⅰ」の兼任・兼担を「兼3」から「兼4」に変更。
- ・担当教員見直しのため、「食料の安定生産と農学」の兼任・兼担を「兼5」から「兼4」に変更。
- ・時間割の見直しにより、「知的所有権特論」の配当年次を「1前」から「1後」に変更。
- ・担当教員見直しのため、「知的所有権特論」の兼任・兼担を「兼4」から「兼3」に変更。
- ・時間割の見直しのため、「応用数学特論」の配当年次を「1後」から「1前」に変更。
- ・担当教員見直しのため、「連携ネット共通講座Ⅰ」の兼任・兼担を「兼7」から「兼1」に変更。
- ・担当教員見直しのため、「連携ネット共通講座Ⅱ」の兼任・兼担を「兼7」から「兼1」に変更。
- ・担当教員見直しのため、「量子ビーム応用解析」の兼任・兼担を「兼3」から「兼7」に変更。
- ・担当教員見直しのため、「先端科学トピックスⅠ」の兼任・兼担を「兼8」から「兼5」に変更。
- ・昇進、配置転換及び担当教員見直しのため、「OFF-CLASS-PROJECT」の専任教員等の配置を「教授19、准教授14、講師8、助教6」から「教授21、准教授14、講師6、助教4」に変更。
- ・昇進及び担当教員見直しのため、「機械システム工学特別実験Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授19、准教授14、講師1」から「教授21、准教授14、講師1、助教2」に変更。
- ・昇進及び担当教員見直しのため、「機械システム工学特別実験Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授19、准教授14、講師1」から「教授21、准教授14、講師1、助教2」に変更。
- ・昇進及び担当教員見直しのため、「機械システム工学特別演習Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授19、准教授14、講師1」から「教授21、准教授14、講師1、助教2」に変更。
- ・昇進及び担当教員見直しのため、「機械システム工学特別演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授19、准教授14、講師1」から「教授21、准教授14、講師1、助教2」に変更。
- ・昇進、配置転換及び担当教員見直しのため、「機械システム工学輪講Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授19、准教授14、講師8、助教6」から「教授21、准教授14、講師6、助教4」に変更。
- ・昇進、配置転換及び担当教員見直しのため、「機械システム工学輪講Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授19、准教授14、講師8、助教6」から「教授21、准教授14、講師6、助教4」に変更。
- ・昇進、配置転換及び担当教員見直しのため、「機械システム工学輪講Ⅲ」の専任教員等の配置を「教授19、准教授14、講師8、助教6」から「教授21、准教授14、講師6、助教4」に変更。
- ・担当教員見直しのため、「中性子ビーム実習」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」に、兼任・兼担を「兼2」から「兼4」に変更。
- ・配置転換のため、「非線形ダイナミクス特論」の専任教員等の配置を「講師1」から「講師0」に、兼任・兼担を「兼0」から「兼1」に変更。
- ・担当教員休職のため、「メカトロニクス特論Ⅰ」の配当年次を「1前」から「1後」に変更。
- ・担当教員休職のため、「メカトロニクス特論Ⅱ」の配当年次を「1前」から「1後」に変更。
- ・昇進のため、「コンピュータ科学特論」の専任教員等の配置を「講師1」から「准教授1」に変更。
- ・昇進のため、「熱力学特論」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。

【令和元年度】

- ・昇進、退職のため、「OFF-CLASS-PROJECT」の専任教員等の配置を「教授21、准教授14、講師6、助教4」から「教授20、准教授14、講師7、助教5」に変更。
- ・昇進、退職のため、「機械システム工学特別実験Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授21、准教授14、講師1、助教2」から「教授20、准教授14、講師2、助教1」に変更。
- ・昇進、退職のため、「機械システム工学特別実験Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授21、准教授14、講師1、助教2」から「教授20、准教授14、講師2、助教1」に変更。
- ・昇進、退職のため、「機械システム工学特別演習Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授21、准教授14、講師1、助教2」から「教授20、准教授14、講師2、助教1」に変更。
- ・昇進、退職のため、「機械システム工学特別演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授21、准教授14、講師1、助教2」から「教授20、准教授14、講師2、助教1」に変更。
- ・昇進、退職のため、「機械システム工学輪講Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授21、准教授14、講師6、助教4」から「教授20、准教授14、講師7、助教5」に変更。
- ・昇進、退職のため、「機械システム工学輪講Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授21、准教授14、講師6、助教4」から「教授20、准教授14、講師7、助教5」に変更。
- ・昇進、退職のため、「機械システム工学輪講Ⅲ」の専任教員等の配置を「教授21、准教授14、講師6、助教4」から「教授20、准教授14、講師7、助教5」に変更。
- ・昇進のため、「材料強度学特論」の専任教員等の配置を「助教1」から「講師1」に変更。
- ・担当教員の退職および教育体系の見直しにより「センシング技術特論」の開講時期を「1前」から「1後」、専任教員等の配置を「教授1」から「兼1」に変更。

(注) ・ 2(1) ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
8 科目	104 科目	0 科目	112 科目	8 科目 [0 科目]	104 科目 [0 科目]	0 科目 [0 科目]	112 科目 [0 科目]	

(注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目 該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目 該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{112} = \boxed{}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況, 経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計				
	校舎敷地	369,215㎡	㎡	㎡	369,215㎡				
	運動場用地	114,255㎡	㎡	㎡	114,255㎡				
	小 計	483,470㎡	㎡	㎡	483,470㎡				
	そ の 他	315,124㎡	㎡	㎡	315,124㎡				
	合 計	798,594㎡	㎡	㎡	798,594㎡				
(2) 校 舎		専 用 149,667㎡ 147,665㎡ (147,665㎡)	共 用 (㎡)	共用する他の 学校等の専用 (㎡)	計 149,667㎡ 147,665㎡ (147,665㎡)	工学部車庫建替(元)△ 73㎡ 農学部総合研究棟新営 (元)2,075㎡			
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設				
	52室	42室	390室	0室 (補助職員 人)	0室 (補助職員 人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数					
	理工学研究科 機械システム工学専攻(M)			45 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	学部単位での特定不能 なため、大学全体の数 【図書及び視聴覚資 料】 新規購入による増加の ため(元) 【学術雑誌】 購入タイトル見直しに よる減少のため(元)	
	理工学研究科 機械システム工 学専攻(M)	1,010,420 [283,424] +008,826 [282,013] (1,010,420 [283,424]) (+008,826 [282,013])	16,459 [4,707] 16,462 [4,704]	2,394 [2,393] 2,430 [2,429]	3,151 3,123	-	-		
		(1,010,420 [283,424]) (+008,826 [282,013])	(16,459 [4,707]) (16,462 [4,704])	(2,394 [2,393]) (2,430 [2,429])	(3,151) (3,123)	()	()		
	計	1,010,420 [283,424] +008,826 [282,013] (1,010,420 [283,424]) (+008,826 [282,013])	16,459 [4,707] 16,462 [4,704]	2,394 [2,393] 2,430 [2,429]	3,151 3,123	-	-		
		(1,010,420 [283,424]) (+008,826 [282,013])	(16,459 [4,707]) (16,462 [4,704])	(2,394 [2,393]) (2,430 [2,429])	(3,151) (3,123)	()	()		
(6) 図 書 館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数				
	11,986㎡		997		958,000		大学全体		
(7) 体 育 館	面 積		体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要						
	3,160㎡		テ ニ ス コ ー ト 7 面 プール (25m × 15 m) 1 基				大学全体		
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	
		教員1人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円	
	共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円		
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		千円	千円	千円	千円	千円	千円		
学生納付金以外の維持方法の概要									

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和元年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(元)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	茨城大学									備考
	既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	
	年	人	年次人	人		倍	年度	年度	年度	
人文社会科学部	4	360	-	1440	-	1.03	-	平成29	-	
現代社会学科	4	130	-	520	学士(現代社会学)	1.05	-	平成29	茨城県水戸市文京2-1-1	
法律経済学科	4	120	-	480	学士(社会科学)	1.04	-	平成29	同上	
人間文化学科	4	110	-	440	学士(人文科学)	1.03	-	平成29	同上	
人文学部	4	-	-	-	-	-	-	昭和42	同上	
人文コミュニケーション学科	4	-	-	-	学士(人文科学)	-	-	平成18	同上	平成29年度より学生募集停止
社会科学科	4	-	-	-	学士(社会科学)	-	-	昭和50	同上	平成29年度より学生募集停止
教育学部	4	275	-	1100	-	1.04	-	昭和24	-	
学校教育教員養成課程	4	240	-	960	学士(教育学)	1.04	-	平成8	茨城県水戸市文京2-1-1	
養護教諭養成課程	4	35	-	140	学士(教育学)	1.02	-	昭和50	同上	
情報文化課程	4	-	-	-	学士(教養)	-	-	平成元	同上	平成29年度より学生募集停止
人間環境教育課程	4	-	-	-	学士(教養)	-	-	平成11	同上	平成29年度より学生募集停止
理学部	4	205	3年次4	828	学士(理学)	1.05	-	昭和42	-	
理学科	4	205	3年次4	828	学士(理学)	1.05	-	平成17	茨城県水戸市文京2-1-1	
工学部	4	545	3年次20	2220	学士(工学)	1.02	-	昭和24	-	
機械システム工学科	4	130	3年次6	532	学士(工学)	1.03	-	平成30	茨城県日立市中成沢町4-12-1	
機械システム工学科(夜)	4	40	-	160	学士(工学)	1.01	-	平成30	同上	
電気電子システム工学科	4	125	3年次5	510	学士(工学)	1.02	-	平成30	同上	
物質科学工学科	4	110	3年次3	446	学士(工学)	1.00	-	平成30	同上	
情報工学科	4	80	3年次4	328	学士(工学)	1.02	-	平成30	同上	
都市システム工学科	4	60	3年次2	244	学士(工学)	1.09	-	平成30	同上	
機械工学科	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	平成2	同上	平成30年度より学生募集停止
生体分子機能工学科	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	平成17	同上	平成30年度より学生募集停止
マテリアル工学科	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	平成17	同上	平成30年度より学生募集停止
電気電子工学科	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	平成2	同上	平成30年度より学生募集停止
メディア通信工学科	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	平成8	同上	平成30年度より学生募集停止
知能システム工学科	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	平成17	同上	平成30年度より学生募集停止
知能システム工学科(B)	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	平成17	同上	平成30年度より学生募集停止
農学部	4	160	3年次10	660	学士(農学)	1.04	-	昭和27	-	
食生命科学科	4	80	3年次5	330	学士(農学)	1.03	-	平成29	茨城県福敷郡阿見町中央3-21-1	
地域総合農学科	4	80	3年次5	330	学士(農学)	1.06	-	平成29	同上	
生物生産科学科	4	-	-	-	学士(農学)	-	-	平成12	同上	平成29年度より学生募集停止

資源生物科学科	4	-	-	-	学士 (農学)	-	-	昭和62	同上	平成29年度より学生募集停止
地域環境科学科	4	-	-	-	学士 (農学)	-	-	平成12	同上	平成29年度より学生募集停止
大学全体 (学部)	4	1545	34	6248	-	1.04	-	-	-	
人文社会科学研究科	2	25	-	50	修士 (学術)	0.98	-	平成29	-	
文化科学専攻	2	13	-	26	修士 (学術)	0.80	-	平成21	茨城県水戸市文京2-1-1	
社会科学専攻	2	12	-	24	修士 (学術)	1.16	-	平成26	同上	
地域政策専攻	2	-	-	-	修士 (学術)	-	-	平成6	同上	平成26年度より学生募集停止
教育学研究科	2	52	-	104	-	0.99	-	昭和63	-	
障害児教育専攻	2	3	-	6	修士 (教育学)	1.16	-	昭和63	茨城県水戸市文京2-1-1	
教科教育専攻	2	22	-	44	修士 (教育学)	0.86	-	昭和63	同上	
養護教育専攻	2	3	-	6	修士 (教育学)	1.33	-	平成9	同上	
学校臨床心理専攻	2	9	-	18	修士 (教育学)	1.11	-	平成13	同上	
教育実践高度化専攻	2	15	-	30	教職修士 (専門職)	1.03	-	平成28	同上	
理工学研究科 (博士前期課程)	2	348	-	696	-	1.14	-	平成7	-	
量子線科学専攻	2	102	-	204	修士(理学) 修士(工学)	0.97	-	平成28	茨城県水戸市文京2-1-1 茨城県日立市中成沢町4-12-1	
理学専攻	2	45	-	90	修士 (理学)	1.13	-	平成21	茨城県水戸市文京2-1-1	
機械システム工学専攻	2	86	-	172	修士 (工学)	1.35	-	平成30	茨城県日立市中成沢町4-12-1	
電気電子システム工学専攻	2	58	-	116	修士 (工学)	1.09	-	平成30	同上	
情報工学専攻	2	30	-	60	修士 (工学)	1.26	-	平成30	同上	
都市システム工学専攻	2	27	-	54	修士 (工学)	1.18	-	平成30	同上	
機械工学専攻	2	-	-	-	修士 (工学)	-	-	平成7	同上	平成30年度より学生募集停止
電気電子工学専攻	2	-	-	-	修士 (工学)	-	-	平成7	同上	平成30年度より学生募集停止
メディア通信工学専攻	2	-	-	-	修士 (工学)	-	-	平成12	同上	平成30年度より学生募集停止
知能システム工学専攻	2	-	-	-	修士 (工学)	-	-	平成21	同上	平成30年度より学生募集停止
応用粒子線科学専攻	2	-	-	-	修士(理学) 修士(工学)	-	-	平成16	同上	平成28年度より学生募集停止
農学研究科	2	48	-	96	修士 (農学)	0.84	-	昭和45	-	
農学専攻	2	48	-	96	修士 (農学)	0.84	-	平成29	茨城県稲敷郡阿見町中央3-21-1	
生物生産科学専攻	2	-	-	-	修士 (農学)	-	-	平成16	同上	平成29年度より学生募集停止
資源生物科学専攻	2	-	-	-	修士 (農学)	-	-	平成3	同上	平成29年度より学生募集停止
地域環境科学専攻	2	-	-	-	修士 (農学)	-	-	平成16	同上	平成29年度より学生募集停止
大学全体 (大学院)	2	473	-	946	-	1.09	-	-	-	
理工学研究科 (博士後期課程)	3	38	-	114	博士(理学) 博士(工学) 博士(学術)	0.65	-	平成7	-	
量子線科学専攻	3	20	-	60	博士(理学) 博士(工学) 博士(学術)	0.56	-	平成28	茨城県水戸市文京2-1-1 茨城県日立市中成沢町4-12-1	
複雑系システム科学専攻	3	10	-	30	博士(理学) 博士(工学) 博士(学術)	0.83	-	平成28	同上	

社会インフラシステム科学専攻	3	8	-	24	博士(理学) 博士(工学) 博士(学術)	0.66	-	平成28	同上	
物質科学専攻	3	-	-	-	博士(理学) 博士(工学) 博士(学術)	-	-	平成7	茨城県日立市中成沢町4-12-1	平成28年度より学生募集停止
生産科学専攻	3	-	-	-	博士(理学) 博士(工学) 博士(学術)	-	-	平成7	同上	平成28年度より学生募集停止
情報・システム科学専攻	3	-	-	-	博士(理学) 博士(工学) 博士(学術)	-	-	平成7	同上	平成28年度より学生募集停止
宇宙地球システム科学専攻	3	-	-	-	博士(理学) 博士(工学) 博士(学術)	-	-	平成7	茨城県水戸市文京2-1-1	平成28年度より学生募集停止
環境機能科学専攻	3	-	-	-	博士(理学) 博士(工学) 博士(学術)	-	-	平成8	同上	平成28年度より学生募集停止
応用粒子線科学専攻	3	-	-	-	博士(理学) 博士(工学) 博士(学術)	-	-	平成16	茨城県日立市中成沢町4-12-1	平成28年度より学生募集停止
大学全体(大学院(博士))	3	38	-	114	-	0.65	-	-	-	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校種ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(専攻科及び別科を除く)。
- ・学部/学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めず。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」の考え方は「大学設置等に係る提出書類の作成の手引き(平成31年度改訂版)」と同じです。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<理工学研究科 機械システム工学専攻>

(1) -① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	伊藤 吾朗 (61) <平成30年4月> 工学博士
		塑性変形学特論 機械システム工学特別実験Ⅰ 機械システム工学特別実験Ⅱ 機械システム工学特別演習Ⅰ 機械システム工学特別演習Ⅱ 機械システム工学輪講Ⅰ 機械システム工学輪講Ⅱ 機械システム工学輪講Ⅲ OFF-CLASS-PROJECT
専	教授	伊藤 伸英 (58) <平成30年4月> 博士(工学)
		機械工作法特論 機械システム工学特別実験Ⅰ 機械システム工学特別実験Ⅱ 機械システム工学特別演習Ⅰ 機械システム工学特別演習Ⅱ 機械システム工学輪講Ⅰ 機械システム工学輪講Ⅱ 機械システム工学輪講Ⅲ OFF-CLASS-PROJECT
専	教授	稲垣 照美 (55) <平成30年4月> 博士(工学)
		伝熱工学特論 機械システム工学特別実験Ⅰ 機械システム工学特別実験Ⅱ 機械システム工学特別演習Ⅰ 機械システム工学特別演習Ⅱ 機械システム工学輪講Ⅰ 機械システム工学輪講Ⅱ 機械システム工学輪講Ⅲ OFF-CLASS-PROJECT

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	伊藤 吾朗 (62) <平成30年4月> 工学博士
		塑性変形学特論 機械システム工学特別実験Ⅰ 機械システム工学特別実験Ⅱ 機械システム工学特別演習Ⅰ 機械システム工学特別演習Ⅱ 機械システム工学輪講Ⅰ 機械システム工学輪講Ⅱ 機械システム工学輪講Ⅲ OFF-CLASS-PROJECT
専	教授	伊藤 伸英 (59) <平成30年4月> 博士(工学)
		機械工作法特論 機械システム工学特別実験Ⅰ 機械システム工学特別実験Ⅱ 機械システム工学特別演習Ⅰ 機械システム工学特別演習Ⅱ 機械システム工学輪講Ⅰ 機械システム工学輪講Ⅱ 機械システム工学輪講Ⅲ OFF-CLASS-PROJECT
専	教授	稲垣 照美 (56) <平成30年4月> 博士(工学)
		伝熱工学特論 機械システム工学特別実験Ⅰ 機械システム工学特別実験Ⅱ 機械システム工学特別演習Ⅰ 機械システム工学特別演習Ⅱ 機械システム工学輪講Ⅰ 機械システム工学輪講Ⅱ 機械システム工学輪講Ⅲ OFF-CLASS-PROJECT

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	伊藤 吾朗 (63) <平成30年4月> 工学博士
		塑性変形学特論 機械システム工学特別実験Ⅰ 機械システム工学特別実験Ⅱ 機械システム工学特別演習Ⅰ 機械システム工学特別演習Ⅱ 機械システム工学輪講Ⅰ 機械システム工学輪講Ⅱ 機械システム工学輪講Ⅲ OFF-CLASS-PROJECT
専	教授	伊藤 伸英 (60) <平成30年4月> 博士(工学)
		機械工作法特論 機械システム工学特別実験Ⅰ 機械システム工学特別実験Ⅱ 機械システム工学特別演習Ⅰ 機械システム工学特別演習Ⅱ 機械システム工学輪講Ⅰ 機械システム工学輪講Ⅱ 機械システム工学輪講Ⅲ OFF-CLASS-PROJECT
専	教授	稲垣 照美 (57) <平成30年4月> 博士(工学)
		伝熱工学特論 機械システム工学特別実験Ⅰ 機械システム工学特別実験Ⅱ 機械システム工学特別演習Ⅰ 機械システム工学特別演習Ⅱ 機械システム工学輪講Ⅰ 機械システム工学輪講Ⅱ 機械システム工学輪講Ⅲ OFF-CLASS-PROJECT

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	関東 康祐 (59) <平成30年4月> 工学博士
		原子炉構造工学特論 機械システム工学特別実験Ⅰ 機械システム工学特別実験Ⅱ 機械システム工学特別演習Ⅰ 機械システム工学特別演習Ⅱ 機械システム工学特論Ⅰ 機械システム工学特論Ⅱ 機械システム工学特論Ⅲ OFF-CLASS-PROJECT 中性子ビーム実習 連携ネット共通講座Ⅰ
専	教授	倉本 繁 (50) <平成30年4月> 博士(工学)
		材料設計学特論 機械システム工学特別実験Ⅰ 機械システム工学特別実験Ⅱ 機械システム工学特別演習Ⅰ 機械システム工学特別演習Ⅱ 機械システム工学特論Ⅰ 機械システム工学特論Ⅱ 機械システム工学特論Ⅲ OFF-CLASS-PROJECT
専	教授	近藤 良 (58) <平成30年4月> 工学博士
		デジタル制御特論 機械システム工学特別実験Ⅰ 機械システム工学特別実験Ⅱ 機械システム工学特別演習Ⅰ 機械システム工学特別演習Ⅱ 機械システム工学特論Ⅰ 機械システム工学特論Ⅱ 機械システム工学特論Ⅲ OFF-CLASS-PROJECT
専	教授	金野 満 (59) <平成30年4月> 博士(工学)
		熱機関学特論 機械システム工学特別実験Ⅰ 機械システム工学特別実験Ⅱ 機械システム工学特別演習Ⅰ 機械システム工学特別演習Ⅱ 機械システム工学特論Ⅰ 機械システム工学特論Ⅱ 機械システム工学特論Ⅲ OFF-CLASS-PROJECT

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	関東 康祐 (60) <平成30年4月> 工学博士
		原子炉構造工学特論 機械システム工学特別実験Ⅰ 機械システム工学特別実験Ⅱ 機械システム工学特別演習Ⅰ 機械システム工学特別演習Ⅱ 機械システム工学特論Ⅰ 機械システム工学特論Ⅱ 機械システム工学特論Ⅲ OFF-CLASS-PROJECT 中性子ビーム実習 連携ネット共通講座Ⅰ
専	教授	倉本 繁 (51) <平成30年4月> 博士(工学)
		材料設計学特論 機械システム工学特別実験Ⅰ 機械システム工学特別実験Ⅱ 機械システム工学特別演習Ⅰ 機械システム工学特別演習Ⅱ 機械システム工学特論Ⅰ 機械システム工学特論Ⅱ 機械システム工学特論Ⅲ OFF-CLASS-PROJECT
専	教授	近藤 良 (59) <平成30年4月> 工学博士
		デジタル制御特論 機械システム工学特別実験Ⅰ 機械システム工学特別実験Ⅱ 機械システム工学特別演習Ⅰ 機械システム工学特別演習Ⅱ 機械システム工学特論Ⅰ 機械システム工学特論Ⅱ 機械システム工学特論Ⅲ OFF-CLASS-PROJECT
専	教授	金野 満 (60) <平成30年4月> 博士(工学)
		熱機関学特論 機械システム工学特別実験Ⅰ 機械システム工学特別実験Ⅱ 機械システム工学特別演習Ⅰ 機械システム工学特別演習Ⅱ 機械システム工学特論Ⅰ 機械システム工学特論Ⅱ 機械システム工学特論Ⅲ OFF-CLASS-PROJECT

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	関東 康祐 (61) <平成30年4月> 工学博士
		原子科学と倫理 原子炉構造工学特論 機械システム工学特別実験Ⅰ 機械システム工学特別実験Ⅱ 機械システム工学特別演習Ⅰ 機械システム工学特別演習Ⅱ 機械システム工学特論Ⅰ 機械システム工学特論Ⅱ 機械システム工学特論Ⅲ OFF-CLASS-PROJECT 中性子ビーム実習 連携ネット共通講座Ⅰ
専	教授	倉本 繁 (52) <平成30年4月> 博士(工学)
		材料設計学特論 機械システム工学特別実験Ⅰ 機械システム工学特別実験Ⅱ 機械システム工学特別演習Ⅰ 機械システム工学特別演習Ⅱ 機械システム工学特論Ⅰ 機械システム工学特論Ⅱ 機械システム工学特論Ⅲ OFF-CLASS-PROJECT
専	教授	近藤 良 (60) <平成30年4月> 工学博士
		デジタル制御特論 機械システム工学特別実験Ⅰ 機械システム工学特別実験Ⅱ 機械システム工学特別演習Ⅰ 機械システム工学特別演習Ⅱ 機械システム工学特論Ⅰ 機械システム工学特論Ⅱ 機械システム工学特論Ⅲ OFF-CLASS-PROJECT
専	教授	金野 満 (61) <平成30年4月> 博士(工学)
		熱機関学特論 機械システム工学特別実験Ⅰ 機械システム工学特別実験Ⅱ 機械システム工学特別演習Ⅰ 機械システム工学特別演習Ⅱ 機械システム工学特論Ⅰ 機械システム工学特論Ⅱ 機械システム工学特論Ⅲ OFF-CLASS-PROJECT

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	田中 伸厚 (53) <平成30年4月> 博士(工学)
		原子力エネルギー工学特論 機械システム工学特別実験Ⅰ 機械システム工学特別実験Ⅱ 機械システム工学特別演習Ⅰ 機械システム工学特別演習Ⅱ 機械システム工学特論Ⅰ 機械システム工学特論Ⅱ 機械システム工学特論Ⅲ OFF-CLASS-PROJECT
専	教授	堀辺 忠志 (62) <平成30年4月> 博士(工学)
		材料力学特論 機械システム工学特別実験Ⅰ 機械システム工学特別実験Ⅱ 機械システム工学特別演習Ⅰ 機械システム工学特別演習Ⅱ 機械システム工学特論Ⅰ 機械システム工学特論Ⅱ 機械システム工学特論Ⅲ OFF-CLASS-PROJECT
専	教授	増澤 徹 (57) <平成30年4月> 工学博士
		医用工学特論 機械システム工学特別実験Ⅰ 機械システム工学特別実験Ⅱ 機械システム工学特別演習Ⅰ 機械システム工学特別演習Ⅱ 機械システム工学特論Ⅰ 機械システム工学特論Ⅱ 機械システム工学特論Ⅲ OFF-CLASS-PROJECT
専	教授	乾 正知 (55) <平成30年4月> 工学博士
		機械製造技術特論 機械システム工学特別実験Ⅰ 機械システム工学特別実験Ⅱ 機械システム工学特別演習Ⅰ 機械システム工学特別演習Ⅱ 機械システム工学特論Ⅰ 機械システム工学特論Ⅱ 機械システム工学特論Ⅲ OFF-CLASS-PROJECT

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	田中 伸厚 (54) <平成30年4月> 博士(工学)
		原子力エネルギー工学特論 機械システム工学特別実験Ⅰ 機械システム工学特別実験Ⅱ 機械システム工学特別演習Ⅰ 機械システム工学特別演習Ⅱ 機械システム工学特論Ⅰ 機械システム工学特論Ⅱ 機械システム工学特論Ⅲ OFF-CLASS-PROJECT
専	教授	堀辺 忠志 (63) <平成30年4月> 博士(工学)
		材料力学特論 機械システム工学特別実験Ⅰ 機械システム工学特別実験Ⅱ 機械システム工学特別演習Ⅰ 機械システム工学特別演習Ⅱ 機械システム工学特論Ⅰ 機械システム工学特論Ⅱ 機械システム工学特論Ⅲ OFF-CLASS-PROJECT
専	教授	増澤 徹 (58) <平成30年4月> 工学博士
		医用工学特論 機械システム工学特別実験Ⅰ 機械システム工学特別実験Ⅱ 機械システム工学特別演習Ⅰ 機械システム工学特別演習Ⅱ 機械システム工学特論Ⅰ 機械システム工学特論Ⅱ 機械システム工学特論Ⅲ OFF-CLASS-PROJECT
専	教授	乾 正知 (56) <平成30年4月> 工学博士
		機械製造技術特論 機械システム工学特別実験Ⅰ 機械システム工学特別実験Ⅱ 機械システム工学特別演習Ⅰ 機械システム工学特別演習Ⅱ 機械システム工学特論Ⅰ 機械システム工学特論Ⅱ 機械システム工学特論Ⅲ OFF-CLASS-PROJECT

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	田中 伸厚 (55) <平成30年4月> 博士(工学)
		原子力エネルギー工学特論 機械システム工学特別実験Ⅰ 機械システム工学特別実験Ⅱ 機械システム工学特別演習Ⅰ 機械システム工学特別演習Ⅱ 機械システム工学特論Ⅰ 機械システム工学特論Ⅱ 機械システム工学特論Ⅲ OFF-CLASS-PROJECT
専	教授	堀辺 忠志 (64) <平成30年4月> 博士(工学)
		材料力学特論 機械システム工学特別実験Ⅰ 機械システム工学特別実験Ⅱ 機械システム工学特別演習Ⅰ 機械システム工学特別演習Ⅱ 機械システム工学特論Ⅰ 機械システム工学特論Ⅱ 機械システム工学特論Ⅲ OFF-CLASS-PROJECT
専	教授	増澤 徹 (59) <平成30年4月> 工学博士
		医用工学特論 機械システム工学特別実験Ⅰ 機械システム工学特別実験Ⅱ 機械システム工学特別演習Ⅰ 機械システム工学特別演習Ⅱ 機械システム工学特論Ⅰ 機械システム工学特論Ⅱ 機械システム工学特論Ⅲ OFF-CLASS-PROJECT
専	教授	乾 正知 (57) <平成30年4月> 工学博士
		機械製造技術特論 機械システム工学特別実験Ⅰ 機械システム工学特別実験Ⅱ 機械システム工学特別演習Ⅰ 機械システム工学特別演習Ⅱ 機械システム工学特論Ⅰ 機械システム工学特論Ⅱ 機械システム工学特論Ⅲ OFF-CLASS-PROJECT

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	馬場 充 (63) <平成30年4月> 工学博士
		センシング技術特論
専	准教授	田中 光太郎 (39) <平成30年4月> 博士(工学)
		熱力学特論 機械システム工学特別実験Ⅰ 機械システム工学特別実験Ⅱ 機械システム工学特別演習Ⅰ 機械システム工学特別演習Ⅱ 機械システム工学輪講Ⅰ 機械システム工学輪講Ⅱ 機械システム工学輪講Ⅲ OFF-CLASS-PROJECT
専	准教授	尾関 和秀 (48) <平成30年4月> 博士(工学)
		生体材料工学特論 機械システム工学特別実験Ⅰ 機械システム工学特別実験Ⅱ 機械システム工学特別演習Ⅰ 機械システム工学特別演習Ⅱ 機械システム工学輪講Ⅰ 機械システム工学輪講Ⅱ 機械システム工学輪講Ⅲ OFF-CLASS-PROJECT
専	准教授	車田 亮 (57) <平成30年4月> 博士(工学)
		機械材料工学特論 機械システム工学特別実験Ⅰ 機械システム工学特別実験Ⅱ 機械システム工学特別演習Ⅰ 機械システム工学特別演習Ⅱ 機械システム工学輪講Ⅰ 機械システム工学輪講Ⅱ 機械システム工学輪講Ⅲ OFF-CLASS-PROJECT

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	馬場 充 (64) <平成30年4月> 工学博士
		センシング技術特論 機械システム工学特別実験Ⅰ 機械システム工学特別実験Ⅱ 機械システム工学特別演習Ⅰ 機械システム工学特別演習Ⅱ 機械システム工学輪講Ⅰ 機械システム工学輪講Ⅱ 機械システム工学輪講Ⅲ OFF-CLASS-PROJECT
専	教授	田中 光太郎 (40) <平成30年4月> 博士(工学)
		熱力学特論 機械システム工学特別実験Ⅰ 機械システム工学特別実験Ⅱ 機械システム工学特別演習Ⅰ 機械システム工学特別演習Ⅱ 機械システム工学輪講Ⅰ 機械システム工学輪講Ⅱ 機械システム工学輪講Ⅲ OFF-CLASS-PROJECT
専	准教授	尾関 和秀 (49) <平成30年4月> 博士(工学)
		生体材料工学特論 機械システム工学特別実験Ⅰ 機械システム工学特別実験Ⅱ 機械システム工学特別演習Ⅰ 機械システム工学特別演習Ⅱ 機械システム工学輪講Ⅰ 機械システム工学輪講Ⅱ 機械システム工学輪講Ⅲ OFF-CLASS-PROJECT
専	准教授	車田 亮 (58) <平成30年4月> 博士(工学)
		機械材料工学特論 機械システム工学特別実験Ⅰ 機械システム工学特別実験Ⅱ 機械システム工学特別演習Ⅰ 機械システム工学特別演習Ⅱ 機械システム工学輪講Ⅰ 機械システム工学輪講Ⅱ 機械システム工学輪講Ⅲ OFF-CLASS-PROJECT

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	田中 光太郎 (41) <平成30年4月> 博士(工学)
		熱力学特論 機械システム工学特別実験Ⅰ 機械システム工学特別実験Ⅱ 機械システム工学特別演習Ⅰ 機械システム工学特別演習Ⅱ 機械システム工学輪講Ⅰ 機械システム工学輪講Ⅱ 機械システム工学輪講Ⅲ OFF-CLASS-PROJECT
専	准教授	尾関 和秀 (50) <平成30年4月> 博士(工学)
		生体材料工学特論 機械システム工学特別実験Ⅰ 機械システム工学特別実験Ⅱ 機械システム工学特別演習Ⅰ 機械システム工学特別演習Ⅱ 機械システム工学輪講Ⅰ 機械システム工学輪講Ⅱ 機械システム工学輪講Ⅲ OFF-CLASS-PROJECT
専	准教授	車田 亮 (59) <平成30年4月> 博士(工学)
		機械材料工学特論 機械システム工学特別実験Ⅰ 機械システム工学特別実験Ⅱ 機械システム工学特別演習Ⅰ 機械システム工学特別演習Ⅱ 機械システム工学輪講Ⅰ 機械システム工学輪講Ⅱ 機械システム工学輪講Ⅲ OFF-CLASS-PROJECT

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	准教授	清水 年美 (45) <平成30年4月> 博士(工学)
		機械力学特論 機械システム工学特別実験Ⅰ 機械システム工学特別実験Ⅱ 機械システム工学特別演習Ⅰ 機械システム工学特別演習Ⅱ 機械システム工学輪講Ⅰ 機械システム工学輪講Ⅱ 機械システム工学輪講Ⅲ OFF-CLASS-PROJECT
専	准教授	西 泰行 (40) <平成30年4月> 博士(工学)
		流体機械工学特論 機械システム工学特別実験Ⅰ 機械システム工学特別実験Ⅱ 機械システム工学特別演習Ⅰ 機械システム工学特別演習Ⅱ 機械システム工学輪講Ⅰ 機械システム工学輪講Ⅱ 機械システム工学輪講Ⅲ OFF-CLASS-PROJECT
専	准教授	松村 邦仁 (48) <平成30年4月> 博士(工学)
		エネルギー安全工学特論 機械システム工学特別実験Ⅰ 機械システム工学特別実験Ⅱ 機械システム工学特別演習Ⅰ 機械システム工学特別演習Ⅱ 機械システム工学輪講Ⅰ 機械システム工学輪講Ⅱ 機械システム工学輪講Ⅲ OFF-CLASS-PROJECT 連携ネット共通講座Ⅱ
専	准教授	道辻 洋平 (40) <平成30年4月> 博士(工学)
		機構学特論 機械システム工学特別実験Ⅰ 機械システム工学特別実験Ⅱ 機械システム工学特別演習Ⅰ 機械システム工学特別演習Ⅱ 機械システム工学輪講Ⅰ 機械システム工学輪講Ⅱ 機械システム工学輪講Ⅲ OFF-CLASS-PROJECT

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	准教授	清水 年美 (46) <平成30年4月> 博士(工学)
		機械力学特論 機械システム工学特別実験Ⅰ 機械システム工学特別実験Ⅱ 機械システム工学特別演習Ⅰ 機械システム工学特別演習Ⅱ 機械システム工学輪講Ⅰ 機械システム工学輪講Ⅱ 機械システム工学輪講Ⅲ OFF-CLASS-PROJECT
専	准教授	西 泰行 (41) <平成30年4月> 博士(工学)
		流体機械工学特論 機械システム工学特別実験Ⅰ 機械システム工学特別実験Ⅱ 機械システム工学特別演習Ⅰ 機械システム工学特別演習Ⅱ 機械システム工学輪講Ⅰ 機械システム工学輪講Ⅱ 機械システム工学輪講Ⅲ OFF-CLASS-PROJECT
専	准教授	松村 邦仁 (49) <平成30年4月> 博士(工学)
		エネルギー安全工学特論 機械システム工学特別実験Ⅰ 機械システム工学特別実験Ⅱ 機械システム工学特別演習Ⅰ 機械システム工学特別演習Ⅱ 機械システム工学輪講Ⅰ 機械システム工学輪講Ⅱ 機械システム工学輪講Ⅲ OFF-CLASS-PROJECT 連携ネット共通講座Ⅱ
専	准教授	道辻 洋平 (41) <平成30年4月> 博士(工学)
		機構学特論 機械システム工学特別実験Ⅰ 機械システム工学特別実験Ⅱ 機械システム工学特別演習Ⅰ 機械システム工学特別演習Ⅱ 機械システム工学輪講Ⅰ 機械システム工学輪講Ⅱ 機械システム工学輪講Ⅲ OFF-CLASS-PROJECT

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	准教授	清水 年美 (47) <平成30年4月> 博士(工学)
		機械力学特論 機械システム工学特別実験Ⅰ 機械システム工学特別実験Ⅱ 機械システム工学特別演習Ⅰ 機械システム工学特別演習Ⅱ 機械システム工学輪講Ⅰ 機械システム工学輪講Ⅱ 機械システム工学輪講Ⅲ OFF-CLASS-PROJECT
専	准教授	西 泰行 (42) <平成30年4月> 博士(工学)
		流体機械工学特論 機械システム工学特別実験Ⅰ 機械システム工学特別実験Ⅱ 機械システム工学特別演習Ⅰ 機械システム工学特別演習Ⅱ 機械システム工学輪講Ⅰ 機械システム工学輪講Ⅱ 機械システム工学輪講Ⅲ OFF-CLASS-PROJECT
専	准教授	松村 邦仁 (50) <平成30年4月> 博士(工学)
		エネルギー安全工学特論 機械システム工学特別実験Ⅰ 機械システム工学特別実験Ⅱ 機械システム工学特別演習Ⅰ 機械システム工学特別演習Ⅱ 機械システム工学輪講Ⅰ 機械システム工学輪講Ⅱ 機械システム工学輪講Ⅲ OFF-CLASS-PROJECT 連携ネット共通講座Ⅱ
専	准教授	道辻 洋平 (41) <平成30年4月> 博士(工学)
		機構学特論 機械システム工学特別実験Ⅰ 機械システム工学特別実験Ⅱ 機械システム工学特別演習Ⅰ 機械システム工学特別演習Ⅱ 機械システム工学輪講Ⅰ 機械システム工学輪講Ⅱ 機械システム工学輪講Ⅲ OFF-CLASS-PROJECT

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	准教授	竹田 晃人 (43) <平成30年4月> 博士(理学)
		人工知能特論 機械システム工学特別実験Ⅰ 機械システム工学特別実験Ⅱ 機械システム工学特別演習Ⅰ 機械システム工学特別演習Ⅱ 機械システム工学輪講Ⅰ 機械システム工学輪講Ⅱ 機械システム工学輪講Ⅲ OFF-CLASS-PROJECT
専	准教授	中村 雅史 (48) <平成30年4月> 博士(工学)
		高分子材料学特論 機械システム工学特別実験Ⅰ 機械システム工学特別実験Ⅱ 機械システム工学特別演習Ⅰ 機械システム工学特別演習Ⅱ 機械システム工学輪講Ⅰ 機械システム工学輪講Ⅱ 機械システム工学輪講Ⅲ OFF-CLASS-PROJECT
専	准教授	福岡 泰宏 (43) <平成30年4月> 博士(工学)
		発展ロボット工学特論 機械システム工学特別実験Ⅰ 機械システム工学特別実験Ⅱ 機械システム工学特別演習Ⅰ 機械システム工学特別演習Ⅱ 機械システム工学輪講Ⅰ 機械システム工学輪講Ⅱ 機械システム工学輪講Ⅲ OFF-CLASS-PROJECT
専	講師	梅津 信幸 (45) <平成30年4月> 博士(理学)
		コンピュータ科学特論 機械システム工学特別実験Ⅰ 機械システム工学特別実験Ⅱ 機械システム工学特別演習Ⅰ 機械システム工学特別演習Ⅱ 機械システム工学輪講Ⅰ 機械システム工学輪講Ⅱ 機械システム工学輪講Ⅲ OFF-CLASS-PROJECT

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	准教授	竹田 晃人 (44) <平成30年4月> 博士(理学)
		人工知能特論 機械システム工学特別実験Ⅰ 機械システム工学特別実験Ⅱ 機械システム工学特別演習Ⅰ 機械システム工学特別演習Ⅱ 機械システム工学輪講Ⅰ 機械システム工学輪講Ⅱ 機械システム工学輪講Ⅲ OFF-CLASS-PROJECT
専	准教授	中村 雅史 (49) <平成30年4月> 博士(工学)
		高分子材料学特論 機械システム工学特別実験Ⅰ 機械システム工学特別実験Ⅱ 機械システム工学特別演習Ⅰ 機械システム工学特別演習Ⅱ 機械システム工学輪講Ⅰ 機械システム工学輪講Ⅱ 機械システム工学輪講Ⅲ OFF-CLASS-PROJECT
専	准教授	福岡 泰宏 (44) <平成30年4月> 博士(工学)
		発展ロボット工学特論 機械システム工学特別実験Ⅰ 機械システム工学特別実験Ⅱ 機械システム工学特別演習Ⅰ 機械システム工学特別演習Ⅱ 機械システム工学輪講Ⅰ 機械システム工学輪講Ⅱ 機械システム工学輪講Ⅲ OFF-CLASS-PROJECT
専	准教授	梅津 信幸 (46) <平成30年4月> 博士(理学)
		コンピュータ科学特論 機械システム工学特別実験Ⅰ 機械システム工学特別実験Ⅱ 機械システム工学特別演習Ⅰ 機械システム工学特別演習Ⅱ 機械システム工学輪講Ⅰ 機械システム工学輪講Ⅱ 機械システム工学輪講Ⅲ OFF-CLASS-PROJECT

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	准教授	竹田 晃人 (45) <平成30年4月> 博士(理学)
		人工知能特論 機械システム工学特別実験Ⅰ 機械システム工学特別実験Ⅱ 機械システム工学特別演習Ⅰ 機械システム工学特別演習Ⅱ 機械システム工学輪講Ⅰ 機械システム工学輪講Ⅱ 機械システム工学輪講Ⅲ OFF-CLASS-PROJECT
専	准教授	中村 雅史 (50) <平成30年4月> 博士(工学)
		高分子材料学特論 機械システム工学特別実験Ⅰ 機械システム工学特別実験Ⅱ 機械システム工学特別演習Ⅰ 機械システム工学特別演習Ⅱ 機械システム工学輪講Ⅰ 機械システム工学輪講Ⅱ 機械システム工学輪講Ⅲ OFF-CLASS-PROJECT
専	准教授	福岡 泰宏 (45) <平成30年4月> 博士(工学)
		発展ロボット工学特論 機械システム工学特別実験Ⅰ 機械システム工学特別実験Ⅱ 機械システム工学特別演習Ⅰ 機械システム工学特別演習Ⅱ 機械システム工学輪講Ⅰ 機械システム工学輪講Ⅱ 機械システム工学輪講Ⅲ OFF-CLASS-PROJECT
専	准教授	梅津 信幸 (47) <平成30年4月> 博士(理学)
		コンピュータ科学特論 機械システム工学特別実験Ⅰ 機械システム工学特別実験Ⅱ 機械システム工学特別演習Ⅰ 機械システム工学特別演習Ⅱ 機械システム工学輪講Ⅰ 機械システム工学輪講Ⅱ 機械システム工学輪講Ⅲ OFF-CLASS-PROJECT

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	講師	李 艶栄 (34) <平成30年4月> 博士(環境学)
		流体力学特論 機械システム工学特別実験Ⅰ 機械システム工学特別実験Ⅱ 機械システム工学特別演習Ⅰ 機械システム工学特別演習Ⅱ 機械システム工学輪講Ⅰ 機械システム工学輪講Ⅱ 機械システム工学輪講Ⅲ OFF-CLASS-PROJECT
専	講師	井上 康介 (43) <平成30年4月> 博士(工学)
		生体ロボット工学特論 機械システム工学輪講Ⅰ 機械システム工学輪講Ⅱ 機械システム工学輪講Ⅲ OFF-CLASS-PROJECT
専	講師	岩崎 唯史 (49) <平成30年4月> 博士(理学)
		情報システム特論 機械システム工学輪講Ⅰ 機械システム工学輪講Ⅱ 機械システム工学輪講Ⅲ OFF-CLASS-PROJECT
専	講師	近藤 久 (51) <平成30年4月> 博士(工学)
		知能情報学特論 機械システム工学輪講Ⅰ 機械システム工学輪講Ⅱ 機械システム工学輪講Ⅲ OFF-CLASS-PROJECT
専	講師	関根 栄子 (46) <平成30年4月> 博士(工学)
		統計的信号処理特論 機械システム工学輪講Ⅰ 機械システム工学輪講Ⅱ 機械システム工学輪講Ⅲ OFF-CLASS-PROJECT
専	講師	中野 博民 (59) <平成30年4月> 工学博士
		メカトロニクス特論Ⅰ メカトロニクス特論Ⅱ 機械システム工学輪講Ⅰ 機械システム工学輪講Ⅱ 機械システム工学輪講Ⅲ OFF-CLASS-PROJECT
専	講師	今村 仁 (57) <平成30年4月> 博士(工学)
		非線形ダイナミクス特論 機械システム工学輪講Ⅰ 機械システム工学輪講Ⅱ 機械システム工学輪講Ⅲ OFF-CLASS-PROJECT

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	講師	李 艶栄 (35) <平成30年4月> 博士(環境学)
		流体力学特論 機械システム工学特別実験Ⅰ 機械システム工学特別実験Ⅱ 機械システム工学特別演習Ⅰ 機械システム工学特別演習Ⅱ 機械システム工学輪講Ⅰ 機械システム工学輪講Ⅱ 機械システム工学輪講Ⅲ OFF-CLASS-PROJECT
専	講師	井上 康介 (44) <平成30年4月> 博士(工学)
		生体ロボット工学特論 機械システム工学輪講Ⅰ 機械システム工学輪講Ⅱ 機械システム工学輪講Ⅲ OFF-CLASS-PROJECT
専	講師	岩崎 唯史 (50) <平成30年4月> 博士(理学)
		情報システム特論 機械システム工学輪講Ⅰ 機械システム工学輪講Ⅱ 機械システム工学輪講Ⅲ OFF-CLASS-PROJECT
専	講師	近藤 久 (52) <平成30年4月> 博士(工学)
		知能情報学特論 機械システム工学輪講Ⅰ 機械システム工学輪講Ⅱ 機械システム工学輪講Ⅲ OFF-CLASS-PROJECT
専	講師	関根 栄子 (47) <平成30年4月> 博士(工学)
		統計的信号処理特論 機械システム工学輪講Ⅰ 機械システム工学輪講Ⅱ 機械システム工学輪講Ⅲ OFF-CLASS-PROJECT
専	講師	中野 博民 (60) <平成30年4月> 工学博士
		メカトロニクス特論Ⅰ メカトロニクス特論Ⅱ 機械システム工学輪講Ⅰ 機械システム工学輪講Ⅱ 機械システム工学輪講Ⅲ OFF-CLASS-PROJECT
専	講師	

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	講師	李 艶栄 (36) <平成30年4月> 博士(環境学)
		流体力学特論 機械システム工学特別実験Ⅰ 機械システム工学特別実験Ⅱ 機械システム工学特別演習Ⅰ 機械システム工学特別演習Ⅱ 機械システム工学輪講Ⅰ 機械システム工学輪講Ⅱ 機械システム工学輪講Ⅲ OFF-CLASS-PROJECT
専	講師	井上 康介 (45) <平成30年4月> 博士(工学)
		生体ロボット工学特論 機械システム工学輪講Ⅰ 機械システム工学輪講Ⅱ 機械システム工学輪講Ⅲ OFF-CLASS-PROJECT
専	講師	岩崎 唯史 (51) <平成30年4月> 博士(理学)
		情報システム特論 機械システム工学輪講Ⅰ 機械システム工学輪講Ⅱ 機械システム工学輪講Ⅲ OFF-CLASS-PROJECT
専	講師	近藤 久 (53) <平成30年4月> 博士(工学)
		知能情報学特論 機械システム工学輪講Ⅰ 機械システム工学輪講Ⅱ 機械システム工学輪講Ⅲ OFF-CLASS-PROJECT
専	講師	関根 栄子 (48) <平成30年4月> 博士(工学)
		統計的信号処理特論 機械システム工学輪講Ⅰ 機械システム工学輪講Ⅱ 機械システム工学輪講Ⅲ OFF-CLASS-PROJECT
専	講師	中野 博民 (61) <平成30年4月> 工学博士
		メカトロニクス特論Ⅰ メカトロニクス特論Ⅱ 機械システム工学輪講Ⅰ 機械システム工学輪講Ⅱ 機械システム工学輪講Ⅲ OFF-CLASS-PROJECT
専	講師	

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	助教	長 真啓 (30) <平成30年4月> 博士(工学)
		生体機械工学特論 機械システム工学輪講Ⅰ 機械システム工学輪講Ⅱ 機械システム工学輪講Ⅲ OFF-CLASS-PROJECT
専	助教	北山 文矢 (29) <平成30年4月> 博士(工学)
		アクチュエータ工学特論 機械システム工学輪講Ⅰ 機械システム工学輪講Ⅱ 機械システム工学輪講Ⅲ OFF-CLASS-PROJECT
専	助教	小林 純也 (30) <平成30年4月> 博士(工学)
		鉄鋼材料学特論 機械システム工学輪講Ⅰ 機械システム工学輪講Ⅱ 機械システム工学輪講Ⅲ OFF-CLASS-PROJECT
専	助教	森 孝太郎 (31) <平成30年4月> 博士(工学)
		材料強度学特論 機械システム工学輪講Ⅰ 機械システム工学輪講Ⅱ 機械システム工学輪講Ⅲ OFF-CLASS-PROJECT
専	助教	新任教員 () <平成31年4月>
		機械システム工学輪講Ⅰ 機械システム工学輪講Ⅱ 機械システム工学輪講Ⅲ OFF-CLASS-PROJECT
専	助教	新任教員 () <平成31年4月>
		機械システム工学輪講Ⅰ 機械システム工学輪講Ⅱ 機械システム工学輪講Ⅲ OFF-CLASS-PROJECT
兼任	教授	岡 裕和 (52) <平成30年4月> 博士(理学)
		応用数学特論

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	助教	長 真啓 (31) <平成30年4月> 博士(工学)
		生体機械工学特論 機械システム工学輪講Ⅰ 機械システム工学輪講Ⅱ 機械システム工学輪講Ⅲ OFF-CLASS-PROJECT
専	助教	北山 文矢 (30) <平成30年4月> 博士(工学)
		アクチュエータ工学特論 機械システム工学輪講Ⅰ 機械システム工学輪講Ⅱ 機械システム工学輪講Ⅲ OFF-CLASS-PROJECT
専	助教	小林 純也 (31) <平成30年4月> 博士(工学)
		鉄鋼材料学特論 機械システム工学特別実験Ⅰ 機械システム工学特別実験Ⅱ 機械システム工学特別演習Ⅰ 機械システム工学特別演習Ⅱ 機械システム工学輪講Ⅰ 機械システム工学輪講Ⅱ 機械システム工学輪講Ⅲ OFF-CLASS-PROJECT
専	助教	森 孝太郎 (32) <平成30年4月> 博士(工学)
		材料強度学特論 機械システム工学特別実験Ⅰ 機械システム工学特別実験Ⅱ 機械システム工学特別演習Ⅰ 機械システム工学特別演習Ⅱ 機械システム工学輪講Ⅰ 機械システム工学輪講Ⅱ 機械システム工学輪講Ⅲ OFF-CLASS-PROJECT
専	助教	新任教員 () <平成31年4月>
		機械システム工学輪講Ⅰ 機械システム工学輪講Ⅱ 機械システム工学輪講Ⅲ OFF-CLASS-PROJECT
専	助教	新任教員 () <平成31年4月>
		機械システム工学輪講Ⅰ 機械システム工学輪講Ⅱ 機械システム工学輪講Ⅲ OFF-CLASS-PROJECT
兼任	教授	岡 裕和 (53) <平成30年4月> 博士(理学)
		応用数学特論

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	助教	長 真啓 (32) <平成30年4月> 博士(工学)
		生体機械工学特論 機械システム工学輪講Ⅰ 機械システム工学輪講Ⅱ 機械システム工学輪講Ⅲ OFF-CLASS-PROJECT
専	助教	北山 文矢 (31) <平成30年4月> 博士(工学)
		アクチュエータ工学特論 機械システム工学輪講Ⅰ 機械システム工学輪講Ⅱ 機械システム工学輪講Ⅲ OFF-CLASS-PROJECT
専	助教	小林 純也 (32) <平成30年4月> 博士(工学)
		鉄鋼材料学特論 機械システム工学特別実験Ⅰ 機械システム工学特別実験Ⅱ 機械システム工学特別演習Ⅰ 機械システム工学特別演習Ⅱ 機械システム工学輪講Ⅰ 機械システム工学輪講Ⅱ 機械システム工学輪講Ⅲ OFF-CLASS-PROJECT
専	講師	森 孝太郎 (33) <平成30年4月> 博士(工学)
		材料強度学特論 機械システム工学特別実験Ⅰ 機械システム工学特別実験Ⅱ 機械システム工学特別演習Ⅰ 機械システム工学特別演習Ⅱ 機械システム工学輪講Ⅰ 機械システム工学輪講Ⅱ 機械システム工学輪講Ⅲ OFF-CLASS-PROJECT
専	助教	境田 悟志 (31) <平成31年4月> 博士(工学)
		熱機関学特論 熱力学特論 機械システム工学輪講Ⅰ 機械システム工学輪講Ⅱ 機械システム工学輪講Ⅲ OFF-CLASS-PROJECT
専	助教	新任教員 () <令和元年9年>
		機械システム工学輪講Ⅰ 機械システム工学輪講Ⅱ 機械システム工学輪講Ⅲ OFF-CLASS-PROJECT
兼任	教授	岡 裕和 (54) <平成30年4月> 博士(理学)
		応用数学特論

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	平澤 剛 (46) <平成30年4月> 博士(理学)
		解析学特論
兼任	教授	立花 章 (59) <平成30年4月> 理学博士
		連携ネット共通講座Ⅰ 連携ネット共通講座Ⅱ
兼任	教授	大山 研司 (55) <平成30年4月> 博士(理学)
		量子ビーム応用解析
兼任	教授	久保田 俊夫 (63) <平成30年4月> 工学博士
		量子ビーム応用解析
兼任	教授	小泉 智 (52) <平成30年4月> 博士(工学)
		量子ビーム応用解析
兼任	教授	村上 雄太郎 (61) <平成30年4月> 文学博士
		科学技術日本語特論
兼任	教授	高妻 孝光 (56) <平成30年4月> 学術博士
		社会における科学技術
兼任	教授	武田 茂樹 (43) <平成30年4月> 博士(工学)
		L S I 設計・開発技術特論

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	平澤 剛 (47) <平成30年4月> 博士(理学)
		解析学特論
兼任	教授	立花 章 (60) <平成30年4月> 理学博士
		連携ネット共通講座Ⅰ 連携ネット共通講座Ⅱ
兼任	教授	大山 研司 (56) <平成30年4月> 博士(理学)
		量子ビーム応用解析
兼任	教授	久保田 俊夫 (64) <平成30年4月> 工学博士
		量子ビーム応用解析
兼任	教授	小泉 智 (53) <平成30年4月> 博士(工学)
		量子ビーム応用解析
兼任	教授	金 幸夫 (56) <平成30年4月> 理学博士
		量子ビーム応用解析
兼任	教授	田中 伊知朗 (52) <平成30年4月> 博士(理学)
		量子ビーム応用解析
兼任	教授	村上 雄太郎 (62) <平成30年4月> 文学博士
		科学技術日本語特論
兼任	教授	高妻 孝光 (57) <平成30年4月> 学術博士
		社会における科学技術
兼任	教授	武田 茂樹 (44) <平成30年4月> 博士(工学)
		L S I 設計・開発技術特論
兼任	教授	島影 尚 (54) <平成30年4月> 工学博士
		先端科学トピックスⅠ

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	平澤 剛 (48) <平成30年4月> 博士(理学)
		解析学特論
兼任	教授	立花 章 (61) <平成30年4月> 理学博士
		連携ネット共通講座Ⅰ 連携ネット共通講座Ⅱ
兼任	教授	大山 研司 (57) <平成30年4月> 博士(理学)
		量子ビーム応用解析
兼任	教授	久保田 俊夫 (65) <平成30年4月> 工学博士
		量子ビーム応用解析
兼任	教授	小泉 智 (54) <平成30年4月> 博士(工学)
		量子ビーム応用解析
兼任	教授	金 幸夫 (57) <平成30年4月> 理学博士
		量子ビーム応用解析
兼任	教授	田中 伊知朗 (53) <平成30年4月> 博士(理学)
		量子ビーム応用解析
兼任	教授	村上 雄太郎 (63) <平成30年4月> 文学博士
		科学技術日本語特論
兼任	教授	高妻 孝光 (58) <平成30年4月> 学術博士
		社会における科学技術
兼任	教授	武田 茂樹 (45) <平成30年4月> 博士(工学)
		L S I 設計・開発技術特論
兼任	教授	島影 尚 (55) <平成30年4月> 工学博士
		先端科学トピックスⅠ

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	湊 淳 (55) <平成30年4月> 博士(工学)
		環境情報センシング特論
兼任	教授	羽瀨 裕真 (53) <平成30年4月> 博士(学術)
		学術情報リテラシー
兼任	教授	横木 裕宗 (51) <平成30年4月> 博士(工学)
		地球環境システム論Ⅰ
兼任	准教授	藤田 昌史 (44) <平成30年4月> 博士(工学)
		霞ヶ浦環境科学概論
兼任	教授	梅比良 正弘 (61) <平成30年4月> 博士(工学)
		知的所有権特論
兼任	教授	伊藤 哲司 (52) <平成30年4月> 博士(心理学)
		人間システム基礎論Ⅰ
兼任	教授	蓮井 誠一郎 (45) <平成30年4月> 修士(国際学)
		持続社会システム論Ⅱ

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	大友 季哉 (52) <平成30年4月> 博士(工学)
		先端科学トピックスⅠ
兼任	教授	奥 隆之 (48) <平成30年4月> 博士(工学)
		先端科学トピックスⅠ
兼任	教授	日時 直人 (55) <平成30年4月> 理学博士
		先端科学トピックスⅠ
兼任	教授	永目 諭一郎 (64) <平成30年4月> 理学博士
		先端科学トピックスⅠ
兼任	教授	湊 淳 (56) <平成30年4月> 博士(工学)
		環境情報センシング特論
兼任	教授	羽瀨 裕真 (54) <平成30年4月> 博士(学術)
		学術情報リテラシー
兼任	教授	横木 裕宗 (52) <平成30年4月> 博士(工学)
		地球環境システム論Ⅰ
兼任	准教授	藤田 昌史 (45) <平成30年4月> 博士(工学)
		霞ヶ浦環境科学概論
兼任	教授	梅比良 正弘 (62) <平成30年4月> 博士(工学)
		知的所有権特論
兼任	教授	伊藤 哲司 (53) <平成30年4月> 博士(心理学)
		人間システム基礎論Ⅰ
兼任	教授	蓮井 誠一郎 (46) <平成30年4月> 修士(国際学)
		持続社会システム論Ⅱ

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	大友 季哉 (53) <平成30年4月> 博士(工学)
		先端科学トピックスⅠ
兼任	教授	奥 隆之 (49) <平成30年4月> 博士(工学)
		先端科学トピックスⅠ
兼任	教授	日時 直人 (56) <平成30年4月> 理学博士
		先端科学トピックスⅠ
兼任	教授	永目 諭一郎 (65) <平成30年4月> 理学博士
		先端科学トピックスⅠ
兼任	教授	湊 淳 (57) <平成30年4月> 博士(工学)
		環境情報センシング特論
兼任	教授	羽瀨 裕真 (55) <平成30年4月> 博士(学術)
		学術情報リテラシー
兼任	教授	横木 裕宗 (53) <平成30年4月> 博士(工学)
		地球環境システム論Ⅰ
兼任	准教授	藤田 昌史 (46) <平成30年4月> 博士(工学)
		霞ヶ浦環境科学概論
兼任	教授	梅比良 正弘 (63) <平成30年4月> 博士(工学)
		知的所有権特論
兼任	教授	伊藤 哲司 (54) <平成30年4月> 博士(心理学)
		人間システム基礎論Ⅰ
兼任	教授	蓮井 誠一郎 (47) <平成30年4月> 修士(国際学)
		持続社会システム論Ⅱ

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	阿部 信一郎 (50) <平成30年4月> 博士(水産学)
		地球環境システム論Ⅱ
兼任	教授	伊藤 孝 (52) <平成30年4月> 博士(理学)
		研究と教育—知の往還をめぐって—
兼任	教授	小林 英美 (49) <平成30年4月> 学術博士
		研究と教育—知の往還をめぐって—
兼任	教授	上地 勝 (47) <平成30年4月> 博士(医学)
		人間システム基礎論Ⅱ
兼任	教授	増子 和男 (63) <平成30年4月> 文学修士
		研究と教育—知の往還をめぐって—
兼任	教授	岡田 誠 (52) <平成30年4月> 博士(理学)
		地球環境システム論Ⅱ
兼任	教授	北 和之 (53) <平成30年4月> 理学博士
		地球環境システム論Ⅰ
兼任	教授	山村 靖夫 (62) <平成30年4月> 理学博士
		地球環境システム論Ⅱ
兼任	准教授	安西 弘行 (60) <平成30年4月> 農学博士
		バイオテクノロジーと社会
兼任	教授	井上 栄一 (49) <平成30年4月> 博士(農学)
		食料の安定生産と農学

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	阿部 信一郎 (51) <平成30年4月> 博士(水産学)
		人間システム基礎論Ⅱ 研究と教育—知の往還をめぐって—
兼任	教授	小林 英美 (50) <平成30年4月> 学術博士
		研究と教育—知の往還をめぐって—
兼任	教授	上地 勝 (48) <平成30年4月> 博士(医学)
		人間システム基礎論Ⅱ
兼任	教授	増子 和男 (64) <平成30年4月> 文学修士
		研究と教育—知の往還をめぐって—
兼任	教授	岡田 誠 (53) <平成30年4月> 博士(理学)
		地球環境システム論Ⅱ
兼任	教授	北 和之 (54) <平成30年4月> 理学博士
		地球環境システム論Ⅰ
兼任	教授	山村 靖夫 (63) <平成30年4月> 理学博士
		地球環境システム論Ⅱ
兼任	教授	安西 弘行 (61) <平成30年4月> 農学博士
		バイオテクノロジーと社会
兼任	教授	井上 栄一 (50) <平成30年4月> 博士(農学)
		食料の安定生産と農学

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	阿部 信一郎 (52) <平成30年4月> 博士(水産学)
		人間システム基礎論Ⅱ 研究と教育—知の往還をめぐって—
兼任	教授	小林 英美 (51) <平成30年4月> 学術博士
		研究と教育—知の往還をめぐって—
兼任	教授	上地 勝 (48) <平成30年4月> 博士(医学)
		人間システム基礎論Ⅱ
兼任	准教授	宮崎 尚子 (44) <平成31年4月> 修士(文学)
		研究と教育—知の往還をめぐって—
兼任	教授	岡田 誠 (54) <平成30年4月> 博士(理学)
		地球環境システム論Ⅱ
兼任	教授	北 和之 (55) <平成30年4月> 理学博士
		地球環境システム論Ⅰ
兼任	教授	山村 靖夫 (64) <平成30年4月> 理学博士
		地球環境システム論Ⅱ
兼任	教授	安西 弘行 (62) <平成30年4月> 農学博士
		バイオテクノロジーと社会
兼任	教授	井上 栄一 (51) <平成30年4月> 博士(農学)
		食料の安定生産と農学

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	久保山 勉 (52) <平成30年4月> 博士(農学)
		食料の安定生産と農学
兼任	教授	黒田 久雄 (55) <平成30年4月> 博士(農学)
		霞ヶ浦環境科学概論
兼任	教授	小松崎 将一 (52) <平成30年4月> 農学博士
		地域サステナビリティ農学概論
兼任	教授	成澤 才彦 (53) <平成30年4月> 博士(農学)
		地域サステナビリティ農学概論
兼任	教授	中川 光弘 (62) <平成30年4月> 博士(農学)
		持続社会システム論Ⅰ
兼任	教授	新田 洋司 (53) <平成30年4月>
		食料の安定生産と農学
兼任	准教授	細川 卓也 (41) <平成30年4月> 博士(理学)
		応用解析特論

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	久保山 勉 (53) <平成30年4月> 博士(農学)
		食料の安定生産と農学
兼任	教授	黒田 久雄 (56) <平成30年4月> 博士(農学)
		霞ヶ浦環境科学概論
兼任	教授	小松崎 将一 (53) <平成30年4月> 農学博士
		地域サステナビリティ農学概論
兼任	教授	成澤 才彦 (54) <平成30年4月> 博士(農学)
		地域サステナビリティ農学概論
兼任	教授	中川 光弘 (63) <平成30年4月> 博士(農学)
		持続社会システム論Ⅰ
兼任	教授	石垣 徹 (55) <平成30年4月> 博士(工学)
		中性子ビーム実習
兼任	教授	日下 勝弘 (47) <平成30年4月> 博士(工学)
		中性子ビーム実習
兼任	准教授	細川 卓也 (42) <平成30年4月> 博士(理学)
		応用解析特論
兼任	准教授	飯沼 裕美 (46) <平成30年4月> 博士(理学)
		量子ビーム応用解析
兼任	准教授	庄村 廉人 (42) <平成30年4月> 博士(理学)
		量子ビーム応用解析

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	久保山 勉 (54) <平成30年4月> 博士(農学)
		食料の安定生産と農学
兼任	教授	黒田 久雄 (57) <平成30年4月> 博士(農学)
		霞ヶ浦環境科学概論
兼任	教授	小松崎 将一 (54) <平成30年4月> 農学博士
		地域サステナビリティ農学概論
兼任	教授	成澤 才彦 (55) <平成30年4月> 博士(農学)
		地域サステナビリティ農学概論
兼任	教授	中川 光弘 (64) <平成30年4月> 博士(農学)
		持続社会システム論Ⅰ
兼任	教授	石垣 徹 (56) <平成30年4月> 博士(工学)
		中性子ビーム実習
兼任	教授	日下 勝弘 (48) <平成30年4月> 博士(工学)
		中性子ビーム実習
兼任	准教授	細川 卓也 (43) <平成30年4月> 博士(理学)
		応用解析特論
兼任	准教授	飯沼 裕美 (47) <平成30年4月> 博士(理学)
		量子ビーム応用解析
兼任	准教授	庄村 廉人 (43) <平成30年4月> 博士(理学)
		量子ビーム応用解析

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	准教授	塚原 伸治 (33) <平成30年4月> 博士(文学) 人間システム基礎論Ⅰ
兼任	准教授	長田 華子 (34) <平成30年4月> 博士(社会科学) 人間システム基礎論Ⅰ
兼任	准教授	富江 直子 (43) <平成30年4月> 博士(社会学) 人間システム基礎論Ⅰ
兼任	准教授	関 友作 (52) <平成30年4月> 博士(学術) 人間システム基礎論Ⅱ
兼任	准教授	中嶋 哲也 (34) <平成30年4月> 博士(スポーツ科学) 研究と教育—知の往還をめぐる—
兼任	准教授	片口 直樹 (39) <平成30年4月> 修士(芸術) 研究と教育—知の往還をめぐる—
兼任	准教授	吉田 貢士 (42) <平成30年4月> 博士(農学) 霞ヶ浦環境科学概論
兼任	准教授	中島 雅己 (49) <平成30年4月> 博士(農学) 食料の安定生産と農学

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	准教授	田嶋 美砂子 (45) <平成30年4月> 博士(教育学) 国際コミュニケーション基礎A 国際コミュニケーション基礎B 実践国際コミュニケーションA 実践国際コミュニケーションB
兼任	准教授	寺地 幹人 (35) <平成30年4月> 修士(学術) 人間システム基礎論Ⅰ
兼任	准教授	塚原 伸治 (34) <平成30年4月> 博士(文学) 人間システム基礎論Ⅰ
兼任	准教授	富江 直子 (44) <平成30年4月> 博士(社会学) 人間システム基礎論Ⅰ
兼任	准教授	関 友作 (53) <平成30年4月> 博士(学術) 人間システム基礎論Ⅱ
兼任	准教授	中嶋 哲也 (35) <平成30年4月> 博士(スポーツ科学) 研究と教育—知の往還をめぐる—
兼任	准教授	片口 直樹 (40) <平成30年4月> 修士(芸術) 研究と教育—知の往還をめぐる—
兼任	准教授	吉田 貢士 (43) <平成30年4月> 博士(農学) 霞ヶ浦環境科学概論
兼任	准教授	中島 雅己 (50) <平成30年4月> 博士(農学) 食料の安定生産と農学

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	准教授	田嶋 美砂子 (46) <平成30年4月> 博士(教育学) 国際コミュニケーション基礎A 国際コミュニケーション基礎B 実践国際コミュニケーションA 実践国際コミュニケーションB
兼任	准教授	寺地 幹人 (36) <平成30年4月> 修士(学術) 人間システム基礎論Ⅰ
兼任	准教授	塚原 伸治 (35) <平成30年4月> 博士(文学) 人間システム基礎論Ⅰ
兼任	准教授	長田 華子 (36) <平成30年4月> 博士(社会科学) 人間システム基礎論Ⅰ
兼任	准教授	関 友作 (54) <平成30年4月> 博士(学術) 人間システム基礎論Ⅱ
兼任	准教授	中嶋 哲也 (36) <平成30年4月> 博士(スポーツ科学) 研究と教育—知の往還をめぐる—
兼任	准教授	片口 直樹 (41) <平成30年4月> 修士(芸術) 研究と教育—知の往還をめぐる—
兼任	准教授	吉田 貢士 (44) <平成30年4月> 博士(農学) 霞ヶ浦環境科学概論
兼任	准教授	中島 雅己 (51) <平成30年4月> 博士(農学) 食料の安定生産と農学

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
兼任	准教授	北嶋 康樹 (48) ＜平成30年4月＞ 博士(農学)
		食料の安定生産と農学
兼任	准教授	中里 亮治 (49) ＜平成30年4月＞ 博士(理学)
		霞ヶ浦環境科学概論
兼任	准教授	田村 誠 (40) ＜平成30年4月＞ 博士(学術)
		持続社会システム論Ⅱ
兼任	講師	伊多波 正徳 (48) ＜平成30年4月＞ 博士(工学)
		計算機応用特論A 計算機応用特論B
兼任	助教	古谷 綾子 (40) ＜平成30年4月＞ 博士(農学)
		バイオテクノロジーと社会
兼任	助教	阿部 敏一 (30) ＜平成30年4月＞ 博士(理学)
		数理工学特論
兼任	助教	高橋 竜一 (32) ＜平成30年4月＞ 博士(工学)
		情報システムモデル論
兼任	助教	小花 聖輝 (32) ＜平成30年4月＞ 博士(理工学)
		データ解析論

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
兼任	准教授	北嶋 康樹 (49) ＜平成30年4月＞ 博士(農学)
		食料の安定生産と農学
兼任	准教授	中里 亮治 (50) ＜平成30年4月＞ 博士(理学)
		霞ヶ浦環境科学概論
兼任	准教授	田村 誠 (41) ＜平成30年4月＞ 博士(学術)
		持続社会システム論Ⅱ
兼任	准教授	山田 太郎 (48) ＜平成30年4月＞ 博士(理学)
		中性子ビーム実習
兼任	准教授	星川 晃範 (46) ＜平成30年4月＞ 博士(理学)
		中性子ビーム実習
兼任	講師	今村 仁 (58) ＜平成30年4月＞ 博士(工学)
		非線形ダイナミクス特論
兼任	講師	伊多波 正徳 (49) ＜平成30年4月＞ 博士(工学)
		計算機応用特論A 計算機応用特論B
兼任	助教	古谷 綾子 (41) ＜平成30年4月＞ 博士(農学)
		バイオテクノロジーと社会
兼任	助教	阿部 敏一 (31) ＜平成30年4月＞ 博士(理学)
		数理工学特論
兼任	助教	高橋 竜一 (33) ＜平成30年4月＞ 博士(工学)
		情報システムモデル論
兼任	助教	小花 聖輝 (33) ＜平成30年4月＞ 博士(理工学)
		データ解析論

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
兼任	准教授	北嶋 康樹 (50) ＜平成30年4月＞ 博士(農学)
		食料の安定生産と農学
兼任	准教授	中里 亮治 (51) ＜平成30年4月＞ 博士(理学)
		霞ヶ浦環境科学概論
兼任	准教授	田村 誠 (42) ＜平成30年4月＞ 博士(学術)
		持続社会システム論Ⅱ
兼任	准教授	山田 太郎 (49) ＜平成30年4月＞ 博士(理学)
		中性子ビーム実習
兼任	准教授	星川 晃範 (47) ＜平成30年4月＞ 博士(理学)
		中性子ビーム実習
兼任	講師	今村 仁 (59) ＜平成30年4月＞ 博士(工学)
		非線形ダイナミクス特論
兼任	准教授	伊多波 正徳 (50) ＜平成30年4月＞ 博士(工学)
		計算機応用特論A 計算機応用特論B
兼任	助教	古谷 綾子 (42) ＜平成30年4月＞ 博士(農学)
		バイオテクノロジーと社会
兼任	助教	阿部 敏一 (32) ＜平成30年4月＞ 博士(理学)
		数理工学特論
兼任	助教	高橋 竜一 (34) ＜平成30年4月＞ 博士(工学)
		情報システムモデル論
兼任	助教	小花 聖輝 (34) ＜平成30年4月＞ 博士(理工学)
		データ解析論

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	助教	小澤 佑介 (33) <平成30年4月> 博士(工学)
		情報ネットワーク論
兼任	講師	秋江 拓志 (56) <平成30年4月> 博士(工学)
		原子炉物理学特論
兼任	講師	鈴木 哲 (52) <平成30年4月> 博士(工学)
		核融合エネルギー工学特論
兼任	講師	二川 正敏 (61) <平成30年4月> 博士(工学)
		先進エネルギー材料特論
兼任	講師	菊地 賢司 (66) <平成30年4月> 工学博士
		原子力材料工学特論Ⅰ 原子力材料工学特論Ⅱ
兼任	講師	高木 有美 (44) <平成30年4月> Ph. D. (English)
		国際コミュニケーション演習A 国際コミュニケーション演習C
兼任	講師	岩重 理香 (53) <平成30年4月> 修士(文学)
		国際コミュニケーション演習B 国際コミュニケーション演習D
兼任	講師	鬼澤 慎人 (54) <平成30年4月>
		組織運営とリーダーシップ
兼任	講師	林 真理 (54) <平成30年4月>
		科学史 現代科学における倫理
兼任	講師	小泉 忍 (60) <平成30年4月> 工学修士
		組込みシステム開発特論
兼任	講師	壁谷 彰慶 (41) <平成30年4月> 博士(文学)
		研究者倫理

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	助教	小澤 佑介 (34) <平成30年4月> 博士(工学)
		情報ネットワーク論
兼任	講師	秋江 拓志 (57) <平成30年4月> 博士(工学)
		原子炉物理学特論
兼任	講師	鈴木 哲 (53) <平成30年4月> 博士(工学)
		核融合エネルギー工学特論
兼任	講師	二川 正敏 (62) <平成30年4月> 博士(工学)
		先進エネルギー材料特論
兼任	講師	菊地 賢司 (67) <平成30年4月> 工学博士
		原子力材料工学特論Ⅰ 原子力材料工学特論Ⅱ
兼任	講師	高木 有美 (45) <平成30年4月> Ph. D. (English)
		国際コミュニケーション演習A 国際コミュニケーション演習C
兼任	講師	岩重 理香 (54) <平成30年4月> 修士(文学)
		国際コミュニケーション演習B 国際コミュニケーション演習D
兼任	講師	鬼澤 慎人 (55) <平成30年4月>
		組織運営とリーダーシップ
兼任	講師	林 真理 (55) <平成30年4月>
		科学史 現代科学における倫理
兼任	講師	小泉 忍 (61) <平成30年4月> 工学修士
		組込みシステム開発特論
兼任	講師	壁谷 彰慶 (42) <平成30年4月> 博士(文学)
		研究者倫理

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	助教	小澤 佑介 (35) <平成30年4月> 博士(工学)
		情報ネットワーク論
兼任	講師	秋江 拓志 (58) <平成30年4月> 博士(工学)
		原子炉物理学特論
兼任	講師	鈴木 哲 (54) <平成30年4月> 博士(工学)
		核融合エネルギー工学特論
兼任	講師	二川 正敏 (63) <平成30年4月> 博士(工学)
		先進エネルギー材料特論
兼任	講師	菊地 賢司 (68) <平成30年4月> 工学博士
		原子力材料工学特論Ⅰ 原子力材料工学特論Ⅱ
兼任	講師	高木 有美 (46) <平成30年4月> Ph. D. (English)
		国際コミュニケーション演習A 国際コミュニケーション演習C
兼任	講師	岩重 理香 (55) <平成30年4月> 修士(文学)
		国際コミュニケーション演習B 国際コミュニケーション演習D
兼任	講師	鬼澤 慎人 (55) <平成30年4月>
		組織運営とリーダーシップ
兼任	講師	林 真理 (55) <平成30年4月>
		科学史 現代科学における倫理
兼任	講師	小泉 忍 (62) <平成30年4月> 工学修士
		組込みシステム開発特論
兼任	講師	壁谷 彰慶 (43) <平成30年4月> 博士(文学)
		研究者倫理

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	立川 雅司 (54) <平成30年4月>
		バイオテクノロジーと社会
兼任	講師	大場 恭子 (44) <平成30年4月>
		原子科学と倫理
兼任	講師	小田 康裕 (43) <平成30年4月>
		知的所有権特論
兼任	講師	菊池 賢司 (66) <平成30年4月> 工学博士
		原子科学と倫理
兼任	講師	豊田 義元 (47) <平成30年4月> 修士(電気通信学)
		知的所有権特論
兼任	講師	中江 延男 (67) <平成30年4月>
		原子科学と倫理
兼任	講師	藤井 芳昭 (58) <平成30年4月>
		原子科学と倫理
兼任	講師	望月 弘保 (68) <平成30年4月> 工学博士
		原子科学と倫理
兼任	講師	虎田 真一郎 (64) <平成30年4月> 修士(工学)
		原子科学と倫理
兼任	講師	金子 信博 (58) <平成30年4月>
		地域サステナビリティ農学概論

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	大島 正弘 (61) <平成30年4月>
		バイオテクノロジーと社会
兼任	講師	大場 恭子 (45) <平成30年4月>
		原子科学と倫理
兼任	講師	小田 康裕 (44) <平成30年4月>
		知的所有権特論
兼任	講師	菊池 賢司 (67) <平成30年4月> 工学博士
		原子科学と倫理
兼任	講師	高橋 梢 (40) <平成30年4月>
		持続社会システム論Ⅰ
兼任	講師	豊田 義元 (48) <平成30年4月> 修士(電気通信学)
		知的所有権特論
兼任	講師	中江 延男 (68) <平成30年4月>
		原子科学と倫理
兼任	講師	藤井 芳昭 (59) <平成30年4月>
		原子科学と倫理
兼任	講師	望月 弘保 (69) <平成30年4月> 工学博士
		原子科学と倫理
兼任	講師	金子 信博 (59) <平成30年4月>
		地域サステナビリティ農学概論

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	大島 正弘 (62) <平成30年4月>
		バイオテクノロジーと社会
兼任	講師	大場 恭子 (46) <平成30年4月>
		原子科学と倫理
兼任	講師	小田 康裕 (45) <平成30年4月>
		知的所有権特論
兼任	講師	菊池 賢司 (68) <平成30年4月> 工学博士
		原子科学と倫理
兼任	講師	高橋 梢 (41) <平成30年4月>
		持続社会システム論Ⅰ
兼任	講師	豊田 義元 (49) <平成30年4月> 修士(電気通信学)
		知的所有権特論
兼任	講師	中江 延男 (69) <平成30年4月>
		原子科学と倫理
兼任	講師	藤井 芳昭 (60) <平成30年4月>
		原子科学と倫理
兼任	講師	望月 弘保 (70) <平成30年4月>
		原子科学と倫理
兼任	講師	金子 信博 (60) <平成30年4月>
		地域サステナビリティ農学概論

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【平成30年度】

- ・田中光太郎准教授が教授に昇進。
- ・梅津信幸講師が准教授に昇進。
- ・今村仁講師が共通教育実施部に配置転換。
- ・小林純也助教が研究指導教員資格を取得。
- ・森孝太郎助教が研究指導教員資格を取得。

【令和元年度】

- ・馬場充教授退職。
- ・境田信志助教が授業担当教員資格を取得。

- (注) ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（平成29年度開設であれば平成28年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要研 究指導教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数	完成年度時における 設置基準上の必要研 究指導補助教員数
4	4	3
名	名	名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数【大学院】

設置時の計画					現在（報告時）の状況				
教授	准教授	講師	助教	計（A）	教授	准教授	講師	助教	計（B）
19	14	8	6	47	20	14	7	4	45
(21)	(14)	(6)	(4)	(45)					
研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数			研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数		
34	13	0			38	7	0		
(38)	(7)	(0)							
現在（報告時）の完成年度時の状況					現在（報告時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計（C）	教授	准教授	講師	助教	計（D）
20	14	7	4	45	20	14	7	3	44
[1]	[0]	[Δ1]	[Δ2]	[Δ2]	[Δ1]	[]	[1]	[Δ1]	[Δ1]
研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数			研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数		
38	7	0			38	7	0		
[4]	[Δ6]	[0]			[4]	[Δ6]	[0]		

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（ ）内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）
 ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 （B））の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 （C））の教員 うち、定年を延長 して採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況（C）}}{\text{設置時の計画（A）}} = \frac{45}{47} = \boxed{95.74} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況（B）}} = \frac{0}{45} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) -① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況 **該当なし**

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由
合計 (D)					後任補充状況の集計 (E)		
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) -②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況 **該当なし**

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
合計 (F)					後任補充状況の集計 (G)		
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -③ 上記 (3) -① ・ (3) -② の合計

合計 (D) + (F)					後任補充状況の集計 (E) + (G)		
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計 (D) + (F)}}{(2) - ② \text{設置時の計画 (A)}} = \frac{0}{47} = 0\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) ⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
1	教授	馬場充	必修	機械システム工学特別実験I	③	H31.3.31付け65歳で定年退職(元)			
			必修	機械システム工学特別演習II	③				
			必修	機械システム工学特別実験II	③				
			必修	機械システム工学特別演習I	③				
			必修	機械システム工学輪講I	③				
			必修	機械システム工学輪講II	③				
			必修	機械システム工学輪講III	③				
			選択	OFF-CLASS-PROJECT	③				
			選択	センシング技術特論	③				
合計				後任補充状況の集計					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)			
1	人	必修	8 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	8 科目
		選択	1 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	1 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	9 科目	計	0 科目	計	0 科目	計	9 科目

- (注) ・ 定年により退職した全ての専任教員についてに記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および()書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<ul style="list-style-type: none"> ・ 「機械システム工学特別実験I」「機械システム工学特別実験II」「機械システム工学特別演習I」「機械システム工学特別演習II」「機械システム工学輪講I」「機械システム工学輪講II」「機械システム工学輪講III」「OFF-CLASS-PROJECT」は必修であるものの、複数教員で運用される授業のため、学生の履修等への影響はない。 ・ 「センシング技術特論」については後任がまだ確定していないが、選択授業であるため、学生の履修等への影響は少ない。 ・ 後任が決定次第、掲示板、ポータルシステム上及び、メール等で周知

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等 該当なし

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
認 可 時 (〇〇年)		留意事項	履行中
設置計画履行状況 調 査 時 (〇〇年)	・〇〇学部〇〇学科において、～を是正すること。	是正意見	履行済
設置計画履行状況 調 査 時 (△△年)	・同一設置者が設置する既設学部等(◆◆学科)の～改善に努めること。	改善意見	履行済
設置計画履行状況 調 査 時 (□□年)	・大学設置基準に抵触するため、改めること。(△△学部△△学科)	指摘事項 (法令違反)	履行済
設置計画履行状況 調 査 時 (□□年)	・～については是正すること。	指摘事項 (是正)	履行中
設置計画履行状況 調 査 時 (□□年)	・〇〇大学の既設学部等(◆◆学科、●●学科)の～改善に努めること。	指摘事項 (改善)	履行中

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、調査結果が公表された年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<理工学研究科 機械システム工学専攻>

(1) 設置計画変更事項等 **該当なし**

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

A. 教育改善委員会 B. ②産学協同カリキュラム改良委員会

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

A. 学期始めを中心に、年6回程度開催 B. 年1回～2回程度開催

c 委員会の審議事項等

A. -1 授業アンケート及び学科教育点検に関すること

-2 FD及び推奨授業に関すること

-3 JABEEに関すること

B. カリキュラム及び授業に関すること

② 実施状況

a 実施内容

A. 第1回（H30.4.18 出席者10名）推奨授業について、JABEEについて 他

第2回（H30.5.16 出席者10名）授業アンケートについて、学科教育点検について、学科FDについて 他

第3回（H30.6.20 出席者10名）学科教育点検について、推奨授業について、JABEEについて 他

第4回（H30.7.25 出席者8名）学科教育点検について、学生支援FDについて 他

第5回（H30.10.24 出席者9名）推奨授業について、授業アンケートについて、学科FDについて 他

第6回（H31.1.23 出席者8名）学部FDについて、アドバイザーボードについて、学科教育点検について 他

第7回（H31.2.28 出席者7名）学部FDについて、学科教育点検について 他

第8回（H31.3.29 出席者4名）学部FDについて、学科教育点検について 他

・FD研修会の実施（H31.3.8 出席者93名）

B. 第1回 (H30. 10. 24 出席者21名) 学部及び大学院の授業について

第2回 (H31. 3. 28 出席者18名) 学部及び大学院の授業について

b 実施方法

上記のとおり

c 開催状況 (教員の参加状況含む)

上記のとおり

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

上記A及びBの審議を踏まえ、学科長から所属各教員に改善内容を周知し、それぞれが改善に取り組んでいる。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

各学期の講義最終回にアンケートを実施している。

b 教員や学生への公開状況, 方法等

結果を担当教員に周知するほか、学科内で共有を図っている。

学生に対して公表はしていない。

(注) ・「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 教育課程連携協議会に関する事項 **該当なし**

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

① 体制

a 委員会の設置状況 (各区分を踏まえた委員構成を踏まえた委員の追加や交代状況含む)

b 委員会の開催状況 (回数や開催日など)

c 委員会の審議事項等

d その他

② 審議状況

a 審議した内容

記入例)

- ・ 地域との連携に関する〇〇の観点から教育課程に対する提案内容
- ・ 産業界との連携に関する〇〇の観点から教育課程に対する提案内容

b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

計画どおり実施している。引き続き、設置の趣旨・目的に沿って計画どおり教育研究活動を実施する。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・ 2019年7月30日 公表

b 公表方法

・ 大学ホームページ上に公開予定（2019年7月末を予定）

③ 認証評価を受ける計画

・ 2022年度に評価機関（大学改革支援・学位授与機構）の評価を受けるべく、学内で検討中

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和元年度）

a ホームページへの公表予定の有無 (有 ・ 無)

b 公表有の場合の公表（予定）時期 (2019年 9月 1日)

b 公表無の場合の特段の理由 ()

(注) ・ 今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。

注3

大学番号：015

[平成30年度設置]

計画の区分： 研究科の専攻の設置又は課程の変更

注1

事前伺い

茨城大学大学院 理工学研究科 電気電子システム工学専攻(M)

注2

【事前伺い】 設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人茨城大学
令和元年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名 総務部総務課

職名・氏名 法規係長
長谷川 慎吾

電話番号 029-228-8009

(夜間) 029-228-8035

F A X 029-228-8019

e-mail iba-houki@ml.ibaraki.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に

()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成31年4月2日付事務連絡「履行状況報告書の提出について

(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

理工学研究科

＜電気電子システム工学専攻(M)＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	12
4. 既設大学等の状況	13
5. 教員組織の状況	16
6. 附帯事項等に対する履行状況等	40
7. その他全般的事項	42

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人茨城大学

(2) 大学名

茨城大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒316-8511
茨城県日立市中成沢町4-12-1

[〒310-8512
茨城県水戸市文京2-1-1]

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(ミムラ ノブオ) 三村 信男 (平成26年9月)		
研究科長	(マスザワ トオル) 増澤 徹 (平成30年4月)		
専攻長	(ミヤジマ テルユキ) 宮嶋 照行 (平成30年4月)	(アカバネ ヒデオ) 赤羽 秀郎 (平成31年4月)	任期満了のため 平成31年4月1日(元)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成30年度に報告済の内容 → (30)

令和元年度に報告する内容 → (元)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
- ・ 様式は、平成27年度開設の4年制の学科の完成年度を超えて報告する場合（令和元年度までの5年間）ですが、完成年度を超えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
理工学研究科 電気電子 システム工学専攻 修士（工学）	工学関係	2年	58人	年次 人	116人	基礎となる学部等 工学部

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		平均入学定員 超過率	開設年度から 報告年度までの 平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	58 (-) [-]	- (-) [-]	58 (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	1.09倍	-	
志願者数	67 (-) [7]	- (-) [-]	70 (-) [6]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]			
受験者数	66 (-) [6]	- (-) [-]	69 (-) [6]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]			
合格者数	65 (-) [5]	- (-) [-]	68 (-) [6]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]			
B 入学者数	61 (-) [5]	- (-) [-]	66 (-) [5]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]			
入学定員超過率 B/A	1.05		1.13		-		-		-				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ （ ）内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、（（ ）書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	61 [5] (-)	- [-] (-)	66 [5] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	
2年次	/		60 [5] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	
3年次	/		/		- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	
4年次	/		/		- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	
計	61 [5] (-)		126 [10] (-)		- [-] (-)		- [-] (-)		- [-] (-)		

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成30年度	61人	1人	平成30年度	1人	0人	就職(1人)
令和元年度	126人	0人	平成30年度	0人	0人	
			令和元年度	0人	0人	
合計		1人		0人	0人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{1}{61} = \boxed{1.63} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{126} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<理工学研究科 電気電子システム工学専攻>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
大学院共通科目	学術英会話 I	1前	1									兼1
	学術英会話 II	1前	1									兼1
	国際コミュニケーション基礎A	1前	1									兼1
	国際コミュニケーション基礎B	1前	1									兼1
	実践国際コミュニケーションA	1前	1									兼1
	実践国際コミュニケーションB	1前	1									兼1
	地球環境システム論 I	1前	1									兼2
	地球環境システム論 II	1後	1									兼2
	持続社会システム論 I	1後	1									兼4
	持続社会システム論 II	1前	1									兼2
	学術情報リテラシー	1前	1									兼1
	霞ヶ浦環境科学概論	1前	1									兼4
	人間システム基礎論 I	1後	1									兼3
	人間システム基礎論 II	1前	1									兼3
	食料の安定生産と農学	1前	1									兼5
	地球サステイナビリティ農学概論	1後	1									兼3
	研究と教育—知の往還をめぐって—	1後	2									兼5
	バイオテクノロジーと社会	1前	1									兼3
	知的所有権特論	1前	1			1						兼3
	環境情報センシング特論	1後	1									兼1
	科学と倫理	1前	2									兼1
	原子科学と倫理	1前	1									兼5
小計(22科目)	-											
研究科共通科目	応用数学特論	1後	2									兼1
	解析学特論	1前	2									兼1
	数理工学特論	1前	2									兼1
	応用解析特論	1前	2									兼1
	連携ネット共通講座 I	1前	2									兼8
	連携ネット共通講座 II	1後	2									兼8
	量子ビーム応用解析	1前	1									兼3
	国際コミュニケーション演習A	1後	1									兼1
	国際コミュニケーション演習B	1後	1									兼1
	国際コミュニケーション演習C	1後	1									兼1
	国際コミュニケーション演習D	1後	1									兼1
	科学技術日本語特論	1後	2									兼1
	組織運営とリーダーシップ	1後	1									兼1
	社会における科学技術	1前	1									兼1
	科学史	1前	1									兼1
	先端科学トピックス I	1通	1									兼8
	先端科学トピックス II	1通	1									兼8
	計算機応用特論A	1前	1									兼1
	計算機応用特論B	1前	1									兼1
	組込みシステム開発特論	1後	2									兼1
	LSI設計・開発技術特論	1前	2			1						兼1
	情報システムモデル論	1後	1									兼1
	データ解析論	1後	1									兼1
	情報ネットワーク論	1前	1									兼1
	現代科学における倫理	1前	1									兼1
	研究者倫理	1前	1									兼1
	OFF-CLASS-PROJECT	1後	1			11	13	3	4			
小計(27科目)	-											
横断科目	電気電子工学特別実験 I	1前	2			11	13	1				
	電気電子工学特別実験 II	1後	2			11	13	1				
	電気電子工学特別演習 I	1前	2			11	13	1				
	電気電子工学特別演習 II	1後	2			11	13	1				
	組込みシステム実践	1後	2			11	13	3	4			

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
大学院共通科目	学術英会話 I	1前	1									兼1
	学術英会話 II	1前	1									兼1
	国際コミュニケーション基礎A	1前	1									兼1
	国際コミュニケーション基礎B	1前	1									兼1
	実践国際コミュニケーションA	1前	1									兼1
	実践国際コミュニケーションB	1前	1									兼1
	地球環境システム論 I	1前	1									兼2
	地球環境システム論 II	1後	1									兼2
	持続社会システム論 I	1後	1									兼4
	持続社会システム論 II	1前	1									兼2
	学術情報リテラシー	1前	1									兼1
	霞ヶ浦環境科学概論	1前	1									兼4
	人間システム基礎論 I	1後	1									兼4
	人間システム基礎論 II	1前	1									兼3
	食料の安定生産と農学	1前	1									兼4
	地球サステイナビリティ農学概論	1後	1									兼3
	研究と教育—知の往還をめぐって—	1後	2									兼5
	バイオテクノロジーと社会	1前	1									兼3
	知的所有権特論	1後	1					1				兼2
	環境情報センシング特論	1後	1									兼1
	科学と倫理	1前	2									兼1
	原子科学と倫理	1前	1									兼8
小計(22科目)	-											
研究科共通科目	応用数学特論	1前	2									兼1
	解析学特論	1前	2									兼1
	数理工学特論	1前	2									兼1
	応用解析特論	1前	2									兼1
	連携ネット共通講座 I	1前	2									兼2
	連携ネット共通講座 II	1後	2									兼2
	量子ビーム応用解析	1前	1									兼7
	国際コミュニケーション演習A	1後	1									兼1
	国際コミュニケーション演習B	1後	1									兼1
	国際コミュニケーション演習C	1後	1									兼1
	国際コミュニケーション演習D	1後	1									兼1
	科学技術日本語特論	1後	2									兼1
	組織運営とリーダーシップ	1後	1									兼1
	社会における科学技術	1前	1									兼1
	科学史	1前	1									兼1
	先端科学トピックス I	1通	1					1				兼4
	先端科学トピックス II	1通	1									兼8
	計算機応用特論A	1前	1									兼1
	計算機応用特論B	1前	1									兼1
	組込みシステム開発特論	1後	2									兼1
	LSI設計・開発技術特論	1前	2					1				兼1
	情報システムモデル論	1後	1									兼1
	データ解析論	1後	1									兼1
	情報ネットワーク論	1前	1									兼1
	現代科学における倫理	1前	1									兼1
	研究者倫理	1前	1									兼1
	OFF-CLASS-PROJECT	1後	1					13	12	2	3	
小計(27科目)	-											
横断科目	電気電子工学特別実験 I	1前	2					13	12	1		
	電気電子工学特別実験 II	1後	2					13	12	1		
	電気電子工学特別演習 I	1前	2					13	12	1		
	電気電子工学特別演習 II	1後	2					13	12	1		
	組込みシステム実践	1後	2					13	12	2	3	

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
プログラム横断科目	先端電気電子工トピックス	1前	2			11	13	3	4			
	信号処理回路	1前		1				1				
	パワーデバイス	1前		1		1						
	特別輪講	1前		1		11	13	3	4			
	テクニカルプレゼンテーション	1後		1		11	13	3	4			
	センシングネットワーク	1前		1					1			
	電気・機械エネルギー変換工学	1後		1		1						
	電気・化学エネルギー変換工学	1前		1				1				
	コンピュータネットワーク	1前		1				1				
	アナログ回路設計	1後		1				1				
	デジタル回路設計	1前		1		1						
小計(16科目)	-											
スマートエネルギー	環境・電力エネルギー工学	1前		1		1		1				
	大電流エネルギー工学	1後		1		1						
	核融合プラズマ工学	1前		2		1						
	電磁エネルギー工学	1前		1				1				
	レーザーエネルギー工学	1前		1		1						
	プラズマ応用工学Ⅰ	1前		1		1					兼1	
	プラズマ応用工学Ⅱ	1後		1				1			兼1	
小計(7科目)	-											
インテリジェント制御	電機システム解析	1前		1			1					
	アクチュエータ制御	1後		1					1			
	パワーエレクトロニクス応用	1前		1			1					
	非線形システム解析	1後		1		1						
	認知システム工学	1前		1			1					
	知能工学	1前		1			1					
	システムインタフェース	1前		1			1					
小計(7科目)	-											
先端エレクトロニクス	ナノ物性工学	1前		1		1						
	ナノエレクトロニクス工学	1前		1			1					
	エネルギーデバイス工学	1後		1			1					
	超伝導エレクトロニクス	1後		1		1						
	レーザー工学	1前		1			1					
	光エレクトロニクス応用	1後		1		1						
小計(6科目)	-											
情報メディア	光通信メディア工学	1後		1			1					
	情報光学	1後		1			1					
	情報伝送システム	1前		1			1					
	ワイヤレスネットワーク	1前		1			1					
	通信信号処理	1後		1			1					
	光通信システム工学	1前		1							兼1	
	光デバイス工学	1後		1							兼1	
	マルチメディア通信工学	1後		1							兼1	
小計(8科目)	-											
合計(93科目)	-											

卒業要件及び履修方法

1 修了要件
2年以上在学し、30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、学位論文又は特定の課題についての研究の成果の審査並びに最終試験に合格することとする。ただし、在学期間に関しては、優れた業績を上げた者については、1年以上在学すれば足りるものとする。

2 履修方法
○共通科目において、大学院共通科目から2単位以上、研究科共通科目から3単位以上、計5単位以上を以下の要件を満たしたうえで修得すること。
・倫理科目、英語科目、社会理解科目、情報系科目、体験型科目のカテゴリーからそれぞれ1単位以上を修得すること。
○専攻科目から以下のとおり25単位以上を修得すること。
・プログラムコア科目5単位以上(選択必修5単位以上)
・プログラム横断科目20単位以上(必修12単位、選択必修8単位以上)
・プログラム横断科目20単位以上(必修12単位、選択必修8単位以上)
選択必修(8単位)としては、「テクニカルプレゼンテーション」、「特別輪講」、「信号処理回路」、「パワーデバイス」から3単位以上を修得するとともに、以下のとおり5単位以上を修得すること。
①スマートエネルギープログラムとインテリジェント制御プログラムにおいては、「センシングネットワーク」、「電気・機械エネルギー変換工学」、「電気・化学エネルギー変換工学」の中から2単位以上を、自プログラム以外のもう一つのプログラムの「プログラムコア科目」から3単位以上を上限とし修得し、合計5単位以上を修得すること。
②先端エレクトロニクスプログラムと情報メディアプログラムにおいては、「コンピュータネットワーク」、「アナログ回路設計」、「デジタル回路設計」の中から2単位以上を、自プログラム以外のもう一つのプログラムの「プログラムコア科目」から3単位以上を上限とし修得し、合計5単位以上を修得すること。

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
プログラム横断科目	先端電気電子工トピックス	1前	2			13	12	2	3			
	信号処理回路	1前		1				1				
	パワーデバイス	1前		1		1						
	特別輪講	1前		1		13	12	2	3			
	テクニカルプレゼンテーション	1後		1		13	12	2	3			
	センシングネットワーク	1前		1					1			
	電気・機械エネルギー変換工学	1後		1		1						
	電気・化学エネルギー変換工学	1前		1				1				
	コンピュータネットワーク	1前		1				1				
	アナログ回路設計	1後		1				1				
	デジタル回路設計	1前		1		1						
小計(16科目)	-											
スマートエネルギー	環境・電力エネルギー工学	1前		1		1		1				
	大電流エネルギー工学	1後		1		1						
	核融合プラズマ工学	1前		2		1						
	電磁エネルギー工学	1前		1				1				
	レーザーエネルギー工学	1前		1		1						
	プラズマ応用工学Ⅰ	1前		1							兼1	
	プラズマ応用工学Ⅱ	1後		1							兼1	
小計(7科目)	-											
インテリジェント制御	電機システム解析	1前		1			1					
	アクチュエータ制御	1後		1					1			
	パワーエレクトロニクス応用	1前		1			1					
	非線形システム解析	1後		1		1						
	認知システム工学	1前		1			1					
	知能工学	1前		1			1					
	システムインタフェース	1前		1			1					
小計(7科目)	-											
先端エレクトロニクス	ナノ物性工学	1前		1		1						
	ナノエレクトロニクス工学	1前		1			1					
	エネルギーデバイス工学	1後		1			1					
	超伝導エレクトロニクス	1後		1		1						
	レーザー工学	1前		1			1					
	光エレクトロニクス応用	1後		1		1						
小計(6科目)	-											
情報メディア	光通信メディア工学	1後		1			1					
	情報光学	1後		1			1					
	情報伝送システム	1前		1			1					
	ワイヤレスネットワーク	1前		1			1					
	通信信号処理	1後		1			1					
	光通信システム工学	1前		1							兼1	
	光デバイス工学	1後		1							兼1	
	マルチメディア通信工学	1後		1							兼1	
小計(8科目)	-											
合計(93科目)	-											

卒業要件及び履修方法

1 修了要件
2年以上在学し、30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、学位論文又は特定の課題についての研究の成果の審査並びに最終試験に合格することとする。ただし、在学期間に関しては、優れた業績を上げた者については、1年以上在学すれば足りるものとする。

2 履修方法
○共通科目において、大学院共通科目から2単位以上、研究科共通科目から3単位以上、計5単位以上を以下の要件を満たしたうえで修得すること。
・倫理科目、英語科目、社会理解科目、情報系科目、体験型科目のカテゴリーからそれぞれ1単位以上を修得すること。
○専攻科目から以下のとおり25単位以上を修得すること。
・プログラムコア科目5単位以上(選択必修5単位以上)
・プログラム横断科目20単位以上(必修12単位、選択必修8単位以上)
・プログラム横断科目20単位以上(必修12単位、選択必修8単位以上)
選択必修(8単位)としては、「テクニカルプレゼンテーション」、「特別輪講」、「信号処理回路」、「パワーデバイス」から3単位以上を修得するとともに、以下のとおり5単位以上を修得すること。
①スマートエネルギープログラムとインテリジェント制御プログラムにおいては、「センシングネットワーク」、「電気・機械エネルギー変換工学」、「電気・化学エネルギー変換工学」の中から2単位以上を、自プログラム以外のもう一つのプログラムの「プログラムコア科目」から3単位以上を上限とし修得し、合計5単位以上を修得すること。
②先端エレクトロニクスプログラムと情報メディアプログラムにおいては、「コンピュータネットワーク」、「アナログ回路設計」、「デジタル回路設計」の中から2単位以上を、自プログラム以外のもう一つのプログラムの「プログラムコア科目」から3単位以上を上限とし修得し、合計5単位以上を修得すること。

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
大学院共通科目	学術英会話 I	1前		1								兼1
	学術英会話 II	1前		1								兼1
	国際コミュニケーション基礎A	1前		1								兼1
	国際コミュニケーション基礎B	1前		1								兼1
	実践国際コミュニケーションA	1前		1								兼1
	実践国際コミュニケーションB	1前		1								兼1
	地球環境システム論 I	1前		1								兼2
	地球環境システム論 II	1後		1								兼2
	持続社会システム論 I	1後		1								兼4
	持続社会システム論 II	1前		1								兼2
	学術情報リテラシー	1前		1								兼1
	霧ヶ浦環境科学概論	1前		1								兼4
	人間システム基礎論 I	1後		1								兼4
	人間システム基礎論 II	1前		1								兼3
	食料の安定生産と農学	1前		1								兼4
	地域サステナビリティ農学概論	1後		1								兼3
	研究と教育—知の往還をめぐって—	1後		2								兼5
	バイオテクノロジーと社会	1前		1								兼3
	知的所有権特論	1後		1		1						兼2
	環境情報センシング特論	1後		1								兼1
	科学と倫理	1前		2								兼1
	原子科学と倫理	1前		1								兼5
小計(22科目)	—											
研究科共通科目	応用数学特論	1前		2								兼1
	解析学特論	1前		2								兼1
	数理工学特論	1前		2								兼1
	応用解析特論	1前		2								兼1
	連携ネット共通講座 I	1前		2								兼2
	連携ネット共通講座 II	1後		2								兼2
	量子ビーム応用解析	1前		1								兼7
	国際コミュニケーション演習A	1後		1								兼1
	国際コミュニケーション演習B	1後		1								兼1
	国際コミュニケーション演習C	1後		1								兼1
	国際コミュニケーション演習D	1後		1								兼1
	科学技術日本語特論	1後		2								兼1
	組織運営とリーダーシップ	1後		1								兼1
	社会における科学技術	1前		1								兼1
	科学史	1前		1								兼1
	先端科学トピックス I	1通		1		1						兼4
	先端科学トピックス II	1通		1								兼8
	計算機応用特論A	1前		1								兼1
	計算機応用特論B	1前		1								兼1
	組み込みシステム開発特論	1後		2								兼1
	LSI設計・開発技術特論	1前		2		1						
	情報システムモデル論	1後		1								兼1
	データ解析論	1後		1								兼1
	情報ネットワーク論	1前		1								兼1
	現代科学における倫理	1前		1								兼1
	研究者倫理	1前		1								兼1
	OFF-CLASS-PROJECT	1後	1			13	12	2	3			
小計(27科目)	—											

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
横断科目	電気電子工学特別実験Ⅰ	1前	2			13	12	1				
	電気電子工学特別実験Ⅱ	1後	2			13	12	1				
	電気電子工学特別演習Ⅰ	1前	2			13	12	1				
	電気電子工学特別演習Ⅱ	1後	2			13	12	1				
	組込みシステム実践	1後	2			13	12	2	3			
プログラム横断科目	先端電気電子工学トピックス	1前	2			13	12	2	3			
	信号処理回路	1前		1				1				
	パワーデバイス	1前		1		1						
	特別輪講	1前		1		13	12	2	3			
	テクニカルプレゼンテーション	1後		1		13	12	2	3			
	センシングネットワーク	1前		1					1			
	電気・機械エネルギー変換工学	1後		1		1						
	電気・化学エネルギー変換工学	1前		1				1				
	コンピュータネットワーク	1前		1				1				
	アナログ回路設計	1後		1				1				
	デジタル回路設計	1前		1		1						
	小計(16科目)	—										
スマートエネルギー	環境・電力エネルギー工学	1前		1		1		1				
	大電流エネルギー工学	1後		1		1						
	核融合プラズマ工学	1前		2		1			1			
	電磁エネルギー工学	1前		1		1						
	レーザーエネルギー工学	1前		1		1						
	プラズマ応用工学Ⅰ	1前		1							兼1	
	プラズマ応用工学Ⅱ	1後		1							兼1	
小計(7科目)	—											
インテリジェント制御プログラム	電機システム解析	1前		1			1					
	アクチュエータ制御	1後		1					1			
	パワーエレクトロニクス応用	1前		1			1					
	非線形システム解析	1後		1		1						
	認知システム工学	1前		1			1					
	知能工学	1前		1			1					
	システムインタフェース	1前		1			1					
小計(7科目)	—											
先端エレクトロニクスプログラム	ナノ物性工学	1前		1		1						
	ナノエレクトロニクス工学	1前		1			1					
	エネルギーデバイス工学	1後		1			1					
	超伝導エレクトロニクス	1後		1		1						
	レーザー工学	1前		1			1					
	光エレクトロニクス応用	1後		1		1						
小計(6科目)	—											
情報メディアプログラム	光通信メディア工学	1後		1			1					
	情報光学	1後		1			1					
	情報伝送システム	1前		1		1						
	ワイヤレスネットワーク	1前		1		1						
	通信信号処理	1後		1		1						
	光通信システム工学	1前		1							兼1	
	光デバイス工学	1後		1							兼1	
	マルチメディア通信工学	1後		1							兼1	
小計(8科目)	—											
合計(93科目)	—											

【平成30年度】

卒業要件及び履修方法

1 修了要件

2年以上在学し、30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、学位論文又は特定の課題についての研究の成果の審査並びに最終試験に合格することとする。ただし、在学期間に関しては、優れた業績を上げた者については、1年以上在学すれば足りるものとする。

2 履修方法

○共通科目において、大学院共通科目から2単位以上、研究科共通科目から3単位以上、計5単位以上を以下の要件を満たしたうえで修得すること。

・倫理科目、英語科目、社会理解科目、情報系科目、体験型科目のカテゴリーからそれぞれ1単位以上を修得すること。

○専攻科目から以下のとおり25単位以上を修得すること。

・プログラムコア科目5単位以上(選択必修5単位以上)

・プログラム横断科目20単位以上(必修12単位、選択必修8単位以上)

選択必修(8単位)としては、「テクニカルプレゼンテーション」、「特別輪講」、「信号処理回路」、「パワーデバイス」から3単位以上を修得するとともに、以下のとおり5単位以上を修得すること。

①スマートエネルギープログラムとインテリジェント制御プログラムにおいては、「センシングネットワーク」、「電気・機械エネルギー変換工学」、「電気・化学エネルギー変換工学」の中から2単位以上を、自プログラム以外のもう一つのプログラムの『プログラムコア科目』から3単位を上限とし修得し、合計5単位以上を修得すること。

②先端エレクトロニクスプログラムと情報メディアプログラムにおいては、「コンピュータネットワーク」、「アナログ回路設計」、「デジタル回路設計」の中から2単位以上を、自プログラム以外のもう一つのプログラムの『プログラムコア科目』から3単位を上限とし修得し、合計5単位以上を修得すること。

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 本授業科目表は、開設年度から提出年度までの間において実際に実施された授業科目に関する情報として記入してください。
 - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成30年度】

- ・担当教員見直しのため、「人間システム基礎論Ⅰ」の兼任・兼任を「兼3」から「兼4」に変更。
- ・担当教員見直しのため、「食料の安定生産と農学」の兼任・兼任を「兼5」から「兼4」に変更。
- ・時間割の見直しにより、「知的所有権特論」の配当年次を「1前」から「1後」に変更。
- ・担当教員見直しのため、「知的所有権特論」の専任教員等の配置を「兼3」から「兼2」に変更。
- ・時間割の見直しにより、「応用数学特論」の配当年次を「1後」から「1前」に変更。
- ・担当教員見直しのため、「連携ネット共通講座Ⅰ」の兼任・兼任を「兼8」から「兼2」に変更。
- ・担当教員見直しのため、「連携ネット共通講座Ⅱ」の兼任・兼任を「兼8」から「兼2」に変更。
- ・担当教員見直しのため、「量子ビーム応用解析」の兼任・兼任を「兼3」から「兼7」に変更。
- ・担当教員見直しのため、「先端科学トピックスⅠ」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」に、兼任・兼任を「兼8」から「兼4」に変更。
- ・昇進、退職及び担当教員見直しのため、「OFF-CLASS-PROJECT」の専任教員等の配置を「教授11、准教授13、講師3、助教4」から「教授13、准教授12、講師2、助教3」に変更。
- ・昇進、退職及び担当教員見直しのため、「電気電子工学特別実験Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授11、准教授13、講師1」から「教授13、准教授12、講師1」に変更。
- ・昇進、退職及び担当教員見直しのため、「電気電子工学特別実験Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授11、准教授13、講師1」から「教授13、准教授12、講師1」に変更。
- ・昇進、退職及び担当教員見直しのため、「電気電子工学特別演習Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授11、准教授13、講師1」から「教授13、准教授12、講師1」に変更。
- ・昇進、退職及び担当教員見直しのため、「電気電子工学特別演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授11、准教授13、講師1」から「教授13、准教授12、講師1」に変更。
- ・昇進、退職及び担当教員見直しのため、「組込みシステム実践」の専任教員等の配置を「教授11、准教授13、講師3、助教4」から「教授13、准教授12、講師2、助教3」に変更。
- ・昇進、退職及び担当教員見直しのため、「先端電気電子工学トピックス」の専任教員等の配置を「教授11、准教授13、講師3、助教4」から「教授13、准教授12、講師2、助教3」に変更。
- ・昇進、退職及び担当教員見直しのため、「特別論議」の専任教員等の配置を「教授11、准教授13、講師3、助教4」から「教授13、准教授12、講師2、助教3」に変更。
- ・昇進、退職及び担当教員見直しのため、「テクニカルプレゼンテーション」の専任教員等の配置を「教授11、准教授13、講師3、助教4」から「教授13、准教授12、講師2、助教3」に変更。
- ・担当教員退職及び担当教員見直しのため、「電磁エネルギー工学」の専任教員等の配置を「講師1」から「教授1、助教1」に変更。
- ・担当教員見直しのため、「プラズマ応用工学Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に変更。
- ・担当教員見直しのため、「プラズマ応用工学Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授0」に変更。
- ・昇進のため、「情報伝送システム」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。

【令和元年度】

- ・担当教員見直しのため、「原子科学と倫理」の兼任・兼任を「兼5」から「兼6」に変更。

- (注) ・ 2(1)① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
7	86	0	93	7	86	0	93	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: Δ1)

(3) 未開講科目 該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目 該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{93} = \boxed{}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況, 経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計				
	校舎敷地	369,215㎡	㎡	㎡	369,215㎡				
	運動場用地	114,255㎡	㎡	㎡	114,255㎡				
	小 計	483,470㎡	㎡	㎡	483,470㎡				
	そ の 他	315,124㎡	㎡	㎡	315,124㎡				
	合 計	798,594㎡	㎡	㎡	798,594㎡				
(2) 校 舎		専 用 149,667㎡ 147,665㎡ (147,665㎡)	共 用 () ()	共用する他の学校等の専用 () ()	計 149,667㎡ 147,665㎡ (147,665㎡)	工学部車庫建替(元)△73㎡ 農学部総合研究棟新営(元)2,075㎡			
(3) 教室等	講義室	52室	演習室 42室	実験実習室 390室	情報処理学習施設 0室 (補助職員 人)	語学学習施設 0室 (補助職員 人)			
	(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称 理工学研究科 電気電子システム工学専攻 (M)			室 数 30 室				
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種		視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	学部単位での特定不能なため、大学全体の数 【図書及び視聴覚資料】 新規購入による増加のため(元) 【学術雑誌】 購入タイトル見直しによる減少のため(元)	
		理工学研究科 電気電子システム工学専攻 (M)	1,010,420 [283,424] +998,826 [282,013] (1,010,420 [283,424]) (+998,826 [282,013])	16,459 [4,707] 16,462 [4,704] (16,459 [4,707]) (-16,462 [4,704])	2,394 [2,393] 2,430 [2,429] (2,394 [2,393]) (2,430 [2,429])	3,151 3,123 (3,151) (3,123)	- -		- -
	計	1,010,420 [283,424] +998,826 [282,013] (1,010,420 [283,424]) (+998,826 [282,013])	16,459 [4,707] 16,462 [4,704] (16,459 [4,707]) (-16,462 [4,704])	2,394 [2,393] 2,430 [2,429] (2,394 [2,393]) (2,430 [2,429])	3,151 3,123 (3,151) (3,123)	- -	- -		
(6) 図書館	面 積	11,986㎡		閲覧座席数	997	収納可能冊数	958,000	大学全体	
	(7) 体育館	面 積	3,160㎡		体育館以外のスポーツ施設の概要			テニスコート7面	プール(25m×15m)1基
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	
		教員1人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円	
	共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円		
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
学生納付金以外の維持方法の概要									

(注)・設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和元年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(元)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。
- ・国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	茨城大学									備考
	既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の 学科のみ)	開設年度	
	年	人	年次 人	人		倍	年度	年度	年度	
人文社会科学部	4	360	-	1440	-	1.03	-	平成29	-	
現代社会学科	4	130	-	520	学士 (現代社会学)	1.05	-	平成29	茨城県水戸市文京2-1-1	
法律経済学科	4	120	-	480	学士 (社会科学)	1.04	-	平成29	同上	
人間文化学科	4	110	-	440	学士 (人文科学)	1.03	-	平成29	同上	
人文学部	4	-	-	-	-	-	-	昭和42	同上	
人文コミュニケーション学科	4	-	-	-	学士 (人文科学)	-	-	平成18	同上	平成29年度より学生募集停止
社会科学科	4	-	-	-	学士 (社会科学)	-	-	昭和50	同上	平成29年度より学生募集停止
教育学部	4	275	-	1100	-	1.04	-	昭和24	-	
学校教育教員養成課程	4	240	-	960	学士 (教育学)	1.04	-	平成8	茨城県水戸市文京2-1-1	
養護教諭養成課程	4	35	-	140	学士 (教育学)	1.02	-	昭和50	同上	
情報文化課程	4	-	-	-	学士 (教養)	-	-	平成元	同上	平成29年度より学生募集停止
人間環境教育課程	4	-	-	-	学士 (教養)	-	-	平成11	同上	平成29年度より学生募集停止
理学部	4	205	3年次 4	828	学士 (理学)	1.05	-	昭和42	-	
理学科	4	205	3年次 4	828	学士 (理学)	1.05	-	平成17	茨城県水戸市文京2-1-1	
工学部	4	545	3年次 20	2220	学士 (工学)	1.02	-	昭和24	-	
機械システム工学科	4	130	3年次 6	532	学士 (工学)	1.03	-	平成30	茨城県日立市中成沢町4-12-1	
機械システム工学科(夜)	4	40	-	160	学士 (工学)	1.01	-	平成30	同上	
電気電子システム工学科	4	125	3年次 5	510	学士 (工学)	1.02	-	平成30	同上	
物質科学工学科	4	110	3年次 3	446	学士 (工学)	1.00	-	平成30	同上	
情報工学科	4	80	3年次 4	328	学士 (工学)	1.02	-	平成30	同上	
都市システム工学科	4	60	3年次 2	244	学士 (工学)	1.09	-	平成30	同上	
機械工学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	-	平成2	同上	平成30年度より学生募集停止
生体分子機能工学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	-	平成17	同上	平成30年度より学生募集停止
マテリアル工学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	-	平成17	同上	平成30年度より学生募集停止
電気電子工学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	-	平成2	同上	平成30年度より学生募集停止
メディア通信工学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	-	平成8	同上	平成30年度より学生募集停止
知能システム工学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	-	平成17	同上	平成30年度より学生募集停止
知能システム工学科(B)	4	-	-	-	学士 (工学)	-	-	平成17	同上	平成30年度より学生募集停止
農学部	4	160	3年次 10	660	学士 (農学)	1.04	-	昭和27	-	
食生命科学科	4	80	3年次 5	330	学士 (農学)	1.03	-	平成29	茨城県福敷郡阿見町中央3-21-1	
地域総合農学科	4	80	3年次 5	330	学士 (農学)	1.06	-	平成29	同上	
生物生産科学科	4	-	-	-	学士 (農学)	-	-	平成12	同上	平成29年度より学生募集停止

資源生物科学科	4	-	-	-	学士 (農学)	-	-	昭和62	同上	平成29年度より学生募集停止
地域環境科学科	4	-	-	-	学士 (農学)	-	-	平成12	同上	平成29年度より学生募集停止
大学全体 (学部)	4	1545	34	6248	-	1.04	-	-	-	
人文社会科学研究科	2	25	-	50	修士 (学術)	0.98	-	平成29	-	
文化科学専攻	2	13	-	26	修士 (学術)	0.80	-	平成21	茨城県水戸市文京2-1-1	
社会科学専攻	2	12	-	24	修士 (学術)	1.16	-	平成26	同上	
地域政策専攻	2	-	-	-	修士 (学術)	-	-	平成6	同上	平成26年度より学生募集停止
教育学研究科	2	52	-	104	-	0.99	-	昭和63	-	
障害児教育専攻	2	3	-	6	修士 (教育学)	1.16	-	昭和63	茨城県水戸市文京2-1-1	
教科教育専攻	2	22	-	44	修士 (教育学)	0.86	-	昭和63	同上	
養護教育専攻	2	3	-	6	修士 (教育学)	1.33	-	平成9	同上	
学校臨床心理専攻	2	9	-	18	修士 (教育学)	1.11	-	平成13	同上	
教育実践高度化専攻	2	15	-	30	教職修士 (専門職)	1.03	-	平成28	同上	
理工学研究科 (博士前期課程)	2	348	-	696	-	1.14	-	平成7	-	
量子線科学専攻	2	102	-	204	修士 (理学) 修士 (工学)	0.97	-	平成28	茨城県水戸市文京2-1-1 茨城県日立市中成沢町4-12-1	
理学専攻	2	45	-	90	修士 (理学)	1.13	-	平成21	茨城県水戸市文京2-1-1	
機械システム工学専攻	2	86	-	172	修士 (工学)	1.35	-	平成30	茨城県日立市中成沢町4-12-1	
電気電子システム工学専攻	2	58	-	116	修士 (工学)	1.09	-	平成30	同上	
情報工学専攻	2	30	-	60	修士 (工学)	1.26	-	平成30	同上	
都市システム工学専攻	2	27	-	54	修士 (工学)	1.18	-	平成30	同上	
機械工学専攻	2	-	-	-	修士 (工学)	-	-	平成7	同上	平成30年度より学生募集停止
電気電子工学専攻	2	-	-	-	修士 (工学)	-	-	平成7	同上	平成30年度より学生募集停止
メディア通信工学専攻	2	-	-	-	修士 (工学)	-	-	平成12	同上	平成30年度より学生募集停止
知能システム工学専攻	2	-	-	-	修士 (工学)	-	-	平成21	同上	平成30年度より学生募集停止
応用粒子線科学専攻	2	-	-	-	修士 (理学) 修士 (工学)	-	-	平成16	同上	平成28年度より学生募集停止
農学研究科	2	48	-	96	修士 (農学)	0.84	-	昭和45	-	
農学専攻	2	48	-	96	修士 (農学)	0.84	-	平成29	茨城県稲敷郡阿見町中央3-21-1	
生物生産科学専攻	2	-	-	-	修士 (農学)	-	-	平成16	同上	平成29年度より学生募集停止
資源生物科学専攻	2	-	-	-	修士 (農学)	-	-	平成3	同上	平成29年度より学生募集停止
地域環境科学専攻	2	-	-	-	修士 (農学)	-	-	平成16	同上	平成29年度より学生募集停止
大学全体 (大学院)	2	473	-	946	-	1.09	-	-	-	
理工学研究科 (博士後期課程)	3	38	-	114	博士 (理学) 博士 (工学) 博士 (学術)	0.65	-	平成7	-	
量子線科学専攻	3	20	-	60	博士 (理学) 博士 (工学) 博士 (学術)	0.56	-	平成28	茨城県水戸市文京2-1-1 茨城県日立市中成沢町4-12-1	
複雑系システム科学専攻	3	10	-	30	博士 (理学) 博士 (工学) 博士 (学術)	0.83	-	平成28	同上	

社会インフラシステム科学専攻	3	8	-	24	博士(理学) 博士(工学) 博士(学術)	0.66	-	平成28	同上	
物質科学専攻	3	-	-	-	博士(理学) 博士(工学) 博士(学術)	-	-	平成7	茨城県日立市中成沢町4-12-1	平成28年度より学生募集停止
生産科学専攻	3	-	-	-	博士(理学) 博士(工学) 博士(学術)	-	-	平成7	同上	平成28年度より学生募集停止
情報・システム科学専攻	3	-	-	-	博士(理学) 博士(工学) 博士(学術)	-	-	平成7	同上	平成28年度より学生募集停止
宇宙地球システム科学専攻	3	-	-	-	博士(理学) 博士(工学) 博士(学術)	-	-	平成7	茨城県水戸市文京2-1-1	平成28年度より学生募集停止
環境機能科学専攻	3	-	-	-	博士(理学) 博士(工学) 博士(学術)	-	-	平成8	同上	平成28年度より学生募集停止
応用粒子線科学専攻	3	-	-	-	博士(理学) 博士(工学) 博士(学術)	-	-	平成16	茨城県日立市中成沢町4-12-1	平成28年度より学生募集停止
大学全体(大学院(博士))	3	38	-	114	-	0.65	-	-	-	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校種ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(専攻科及び別科を除く)。
- ・学部/学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めず。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」の考え方は「大学設置等に係る提出書類の作成の手引き(平成31年度改訂版)」と同じです。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<理工学研究科 電気電子システム工学専攻>

(1) -① 担当教員表

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

【令和元年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	今井 洋 (62) <平成30年4月> 工学博士
		光エレクトロニクス応用 電気電子工学特別実験Ⅰ 電気電子工学特別実験Ⅱ 電気電子工学特別演習Ⅰ 電気電子工学特別演習Ⅱ 組込みシステム実践 先端電気電子工学トピックス 特別輪講 テクニカルプレゼンテーション OFF-CLASS-PROJECT
専	教授	鵜殿 治彦 (48) <平成30年4月> 博士(工学)
		パワーデバイス 電気電子工学特別実験Ⅰ 電気電子工学特別実験Ⅱ 電気電子工学特別演習Ⅰ 電気電子工学特別演習Ⅱ 組込みシステム実践 先端電気電子工学トピックス 特別輪講 テクニカルプレゼンテーション OFF-CLASS-PROJECT
専	教授	栗原 和美 (63) <平成30年4月> 工学博士
		電気・機械エネルギー変換工学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	今井 洋 (63) <平成30年4月> 工学博士
		光エレクトロニクス応用 電気電子工学特別実験Ⅰ 電気電子工学特別実験Ⅱ 電気電子工学特別演習Ⅰ 電気電子工学特別演習Ⅱ 組込みシステム実践 先端電気電子工学トピックス 特別輪講 テクニカルプレゼンテーション OFF-CLASS-PROJECT
専	教授	鵜殿 治彦 (49) <平成30年4月> 博士(工学)
		パワーデバイス 電気電子工学特別実験Ⅰ 電気電子工学特別実験Ⅱ 電気電子工学特別演習Ⅰ 電気電子工学特別演習Ⅱ 組込みシステム実践 先端電気電子工学トピックス 特別輪講 テクニカルプレゼンテーション OFF-CLASS-PROJECT
専	教授	栗原 和美 (64) <平成30年4月> 工学博士
		電気・機械エネルギー変換工学 電気電子工学特別実験Ⅰ 電気電子工学特別実験Ⅱ 電気電子工学特別演習Ⅰ 電気電子工学特別演習Ⅱ 組込みシステム実践 先端電気電子工学トピックス 特別輪講 テクニカルプレゼンテーション OFF-CLASS-PROJECT

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	今井 洋 (64) <平成30年4月> 工学博士
		光エレクトロニクス応用 電気電子工学特別実験Ⅰ 電気電子工学特別実験Ⅱ 電気電子工学特別演習Ⅰ 電気電子工学特別演習Ⅱ 組込みシステム実践 先端電気電子工学トピックス 特別輪講 テクニカルプレゼンテーション OFF-CLASS-PROJECT
専	教授	鵜殿 治彦 (50) <平成30年4月> 博士(工学)
		パワーデバイス 電気電子工学特別実験Ⅰ 電気電子工学特別実験Ⅱ 電気電子工学特別演習Ⅰ 電気電子工学特別演習Ⅱ 組込みシステム実践 先端電気電子工学トピックス 特別輪講 テクニカルプレゼンテーション OFF-CLASS-PROJECT
専	教授	

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	三枝 幹雄 (59) <平成30年4月> 工学博士
		核融合プラズマ工学 電気電子工学特別実験Ⅰ 電気電子工学特別実験Ⅱ 電気電子工学特別演習Ⅰ 電気電子工学特別演習Ⅱ 組込みシステム実践 先端電気電子工学トピックス 特別輪講 テクニカルプレゼンテーション OFF-CLASS-PROJECT
		島影 尚 (53) <平成30年4月> 工学博士
専	教授	超伝導エレクトロニクス 電気電子工学特別実験Ⅰ 電気電子工学特別実験Ⅱ 電気電子工学特別演習Ⅰ 電気電子工学特別演習Ⅱ 組込みシステム実践 先端電気電子工学トピックス 特別輪講 テクニカルプレゼンテーション OFF-CLASS-PROJECT
		宮嶋 照行 (50) <平成30年4月> 博士(学術)
専	教授	通信信号処理 電気電子工学特別実験Ⅰ 電気電子工学特別実験Ⅱ 電気電子工学特別演習Ⅰ 電気電子工学特別演習Ⅱ 組込みシステム実践 先端電気電子工学トピックス 特別輪講 テクニカルプレゼンテーション OFF-CLASS-PROJECT
		宮嶋 照行 (50) <平成30年4月> 博士(学術)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	三枝 幹雄 (60) <平成30年4月> 工学博士
		核融合プラズマ工学 電気電子工学特別実験Ⅰ 電気電子工学特別実験Ⅱ 電気電子工学特別演習Ⅰ 電気電子工学特別演習Ⅱ 組込みシステム実践 先端電気電子工学トピックス 特別輪講 テクニカルプレゼンテーション OFF-CLASS-PROJECT
		島影 尚 (54) <平成30年4月> 工学博士
専	教授	先端科学トピックスⅠ 超伝導エレクトロニクス 電気電子工学特別実験Ⅰ 電気電子工学特別実験Ⅱ 電気電子工学特別演習Ⅰ 電気電子工学特別演習Ⅱ 組込みシステム実践 先端電気電子工学トピックス 特別輪講 テクニカルプレゼンテーション OFF-CLASS-PROJECT
		宮嶋 照行 (51) <平成30年4月> 博士(学術)
専	教授	通信信号処理 電気電子工学特別実験Ⅰ 電気電子工学特別実験Ⅱ 電気電子工学特別演習Ⅰ 電気電子工学特別演習Ⅱ 組込みシステム実践 先端電気電子工学トピックス 特別輪講 テクニカルプレゼンテーション OFF-CLASS-PROJECT
		宮嶋 照行 (51) <平成30年4月> 博士(学術)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	三枝 幹雄 (61) <平成30年4月> 工学博士
		核融合プラズマ工学 電気電子工学特別実験Ⅰ 電気電子工学特別実験Ⅱ 電気電子工学特別演習Ⅰ 電気電子工学特別演習Ⅱ 組込みシステム実践 先端電気電子工学トピックス 特別輪講 テクニカルプレゼンテーション OFF-CLASS-PROJECT
		島影 尚 (55) <平成30年4月> 工学博士
専	教授	先端科学トピックスⅠ 超伝導エレクトロニクス 電気電子工学特別実験Ⅰ 電気電子工学特別実験Ⅱ 電気電子工学特別演習Ⅰ 電気電子工学特別演習Ⅱ 組込みシステム実践 先端電気電子工学トピックス 特別輪講 テクニカルプレゼンテーション OFF-CLASS-PROJECT
		宮嶋 照行 (52) <平成30年4月> 博士(学術)
専	教授	通信信号処理 電気電子工学特別実験Ⅰ 電気電子工学特別実験Ⅱ 電気電子工学特別演習Ⅰ 電気電子工学特別演習Ⅱ 組込みシステム実践 先端電気電子工学トピックス 特別輪講 テクニカルプレゼンテーション OFF-CLASS-PROJECT
		宮嶋 照行 (52) <平成30年4月> 博士(学術)

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	柳平 丈志 (46) <平成30年4月> 博士(工学)
		大電流エネルギー工学 環境・電力エネルギー工学 電気電子工学特別実験Ⅰ 電気電子工学特別実験Ⅱ 電気電子工学特別演習Ⅰ 電気電子工学特別演習Ⅱ 組込みシステム実践 先端電気電子工学トピックス 特別輪講 テクニカルプレゼンテーション OFF-CLASS-PROJECT
		和田 達明 (55) <平成30年4月> 工学博士
専	教授	ナノ物性工学 電気電子工学特別実験Ⅰ 電気電子工学特別実験Ⅱ 電気電子工学特別演習Ⅰ 電気電子工学特別演習Ⅱ 組込みシステム実践 先端電気電子工学トピックス 特別輪講 テクニカルプレゼンテーション OFF-CLASS-PROJECT
		赤羽 秀郎 (59) <平成30年4月> 理学博士
専	教授	非線形システム解析 電気電子工学特別実験Ⅰ 電気電子工学特別実験Ⅱ 電気電子工学特別演習Ⅰ 電気電子工学特別演習Ⅱ 組込みシステム実践 先端電気電子工学トピックス 特別輪講 テクニカルプレゼンテーション OFF-CLASS-PROJECT

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	柳平 丈志 (47) <平成30年4月> 博士(工学)
		大電流エネルギー工学 環境・電力エネルギー工学 電磁エネルギー工学 電気電子工学特別実験Ⅰ 電気電子工学特別実験Ⅱ 電気電子工学特別演習Ⅰ 電気電子工学特別演習Ⅱ 組込みシステム実践 先端電気電子工学トピックス 特別輪講 テクニカルプレゼンテーション OFF-CLASS-PROJECT
		和田 達明 (56) <平成30年4月> 工学博士
専	教授	ナノ物性工学 電気電子工学特別実験Ⅰ 電気電子工学特別実験Ⅱ 電気電子工学特別演習Ⅰ 電気電子工学特別演習Ⅱ 組込みシステム実践 先端電気電子工学トピックス 特別輪講 テクニカルプレゼンテーション OFF-CLASS-PROJECT
		赤羽 秀郎 (60) <平成30年4月> 理学博士
専	教授	非線形システム解析 電気電子工学特別実験Ⅰ 電気電子工学特別実験Ⅱ 電気電子工学特別演習Ⅰ 電気電子工学特別演習Ⅱ 組込みシステム実践 先端電気電子工学トピックス 特別輪講 テクニカルプレゼンテーション OFF-CLASS-PROJECT

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	柳平 丈志 (48) <平成30年4月> 博士(工学)
		大電流エネルギー工学 環境・電力エネルギー工学 電磁エネルギー工学 電気電子工学特別実験Ⅰ 電気電子工学特別実験Ⅱ 電気電子工学特別演習Ⅰ 電気電子工学特別演習Ⅱ 組込みシステム実践 先端電気電子工学トピックス 特別輪講 テクニカルプレゼンテーション OFF-CLASS-PROJECT
		和田 達明 (57) <平成30年4月> 工学博士
専	教授	ナノ物性工学 電気電子工学特別実験Ⅰ 電気電子工学特別実験Ⅱ 電気電子工学特別演習Ⅰ 電気電子工学特別演習Ⅱ 組込みシステム実践 先端電気電子工学トピックス 特別輪講 テクニカルプレゼンテーション OFF-CLASS-PROJECT
		赤羽 秀郎 (61) <平成30年4月> 理学博士
専	教授	非線形システム解析 電気電子工学特別実験Ⅰ 電気電子工学特別実験Ⅱ 電気電子工学特別演習Ⅰ 電気電子工学特別演習Ⅱ 組込みシステム実践 先端電気電子工学トピックス 特別輪講 テクニカルプレゼンテーション OFF-CLASS-PROJECT

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	梅比良 正弘 (61) <平成30年4月> 博士(工学)
		知的所有権特論 ワイヤレスネットワーク 電気電子工学特別実験Ⅰ 電気電子工学特別実験Ⅱ 電気電子工学特別演習Ⅰ 電気電子工学特別演習Ⅱ 組込みシステム実践 先端電気電子工学トピックス 特別輪講 テクニカルプレゼンテーション OFF-CLASS-PROJECT
専	教授	武田 茂樹 (43) <平成30年4月> 博士(工学)
		デジタル回路設計 電気電子工学特別実験Ⅰ 電気電子工学特別実験Ⅱ 電気電子工学特別演習Ⅰ 電気電子工学特別演習Ⅱ 組込みシステム実践 先端電気電子工学トピックス 特別輪講 テクニカルプレゼンテーション OFF-CLASS-PROJECT LSⅠ設計・開発技術特論
専	教授	辻 龍介 (59) <平成30年4月> 工学博士
		レーザーエネルギー工学 電気電子工学特別実験Ⅰ 電気電子工学特別実験Ⅱ 電気電子工学特別演習Ⅰ 電気電子工学特別演習Ⅱ 組込みシステム実践 先端電気電子工学トピックス 特別輪講 テクニカルプレゼンテーション OFF-CLASS-PROJECT

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	梅比良 正弘 (62) <平成30年4月> 博士(工学)
		知的所有権特論 ワイヤレスネットワーク 電気電子工学特別実験Ⅰ 電気電子工学特別実験Ⅱ 電気電子工学特別演習Ⅰ 電気電子工学特別演習Ⅱ 組込みシステム実践 先端電気電子工学トピックス 特別輪講 テクニカルプレゼンテーション OFF-CLASS-PROJECT
専	教授	武田 茂樹 (44) <平成30年4月> 博士(工学)
		デジタル回路設計 電気電子工学特別実験Ⅰ 電気電子工学特別実験Ⅱ 電気電子工学特別演習Ⅰ 電気電子工学特別演習Ⅱ 組込みシステム実践 先端電気電子工学トピックス 特別輪講 テクニカルプレゼンテーション OFF-CLASS-PROJECT LSⅠ設計・開発技術特論
専	教授	辻 龍介 (60) <平成30年4月> 工学博士
		レーザーエネルギー工学 電気電子工学特別実験Ⅰ 電気電子工学特別実験Ⅱ 電気電子工学特別演習Ⅰ 電気電子工学特別演習Ⅱ 組込みシステム実践 先端電気電子工学トピックス 特別輪講 テクニカルプレゼンテーション OFF-CLASS-PROJECT

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	梅比良 正弘 (63) <平成30年4月> 博士(工学)
		知的所有権特論 ワイヤレスネットワーク 電気電子工学特別実験Ⅰ 電気電子工学特別実験Ⅱ 電気電子工学特別演習Ⅰ 電気電子工学特別演習Ⅱ 組込みシステム実践 先端電気電子工学トピックス 特別輪講 テクニカルプレゼンテーション OFF-CLASS-PROJECT
専	教授	武田 茂樹 (45) <平成30年4月> 博士(工学)
		デジタル回路設計 電気電子工学特別実験Ⅰ 電気電子工学特別実験Ⅱ 電気電子工学特別演習Ⅰ 電気電子工学特別演習Ⅱ 組込みシステム実践 先端電気電子工学トピックス 特別輪講 テクニカルプレゼンテーション OFF-CLASS-PROJECT LSⅠ設計・開発技術特論
専	教授	辻 龍介 (61) <平成30年4月> 工学博士
		レーザーエネルギー工学 電気電子工学特別実験Ⅰ 電気電子工学特別実験Ⅱ 電気電子工学特別演習Ⅰ 電気電子工学特別演習Ⅱ 組込みシステム実践 先端電気電子工学トピックス 特別輪講 テクニカルプレゼンテーション OFF-CLASS-PROJECT

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	准教授	那賀 明 (52) <平成30年4月> 博士(工学)
		情報伝送システム 電気電子工学特別実験Ⅰ 電気電子工学特別実験Ⅱ 電気電子工学特別演習Ⅰ 電気電子工学特別演習Ⅱ 組込みシステム実践 先端電気電子工学トピックス 特別輪講 テクニカルプレゼンテーション OFF-CLASS-PROJECT
		青野 友祐 (47) <平成30年4月> 博士(理学)
専	准教授	ナノエレクトロニクス工学 電気電子工学特別実験Ⅰ 電気電子工学特別実験Ⅱ 電気電子工学特別演習Ⅰ 電気電子工学特別演習Ⅱ 組込みシステム実践 先端電気電子工学トピックス 特別輪講 テクニカルプレゼンテーション OFF-CLASS-PROJECT
		鵜野 将年 (37) <平成30年4月> 博士(工学)
専	准教授	パワーエレクトロニクス応用 電気電子工学特別実験Ⅰ 電気電子工学特別実験Ⅱ 電気電子工学特別演習Ⅰ 電気電子工学特別演習Ⅱ 組込みシステム実践 先端電気電子工学トピックス 特別輪講 テクニカルプレゼンテーション OFF-CLASS-PROJECT

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	那賀 明 (53) <平成30年4月> 博士(工学)
		情報伝送システム 電気電子工学特別実験Ⅰ 電気電子工学特別実験Ⅱ 電気電子工学特別演習Ⅰ 電気電子工学特別演習Ⅱ 組込みシステム実践 先端電気電子工学トピックス 特別輪講 テクニカルプレゼンテーション OFF-CLASS-PROJECT
		青野 友祐 (48) <平成30年4月> 博士(理学)
専	准教授	ナノエレクトロニクス工学 電気電子工学特別実験Ⅰ 電気電子工学特別実験Ⅱ 電気電子工学特別演習Ⅰ 電気電子工学特別演習Ⅱ 組込みシステム実践 先端電気電子工学トピックス 特別輪講 テクニカルプレゼンテーション OFF-CLASS-PROJECT
		鵜野 将年 (38) <平成30年4月> 博士(工学)
専	准教授	パワーエレクトロニクス応用 電気電子工学特別実験Ⅰ 電気電子工学特別実験Ⅱ 電気電子工学特別演習Ⅰ 電気電子工学特別演習Ⅱ 組込みシステム実践 先端電気電子工学トピックス 特別輪講 テクニカルプレゼンテーション OFF-CLASS-PROJECT

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	那賀 明 (54) <平成30年4月> 博士(工学)
		情報伝送システム 電気電子工学特別実験Ⅰ 電気電子工学特別実験Ⅱ 電気電子工学特別演習Ⅰ 電気電子工学特別演習Ⅱ 組込みシステム実践 先端電気電子工学トピックス 特別輪講 テクニカルプレゼンテーション OFF-CLASS-PROJECT
		青野 友祐 (49) <平成30年4月> 博士(理学)
専	准教授	ナノエレクトロニクス工学 電気電子工学特別実験Ⅰ 電気電子工学特別実験Ⅱ 電気電子工学特別演習Ⅰ 電気電子工学特別演習Ⅱ 組込みシステム実践 先端電気電子工学トピックス 特別輪講 テクニカルプレゼンテーション OFF-CLASS-PROJECT
		鵜野 将年 (39) <平成30年4月> 博士(工学)
専	准教授	パワーエレクトロニクス応用 電気電子工学特別実験Ⅰ 電気電子工学特別実験Ⅱ 電気電子工学特別演習Ⅰ 電気電子工学特別演習Ⅱ 組込みシステム実践 先端電気電子工学トピックス 特別輪講 テクニカルプレゼンテーション OFF-CLASS-PROJECT

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	准教授	木村 孝之 (46) <平成30年4月> 博士(工学)
		アナログ回路設計 電気電子工学特別実験Ⅰ 電気電子工学特別実験Ⅱ 電気電子工学特別演習Ⅰ 電気電子工学特別演習Ⅱ 組込みシステム実践 先端電気電子工学トピックス 特別輪講 テクニカルプレゼンテーション OFF-CLASS-PROJECT
専	准教授	祖田 直也 (45) <平成30年4月> 博士(工学)
		電機システム解析 電気電子工学特別実験Ⅰ 電気電子工学特別実験Ⅱ 電気電子工学特別演習Ⅰ 電気電子工学特別演習Ⅱ 組込みシステム実践 先端電気電子工学トピックス 特別輪講 テクニカルプレゼンテーション OFF-CLASS-PROJECT
専	准教授	宮島 啓一 (45) <平成30年4月> 博士(工学)
		コンピュータネットワーク 電気電子工学特別実験Ⅰ 電気電子工学特別実験Ⅱ 電気電子工学特別演習Ⅰ 電気電子工学特別演習Ⅱ 組込みシステム実践 先端電気電子工学トピックス 特別輪講 テクニカルプレゼンテーション OFF-CLASS-PROJECT

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	准教授	木村 孝之 (47) <平成30年4月> 博士(工学)
		アナログ回路設計 電気電子工学特別実験Ⅰ 電気電子工学特別実験Ⅱ 電気電子工学特別演習Ⅰ 電気電子工学特別演習Ⅱ 組込みシステム実践 先端電気電子工学トピックス 特別輪講 テクニカルプレゼンテーション OFF-CLASS-PROJECT
専	准教授	祖田 直也 (46) <平成30年4月> 博士(工学)
		電機システム解析 電気電子工学特別実験Ⅰ 電気電子工学特別実験Ⅱ 電気電子工学特別演習Ⅰ 電気電子工学特別演習Ⅱ 組込みシステム実践 先端電気電子工学トピックス 特別輪講 テクニカルプレゼンテーション OFF-CLASS-PROJECT
専	准教授	宮島 啓一 (46) <平成30年4月> 博士(工学)
		コンピュータネットワーク 電気電子工学特別実験Ⅰ 電気電子工学特別実験Ⅱ 電気電子工学特別演習Ⅰ 電気電子工学特別演習Ⅱ 組込みシステム実践 先端電気電子工学トピックス 特別輪講 テクニカルプレゼンテーション OFF-CLASS-PROJECT

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	准教授	木村 孝之 (48) <平成30年4月> 博士(工学)
		アナログ回路設計 電気電子工学特別実験Ⅰ 電気電子工学特別実験Ⅱ 電気電子工学特別演習Ⅰ 電気電子工学特別演習Ⅱ 組込みシステム実践 先端電気電子工学トピックス 特別輪講 テクニカルプレゼンテーション OFF-CLASS-PROJECT
専	准教授	祖田 直也 (47) <平成30年4月> 博士(工学)
		電機システム解析 電気電子工学特別実験Ⅰ 電気電子工学特別実験Ⅱ 電気電子工学特別演習Ⅰ 電気電子工学特別演習Ⅱ 組込みシステム実践 先端電気電子工学トピックス 特別輪講 テクニカルプレゼンテーション OFF-CLASS-PROJECT
専	准教授	宮島 啓一 (47) <平成30年4月> 博士(工学)
		コンピュータネットワーク 電気電子工学特別実験Ⅰ 電気電子工学特別実験Ⅱ 電気電子工学特別演習Ⅰ 電気電子工学特別演習Ⅱ 組込みシステム実践 先端電気電子工学トピックス 特別輪講 テクニカルプレゼンテーション OFF-CLASS-PROJECT

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	准教授	横田 浩久 (49) <平成30年4月> 博士(工学)
		光通信メディア工学 電気電子工学特別実験Ⅰ 電気電子工学特別実験Ⅱ 電気電子工学特別演習Ⅰ 電気電子工学特別演習Ⅱ 組込みシステム実践 先端電気電子工学トピックス 特別輪講 テクニカルプレゼンテーション OFF-CLASS-PROJECT
専	准教授	上原 清彦 (58) <平成30年4月> 博士(工学)
		知能工学 電気電子工学特別実験Ⅰ 電気電子工学特別実験Ⅱ 電気電子工学特別演習Ⅰ 電気電子工学特別演習Ⅱ 組込みシステム実践 先端電気電子工学トピックス 特別輪講 テクニカルプレゼンテーション OFF-CLASS-PROJECT
専	准教授	鵜野 克宏 (49) <平成30年4月> 博士(工学)
		情報光学 電気電子工学特別実験Ⅰ 電気電子工学特別実験Ⅱ 電気電子工学特別演習Ⅰ 電気電子工学特別演習Ⅱ 組込みシステム実践 先端電気電子工学トピックス 特別輪講 テクニカルプレゼンテーション OFF-CLASS-PROJECT

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	准教授	横田 浩久 (50) <平成30年4月> 博士(工学)
		光通信メディア工学 電気電子工学特別実験Ⅰ 電気電子工学特別実験Ⅱ 電気電子工学特別演習Ⅰ 電気電子工学特別演習Ⅱ 組込みシステム実践 先端電気電子工学トピックス 特別輪講 テクニカルプレゼンテーション OFF-CLASS-PROJECT
専	准教授	上原 清彦 (59) <平成30年4月> 博士(工学)
		知能工学 電気電子工学特別実験Ⅰ 電気電子工学特別実験Ⅱ 電気電子工学特別演習Ⅰ 電気電子工学特別演習Ⅱ 組込みシステム実践 先端電気電子工学トピックス 特別輪講 テクニカルプレゼンテーション OFF-CLASS-PROJECT
専	准教授	鵜野 克宏 (50) <平成30年4月> 博士(工学)
		情報光学 電気電子工学特別実験Ⅰ 電気電子工学特別実験Ⅱ 電気電子工学特別演習Ⅰ 電気電子工学特別演習Ⅱ 組込みシステム実践 先端電気電子工学トピックス 特別輪講 テクニカルプレゼンテーション OFF-CLASS-PROJECT

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	准教授	横田 浩久 (51) <平成30年4月> 博士(工学)
		光通信メディア工学 電気電子工学特別実験Ⅰ 電気電子工学特別実験Ⅱ 電気電子工学特別演習Ⅰ 電気電子工学特別演習Ⅱ 組込みシステム実践 先端電気電子工学トピックス 特別輪講 テクニカルプレゼンテーション OFF-CLASS-PROJECT
専	准教授	上原 清彦 (60) <平成30年4月> 博士(工学)
		知能工学 電気電子工学特別実験Ⅰ 電気電子工学特別実験Ⅱ 電気電子工学特別演習Ⅰ 電気電子工学特別演習Ⅱ 組込みシステム実践 先端電気電子工学トピックス 特別輪講 テクニカルプレゼンテーション OFF-CLASS-PROJECT
専	准教授	鵜野 克宏 (51) <平成30年4月> 博士(工学)
		情報光学 電気電子工学特別実験Ⅰ 電気電子工学特別実験Ⅱ 電気電子工学特別演習Ⅰ 電気電子工学特別演習Ⅱ 組込みシステム実践 先端電気電子工学トピックス 特別輪講 テクニカルプレゼンテーション OFF-CLASS-PROJECT

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	准教授	小峰 啓史 (45) <平成30年4月> 博士(工学)
		エネルギーデバイス工学 電気電子工学特別実験Ⅰ 電気電子工学特別実験Ⅱ 電気電子工学特別演習Ⅰ 電気電子工学特別演習Ⅱ 組込みシステム実践 先端電気電子工学トピックス 特別輪講 テクニカルプレゼンテーション OFF-CLASS-PROJECT
専	准教授	中村 真毅 (48) <平成30年4月> 博士(工学)
		レーザ工学 電気電子工学特別実験Ⅰ 電気電子工学特別実験Ⅱ 電気電子工学特別演習Ⅰ 電気電子工学特別演習Ⅱ 組込みシステム実践 先端電気電子工学トピックス 特別輪講 テクニカルプレゼンテーション OFF-CLASS-PROJECT
専	准教授	矢内 浩文 (55) <平成30年4月> 工学博士
		認知システム工学 電気電子工学特別実験Ⅰ 電気電子工学特別実験Ⅱ 電気電子工学特別演習Ⅰ 電気電子工学特別演習Ⅱ 組込みシステム実践 先端電気電子工学トピックス 特別輪講 テクニカルプレゼンテーション OFF-CLASS-PROJECT

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	准教授	小峰 啓史 (46) <平成30年4月> 博士(工学)
		エネルギーデバイス工学 電気電子工学特別実験Ⅰ 電気電子工学特別実験Ⅱ 電気電子工学特別演習Ⅰ 電気電子工学特別演習Ⅱ 組込みシステム実践 先端電気電子工学トピックス 特別輪講 テクニカルプレゼンテーション OFF-CLASS-PROJECT
専	准教授	中村 真毅 (49) <平成30年4月> 博士(工学)
		レーザ工学 電気電子工学特別実験Ⅰ 電気電子工学特別実験Ⅱ 電気電子工学特別演習Ⅰ 電気電子工学特別演習Ⅱ 組込みシステム実践 先端電気電子工学トピックス 特別輪講 テクニカルプレゼンテーション OFF-CLASS-PROJECT
専	准教授	矢内 浩文 (56) <平成30年4月> 工学博士
		認知システム工学 電気電子工学特別実験Ⅰ 電気電子工学特別実験Ⅱ 電気電子工学特別演習Ⅰ 電気電子工学特別演習Ⅱ 組込みシステム実践 先端電気電子工学トピックス 特別輪講 テクニカルプレゼンテーション OFF-CLASS-PROJECT

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	准教授	小峰 啓史 (47) <平成30年4月> 博士(工学)
		エネルギーデバイス工学 電気電子工学特別実験Ⅰ 電気電子工学特別実験Ⅱ 電気電子工学特別演習Ⅰ 電気電子工学特別演習Ⅱ 組込みシステム実践 先端電気電子工学トピックス 特別輪講 テクニカルプレゼンテーション OFF-CLASS-PROJECT
専	准教授	中村 真毅 (50) <平成30年4月> 博士(工学)
		レーザ工学 電気電子工学特別実験Ⅰ 電気電子工学特別実験Ⅱ 電気電子工学特別演習Ⅰ 電気電子工学特別演習Ⅱ 組込みシステム実践 先端電気電子工学トピックス 特別輪講 テクニカルプレゼンテーション OFF-CLASS-PROJECT
専	准教授	矢内 浩文 (57) <平成30年4月> 工学博士
		認知システム工学 電気電子工学特別実験Ⅰ 電気電子工学特別実験Ⅱ 電気電子工学特別演習Ⅰ 電気電子工学特別演習Ⅱ 組込みシステム実践 先端電気電子工学トピックス 特別輪講 テクニカルプレゼンテーション OFF-CLASS-PROJECT

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	准教授	山田 光宏 (50) <平成30年4月> 博士(工学)
		システムインタフェース 電気電子工学特別実験Ⅰ 電気電子工学特別実験Ⅱ 電気電子工学特別演習Ⅰ 電気電子工学特別演習Ⅱ 組込みシステム実践 先端電気電子工学トピックス 特別輪講 テクニカルプレゼンテーション OFF-CLASS-PROJECT
専	講師	鈴木 健仁 (36) <平成30年4月> 博士(工学)
		電磁エネルギー工学 電気電子工学特別実験Ⅰ 電気電子工学特別実験Ⅱ 電気電子工学特別演習Ⅰ 電気電子工学特別演習Ⅱ 組込みシステム実践 先端電気電子工学トピックス 特別輪講 テクニカルプレゼンテーション OFF-CLASS-PROJECT
専	講師	田中 正志 (35) <平成30年4月> 博士(工学)
		電気・化学エネルギー変換工学 環境・電力エネルギー工学 電気電子工学特別実験Ⅰ 電気電子工学特別実験Ⅱ 電気電子工学特別演習Ⅰ 電気電子工学特別演習Ⅱ 組込みシステム実践 先端電気電子工学トピックス 特別輪講 テクニカルプレゼンテーション OFF-CLASS-PROJECT
専	講師	塚元 康輔 (57) <平成30年4月> 博士(工学)
		信号処理回路 組込みシステム実践 先端電気電子工学トピックス 特別輪講 テクニカルプレゼンテーション OFF-CLASS-PROJECT

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	准教授	山田 光宏 (51) <平成30年4月> 博士(工学)
		システムインタフェース 電気電子工学特別実験Ⅰ 電気電子工学特別実験Ⅱ 電気電子工学特別演習Ⅰ 電気電子工学特別演習Ⅱ 組込みシステム実践 先端電気電子工学トピックス 特別輪講 テクニカルプレゼンテーション OFF-CLASS-PROJECT
専	講師	田中 正志 (36) <平成30年4月> 博士(工学)
		電気・化学エネルギー変換工学 環境・電力エネルギー工学 電気電子工学特別実験Ⅰ 電気電子工学特別実験Ⅱ 電気電子工学特別演習Ⅰ 電気電子工学特別演習Ⅱ 組込みシステム実践 先端電気電子工学トピックス 特別輪講 テクニカルプレゼンテーション OFF-CLASS-PROJECT
専	講師	塚元 康輔 (58) <平成30年4月> 博士(工学)
		信号処理回路 組込みシステム実践 先端電気電子工学トピックス 特別輪講 テクニカルプレゼンテーション OFF-CLASS-PROJECT

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	准教授	山田 光宏 (52) <平成30年4月> 博士(工学)
		システムインタフェース 電気電子工学特別実験Ⅰ 電気電子工学特別実験Ⅱ 電気電子工学特別演習Ⅰ 電気電子工学特別演習Ⅱ 組込みシステム実践 先端電気電子工学トピックス 特別輪講 テクニカルプレゼンテーション OFF-CLASS-PROJECT
専	講師	田中 正志 (37) <平成30年4月> 博士(工学)
		電気・化学エネルギー変換工学 環境・電力エネルギー工学 電気電子工学特別実験Ⅰ 電気電子工学特別実験Ⅱ 電気電子工学特別演習Ⅰ 電気電子工学特別演習Ⅱ 組込みシステム実践 先端電気電子工学トピックス 特別輪講 テクニカルプレゼンテーション OFF-CLASS-PROJECT
専	講師	塚元 康輔 (59) <平成30年4月> 博士(工学)
		信号処理回路 組込みシステム実践 先端電気電子工学トピックス 特別輪講 テクニカルプレゼンテーション OFF-CLASS-PROJECT

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	助教	王 瀨岩 (34) <平成30年4月> 博士(工学)
		センシングネットワーク 組込みシステム実践 先端電気電子工学トピックス 特別輪講 テクニカルプレゼンテーション OFF-CLASS-PROJECT
専	助教	杉谷 栄規 (27) <平成30年4月> 博士(工学)
		アクチュエータ制御 組込みシステム実践 先端電気電子工学トピックス 特別輪講 テクニカルプレゼンテーション OFF-CLASS-PROJECT
専	助教	新任教員 () <平成30年4月>
		組込みシステム実践 先端電気電子工学トピックス 特別輪講 テクニカルプレゼンテーション OFF-CLASS-PROJECT
専	助教	新任教員 () <平成30年4月>
		組込みシステム実践 先端電気電子工学トピックス 特別輪講 テクニカルプレゼンテーション OFF-CLASS-PROJECT
兼	教授	池畑 隆 (62) <平成30年4月> 理学博士
		プラズマ応用工学 I
兼任	教授	岡 裕和 (52) <平成30年4月> 博士(理学)
		応用数学特論
兼任	教授	平澤 剛 (46) <平成30年4月> 博士(理学)
		解析学特論

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	助教	王 瀨岩 (35) <平成30年4月> 博士(工学)
		センシングネットワーク 組込みシステム実践 先端電気電子工学トピックス 特別輪講 テクニカルプレゼンテーション OFF-CLASS-PROJECT
専	助教	杉谷 栄規 (28) <平成30年4月> 博士(工学)
		アクチュエータ制御 組込みシステム実践 先端電気電子工学トピックス 特別輪講 テクニカルプレゼンテーション OFF-CLASS-PROJECT
専	助教	内田 晃介 (32) <平成30年4月> 博士(工学)
		電磁エネルギー工学 組込みシステム実践 先端電気電子工学トピックス 特別輪講 テクニカルプレゼンテーション OFF-CLASS-PROJECT
兼	教授	池畑 隆 (63) <平成30年4月> 理学博士
		プラズマ応用工学 I
兼任	教授	岡 裕和 (53) <平成30年4月> 博士(理学)
		応用数学特論
兼任	教授	平澤 剛 (47) <平成30年4月> 博士(理学)
		解析学特論

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	助教	王 瀨岩 (36) <平成30年4月> 博士(工学)
		センシングネットワーク 組込みシステム実践 先端電気電子工学トピックス 特別輪講 テクニカルプレゼンテーション OFF-CLASS-PROJECT
専	助教	杉谷 栄規 (29) <平成30年4月> 博士(工学)
		アクチュエータ制御 組込みシステム実践 先端電気電子工学トピックス 特別輪講 テクニカルプレゼンテーション OFF-CLASS-PROJECT
専	助教	内田 晃介 (33) <平成30年4月> 博士(工学)
		電磁エネルギー工学 組込みシステム実践 先端電気電子工学トピックス 特別輪講 テクニカルプレゼンテーション OFF-CLASS-PROJECT
専	教授	岩路 善尚 (54) <令和元年4月> 博士(工学)
		電気・機械エネルギー変換工学 電気電子工学特別実験 I 電気電子工学特別実験 II 電気電子工学特別演習 I 電気電子工学特別演習 II 組込みシステム実践 先端電気電子工学トピックス 特別輪講 テクニカルプレゼンテーション OFF-CLASS-PROJECT
兼	教授	池畑 隆 (64) <平成30年4月> 理学博士
		プラズマ応用工学 I
兼任	教授	岡 裕和 (54) <平成30年4月> 博士(理学)
		応用数学特論
兼任	教授	平澤 剛 (48) <平成30年4月> 博士(理学)
		解析学特論

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
兼任	教授	立花 章 (59) ＜平成30年4月＞ 理学博士
		連携ネット共通講座Ⅰ 連携ネット共通講座Ⅱ
兼任	教授	関東 康祐 (59) ＜平成30年4月＞ 工学博士
		連携ネット共通講座Ⅰ
兼任	教授	大山 研司 (55) ＜平成30年4月＞ 博士(理学)
		量子ビーム応用解析
兼任	教授	久保田 俊夫 (63) ＜平成30年4月＞ 工学博士
		量子ビーム応用解析
兼任	教授	小泉 智 (52) ＜平成30年4月＞ 博士(工学)
		量子ビーム応用解析
兼任	教授	村上 雄太郎 (61) ＜平成30年4月＞ 文学博士
		科学技術日本語特論
兼任	教授	高妻 孝光 (56) ＜平成30年4月＞ 学術博士
		社会における科学技術

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
兼任	教授	立花 章 (60) ＜平成30年4月＞ 理学博士
		連携ネット共通講座Ⅰ 連携ネット共通講座Ⅱ
兼任	教授	関東 康祐 (60) ＜平成30年4月＞ 工学博士
		連携ネット共通講座Ⅰ
兼任	教授	大山 研司 (56) ＜平成30年4月＞ 博士(理学)
		量子ビーム応用解析
兼任	教授	久保田 俊夫 (64) ＜平成30年4月＞ 工学博士
		量子ビーム応用解析
兼任	教授	小泉 智 (53) ＜平成30年4月＞ 博士(工学)
		量子ビーム応用解析
兼任	教授	金 幸夫 (56) ＜平成30年4月＞ 理学博士
		量子ビーム応用解析
兼任	教授	田中 伊知朗 (52) ＜平成30年4月＞ 博士(理学)
		量子ビーム応用解析
兼任	教授	村上 雄太郎 (62) ＜平成30年4月＞ 文学博士
		科学技術日本語特論
兼任	教授	高妻 孝光 (57) ＜平成30年4月＞ 学術博士
		社会における科学技術
兼任	教授	大友 季哉 (52) ＜平成30年4月＞ 博士(工学)
		先端科学トピックスⅠ
兼任	教授	奥 隆之 (48) ＜平成30年4月＞ 博士(工学)
		先端科学トピックスⅠ

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
兼任	教授	立花 章 (60) ＜平成30年4月＞ 理学博士
		連携ネット共通講座Ⅰ 連携ネット共通講座Ⅱ
兼任	教授	関東 康祐 (61) ＜平成30年4月＞ 工学博士
		原子科学と倫理 連携ネット共通講座Ⅰ
兼任	教授	大山 研司 (57) ＜平成30年4月＞ 博士(理学)
		量子ビーム応用解析
兼任	教授	久保田 俊夫 (65) ＜平成30年4月＞ 工学博士
		量子ビーム応用解析
兼任	教授	小泉 智 (54) ＜平成30年4月＞ 博士(工学)
		量子ビーム応用解析
兼任	教授	金 幸夫 (57) ＜平成30年4月＞ 理学博士
		量子ビーム応用解析
兼任	教授	田中 伊知朗 (53) ＜平成30年4月＞ 博士(理学)
		量子ビーム応用解析
兼任	教授	村上 雄太郎 (63) ＜平成30年4月＞ 文学博士
		科学技術日本語特論
兼任	教授	高妻 孝光 (58) ＜平成30年4月＞ 学術博士
		社会における科学技術
兼任	教授	大友 季哉 (53) ＜平成30年4月＞ 博士(工学)
		先端科学トピックスⅠ
兼任	教授	奥 隆之 (49) ＜平成30年4月＞ 博士(工学)
		先端科学トピックスⅠ

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	湊 淳 (55) <平成30年4月> 博士(工学)
		環境情報センシング特論
兼任	教授	羽瀨 裕真 (53) <平成30年4月> 博士(学術)
		学術情報リテラシー
兼任	教授	横木 裕宗 (51) <平成30年4月> 博士(工学)
		地球環境システム論Ⅰ
兼任	教授	伊藤 哲司 (52) <平成30年4月> 博士(心理学)
		人間システム基礎論Ⅰ
兼任	教授	蓮井 誠一郎 (45) <平成30年4月> 修士(国際学)
		持続社会システム論Ⅱ
兼任	教授	阿部 信一郎 (50) <平成30年4月> 博士(水産学)
		地球環境システム論Ⅱ
兼任	教授	伊藤 孝 (52) <平成30年4月> 博士(理学)
		研究と教育—知の往還をめぐって—
兼任	教授	小林 英美 (49) <平成30年4月> 学術博士
		研究と教育—知の往還をめぐって—
兼任	教授	上地 勝 (47) <平成30年4月> 博士(医学)
		人間システム基礎論Ⅱ

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	目時 直人 (55) <平成30年4月> 理学博士
		先端科学トピックスⅠ
兼任	教授	永目 諭一郎 (64) <平成30年4月> 理学博士
		先端科学トピックスⅠ
兼任	教授	湊 淳 (56) <平成30年4月> 博士(工学)
		環境情報センシング特論
兼任	教授	羽瀨 裕真 (54) <平成30年4月> 博士(学術)
		学術情報リテラシー
兼任	教授	横木 裕宗 (52) <平成30年4月> 博士(工学)
		地球環境システム論Ⅰ
兼任	教授	伊藤 哲司 (53) <平成30年4月> 博士(心理学)
		人間システム基礎論Ⅰ
兼任	教授	蓮井 誠一郎 (46) <平成30年4月> 修士(国際学)
		持続社会システム論Ⅱ
兼任	教授	阿部 信一郎 (51) <平成30年4月> 博士(水産学)
		人間システム基礎論Ⅱ 研究と教育—知の往還をめぐって—
兼任	教授	小林 英美 (50) <平成30年4月> 学術博士
		研究と教育—知の往還をめぐって—
兼任	教授	上地 勝 (48) <平成30年4月> 博士(医学)
		人間システム基礎論Ⅱ

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	目時 直人 (56) <平成30年4月> 理学博士
		先端科学トピックスⅠ
兼任	教授	永目 諭一郎 (65) <平成30年4月> 理学博士
		先端科学トピックスⅠ
兼任	教授	湊 淳 (57) <平成30年4月> 博士(工学)
		環境情報センシング特論
兼任	教授	羽瀨 裕真 (55) <平成30年4月> 博士(学術)
		学術情報リテラシー
兼任	教授	横木 裕宗 (53) <平成30年4月> 博士(工学)
		地球環境システム論Ⅰ
兼任	教授	伊藤 哲司 (54) <平成30年4月> 博士(心理学)
		人間システム基礎論Ⅰ
兼任	教授	蓮井 誠一郎 (47) <平成30年4月> 修士(国際学)
		持続社会システム論Ⅱ
兼任	教授	阿部 信一郎 (52) <平成30年4月> 博士(水産学)
		人間システム基礎論Ⅱ 研究と教育—知の往還をめぐって—
兼任	教授	小林 英美 (51) <平成30年4月> 学術博士
		研究と教育—知の往還をめぐって—
兼任	教授	上地 勝 (48) <平成30年4月> 博士(医学)
		人間システム基礎論Ⅱ

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
兼任	教授	増子 和男 (63) ＜平成30年4月＞ 文学修士
		研究と教育－知の往還をめぐる－
兼任	教授	岡田 誠 (52) ＜平成30年4月＞ 博士(理学)
		地球環境システム論Ⅱ
兼任	教授	北 和之 (53) ＜平成30年4月＞ 理学博士
		地球環境システム論Ⅰ
兼任	教授	山村 靖夫 (62) ＜平成30年4月＞ 理学博士
		地球環境システム論Ⅱ
兼任	教授	安西 弘行 (60) ＜平成30年4月＞ 農学博士
		バイオテクノロジーと社会
兼任	教授	井上 栄一 (49) ＜平成30年4月＞ 博士(農学)
		食料の安定生産と農学
兼任	教授	久保山 勉 (52) ＜平成30年4月＞ 博士(農学)
		食料の安定生産と農学
兼任	教授	黒田 久雄 (55) ＜平成30年4月＞ 博士(農学)
		霞ヶ浦環境科学概論
兼任	教授	小松崎 将一 (52) ＜平成30年4月＞ 農学博士
		地域サステナビリティ農学概論
兼任	教授	成澤 才彦 (53) ＜平成30年4月＞ 博士(農学)
		地域サステナビリティ農学概論
兼任	教授	中川 光弘 (62) ＜平成30年4月＞ 博士(農学)
		持続社会システム論Ⅰ

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
兼任	教授	増子 和男 (64) ＜平成30年4月＞ 文学修士
		研究と教育－知の往還をめぐる－
兼任	教授	岡田 誠 (53) ＜平成30年4月＞ 博士(理学)
		地球環境システム論Ⅱ
兼任	教授	北 和之 (54) ＜平成30年4月＞ 理学博士
		地球環境システム論Ⅰ
兼任	教授	山村 靖夫 (63) ＜平成30年4月＞ 理学博士
		地球環境システム論Ⅱ
兼任	教授	安西 弘行 (61) ＜平成30年4月＞ 農学博士
		バイオテクノロジーと社会
兼任	教授	井上 栄一 (50) ＜平成30年4月＞ 博士(農学)
		食料の安定生産と農学
兼任	教授	久保山 勉 (53) ＜平成30年4月＞ 博士(農学)
		食料の安定生産と農学
兼任	教授	黒田 久雄 (56) ＜平成30年4月＞ 博士(農学)
		霞ヶ浦環境科学概論
兼任	教授	小松崎 将一 (53) ＜平成30年4月＞ 農学博士
		地域サステナビリティ農学概論
兼任	教授	成澤 才彦 (54) ＜平成30年4月＞ 博士(農学)
		地域サステナビリティ農学概論
兼任	教授	中川 光弘 (63) ＜平成30年4月＞ 博士(農学)
		持続社会システム論Ⅰ

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
兼任	教授	岡田 誠 (54) ＜平成30年4月＞ 博士(理学)
		地球環境システム論Ⅱ
兼任	教授	北 和之 (55) ＜平成30年4月＞ 理学博士
		地球環境システム論Ⅰ
兼任	教授	山村 靖夫 (64) ＜平成30年4月＞ 理学博士
		地球環境システム論Ⅱ
兼任	教授	安西 弘行 (62) ＜平成30年4月＞ 農学博士
		バイオテクノロジーと社会
兼任	教授	井上 栄一 (51) ＜平成30年4月＞ 博士(農学)
		食料の安定生産と農学
兼任	教授	久保山 勉 (54) ＜平成30年4月＞ 博士(農学)
		食料の安定生産と農学
兼任	教授	黒田 久雄 (57) ＜平成30年4月＞ 博士(農学)
		霞ヶ浦環境科学概論
兼任	教授	小松崎 将一 (54) ＜平成30年4月＞ 農学博士
		地域サステナビリティ農学概論
兼任	教授	成澤 才彦 (55) ＜平成30年4月＞ 博士(農学)
		地域サステナビリティ農学概論
兼任	教授	中川 光弘 (64) ＜平成30年4月＞ 博士(農学)
		持続社会システム論Ⅰ

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	新田 洋司 (53) <平成30年4月>
		食料の安定生産と農学
兼任	准教授	佐藤 直幸 (54) <平成30年4月> 工学博士
		プラズマ応用工学Ⅱ
兼任	准教授	細川 卓也 (41) <平成30年4月> 博士(理学)
		応用解析特論
兼任	准教授	松村 邦仁 (48) <平成30年4月> 博士(工学)
		連携ネット共通講座Ⅱ
兼任	准教授	藤田 昌史 (44) <平成30年4月> 博士(工学)
		霞ヶ浦環境科学概論
兼任	准教授	田嶋 美砂子 (45) <平成30年4月> 博士(教育学)
		国際コミュニケーション基礎A 国際コミュニケーション基礎B 実践国際コミュニケーションA 実践国際コミュニケーションB
兼任	准教授	寺地 幹人 (35) <平成30年4月> 修士(学術)
		人間システム基礎論Ⅰ

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	准教授	佐藤 直幸 (55) <平成30年4月> 工学博士
		プラズマ応用工学Ⅱ
兼任	准教授	細川 卓也 (42) <平成30年4月> 博士(理学)
		応用解析特論
兼任	准教授	松村 邦仁 (49) <平成30年4月> 博士(工学)
		連携ネット共通講座Ⅱ
兼任	准教授	飯沼 裕美 (46) <平成30年4月> 博士(理学)
		量子ビーム応用解析
兼任	准教授	庄村 廉人 (42) <平成30年4月> 博士(理学)
		量子ビーム応用解析
兼任	准教授	藤田 昌史 (45) <平成30年4月> 博士(工学)
		霞ヶ浦環境科学概論
兼任	准教授	田嶋 美砂子 (45) <平成30年4月> 博士(教育学)
		国際コミュニケーション基礎A 国際コミュニケーション基礎B 実践国際コミュニケーションA 実践国際コミュニケーションB
兼任	准教授	寺地 幹人 (35) <平成30年4月> 修士(学術)
		人間システム基礎論Ⅰ

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	准教授	佐藤 直幸 (56) <平成30年4月> 工学博士
		プラズマ応用工学Ⅱ
兼任	准教授	細川 卓也 (43) <平成30年4月> 博士(理学)
		応用解析特論
兼任	准教授	松村 邦仁 (50) <平成30年4月> 博士(工学)
		連携ネット共通講座Ⅱ
兼任	准教授	飯沼 裕美 (47) <平成30年4月> 博士(理学)
		量子ビーム応用解析
兼任	准教授	庄村 廉人 (43) <平成30年4月> 博士(理学)
		量子ビーム応用解析
兼任	准教授	宮崎 尚子 (44) <平成31年4月> 修士(文学)
		研究と教育—知の往還をめぐって—
兼任	准教授	藤田 昌史 (46) <平成30年4月> 博士(工学)
		霞ヶ浦環境科学概論
兼任	准教授	田嶋 美砂子 (46) <平成30年4月> 博士(教育学)
		国際コミュニケーション基礎A 国際コミュニケーション基礎B 実践国際コミュニケーションA 実践国際コミュニケーションB
兼任	准教授	寺地 幹人 (36) <平成30年4月> 修士(学術)
		人間システム基礎論Ⅰ

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
兼任	准教授	塚原 伸治 (33) ＜平成30年4月＞ 博士(文学)
		人間システム基礎論Ⅰ
兼任	准教授	長田 華子 (34) ＜平成30年4月＞ 博士(社会科学)
		人間システム基礎論Ⅰ
兼任	准教授	富江 直子 (43) ＜平成30年4月＞ 博士(社会学)
		人間システム基礎論Ⅰ
兼任	准教授	関 友作 (52) ＜平成30年4月＞ 博士(学術)
		人間システム基礎論Ⅱ
兼任	准教授	中嶋 哲也 (34) ＜平成30年4月＞ 博士(スポーツ科学)
		研究と教育—知の往還をめぐる—
兼任	准教授	片口 直樹 (39) ＜平成30年4月＞ 修士(芸術)
		研究と教育—知の往還をめぐる—
兼任	准教授	吉田 眞士 (42) ＜平成30年4月＞ 博士(農学)
		霞ヶ浦環境科学概論
兼任	准教授	中島 雅己 (49) ＜平成30年4月＞ 博士(農学)
		食料の安定生産と農学
兼任	准教授	北嶋 康樹 (48) ＜平成30年4月＞ 博士(農学)
		食料の安定生産と農学
兼任	准教授	中里 亮治 (49) ＜平成30年4月＞ 博士(理学)
		霞ヶ浦環境科学概論
兼任	准教授	田村 誠 (40) ＜平成30年4月＞ 博士(学術)
		持続社会システム論Ⅱ

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
兼任	准教授	塚原 伸治 (34) ＜平成30年4月＞ 博士(文学)
		人間システム基礎論Ⅰ
兼任	准教授	富江 直子 (44) ＜平成30年4月＞ 博士(社会学)
		人間システム基礎論Ⅰ
兼任	准教授	関 友作 (53) ＜平成30年4月＞ 博士(学術)
		人間システム基礎論Ⅱ
兼任	准教授	中嶋 哲也 (35) ＜平成30年4月＞ 博士(スポーツ科学)
		研究と教育—知の往還をめぐる—
兼任	准教授	片口 直樹 (40) ＜平成30年4月＞ 修士(芸術)
		研究と教育—知の往還をめぐる—
兼任	准教授	吉田 眞士 (43) ＜平成30年4月＞ 博士(農学)
		霞ヶ浦環境科学概論
兼任	准教授	中島 雅己 (50) ＜平成30年4月＞ 博士(農学)
		食料の安定生産と農学
兼任	准教授	北嶋 康樹 (49) ＜平成30年4月＞ 博士(農学)
		食料の安定生産と農学
兼任	准教授	中里 亮治 (50) ＜平成30年4月＞ 博士(理学)
		霞ヶ浦環境科学概論
兼任	准教授	田村 誠 (41) ＜平成30年4月＞ 博士(学術)
		持続社会システム論Ⅱ

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
兼任	准教授	塚原 伸治 (35) ＜平成30年4月＞ 博士(文学)
		人間システム基礎論Ⅰ
兼任	准教授	長田 華子 (36) ＜平成30年4月＞ 博士(社会科学)
		人間システム基礎論Ⅰ
兼任	准教授	関 友作 (54) ＜平成30年4月＞ 博士(学術)
		人間システム基礎論Ⅱ
兼任	准教授	中嶋 哲也 (36) ＜平成30年4月＞ 博士(スポーツ科学)
		研究と教育—知の往還をめぐる—
兼任	准教授	片口 直樹 (41) ＜平成30年4月＞ 修士(芸術)
		研究と教育—知の往還をめぐる—
兼任	准教授	吉田 眞士 (44) ＜平成30年4月＞ 博士(農学)
		霞ヶ浦環境科学概論
兼任	准教授	中島 雅己 (51) ＜平成30年4月＞ 博士(農学)
		食料の安定生産と農学
兼任	准教授	北嶋 康樹 (50) ＜平成30年4月＞ 博士(農学)
		食料の安定生産と農学
兼任	准教授	中里 亮治 (51) ＜平成30年4月＞ 博士(理学)
		霞ヶ浦環境科学概論
兼任	准教授	田村 誠 (42) ＜平成30年4月＞ 博士(学術)
		持続社会システム論Ⅱ

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	伊多波 正徳 (48) <平成30年4月> 博士(工学)
		計算機応用特論A 計算機応用特論B
兼任	助教	阿部 敏一 (30) <平成30年4月> 博士(理学)
		数理工学特論
兼任	助教	高橋 竜一 (32) <平成30年4月> 博士(工学)
		情報システムモデル論
兼任	助教	小花 聖輝 (32) <平成30年4月> 博士(理工学)
		データ解析論
兼任	助教	小澤 佑介 (33) <平成30年4月> 博士(工学)
		情報ネットワーク論
兼任	助教	古谷 綾子 (40) <平成30年4月> 博士(農学)
		バイオテクノロジーと社会
兼任	講師	青笹 真一 (45) <平成30年4月> 博士(工学)
		マルチメディア通信工学
兼任	講師	辻川 恭三 (51) <平成30年4月> 博士(工学)
		光デバイス工学
兼任	講師	本田 奈月 (43) <平成30年4月> 博士(工学)
		光通信システム工学
兼任	講師	高木 有美 (44) <平成30年4月> Ph.D. (English)
		国際コミュニケーション演習A 国際コミュニケーション演習C

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	伊多波 正徳 (49) <平成30年4月> 博士(工学)
		計算機応用特論A 計算機応用特論B
兼任	助教	阿部 敏一 (31) <平成30年4月> 博士(理学)
		数理工学特論
兼任	助教	高橋 竜一 (33) <平成30年4月> 博士(工学)
		情報システムモデル論
兼任	助教	小花 聖輝 (33) <平成30年4月> 博士(理工学)
		データ解析論
兼任	助教	小澤 佑介 (34) <平成30年4月> 博士(工学)
		情報ネットワーク論
兼任	助教	古谷 綾子 (41) <平成30年4月> 博士(農学)
		バイオテクノロジーと社会
兼任	講師	青笹 真一 (46) <平成30年4月> 博士(工学)
		マルチメディア通信工学
兼任	講師	辻川 恭三 (52) <平成30年4月> 博士(工学)
		光デバイス工学
兼任	講師	本田 奈月 (44) <平成30年4月> 博士(工学)
		光通信システム工学
兼任	講師	高木 有美 (45) <平成30年4月> Ph.D. (English)
		国際コミュニケーション演習A 国際コミュニケーション演習C

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	准教授	伊多波 正徳 (50) <平成30年4月> 博士(工学)
		計算機応用特論A 計算機応用特論B
兼任	助教	阿部 敏一 (32) <平成30年4月> 博士(理学)
		数理工学特論
兼任	助教	高橋 竜一 (34) <平成30年4月> 博士(工学)
		情報システムモデル論
兼任	助教	小花 聖輝 (34) <平成30年4月> 博士(理工学)
		データ解析論
兼任	助教	小澤 佑介 (35) <平成30年4月> 博士(工学)
		情報ネットワーク論
兼任	助教	古谷 綾子 (42) <平成30年4月> 博士(農学)
		バイオテクノロジーと社会
兼任	講師	青笹 真一 (47) <平成30年4月> 博士(工学)
		マルチメディア通信工学
兼任	講師	辻川 恭三 (53) <平成30年4月> 博士(工学)
		光デバイス工学
兼任	講師	本田 奈月 (45) <平成30年4月> 博士(工学)
		光通信システム工学
兼任	講師	高木 有美 (46) <平成30年4月> Ph.D. (English)
		国際コミュニケーション演習A 国際コミュニケーション演習C

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	岩重 理香 (53) <平成30年4月> 修士(文学)
		国際コミュニケーション演習B 国際コミュニケーション演習D
兼任	講師	鬼澤 慎人 (54) <平成30年4月>
		組織運営とリーダーシップ
兼任	講師	林 真理 (54) <平成30年4月>
		科学史 現代科学における倫理
兼任	講師	小泉 忍 (60) <平成30年4月> 工学修士
		組込みシステム開発特論
兼任	講師	壁谷 彰慶 (41) <平成30年4月> 博士(文学)
		研究者倫理
兼任	講師	立川 雅司 (55) <平成30年4月>
		バイオテクノロジーと社会
兼任	講師	大場 恭子 (44) <平成30年4月>
		原子科学と倫理
兼任	講師	小田 康裕 (43) <平成30年4月>
		知的所有権特論
兼任	講師	菊池 賢司 (66) <平成30年4月> 工学博士
		原子科学と倫理
兼任	講師	高橋 梢 (40) <平成30年4月>
		持続社会システム論 I

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	岩重 理香 (54) <平成30年4月> 修士(文学)
		国際コミュニケーション演習B 国際コミュニケーション演習D
兼任	講師	鬼澤 慎人 (55) <平成30年4月>
		組織運営とリーダーシップ
兼任	講師	林 真理 (55) <平成30年4月>
		科学史 現代科学における倫理
兼任	講師	小泉 忍 (61) <平成30年4月> 工学修士
		組込みシステム開発特論
兼任	講師	壁谷 彰慶 (42) <平成30年4月> 博士(文学)
		研究者倫理
兼任	講師	大島 正弘 (61) <平成30年4月>
		バイオテクノロジーと社会
兼任	講師	大場 恭子 (45) <平成30年4月>
		原子科学と倫理
兼任	講師	小田 康裕 (44) <平成30年4月>
		知的所有権特論
兼任	講師	菊池 賢司 (67) <平成30年4月> 工学博士
		原子科学と倫理
兼任	講師	高橋 梢 (40) <平成30年4月>
		持続社会システム論 I

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	岩重 理香 (55) <平成30年4月> 修士(文学)
		国際コミュニケーション演習B 国際コミュニケーション演習D
兼任	講師	鬼澤 慎人 (55) <平成30年4月>
		組織運営とリーダーシップ
兼任	講師	林 真理 (55) <平成30年4月>
		科学史 現代科学における倫理
兼任	講師	小泉 忍 (62) <平成30年4月> 工学修士
		組込みシステム開発特論
兼任	講師	壁谷 彰慶 (43) <平成30年4月> 博士(文学)
		研究者倫理
兼任	講師	大島 正弘 (62) <平成30年4月>
		バイオテクノロジーと社会
兼任	講師	大場 恭子 (46) <平成30年4月>
		原子科学と倫理
兼任	講師	小田 康裕 (45) <平成30年4月>
		知的所有権特論
兼任	講師	菊池 賢司 (68) <平成30年4月> 工学博士
		原子科学と倫理
兼任	講師	高橋 梢 (41) <平成30年4月>
		持続社会システム論 I

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
兼任	講師	豊田 義元 (47) ＜平成30年4月＞ 修士(電気通信学)
		知的所有権特論
兼任	講師	中江 延男 (67) ＜平成30年4月＞ 工学博士
		原子科学と倫理
兼任	講師	藤井 芳昭 (58) ＜平成30年4月＞ 理学博士
		原子科学と倫理
兼任	講師	望月 弘保 (68) ＜平成30年4月＞ 工学博士
		原子科学と倫理
兼任	講師	虎田 真一郎 (64) ＜平成30年4月＞ 修士(工学)
		原子科学と倫理
兼任	講師	金子 信博 (58) ＜平成30年4月＞
		地域サステイナビリティ農学概論
兼任	講師	増田 敬祐 (36) ＜平成30年4月＞
		持続社会システム論 I
兼任	講師	島田 敏 (51) ＜平成30年4月＞
		持続社会システム論 I
兼任	講師	湯元 昇 (62) ＜平成30年4月＞
		科学と倫理
兼任	講師	畑中 泰道 (48) ＜平成30年4月＞
		学術英会話 I 学術英会話 II

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
兼任	講師	豊田 義元 (48) ＜平成30年4月＞ 修士(電気通信学)
		知的所有権特論
兼任	講師	中江 延男 (68) ＜平成30年4月＞ 工学博士
		原子科学と倫理
兼任	講師	藤井 芳昭 (59) ＜平成30年4月＞ 理学博士
		原子科学と倫理
兼任	講師	望月 弘保 (69) ＜平成30年4月＞ 工学博士
		原子科学と倫理
兼任	講師	金子 信博 (59) ＜平成30年4月＞
		地域サステイナビリティ農学概論
兼任	講師	増田 敬祐 (37) ＜平成30年4月＞
		持続社会システム論 I
兼任	講師	島田 敏 (52) ＜平成30年4月＞
		持続社会システム論 I
兼任	講師	湯元 昇 (63) ＜平成30年4月＞
		科学と倫理
兼任	講師	畑中 泰道 (49) ＜平成30年4月＞
		学術英会話 I 学術英会話 II

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
兼任	講師	豊田 義元 (49) ＜平成30年4月＞ 修士(電気通信学)
		知的所有権特論
兼任	講師	中江 延男 (69) ＜平成30年4月＞ 工学博士
		原子科学と倫理
兼任	講師	藤井 芳昭 (60) ＜平成30年4月＞ 理学博士
		原子科学と倫理
兼任	講師	望月 弘保 (70) ＜平成30年4月＞ 工学博士
		原子科学と倫理
兼任	講師	金子 信博 (60) ＜平成30年4月＞
		地域サステイナビリティ農学概論
兼任	講師	増田 敬祐 (38) ＜平成30年4月＞
		持続社会システム論 I
兼任	講師	島田 敏 (53) ＜平成30年4月＞
		持続社会システム論 I
兼任	講師	湯元 昇 (64) ＜平成30年4月＞
		科学と倫理
兼任	講師	若松 弘子 (46) ＜平成31年4月＞
		学術英会話 I 学術英会話 II

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	未定 () <平成31年4月>
		先端科学トピックスⅡ
兼任	講師	未定 () <平成31年4月>
		先端科学トピックスⅡ
兼任	講師	未定 () <平成31年4月>
		先端科学トピックスⅡ
兼任	講師	未定 () <平成31年4月>
		先端科学トピックスⅡ

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	未定 () <平成31年4月>
		先端科学トピックスⅡ
兼任	講師	未定 () <平成31年4月>
		先端科学トピックスⅡ
兼任	講師	未定 () <平成31年4月>
		先端科学トピックスⅡ
兼任	講師	未定 () <平成31年4月>
		先端科学トピックスⅡ

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	未定 () <令和元年9月>
		先端科学トピックスⅡ
兼任	講師	未定 () <令和元年9月>
		先端科学トピックスⅡ
兼任	講師	未定 () <令和元年9月>
		先端科学トピックスⅡ
兼任	講師	未定 () <令和元年9月>
		先端科学トピックスⅡ

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。**
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
 - ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
 - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実み)、兼任、兼任の順に記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) 一②担当教員表に関する変更内容

【平成30年度】

- ・鈴木健仁講師が退職。
- ・那賀明准教授が教授に昇進。
- ・内田晃介助教が就任。教員審査省略。

【令和元年度】

- ・栗原和美教授が定年退職。
- ・岩路善尚教授が就任。教員審査省略。

- (注) ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **限可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（平成29年度開設であれば平成28年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要研 究指導教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数	完成年度時における 設置基準上の必要研 究指導補助教員数
4	3	3
名	名	名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第百七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数【大学院】

設置時の計画					現在（報告時）の状況				
教授	准教授	講師	助教	計（A）	教授	准教授	講師	助教	計（B）
11	13	3	4	31	13	12	2	3	30
(13)	(12)	(2)	(3)	(30)					
研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数			研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数		
25	6	0			28	2	0		
(26)	(4)	(0)							
現在（報告時）の完成年度時の状況					現在（報告時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計（C）	教授	准教授	講師	助教	計（D）
13	12	2	3	30	13	12	2	3	30
[2]	[Δ1]	[Δ1]	[Δ1]	[Δ1]	[2]	[Δ1]	[Δ1]	[Δ1]	[Δ1]
研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数			研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数		
28	2	0			28	2	0		
[3]	[Δ4]	[0]			[3]	[Δ4]	[0]		

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（ ）内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受理済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）
 ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 （B））の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 （C））の教員 うち、定年を延長し て採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段階書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況（C）}}{\text{設置時の計画（A）}} = \frac{30}{31} = \boxed{96.77} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況（B）}} = \frac{0}{30} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由 該当なし

(3) -① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由
合計 (D)					後任補充状況の集計 (E)		
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後辞任した教員は、以下「(3) -②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
1	講師	鈴木 健仁	1前	選択	電磁エネルギー工学	①	H29. 6. 15付け私事都合のため辞任 (30)
			1前	必修	電気電子工学特別実験 I	①	
			1後	必修	電気電子工学特別実験 II	①	
			1前	必修	電気電子工学特別演習 I	①	
			1後	必修	電気電子工学特別演習 II	①	
			1後	必修	組込みシステム実践	①	
			1前	必修	先端電気電子工学トピックス	①	
			1前	選択	特別輪講	①	
			1後	選択	テクニカルプレゼンテーション	①	
			1後	必修	OFF-CLASS-PROJECT	①	
合計 (F)					後任補充状況の集計 (G)		
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
1	人	必修	7	科目	必修	7	科目
		選択	3	科目	選択	3	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	10	科目	計	10	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -③ 上記 (3) -① ・ (3) -② の合計

合計 (D) + (F)					後任補充状況の集計 (E) + (G)		
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
1	人	必修	7	科目	必修	7	科目
		選択	3	科目	選択	3	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	10	科目	計	10	科目

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{1}{31} = 3.22 \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) -⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
1	教授	栗原 和美	選択	電気・機械エネルギー変換工学	①	定年退職（元）
			必修	電気電子工学特別実験Ⅰ	①	
			必修	電気電子工学特別実験Ⅱ	①	
			必修	電気電子工学特別演習Ⅰ	①	
			必修	電気電子工学特別演習Ⅱ	①	
			必修	組込みシステム実践	①	
			必修	先端電気電子工学科トピックス	①	
			必修	特別輪講	①	
			必修	テクニカルプレゼンテーション	①	
			必修	OFF-CLASS-PROJECT	①	

合計		後任補充状況の集計						
辞任した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)	①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
1 人	必修	9 科目	必修	9 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
	選択	1 科目	選択	1 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
	計	10 科目	計	10 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」 ・ 兼任担当教員が担当する（している）場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<ul style="list-style-type: none"> ・ 選択科目「電気・機械エネルギー変換工学」については後任教授が就任したため、学生の課程への影響はない。 ・ 必修科目「電気電子工学特別実験Ⅰ」「電気電子工学特別実験Ⅱ」「電気電子工学特別演習Ⅰ」「電気電子工学特別演習Ⅱ」「組込みシステム実践」「先端電気電子工学科トピックス」「特別輪講」「テクニカルプレゼンテーション」「OFF-CLASS-PROJECT」については複数教員で運用されている授業であり、かつ後任教授が就任したため、学生の課程への影響はない。 ・ 掲示板、ポータルシステム上及び、メール等で周知

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等 該当なし

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
認 可 時 (〇〇年)		留意事項	履行中
設置計画履行状況 調 査 時 (〇〇年)	・〇〇学部〇〇学科において、～を是正すること。	是正意見	履行済
設置計画履行状況 調 査 時 (△△年)	・同一設置者が設置する既設学部等(◆◆学科)の～改善に努めること。	改善意見	履行済
設置計画履行状況 調 査 時 (□□年)	・大学設置基準に抵触するため、改めること。(△△学部△△学科)	指摘事項 (法令違反)	履行済
設置計画履行状況 調 査 時 (□□年)	・～については是正すること。	指摘事項 (是正)	履行中
設置計画履行状況 調 査 時 (□□年)	・〇〇大学の既設学部等(◆◆学科、●●学科)の～改善に努めること。	指摘事項 (改善)	履行中

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、調査結果が公表された年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<理工学研究科 電気電子システム工学専攻>

(1) 設置計画変更事項等 **該当なし**

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>A. 教育改善委員会 B. ②産学協同カリキュラム改良委員会</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>A. 学期始めを中心に、年6回程度開催 B. 年1回～2回程度開催</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <p>A. -1 授業アンケート及び学科教育点検に関すること -2 FD及び推奨授業に関すること -3 JABEEに関すること</p> <p>B. カリキュラム及び授業に関すること</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <p>A. 第1回（H30.4.18 出席者10名）推奨授業について、JABEEについて 他 第2回（H30.5.16 出席者10名）授業アンケートについて、学科教育点検について、学科FDについて 他 第3回（H30.6.20 出席者10名）学科教育点検について、推奨授業について、JABEEについて 他 第4回（H30.7.25 出席者8名）学科教育点検について、学生支援FDについて 他 第5回（H30.10.24 出席者9名）推奨授業について、授業アンケートについて、学科FDについて 他 第6回（H31.1.23 出席者8名）学部FDについて、アドバイザーボードについて、学科教育点検について 他 第7回（H31.2.28 出席者7名）学部FDについて、学科教育点検について 他 第8回（H31.3.29 出席者4名）学部FDについて、学科教育点検について 他 ・FD研修会の実施（H31.3.8 出席者93名）</p> <p>B. 第1回（H30.12.17 出席者12名）学部及び大学院の授業について</p> <p>b 実施方法</p> <p>上記のとおり</p> <p>c 開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>上記のとおり</p> <p>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況</p> <p>上記A及びBの審議を踏まえ、学科長から所属各教員に改善内容を周知し、それぞれが改善に取り組んでいる。</p>
--

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

各学期の講義最終回にアンケートを実施している。

b 教員や学生への公開状況、方法等

結果を担当教員に周知するほか、学科内で共有を図っている。

学生に対して公表はしていない。

(注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 教育課程連携協議会に関する事項 **該当なし**

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

① 体制

a 委員会の設置状況 (各区分を踏まえた委員構成を踏まえた委員の追加や交代状況含む)

b 委員会の開催状況 (回数や開催日など)

c 委員会の審議事項等

d その他

② 審議状況

a 審議した内容

記入例)

- ・ 地域との連携に関する〇〇の観点から教育課程に対する提案内容
- ・ 産業界との連携に関する〇〇の観点から教育課程に対する提案内容

b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

計画どおり実施している。引き続き、設置の趣旨・目的に沿って計画どおり教育研究活動を実施する。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・ 2019年7月30日 公表

b 公表方法

・ 大学ホームページ上に公開予定（2019年7月末を予定）

③ 認証評価を受ける計画

・ 2022年度に評価機関（大学改革支援・学位授与機構）の評価を受けるべく、学内で検討中

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和元年度）

a ホームページへの公表予定の有無 （ 有 ・ 無 ）

b 公表有の場合の公表（予定）時期 （2019年 9月 1日）

b 公表無の場合の特段の理由 （ ）

（注）・ 今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。

注3

大学番号：015

[平成30年度設置]

計画の区分： 研究科の専攻の設置又は課程の変更

注1

事前伺い

茨城大学大学院 理工学研究科 情報工学専攻(M)

注2

【事前伺い】 設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人茨城大学
令和元年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 総務部総務課

職名・氏名 法規係長
長谷川 慎吾

電話番号 029-228-8009

（夜間） 029-228-8035

F A X 029-228-8019

e-mail iba-houki@ml.ibaraki.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に
()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成31年4月2日付事務連絡「履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

理工学研究科

<情報工学専攻(M)>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	11
4. 既設大学等の状況	12
5. 教員組織の状況	15
6. 附帯事項等に対する履行状況等	33
7. その他全般的事項	35

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人茨城大学

(2) 大学名

茨城大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒316-8511
茨城県日立市中成沢町4-12-1

[〒310-8512
茨城県水戸市文京2-1-1]

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(ミムラ ノブオ) 三村 信男 (平成26年9月)		
研究科長	(マスザワ トオル) 増澤 徹 (平成30年4月)		
専攻長	(ウエダ ヨシカズ) 上田 賀一 (平成30年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成30年度に報告済の内容 → (30)

令和元年度に報告する内容 → (元)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
- ・ 様式は、平成27年度開設の4年制の学科の完成年度を超えて報告する場合(令和元年度までの5年間)ですが、完成年度を超えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。)
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
理工学研究科 情報工学専攻 修士(工学)	工学関係	2年	30人	年次人	60人	基礎となる学部等 工学部

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		平均入学定員 超過率	開設年度から 報告年度までの 平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	30人 (-) [-]	- 人	30人 (-) [-]	- 人	- 人 (-) [-]	- 人	- 人 (-) [-]	- 人	- 人 (-) [-]	- 人	1.26倍	-	
志願者数	54 (-) [12]	-	42 (-) [11]	-	- (-) [-]	-	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]			
受験者数	53 (-) [12]	-	40 (-) [10]	-	- (-) [-]	-	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]			
合格者数	50 (-) [10]	-	40 (-) [10]	-	- (-) [-]	-	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]			
B 入学者数	42 (-) [8]	-	34 (-) [8]	-	- (-) [-]	-	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]			
入学定員超過率 B/A	1.4		1.13		-		-		-				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ ()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	42 [8] (-)	- [-] (-)	34 [8] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	
2年次	/		41 [8] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	
3年次	/		/		- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	
4年次	/		/		- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	
計	42 [8] (-)		75 [17] (-)		- [-] (-)		- [-] (-)		- [-] (-)		

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成30年度	42 人	1 人	平成30年度	1 人	0 人	学習意欲喪失(1人)
令和元年度	75 人	0 人	平成30年度	0 人	0 人	
			令和元年度	0 人	0 人	
合 計		1 人		0 人	0 人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{1}{42} = \boxed{2.38} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{75} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<理工学研究科 情報工学専攻>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
大学院共通科目	学術英会話 I	1前		1								兼1
	学術英会話 II	1前		1								兼1
	国際コミュニケーション基礎A	1前		1								兼1
	国際コミュニケーション基礎B	1前		1								兼1
	実践国際コミュニケーションA	1前		1								兼1
	実践国際コミュニケーションB	1前		1								兼1
	地球環境システム論 I	1前		1								兼2
	地球環境システム論 II	1後		1								兼2
	持続社会システム論 I	1後		1								兼4
	持続社会システム論 II	1前		1								兼2
	学術情報リテラシー	1前		1								兼1
	霞ヶ浦環境科学概論	1前		1								兼4
	人間システム基礎論 I	1後		1								兼3
	人間システム基礎論 II	1前		1								兼3
	食料の安定生産と農学	1前		1								兼5
	地球サステナビリティ農学概論	1後		1								兼3
	研究と教育—知の往還をめぐって—	1後		2								兼5
	バイオテクノロジーと社会	1前		1								兼3
	知的所有権特論	1前		1								兼4
	環境情報センシング特論	1後		1								兼1
	科学と倫理	1前		2								兼1
	原子科学と倫理	1前		1								兼5
小計(22科目)	-											
研究科共通科目	応用数学特論	1後		2								兼1
	解析学特論	1前		2								兼1
	数理工学特論	1前		2								兼1
	応用解析特論	1前		2								兼1
	連携ネット共通講座 I	1前		2								兼8
	連携ネット共通講座 II	1後		2								兼8
	量子ビーム応用解析	1前		1								兼3
	国際コミュニケーション演習A	1後		1								兼1
	国際コミュニケーション演習B	1後		1								兼1
	国際コミュニケーション演習C	1後		1								兼1
	国際コミュニケーション演習D	1後		1								兼1
	科学技術日本語特論	1後		2								兼1
	組織運営とリーダーシップ	1後		1								兼1
	社会における科学技術	1前		1								兼1
	科学史	1前		1								兼1
	先端科学トピックス I	1通		1								兼8
	先端科学トピックス II	1通		1								兼8
	計算機応用特論A	1前		1								兼1
	計算機応用特論B	1前		1								兼1
	組込みシステム開発特論	1後		2								兼1
	LSI設計・開発技術特論	1前		2								兼1
	情報システムモデル論	1後		1						1		兼1
データ解析論	1後		1								兼1	
情報ネットワーク論	1前		1						1		兼1	
現代科学における倫理	1前		1								兼1	
研究者倫理	1前		1								兼1	
OFF-CLASS-PROJECT	1後	1			7	4	5	3			兼2	
小計(27科目)	-											
プログラム横断	経営系											
	経営工学エッセンシャル特論	1前		2								兼1
	企業戦略特論	1前		1								兼1
	マーケティング戦略特論	1前		1								兼1
技術経営特論	1後		1			1						

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
大学院共通科目	学術英会話 I	1前		1								兼1
	学術英会話 II	1前		1								兼1
	国際コミュニケーション基礎A	1前		1								兼1
	国際コミュニケーション基礎B	1前		1								兼1
	実践国際コミュニケーションA	1前		1								兼1
	実践国際コミュニケーションB	1前		1								兼1
	地球環境システム論 I	1前		1								兼2
	地球環境システム論 II	1後		1								兼2
	持続社会システム論 I	1後		1								兼4
	持続社会システム論 II	1前		1								兼2
	学術情報リテラシー	1前		1			1					兼1
	霞ヶ浦環境科学概論	1前		1								兼4
	人間システム基礎論 I	1後		1								兼4
	人間システム基礎論 II	1前		1								兼3
	食料の安定生産と農学	1前		1								兼4
	地球サステナビリティ農学概論	1後		1								兼3
	研究と教育—知の往還をめぐって—	1後		2								兼5
	バイオテクノロジーと社会	1前		1								兼3
	知的所有権特論	1後		1								兼3
	環境情報センシング特論	1後		1								兼1
	科学と倫理	1前		2								兼1
	原子科学と倫理	1前		1								兼6
小計(22科目)	-											
研究科共通科目	応用数学特論	1前		2								兼1
	解析学特論	1前		2								兼1
	数理工学特論	1前		2								兼1
	応用解析特論	1前		2								兼1
	連携ネット共通講座 I	1前		2								兼2
	連携ネット共通講座 II	1後		2								兼2
	量子ビーム応用解析	1前		1								兼7
	国際コミュニケーション演習A	1後		1								兼1
	国際コミュニケーション演習B	1後		1								兼1
	国際コミュニケーション演習C	1後		1								兼1
	国際コミュニケーション演習D	1後		1								兼1
	科学技術日本語特論	1後		2								兼1
	組織運営とリーダーシップ	1後		1								兼1
	社会における科学技術	1前		1								兼1
	科学史	1前		1								兼1
	先端科学トピックス I	1通		1								兼5
	先端科学トピックス II	1通		1								兼8
	計算機応用特論A	1前		1								兼1
	計算機応用特論B	1前		1								兼1
	組込みシステム開発特論	1後		2								兼1
	LSI設計・開発技術特論	1前		2								兼1
	情報システムモデル論	1後		1						1		兼1
データ解析論	1後		1								兼1	
情報ネットワーク論	1前		1						1		兼1	
現代科学における倫理	1前		1								兼1	
研究者倫理	1前		1								兼1	
OFF-CLASS-PROJECT	1後	1			7	4	5	3	2		兼1	
小計(27科目)	-											
プログラム横断	経営系											
	経営工学エッセンシャル特論	1前		2								兼1
	企業戦略特論	1前		1								兼1
	マーケティング戦略特論	1前		1								兼1
技術経営特論	1後		1						1			

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	記当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
プログラム横断科目	組込み系												
	組込みソフトウェア工学	1前		1		1							
	組込みシステム開発論	1前		1		1							
	LSI設計・開発技術演習	1前		2							兼1		
	リアルタイム組込みシステム開発論	1後		1							兼1		
	リアルタイムプログラミングとRTOS	1後		1							兼1		
	開発の安全/セキュリティ	1後		2		1					兼1		
	生体情報計測演習	1前		1		1							
	組込みソフトウェア工学演習	1後		2		1					兼1		
	専門研究・実践												
	情報工学特別研究 I	1前	2			7	2				兼1		
	情報工学特別研究 II	1後	2			7	2				兼1		
	情報工学特別研究 III	2前	2			7	2				兼1		
	情報工学特別研究 IV	2後	2			7	2				兼1		
	ICTソリューション実践 I	1後	1			1	5	3			兼1		
	ICTソリューション実践 II	1後	1			1	5	3			兼1		
	情報産業インターンシップ	1前		2		1							
	小計(19科目)	-											
	情報システム	システム工学特論	1前		1		1						
ソフトウェア概論		1前		2							兼1		
通信方式特論		1前		1		1							
情報セキュリティ特論		1後		1		1							
情報セキュリティ演習		1前		1			1						
ヒューマンインタフェース設計		1前		1		1							
バーチャルデザイン演習		1前		1			1					兼1	
小計(7科目)	-												
情報科学	データマイニング特論	1前		1		1							
	計算機知能特論 I	1前		1		1							
	計算機知能特論 II	1前		1		1							
	理論計算機科学特論	1前		1		1							
	ネットワークプログラム設計	1後		1							兼1		
	情報メディア応用演習	1前		1			1						
	知識情報処理演習	1前		1			1						
	数理分析・ビッグデータ戦略演習	1前		1							兼1		
小計(8科目)	-												
情報マネジメント	インフォメーションモデル論	1前		1			1						
	デザインパターン演習	1前		1			1						
	Web工学特論	1後		1		1							
	エンタープライズソフトウェア工学	1前		1		1							
	エンタープライズソフトウェア工学演習	1前		1		1					兼1		
	ソフトウェアビジネスモデル論	1前		1		1							
ソフトウェアビジネスモデル開発演習	1前		2							兼1			
小計(7科目)	-												
情報システム技術	情報システム技術特論	1前後		2		4	1	1			兼1		
	情報処理技術論	1前後		1		3					兼1		
	統計・情報数理科学	1前後		1		1	3						
小計(3科目)	-												
合計(93科目)	-												

卒業要件及び履修方法

- 1 修了要件
2年以上在学し、30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、学位論文又は特定の課題についての研究の成果の審査並びに最終試験に合格することとする。ただし、在学期間に関しては、優れた業績を上げた者については、1年以上在学すれば足りるものとする。
- 2 履修方法
○共通科目として、大学院共通科目から2単位、研究科共通科目から3単位、計5単位を以下の要件を満たしたうえで修得すること。
・倫理科目、英語科目、社会理解科目、情報系科目、体験型科目の категорияからそれぞれ1単位以上を修得すること。ただし、社会人マスタープログラム履修者においては、共通科目に代えてエントリー科目(5単位)を以下の要件を満たしたうえで修得すること。
・「情報システム技術特論」(必修2単位)の修得とともに、「統計・情報数理科学」、「情報処理技術論」、研究科共通科目の情報系科目の中から3単位を修得すること。
○専攻科目から以下のとおり21単位を修得すること。
・プログラムコア科目6単位(選択必修6単位)
・プログラム横断科目15単位(必修6単位、選択必修2単位以上)
○上記のほか、共通科目、専攻科目、他の専攻、研究科及び他大学院の授業科目から4単位以上を修得すること。

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	記当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
プログラム横断科目	組込み系											
	組込みソフトウェア工学	1前		1		1						
	組込みシステム開発論	1前		1		1						
	LSI設計・開発技術演習	1前		2							兼1	
	リアルタイム組込みシステム開発論	1後		1							兼1	
	リアルタイムプログラミングとRTOS	1後		1							兼1	
	開発の安全/セキュリティ	1後		2		1					兼1	
	生体情報計測演習	1前		1					1			
	組込みソフトウェア工学演習	1後		2		1					兼1	
	先端情報通信基礎特論	1後		2		1					兼3	
	専門研究・実践											
	情報工学特別研究 I	1前	2			7	3				兼1	
	情報工学特別研究 II	1後	2			7	3				兼1	
	情報工学特別研究 III	2前	2			7	3				兼1	
	情報工学特別研究 IV	2後	2			7	3				兼1	
	ICTソリューション実践 I	1後	1			2	5	2			兼1	
	ICTソリューション実践 II	1後	1			2	5	2			兼1	
	情報産業インターンシップ	1前		2		1						
	小計(20科目)	-										
情報システム	システム工学特論	1前		1		1						
	ソフトウェア概論	1前		2							兼1	
	通信方式特論	1前		1		1						
	情報セキュリティ特論	1後		1		1						
	情報セキュリティ演習	1前		1			1					
	ヒューマンインタフェース設計	1前		1		1						
	バーチャルデザイン演習	1前		1								兼1
小計(7科目)	-											
情報科学	データマイニング特論	1前		1		1						
	計算機知能特論 I	1前		1		1						
	計算機知能特論 II	1前		1		1						
	理論計算機科学特論	1前		1		1						
	ネットワークプログラム設計	1後		1							兼1	
	情報メディア応用演習	1前		1			1					
	知識情報処理演習	1前		1			1					
	数理分析・ビッグデータ戦略演習	1前		1							兼1	
小計(8科目)	-											
情報マネジメント	インフォメーションモデル論	1前		1			1					
	デザインパターン演習	1前		1			1					
	Web工学特論	1後		1		1						
	エンタープライズソフトウェア工学	1前		1		1						
	エンタープライズソフトウェア工学演習	1前		1		1					兼1	
	ソフトウェアビジネスモデル論	1前		1		1						
ソフトウェアビジネスモデル開発演習	1前		2							兼1		
小計(7科目)	-											
情報システム技術	情報システム技術特論	1前後		2		4	1	1			兼1	
	情報処理技術論	1前後		1		3					兼1	
	統計・情報数理科学	1前後		1		1	3					
小計(3科目)	-											
合計(94科目)	-											

卒業要件及び履修方法

- 1 修了要件
2年以上在学し、30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、学位論文又は特定の課題についての研究の成果の審査並びに最終試験に合格することとする。ただし、在学期間に関しては、優れた業績を上げた者については、1年以上在学すれば足りるものとする。
- 2 履修方法
○共通科目として、大学院共通科目から2単位、研究科共通科目から3単位、計5単位を以下の要件を満たしたうえで修得すること。
・倫理科目、英語科目、社会理解科目、情報系科目、体験型科目の категорияからそれぞれ1単位以上を修得すること。ただし、社会人マスタープログラム履修者においては、共通科目に代えてエントリー科目(5単位)を以下の要件を満たしたうえで修得すること。
・「情報システム技術特論」(必修2単位)の修得とともに、「統計・情報数理科学」、「情報処理技術論」、研究科共通科目の情報系科目の中から3単位を修得すること。
○専攻科目から以下のとおり21単位を修得すること。
・プログラムコア科目6単位(選択必修6単位)
・プログラム横断科目15単位(必修6単位、選択必修2単位以上)
○上記のほか、共通科目、専攻科目、他の専攻、研究科及び他大学院の授業科目から4単位以上を修得すること。

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
大学院共通科目	学術英会話 I	1前		1								兼1
	学術英会話 II	1前		1								兼1
	国際コミュニケーション基礎A	1前		1								兼1
	国際コミュニケーション基礎B	1前		1								兼1
	実践国際コミュニケーションA	1前		1								兼1
	実践国際コミュニケーションB	1前		1								兼1
	地球環境システム論 I	1前		1								兼2
	地球環境システム論 II	1後		1								兼2
	持続社会システム論 I	1後		1								兼4
	持続社会システム論 II	1前		1								兼2
	学術情報リテラシー	1前		1								兼1
	霞ヶ浦環境科学概論	1前		1								兼4
	人間システム基礎論 I	1後		1								兼4
	人間システム基礎論 II	1前		1								兼3
	食料の安定生産と農学	1前		1								兼4
	地球サステナビリティ農学概論	1後		1								兼3
	研究と教育—知の往還をめぐる—	1後		2								兼5
	バイオテクノロジーと社会	1前		1								兼3
	知的所有権特論	1後		1								兼3
	環境情報センシング特論	1後		1								兼1
	科学と倫理	1前		2								兼1
	原子科学と倫理	1前		1								兼5
小計(22科目)	—											
研究科共通科目	応用数学特論	1前		2								兼1
	解析学特論	1前		2								兼1
	数理工学特論	1前		2								兼1
	応用解析特論	1前		2								兼1
	連携ネット共通講座 I	1前		2								兼2
	連携ネット共通講座 II	1後		2								兼2
	量子ビーム応用解析	1前		1								兼7
	国際コミュニケーション演習A	1後		1								兼1
	国際コミュニケーション演習B	1後		1								兼1
	国際コミュニケーション演習C	1後		1								兼1
	国際コミュニケーション演習D	1後		1								兼1
	科学技術日本語特論	1後		2								兼1
	組織運営とリーダーシップ	1後		1								兼1
	社会における科学技術	1前		1								兼1
	科学史	1前		1								兼1
	先端科学トピックス I	1通		1								兼5
	先端科学トピックス II	1通		1								兼8
	計算機応用特論A	1前		1								兼1
	計算機応用特論B	1前		1								兼1
	組込みシステム開発特論	1後		2								兼1
	LSI設計・開発技術特論	1前		2								兼1
	情報システムモデル論	1後		1					1			兼1
データ解析論	1後		1								兼1	
情報ネットワーク論	1前		1					1			兼1	
現代科学における倫理	1前		1								兼1	
研究者倫理	1前		1								兼1	
OFF-CLASS-PROJECT	1後	1			7	3	5	2			兼1	
小計(27科目)	—											
プログラム横断科目	経営系											
	経営工学エッセンシャル特論	1前		2								兼1
	企業戦略特論	1前		1								兼1
	マーケティング戦略特論	1前		1								兼1
	技術経営特論	1後		1				1				
	組込み系											
	組込みソフトウェア工学	1前		1		1						
	組込みシステム開発論	1前		1		1						
	LSI設計・開発技術演習	1前		2								兼1
	リアルタイム組込みシステム開発論	1後		1								兼1
	リアルタイムプログラミングとRTOS	1後		1								兼1
	開発の安全/セキュリティ	1後		2		1						兼1
	生体情報計測演習	1前		1				1				
	組込みソフトウェア工学演習	1後		2		1						兼1
	先端情報通信基礎特論	1後		2		1						兼3
	専門研究・実践											
	情報工学特別研究 I	1前	2			7	2					兼1
情報工学特別研究 II	1後	2			7	2					兼1	
情報工学特別研究 III	2前	2			7	2					兼1	
情報工学特別研究 IV	2後	2			7	2					兼1	
ICTソリューション実践 I	1後	1				1	5	2			兼1	
ICTソリューション実践 II	1後	1				1	5	2			兼1	
情報産業インターンシップ	1前		2		1							
小計(20科目)	—											

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
情報システム	システム工学特論	1前	1			1						兼1
	ソフトウェア概論	1前	2									
	通信方式特論	1前	1			1						
	情報セキュリティ特論	1後	1			1						
	情報セキュリティ演習	1前	1				1					
	ヒューマンインタフェース設計	1前	1			1						
	バーチャルデザイン演習	1前	1									
小計(7科目)	-											
情報科学	データマイニング特論	1前	1			1						兼1
	計算機知能特論Ⅰ	1前	1				1					
	計算機知能特論Ⅱ	1前	1				1					
	理論計算機科学特論	1前	1				1					
	ネットワークプログラム設計	1後	1									
	情報メディア応用演習	1前	1					1				
	知識情報処理演習	1前	1						1			
	数理分析・ビッグデータ戦略演習	1前	1									
小計(8科目)	-											
情報マネジメント	インフォメーションモデル論	1前	1					1				兼1
	デザインパターン演習	1前	1					1				
	Web工学特論	1後	1			1						
	エンタープライズソフトウェア工学	1前	1			1						
	エンタープライズソフトウェア工学演習	1前	1									
	ソフトウェアビジネスモデル論	1前	1			1						
	ソフトウェアビジネスモデル開発演習	1前	2									
小計(7科目)	-											
情報システム技術	情報システム技術特論	1前後	2			4	1	1				兼1
	情報処理技術論	1前後	1			3						兼1
	統計・情報数理学	1前後	1				1	3				
	小計(3科目)	-										
合計(94科目)	-											

卒業要件及び履修方法

1 修了要件
 2年以上在学し、30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、学位論文又は特定の課題についての研究の成果の審査並びに最終試験に合格することとする。ただし、在学期間に関しては、優れた業績を上げた者については、1年以上在学すれば足りるものとする。

2 履修方法
 ◎共通科目として、大学院共通科目から2単位、研究科共通科目から3単位、計5単位を以下の要件を満たしたうえで修得すること。
 ・倫理科目、英語科目、社会理解科目、情報系科目、体験型科目のカテゴリからそれぞれ1単位以上を修得すること。ただし、社会人マスタープログラム履修者においては、共通科目に代えてエントリー科目(5単位)を以下の要件を満たしたうえで修得すること。
 ・「情報システム技術特論」(必修2単位)の修得とともに、「統計・情報数理学」、「情報処理技術論」、研究科共通科目の情報系科目の中から3単位を修得すること。
 ◎専攻科目から以下のとおり21単位を修得すること。
 ・プログラムコア科目6単位(選択必修6単位)
 ・プログラム横断科目15単位(必修6単位、選択必修2単位以上)
 ◎上記のほか、共通科目、専攻科目、他の専攻、研究科及び他大学院の授業科目から4単位以上を修得すること。

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 本授業科目表は、開設年度から提出年度までの間において実際に実施された授業科目に関する情報として記入してください。
 - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。
- (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成30年度】

- ・担当教員見直しのため、「人間システム基礎論Ⅰ」の兼任・兼任を「兼3」から「兼4」に変更。
- ・担当教員見直しのため、「食料の安定生産と農学」の兼任・兼任を「兼5」から「兼4」に変更。
- ・時間割の見直しにより、「知的所有権特論」の配当年次を「1前」から「1後」に変更。
- ・担当教員見直しのため、「知的所有権特論」の兼任・兼任を「兼4」から「兼3」に変更。
- ・時間割の見直しにより、「応用数学特論」の配当年次を「1後」から「1前」に変更。
- ・担当教員見直しのため、「連携ネット共通講座Ⅰ」の兼任・兼任を「兼8」から「兼2」に変更。
- ・担当教員見直しのため、「連携ネット共通講座Ⅱ」の兼任・兼任を「兼8」から「兼2」に変更。
- ・担当教員見直しのため、「量子ビーム応用解析」の兼任・兼任を「兼3」から「兼7」に変更。
- ・担当教員見直しのため、「先端科学トピックスⅠ」の兼任・兼任を「兼8」から「兼5」に変更。
- ・担当教員退職及び担当教員見直しのため、「OFF-CLASS-PROJECT」の専任教員等の配置を「教授7、准教授4、講師5、助教3」から「教授7、准教授3、講師5、助教2」に、兼任・兼任を「兼2」から「兼1」に変更。
- ・新規任用予定教員の職位変更のため、「技術経営特論」の専任教員等の配置を「准教授1」から「講師1」に変更。
- ・担当教員見直しのため、「生体情報計測演習」の専任教員等の配置を「教授1」から「講師1」に変更。
- ・教育内容の充実のため、「先端情報通信基礎特論」を新規に開講。
- ・担当教員退職及び担当教員見直しのため、「ICTソリューション実践Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授1、講師5、助教3」から「教授1、講師5、助教2」に変更。
- ・担当教員退職及び担当教員見直しのため、「ICTソリューション実践Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授1、講師5、助教3」から「教授1、講師5、助教2」に変更。
- ・担当教員退職のため、「バーチャルデザイン演習」の専任教員等の配置を「講師1」から「講師0」に兼任・兼任を「兼0」から「兼1」に変更。

【令和元年度】

- ・担当教員見直しのため、「学術情報リテラシー」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」、兼任・兼任を「兼1」から「兼0」に変更。
- ・担当教員見直しのため、「原子科学と倫理」の兼任・兼任を「兼5」から「兼6」に変更。

- (注) ・ 2(1) ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
- ・ 不要な年度（平成29年度開設であれば平成28年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
5 科目	88 科目	0 科目	93 科目	5 科目 [0]	89 科目 [1]	0 科目 [0]	94 科目 [0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目 該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目 該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{93} = \boxed{}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計			
	校 舎 敷 地	369,215㎡	㎡	㎡	369,215㎡			
	運 動 場 用 地	114,255㎡	㎡	㎡	114,255㎡			
	小 計	483,470㎡	㎡	㎡	483,470㎡			
	そ の 他	315,124㎡	㎡	㎡	315,124㎡			
	合 計	798,594㎡	㎡	㎡	798,594㎡			
(2) 校 舎	専 用	149,667㎡	147,665㎡	㎡	149,667㎡	147,665㎡	工学部車庫建替(元)△ 73㎡ 農学部総合研究棟新営 (元)2,075㎡	
	(147,665㎡)	(㎡)	(㎡)	(147,665㎡)		
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実 験 実 習 室	情 報 処 理 学 習 施 設	語 学 学 習 施 設			
	52室	42室	390室	0室 (補助職員 人)	0室 (補助職員 人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数		平成31年10月 専任教員1名を新規 採用のため(元)			
	理工学研究科 情報工学専攻(M)		18 -17		室			
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機 械 ・ 器 具 点	標 本 点	学部単位での特定不能 なため、大学全体の数 【図書及び視聴覚資 料】 新規購入による増加の ため(元) 【学術雑誌】 購入タイトル見直しに よる減少のため(元)
	理工学研究科 情報工学専攻 (M)	1,010,420 [283,424] +1,008,826 [-282,013]	16,459 [4,707] -16,462 [-4,704]	2,394 [2,393] -2,430 [-2,429]	3,151 -3,123	-	-	
		(1,010,420 [283,424]) (+1,008,826 [-282,013])	(16,459 [4,707]) -(16,462 [-4,704])	(2,394 [2,393]) (-2,430 [-2,429])	(3,151) (-3,123)	()	()	
	計	1,010,420 [283,424] +1,008,826 [-282,013]	16,459 [4,707] -16,462 [-4,704]	2,394 [2,393] -2,430 [-2,429]	3,151 -3,123	-	-	
		(1,010,420 [283,424]) (+1,008,826 [-282,013])	(16,459 [4,707]) -(16,462 [-4,704])	(2,394 [2,393]) (-2,430 [-2,429])	(3,151) (-3,123)	()	()	
(6) 図 書 館	面 積	閱 覧 座 席 数	収 納 可 能 冊 数	大学全体				
	11,986㎡	997	958,000					
(7) 体 育 館	面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要						
	3,160㎡	テニスコート7面 プール(25m×15m)1基				大学全体		
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円
	共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円	
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		千円	千円	千円	千円	千円	千円	
学生納付金以外の維持方法の概要								

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和元年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(元)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	茨城大学									備考
	既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	
	年	人	年次人	人		倍	年度	年度	年度	
人文社会科学部	4	360	-	1440	-	1.03	-	平成29	-	
現代社会学科	4	130	-	520	学士(現代社会学)	1.05	-	平成29	茨城県水戸市文京2-1-1	
法律経済学科	4	120	-	480	学士(社会科学)	1.04	-	平成29	同上	
人間文化学科	4	110	-	440	学士(人文科学)	1.03	-	平成29	同上	
人文学部	4	-	-	-	-	-	-	昭和42	同上	
人文コミュニケーション学科	4	-	-	-	学士(人文科学)	-	-	平成18	同上	平成29年度より学生募集停止
社会科学科	4	-	-	-	学士(社会科学)	-	-	昭和50	同上	平成29年度より学生募集停止
教育学部	4	275	-	1100	-	1.04	-	昭和24	-	
学校教育教員養成課程	4	240	-	960	学士(教育学)	1.04	-	平成8	茨城県水戸市文京2-1-1	
養護教諭養成課程	4	35	-	140	学士(教育学)	1.02	-	昭和50	同上	
情報文化課程	4	-	-	-	学士(教養)	-	-	平成元	同上	平成29年度より学生募集停止
人間環境教育課程	4	-	-	-	学士(教養)	-	-	平成11	同上	平成29年度より学生募集停止
理学部	4	205	3年次4	828	学士(理学)	1.05	-	昭和42	-	
理学科	4	205	3年次4	828	学士(理学)	1.05	-	平成17	茨城県水戸市文京2-1-1	
工学部	4	545	3年次20	2220	学士(工学)	1.02	-	昭和24	-	
機械システム工学科	4	130	3年次6	532	学士(工学)	1.03	-	平成30	茨城県日立市中成沢町4-12-1	
機械システム工学科(夜)	4	40	-	160	学士(工学)	1.01	-	平成30	同上	
電気電子システム工学科	4	125	3年次5	510	学士(工学)	1.02	-	平成30	同上	
物質科学工学科	4	110	3年次3	446	学士(工学)	1.00	-	平成30	同上	
情報工学科	4	80	3年次4	328	学士(工学)	1.02	-	平成30	同上	
都市システム工学科	4	60	3年次2	244	学士(工学)	1.09	-	平成30	同上	
機械工学科	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	平成2	同上	平成30年度より学生募集停止
生体分子機能工学科	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	平成17	同上	平成30年度より学生募集停止
マテリアル工学科	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	平成17	同上	平成30年度より学生募集停止
電気電子工学科	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	平成2	同上	平成30年度より学生募集停止
メディア通信工学科	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	平成8	同上	平成30年度より学生募集停止
知能システム工学科	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	平成17	同上	平成30年度より学生募集停止
知能システム工学科(B)	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	平成17	同上	平成30年度より学生募集停止
農学部	4	160	3年次10	660	学士(農学)	1.04	-	昭和27	-	
食生命科学科	4	80	3年次5	330	学士(農学)	1.03	-	平成29	茨城県福敷郡阿見町中央3-21-1	
地域総合農学科	4	80	3年次5	330	学士(農学)	1.06	-	平成29	同上	
生物生産科学科	4	-	-	-	学士(農学)	-	-	平成12	同上	平成29年度より学生募集停止

資源生物科学科	4	-	-	-	学士 (農学)	-	-	昭和62	同上	平成29年度より学生募集停止
地域環境科学科	4	-	-	-	学士 (農学)	-	-	平成12	同上	平成29年度より学生募集停止
大学全体 (学部)	4	1545	34	6248	-	1.04	-	-	-	
人文社会科学研究科	2	25	-	50	修士 (学術)	0.98	-	平成29	-	
文化科学専攻	2	13	-	26	修士 (学術)	0.80	-	平成21	茨城県水戸市文京2-1-1	
社会科学専攻	2	12	-	24	修士 (学術)	1.16	-	平成26	同上	
地域政策専攻	2	-	-	-	修士 (学術)	-	-	平成6	同上	平成26年度より学生募集停止
教育学研究科	2	52	-	104	-	0.99	-	昭和63	-	
障害児教育専攻	2	3	-	6	修士 (教育学)	1.16	-	昭和63	茨城県水戸市文京2-1-1	
教科教育専攻	2	22	-	44	修士 (教育学)	0.86	-	昭和63	同上	
養護教育専攻	2	3	-	6	修士 (教育学)	1.33	-	平成9	同上	
学校臨床心理専攻	2	9	-	18	修士 (教育学)	1.11	-	平成13	同上	
教育実践高度化専攻	2	15	-	30	教職修士 (専門職)	1.03	-	平成28	同上	
理工学研究科 (博士前期課程)	2	348	-	696	-	1.14	-	平成7	-	
量子線科学専攻	2	102	-	204	修士(理学) 修士(工学)	0.97	-	平成28	茨城県水戸市文京2-1-1 茨城県日立市中成沢町4-12-1	
理学専攻	2	45	-	90	修士 (理学)	1.13	-	平成21	茨城県水戸市文京2-1-1	
機械システム工学専攻	2	86	-	172	修士 (工学)	1.35	-	平成30	茨城県日立市中成沢町4-12-1	
電気電子システム工学専攻	2	58	-	116	修士 (工学)	1.09	-	平成30	同上	
情報工学専攻	2	30	-	60	修士 (工学)	1.26	-	平成30	同上	
都市システム工学専攻	2	27	-	54	修士 (工学)	1.18	-	平成30	同上	
機械工学専攻	2	-	-	-	修士 (工学)	-	-	平成7	同上	平成30年度より学生募集停止
電気電子工学専攻	2	-	-	-	修士 (工学)	-	-	平成7	同上	平成30年度より学生募集停止
メディア通信工学専攻	2	-	-	-	修士 (工学)	-	-	平成12	同上	平成30年度より学生募集停止
知能システム工学専攻	2	-	-	-	修士 (工学)	-	-	平成21	同上	平成30年度より学生募集停止
応用粒子線科学専攻	2	-	-	-	修士(理学) 修士(工学)	-	-	平成16	同上	平成28年度より学生募集停止
農学研究科	2	48	-	96	修士 (農学)	0.84	-	昭和45	-	
農学専攻	2	48	-	96	修士 (農学)	0.84	-	平成29	茨城県稲敷郡阿見町中央3-21-1	
生物生産科学専攻	2	-	-	-	修士 (農学)	-	-	平成16	同上	平成29年度より学生募集停止
資源生物科学専攻	2	-	-	-	修士 (農学)	-	-	平成3	同上	平成29年度より学生募集停止
地域環境科学専攻	2	-	-	-	修士 (農学)	-	-	平成16	同上	平成29年度より学生募集停止
大学全体 (大学院)	2	473	-	946	-	1.09	-	-	-	
理工学研究科 (博士後期課程)	3	38	-	114	博士(理学) 博士(工学) 博士(学術)	0.65	-	平成7	-	
量子線科学専攻	3	20	-	60	博士(理学) 博士(工学) 博士(学術)	0.56	-	平成28	茨城県水戸市文京2-1-1 茨城県日立市中成沢町4-12-1	
複雑系システム科学専攻	3	10	-	30	博士(理学) 博士(工学) 博士(学術)	0.83	-	平成28	同上	

社会インフラシステム科学専攻	3	8	-	24	博士(理学) 博士(工学) 博士(学術)	0.66	-	平成28	同上	
物質科学専攻	3	-	-	-	博士(理学) 博士(工学) 博士(学術)	-	-	平成7	茨城県日立市中成沢町4-12-1	平成28年度より学生募集停止
生産科学専攻	3	-	-	-	博士(理学) 博士(工学) 博士(学術)	-	-	平成7	同上	平成28年度より学生募集停止
情報・システム科学専攻	3	-	-	-	博士(理学) 博士(工学) 博士(学術)	-	-	平成7	同上	平成28年度より学生募集停止
宇宙地球システム科学専攻	3	-	-	-	博士(理学) 博士(工学) 博士(学術)	-	-	平成7	茨城県水戸市文京2-1-1	平成28年度より学生募集停止
環境機能科学専攻	3	-	-	-	博士(理学) 博士(工学) 博士(学術)	-	-	平成8	同上	平成28年度より学生募集停止
応用粒子線科学専攻	3	-	-	-	博士(理学) 博士(工学) 博士(学術)	-	-	平成16	茨城県日立市中成沢町4-12-1	平成28年度より学生募集停止
大学全体(大学院(博士))	3	38	-	114	-	0.65	-	-	-	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校種ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。
(専攻科及び別科を除く)。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めず。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」の考え方は「大学設置等に係る提出書類の作成の手引き(平成31年度改訂版)」と同じです。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<理工学研究科 情報工学専攻>

(1) -① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	上田 賀一 (56) <平成30年4月> 工学博士
		組込みソフトウェア工学 組込みシステム開発論 開発の安全/セキュリティ 組込みソフトウェア工学演習 情報産業インターンシップ エンタープライズソフトウェア工学 情報システム技術特論 情報処理技術論 情報工学特別研究Ⅰ 情報工学特別研究Ⅱ 情報工学特別研究Ⅲ 情報工学特別研究Ⅳ OFF-CLASS-PROJECT
専	教授	鎌田 賢 (55) <平成30年4月> 工学博士
		システム工学特論 情報システム技術特論 情報工学特別研究Ⅰ 情報工学特別研究Ⅱ 情報工学特別研究Ⅲ 情報工学特別研究Ⅳ OFF-CLASS-PROJECT
専	教授	羽瀨 裕真 (53) <平成30年4月> 博士(学術)
		学術情報リテラシー 通信方式特論 情報システム技術特論 情報工学特別研究Ⅰ 情報工学特別研究Ⅱ 情報工学特別研究Ⅲ 情報工学特別研究Ⅳ OFF-CLASS-PROJECT
専	教授	外岡 秀行 (47) <平成30年4月> 博士(工学)
		Web工学特論 情報システム技術特論 情報工学特別研究Ⅰ 情報工学特別研究Ⅱ 情報工学特別研究Ⅲ 情報工学特別研究Ⅳ OFF-CLASS-PROJECT
専	教授	黒澤 馨 (62) <平成30年4月> 工学博士
		情報セキュリティ特論 情報工学特別研究Ⅰ 情報工学特別研究Ⅱ 情報工学特別研究Ⅲ 情報工学特別研究Ⅳ OFF-CLASS-PROJECT

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	上田 賀一 (57) <平成30年4月> 工学博士
		組込みソフトウェア工学 組込みシステム開発論 開発の安全/セキュリティ 組込みソフトウェア工学演習 先端情報通信基礎特論 情報産業インターンシップ エンタープライズソフトウェア工学 情報システム技術特論 情報処理技術論 情報工学特別研究Ⅰ 情報工学特別研究Ⅱ 情報工学特別研究Ⅲ 情報工学特別研究Ⅳ OFF-CLASS-PROJECT
専	教授	鎌田 賢 (56) <平成30年4月> 工学博士
		システム工学特論 情報システム技術特論 情報工学特別研究Ⅰ 情報工学特別研究Ⅱ 情報工学特別研究Ⅲ 情報工学特別研究Ⅳ OFF-CLASS-PROJECT
専	教授	羽瀨 裕真 (54) <平成30年4月> 博士(学術)
		学術情報リテラシー 通信方式特論 情報システム技術特論 情報工学特別研究Ⅰ 情報工学特別研究Ⅱ 情報工学特別研究Ⅲ 情報工学特別研究Ⅳ OFF-CLASS-PROJECT
専	教授	外岡 秀行 (48) <平成30年4月> 博士(工学)
		Web工学特論 情報システム技術特論 情報工学特別研究Ⅰ 情報工学特別研究Ⅱ 情報工学特別研究Ⅲ 情報工学特別研究Ⅳ OFF-CLASS-PROJECT
専	教授	黒澤 馨 (63) <平成30年4月> 工学博士
		情報セキュリティ特論 情報工学特別研究Ⅰ 情報工学特別研究Ⅱ 情報工学特別研究Ⅲ 情報工学特別研究Ⅳ OFF-CLASS-PROJECT

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	上田 賀一 (58) <平成30年4月> 工学博士
		組込みソフトウェア工学 組込みシステム開発論 開発の安全/セキュリティ 組込みソフトウェア工学演習 先端情報通信基礎特論 情報産業インターンシップ エンタープライズソフトウェア工学 情報システム技術特論 情報処理技術論 情報工学特別研究Ⅰ 情報工学特別研究Ⅱ 情報工学特別研究Ⅲ 情報工学特別研究Ⅳ OFF-CLASS-PROJECT
専	教授	鎌田 賢 (57) <平成30年4月> 工学博士
		システム工学特論 情報システム技術特論 情報工学特別研究Ⅰ 情報工学特別研究Ⅱ 情報工学特別研究Ⅲ 情報工学特別研究Ⅳ OFF-CLASS-PROJECT
専	教授	羽瀨 裕真 (55) <平成30年4月> 博士(学術)
		学術情報リテラシー 通信方式特論 情報システム技術特論 情報工学特別研究Ⅰ 情報工学特別研究Ⅱ 情報工学特別研究Ⅲ 情報工学特別研究Ⅳ OFF-CLASS-PROJECT
専	教授	外岡 秀行 (49) <平成30年4月> 博士(工学)
		Web工学特論 情報システム技術特論 情報工学特別研究Ⅰ 情報工学特別研究Ⅱ 情報工学特別研究Ⅲ 情報工学特別研究Ⅳ OFF-CLASS-PROJECT
専	教授	黒澤 馨 (64) <平成30年4月> 工学博士
		情報セキュリティ特論 情報工学特別研究Ⅰ 情報工学特別研究Ⅱ 情報工学特別研究Ⅲ 情報工学特別研究Ⅳ OFF-CLASS-PROJECT

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	米倉 達広 (62) <平成30年4月> 博士(工学)
		ヒューマンインタフェース設計 ソフトウェアビジネスモデル論 情報処理技術論 情報工学特別研究Ⅰ 情報工学特別研究Ⅱ 情報工学特別研究Ⅲ 情報工学特別研究Ⅳ OFF-CLASS-PROJECT
専	教授	新納 浩幸 (55) <平成30年4月> 博士(工学)
		データマイニング特論 情報処理技術論 情報工学特別研究Ⅰ 情報工学特別研究Ⅱ 情報工学特別研究Ⅲ 情報工学特別研究Ⅳ OFF-CLASS-PROJECT
専	准教授	米山 一樹 (36) <平成30年4月> 博士(工学)
		ICTソリューション実践Ⅰ ICTソリューション実践Ⅱ 情報セキュリティ演習 情報システム技術特論 OFF-CLASS-PROJECT
専	准教授	山田 孝行 (56) <平成30年4月> 博士(工学)
		計算機知能特論Ⅰ 計算機知能特論Ⅱ 統計・情報数理科学 情報工学特別研究Ⅰ 情報工学特別研究Ⅱ 情報工学特別研究Ⅲ 情報工学特別研究Ⅳ OFF-CLASS-PROJECT
専	准教授	藤芳 明生 (45) <平成30年4月> 博士(理学)
		理論計算機科学特論 情報工学特別研究Ⅰ 情報工学特別研究Ⅱ 情報工学特別研究Ⅲ 情報工学特別研究Ⅳ OFF-CLASS-PROJECT
専	准教授	新任教員 () <平成30年4月>
		技術経営特論 OFF-CLASS-PROJECT
専	講師	岡田 信一郎 (47) <平成30年4月> 博士(工学)
		ICTソリューション実践Ⅰ ICTソリューション実践Ⅱ インフォメーションモデル論 デザインパターン演習 情報システム技術特論 OFF-CLASS-PROJECT

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	米倉 達広 (63) <平成30年4月> 博士(工学)
		ヒューマンインタフェース設計 ソフトウェアビジネスモデル論 情報処理技術論 情報工学特別研究Ⅰ 情報工学特別研究Ⅱ 情報工学特別研究Ⅲ 情報工学特別研究Ⅳ OFF-CLASS-PROJECT
専	教授	新納 浩幸 (56) <平成30年4月> 博士(工学)
		データマイニング特論 情報処理技術論 情報工学特別研究Ⅰ 情報工学特別研究Ⅱ 情報工学特別研究Ⅲ 情報工学特別研究Ⅳ OFF-CLASS-PROJECT
専	准教授	米山 一樹 (37) <平成30年4月> 博士(工学)
		ICTソリューション実践Ⅰ ICTソリューション実践Ⅱ 情報セキュリティ演習 情報システム技術特論 OFF-CLASS-PROJECT
専	准教授	山田 孝行 (57) <平成30年4月> 博士(工学)
		計算機知能特論Ⅰ 計算機知能特論Ⅱ 統計・情報数理科学 情報工学特別研究Ⅰ 情報工学特別研究Ⅱ 情報工学特別研究Ⅲ 情報工学特別研究Ⅳ OFF-CLASS-PROJECT
専	准教授	藤芳 明生 (46) <平成30年4月> 博士(理学)
		理論計算機科学特論 情報工学特別研究Ⅰ 情報工学特別研究Ⅱ 情報工学特別研究Ⅲ 情報工学特別研究Ⅳ OFF-CLASS-PROJECT
専	講師	原口 春海 (51) <平成30年4月> 博士(工学)
		技術経営特論 ICTソリューション実践Ⅰ ICTソリューション実践Ⅱ OFF-CLASS-PROJECT
専	講師	岡田 信一郎 (48) <平成30年4月> 博士(工学)
		ICTソリューション実践Ⅰ ICTソリューション実践Ⅱ インフォメーションモデル論 デザインパターン演習 情報システム技術特論 OFF-CLASS-PROJECT

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	米倉 達広 (64) <平成30年4月> 博士(工学)
		ヒューマンインタフェース設計 ソフトウェアビジネスモデル論 情報処理技術論 情報工学特別研究Ⅰ 情報工学特別研究Ⅱ 情報工学特別研究Ⅲ 情報工学特別研究Ⅳ OFF-CLASS-PROJECT
専	教授	新納 浩幸 (57) <平成30年4月> 博士(工学)
		データマイニング特論 情報処理技術論 情報工学特別研究Ⅰ 情報工学特別研究Ⅱ 情報工学特別研究Ⅲ 情報工学特別研究Ⅳ OFF-CLASS-PROJECT
専	准教授	米山 一樹 (38) <平成30年4月> 博士(工学)
		ICTソリューション実践Ⅰ ICTソリューション実践Ⅱ 情報セキュリティ演習 情報システム技術特論 OFF-CLASS-PROJECT
専	准教授	山田 孝行 (58) <平成30年4月> 博士(工学)
		計算機知能特論Ⅰ 計算機知能特論Ⅱ 統計・情報数理科学 情報工学特別研究Ⅰ 情報工学特別研究Ⅱ 情報工学特別研究Ⅲ 情報工学特別研究Ⅳ OFF-CLASS-PROJECT
専	准教授	藤芳 明生 (47) <平成30年4月> 博士(理学)
		理論計算機科学特論 情報工学特別研究Ⅰ 情報工学特別研究Ⅱ 情報工学特別研究Ⅲ 情報工学特別研究Ⅳ OFF-CLASS-PROJECT
専	講師	原口 春海 (52) <平成30年4月> 博士(工学)
		技術経営特論 ICTソリューション実践Ⅰ ICTソリューション実践Ⅱ OFF-CLASS-PROJECT
専	講師	岡田 信一郎 (49) <平成30年4月> 博士(工学)
		ICTソリューション実践Ⅰ ICTソリューション実践Ⅱ インフォメーションモデル論 デザインパターン演習 情報システム技術特論 OFF-CLASS-PROJECT

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	講師	古宮 嘉那子 (34) <平成30年4月> 博士(工学) ICTソリューション実践 I ICTソリューション実践 II 知識情報処理演習 統計・情報数理学 OFF-CLASS-PROJECT
専	講師	佐々木 稔 (43) <平成30年4月> 博士(工学) ICTソリューション実践 I ICTソリューション実践 II 情報メディア応用演習 統計・情報数理学 OFF-CLASS-PROJECT
専	講師	芝軒 太郎 (31) <平成30年4月> 博士(工学) 生体情報計測演習 ICTソリューション実践 I ICTソリューション実践 II 統計・情報数理学 OFF-CLASS-PROJECT
専	講師	石田 智行 (35) <平成30年4月> 博士(ソフトウェア情報学) ICTソリューション実践 I ICTソリューション実践 II バーチャルデザイン演習 OFF-CLASS-PROJECT
専	助教	高橋 竜一 (32) <平成30年4月> 博士(工学) 情報システムモデル論 ICTソリューション実践 I ICTソリューション実践 II OFF-CLASS-PROJECT
専	助教	小澤 佑介 (33) <平成30年4月> 博士(工学) 情報ネットワーク論 ICTソリューション実践 I ICTソリューション実践 II OFF-CLASS-PROJECT
専	助教	新任教員 () <平成31年4月> ICTソリューション実践 I ICTソリューション実践 II OFF-CLASS-PROJECT
兼任	教授	武田 茂樹 (43) <平成30年4月> 博士(工学) LSI設計・開発技術特論 LSI設計・開発技術演習

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	講師	古宮 嘉那子 (35) <平成30年4月> 博士(工学) ICTソリューション実践 I ICTソリューション実践 II 知識情報処理演習 統計・情報数理学 OFF-CLASS-PROJECT
専	講師	佐々木 稔 (44) <平成30年4月> 博士(工学) ICTソリューション実践 I ICTソリューション実践 II 情報メディア応用演習 統計・情報数理学 OFF-CLASS-PROJECT
専	講師	芝軒 太郎 (32) <平成30年4月> 博士(工学) 生体情報計測演習 ICTソリューション実践 I ICTソリューション実践 II 統計・情報数理学 OFF-CLASS-PROJECT
専	助教	高橋 竜一 (33) <平成30年4月> 博士(工学) 情報システムモデル論 ICTソリューション実践 I ICTソリューション実践 II OFF-CLASS-PROJECT
専	助教	小澤 佑介 (34) <平成30年4月> 博士(工学) 情報ネットワーク論 ICTソリューション実践 I ICTソリューション実践 II OFF-CLASS-PROJECT
兼任	教授	武田 茂樹 (44) <平成30年4月> 博士(工学) LSI設計・開発技術特論 LSI設計・開発技術演習

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	講師	古宮 嘉那子 (36) <平成30年4月> 博士(工学) ICTソリューション実践 I ICTソリューション実践 II 知識情報処理演習 統計・情報数理学 OFF-CLASS-PROJECT
専	講師	佐々木 稔 (45) <平成30年4月> 博士(工学) ICTソリューション実践 I ICTソリューション実践 II 情報メディア応用演習 統計・情報数理学 OFF-CLASS-PROJECT
専	講師	芝軒 太郎 (33) <平成30年4月> 博士(工学) 生体情報計測演習 ICTソリューション実践 I ICTソリューション実践 II 統計・情報数理学 OFF-CLASS-PROJECT
専	助教	高橋 竜一 (34) <平成30年4月> 博士(工学) 情報システムモデル論 ICTソリューション実践 I ICTソリューション実践 II OFF-CLASS-PROJECT
専	助教	小澤 佑介 (35) <平成30年4月> 博士(工学) 情報ネットワーク論 ICTソリューション実践 I ICTソリューション実践 II OFF-CLASS-PROJECT
専	准教授	笹井 一人 (39) <平成31年4月> 博士(理学) ICTソリューション実践 I ICTソリューション実践 II 情報工学特別研究 I 情報工学特別研究 II 情報工学特別研究 III 情報工学特別研究 IV OFF-CLASS-PROJECT
兼任	教授	武田 茂樹 (45) <平成30年4月> 博士(工学) LSI設計・開発技術特論 LSI設計・開発技術演習

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
兼任	准教授	大瀧 保広 (50) ＜平成30年4月＞ 博士(工学)
		ネットワークプログラム設計 エンタープライズソフトウェア工学演習 情報システム技術特論 情報処理技術論 情報工学特別研究Ⅰ 情報工学特別研究Ⅱ 情報工学特別研究Ⅲ 情報工学特別研究Ⅳ OFF-CLASS-PROJECT
兼任	助教	小花 聖輝 (32) ＜平成30年4月＞ 博士(理工学)
		データ解析論 ICTソリューション実践Ⅰ ICTソリューション実践Ⅱ 数理分析・ビッグデータ戦略演習
兼任	教授	岡 裕和 (52) ＜平成30年4月＞ 博士(理学)
		応用数学特論
兼任	教授	平澤 剛 (46) ＜平成30年4月＞ 博士(理学)
		解析学特論
兼任	教授	立花 章 (59) ＜平成30年4月＞ 理学博士
		連携ネット共通講座Ⅰ 連携ネット共通講座Ⅱ
兼任	教授	関東 康祐 (59) ＜平成30年4月＞ 工学博士
		連携ネット共通講座Ⅰ
兼任	教授	大山 研司 (55) ＜平成30年4月＞ 博士(理学)
		量子ビーム応用解析
兼任	教授	久保田 俊夫 (63) ＜平成30年4月＞ 工学博士
		量子ビーム応用解析
兼任	教授	小泉 智 (52) ＜平成30年4月＞ 博士(工学)
		量子ビーム応用解析

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
兼任	准教授	大瀧 保広 (51) ＜平成30年4月＞ 博士(工学)
		ネットワークプログラム設計 エンタープライズソフトウェア工学演習 情報システム技術特論 情報処理技術論 情報工学特別研究Ⅰ 情報工学特別研究Ⅱ 情報工学特別研究Ⅲ 情報工学特別研究Ⅳ OFF-CLASS-PROJECT
兼任	助教	小花 聖輝 (33) ＜平成30年4月＞ 博士(理工学)
		データ解析論 ICTソリューション実践Ⅰ ICTソリューション実践Ⅱ 数理分析・ビッグデータ戦略演習
兼任	教授	岡 裕和 (53) ＜平成30年4月＞ 博士(理学)
		応用数学特論
兼任	教授	平澤 剛 (47) ＜平成30年4月＞ 博士(理学)
		解析学特論
兼任	教授	立花 章 (60) ＜平成30年4月＞ 理学博士
		連携ネット共通講座Ⅰ 連携ネット共通講座Ⅱ
兼任	教授	関東 康祐 (60) ＜平成30年4月＞ 工学博士
		連携ネット共通講座Ⅰ
兼任	教授	大山 研司 (56) ＜平成30年4月＞ 博士(理学)
		量子ビーム応用解析
兼任	教授	久保田 俊夫 (64) ＜平成30年4月＞ 工学博士
		量子ビーム応用解析
兼任	教授	小泉 智 (53) ＜平成30年4月＞ 博士(工学)
		量子ビーム応用解析

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
兼任	准教授	大瀧 保広 (52) ＜平成30年4月＞ 博士(工学)
		ネットワークプログラム設計 エンタープライズソフトウェア工学演習 情報システム技術特論 情報処理技術論 情報工学特別研究Ⅰ 情報工学特別研究Ⅱ 情報工学特別研究Ⅲ 情報工学特別研究Ⅳ OFF-CLASS-PROJECT
兼任	助教	小花 聖輝 (34) ＜平成30年4月＞ 博士(理工学)
		データ解析論 ICTソリューション実践Ⅰ ICTソリューション実践Ⅱ 数理分析・ビッグデータ戦略演習
兼任	教授	岡 裕和 (54) ＜平成30年4月＞ 博士(理学)
		応用数学特論
兼任	教授	平澤 剛 (48) ＜平成30年4月＞ 博士(理学)
		解析学特論
兼任	教授	立花 章 (61) ＜平成30年4月＞ 理学博士
		連携ネット共通講座Ⅰ 連携ネット共通講座Ⅱ
兼任	教授	関東 康祐 (61) ＜平成30年4月＞ 工学博士
		原子科学と倫理 連携ネット共通講座Ⅰ
兼任	教授	大山 研司 (57) ＜平成30年4月＞ 博士(理学)
		量子ビーム応用解析
兼任	教授	久保田 俊夫 (65) ＜平成30年4月＞ 工学博士
		量子ビーム応用解析
兼任	教授	小泉 智 (54) ＜平成30年4月＞ 博士(工学)
		量子ビーム応用解析

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	村上 雄太郎 (61) <平成30年4月> 文学博士
		科学技術日本語特論
兼任	教授	高妻 孝光 (56) <平成30年4月> 学術博士
		社会における科学技術
兼任	教授	湊 淳 (55) <平成30年4月> 博士(工学)
		環境情報センシング特論
兼任	教授	横木 裕宗 (51) <平成30年4月> 博士(工学)
		地球環境システム論 I

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	金 幸夫 (56) <平成30年4月> 理学博士
		量子ビーム応用解析
兼任	教授	田中 伊知朗 (52) <平成30年4月> 博士(理学)
		量子ビーム応用解析
兼任	教授	村上 雄太郎 (62) <平成30年4月> 文学博士
		科学技術日本語特論
兼任	教授	高妻 孝光 (57) <平成30年4月> 学術博士
		社会における科学技術
兼任	教授	島影 尚 (54) <平成30年4月> 工学博士
		先端科学トピックス I
兼任	教授	大友 李哉 (52) <平成30年4月> 博士(工学)
		先端科学トピックス I
兼任	教授	奥 隆之 (48) <平成30年4月> 博士(工学)
		先端科学トピックス I
兼任	教授	日時 直人 (55) <平成30年4月> 理学博士
		先端科学トピックス I
兼任	教授	永目 諭一郎 (64) <平成30年4月> 理学博士
		先端科学トピックス I
兼任	教授	湊 淳 (56) <平成30年4月> 博士(工学)
		環境情報センシング特論
兼任	教授	横木 裕宗 (52) <平成30年4月> 博士(工学)
		地球環境システム論 I

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	金 幸夫 (57) <平成30年4月> 理学博士
		量子ビーム応用解析
兼任	教授	田中 伊知朗 (53) <平成30年4月> 博士(理学)
		量子ビーム応用解析
兼任	教授	村上 雄太郎 (63) <平成30年4月> 文学博士
		科学技術日本語特論
兼任	教授	高妻 孝光 (58) <平成30年4月> 学術博士
		社会における科学技術
兼任	教授	島影 尚 (55) <平成30年4月> 工学博士
		先端科学トピックス I
兼任	教授	大友 李哉 (53) <平成30年4月> 博士(工学)
		先端科学トピックス I
兼任	教授	奥 隆之 (49) <平成30年4月> 博士(工学)
		先端科学トピックス I
兼任	教授	日時 直人 (56) <平成30年4月> 理学博士
		先端科学トピックス I
兼任	教授	永目 諭一郎 (65) <平成30年4月> 理学博士
		先端科学トピックス I
兼任	教授	湊 淳 (57) <平成30年4月> 博士(工学)
		環境情報センシング特論
兼任	教授	横木 裕宗 (53) <平成30年4月> 博士(工学)
		地球環境システム論 I

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
兼任	教授	梅比良 正弘 (61) ＜平成30年4月＞ 博士(工学)
		知的所有権特論
兼任	教授	伊藤 哲司 (52) ＜平成30年4月＞ 博士(心理学)
		人間システム基礎論Ⅰ
兼任	教授	蓮井 誠一郎 (45) ＜平成30年4月＞ 修士(国際学)
		持続社会システム論Ⅱ
兼任	教授	阿部 信一郎 (50) ＜平成30年4月＞ 博士(水産学)
		地球環境システム論Ⅱ
兼任	教授	伊藤 孝 (52) ＜平成30年4月＞ 博士(理学)
		研究と教育—知の往還をめぐって—
兼任	教授	小林 英美 (49) ＜平成30年4月＞ 学術博士
		研究と教育—知の往還をめぐって—
兼任	教授	上地 勝 (47) ＜平成30年4月＞ 博士(医学)
		人間システム基礎論Ⅱ
兼任	教授	増子 和男 (63) ＜平成30年4月＞ 文学修士
		研究と教育—知の往還をめぐって—
兼任	教授	岡田 誠 (52) ＜平成30年4月＞ 博士(理学)
		地球環境システム論Ⅱ
兼任	教授	北 和之 (53) ＜平成30年4月＞ 理学博士
		地球環境システム論Ⅰ

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
兼任	教授	梅比良 正弘 (62) ＜平成30年4月＞ 博士(工学)
		知的所有権特論
兼任	教授	伊藤 哲司 (53) ＜平成30年4月＞ 博士(心理学)
		人間システム基礎論Ⅰ
兼任	教授	蓮井 誠一郎 (46) ＜平成30年4月＞ 修士(国際学)
		持続社会システム論Ⅱ
兼任	教授	阿部 信一郎 (51) ＜平成30年4月＞ 博士(水産学)
		人間システム基礎論Ⅱ 研究と教育—知の往還をめぐって—
兼任	教授	小林 英美 (50) ＜平成30年4月＞ 学術博士
		研究と教育—知の往還をめぐって—
兼任	教授	上地 勝 (48) ＜平成30年4月＞ 博士(医学)
		人間システム基礎論Ⅱ
兼任	教授	増子 和男 (64) ＜平成30年4月＞ 文学修士
		研究と教育—知の往還をめぐって—
兼任	教授	岡田 誠 (53) ＜平成30年4月＞ 博士(理学)
		地球環境システム論Ⅱ
兼任	教授	北 和之 (54) ＜平成30年4月＞ 理学博士
		地球環境システム論Ⅰ

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
兼任	教授	梅比良 正弘 (63) ＜平成30年4月＞ 博士(工学)
		知的所有権特論
兼任	教授	伊藤 哲司 (54) ＜平成30年4月＞ 博士(心理学)
		人間システム基礎論Ⅰ
兼任	教授	蓮井 誠一郎 (47) ＜平成30年4月＞ 修士(国際学)
		持続社会システム論Ⅱ
兼任	教授	阿部 信一郎 (52) ＜平成30年4月＞ 博士(水産学)
		人間システム基礎論Ⅱ 研究と教育—知の往還をめぐって—
兼任	教授	小林 英美 (51) ＜平成30年4月＞ 学術博士
		研究と教育—知の往還をめぐって—
兼任	教授	上地 勝 (48) ＜平成30年4月＞ 博士(医学)
		人間システム基礎論Ⅱ
兼任	准教授	宮崎 尚子 (44) ＜平成31年4月＞ 修士(文学)
		研究と教育—知の往還をめぐって—
兼任	教授	岡田 誠 (54) ＜平成30年4月＞ 博士(理学)
		地球環境システム論Ⅱ
兼任	教授	北 和之 (55) ＜平成30年4月＞ 理学博士
		地球環境システム論Ⅰ

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
兼任	教授	山村 靖夫 (62) ＜平成30年4月＞ 理学博士
		地球環境システム論Ⅱ
兼任	教授	安西 弘行 (60) ＜平成30年4月＞ 農学博士
		バイオテクノロジーと社会
兼任	教授	井上 栄一 (49) ＜平成30年4月＞ 博士(農学)
		食料の安定生産と農学
兼任	教授	久保山 勉 (52) ＜平成30年4月＞ 博士(農学)
		食料の安定生産と農学
兼任	教授	黒田 久雄 (55) ＜平成30年4月＞ 博士(農学)
		霞ヶ浦環境科学概論
兼任	教授	小松崎 将一 (52) ＜平成30年4月＞ 農学博士
		地域サステナビリティ農学概論
兼任	教授	成澤 才彦 (53) ＜平成30年4月＞ 博士(農学)
		地域サステナビリティ農学概論
兼任	教授	中川 光弘 (62) ＜平成30年4月＞ 博士(農学)
		持続社会システム論Ⅰ
兼任	教授	新田 洋司 (53) ＜平成30年4月＞
		食料の安定生産と農学
兼任	准教授	松村 邦仁 (48) ＜平成30年4月＞ 博士(工学)
		連携ネット共通講座Ⅱ
兼任	准教授	細川 卓也 (41) ＜平成30年4月＞ 博士(理学)
		応用解析特論

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
兼任	教授	山村 靖夫 (63) ＜平成30年4月＞ 理学博士
		地球環境システム論Ⅱ
兼任	教授	安西 弘行 (61) ＜平成30年4月＞ 農学博士
		バイオテクノロジーと社会
兼任	教授	井上 栄一 (50) ＜平成30年4月＞ 博士(農学)
		食料の安定生産と農学
兼任	教授	久保山 勉 (53) ＜平成30年4月＞ 博士(農学)
		食料の安定生産と農学
兼任	教授	黒田 久雄 (56) ＜平成30年4月＞ 博士(農学)
		霞ヶ浦環境科学概論
兼任	教授	小松崎 将一 (53) ＜平成30年4月＞ 農学博士
		地域サステナビリティ農学概論
兼任	教授	成澤 才彦 (54) ＜平成30年4月＞ 博士(農学)
		地域サステナビリティ農学概論
兼任	教授	中川 光弘 (63) ＜平成30年4月＞ 博士(農学)
		持続社会システム論Ⅰ
兼任	准教授	松村 邦仁 (49) ＜平成30年4月＞ 博士(工学)
		連携ネット共通講座Ⅱ
兼任	准教授	細川 卓也 (42) ＜平成30年4月＞ 博士(理学)
		応用解析特論

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
兼任	教授	山村 靖夫 (64) ＜平成30年4月＞ 理学博士
		地球環境システム論Ⅱ
兼任	教授	安西 弘行 (62) ＜平成30年4月＞ 農学博士
		バイオテクノロジーと社会
兼任	教授	井上 栄一 (51) ＜平成30年4月＞ 博士(農学)
		食料の安定生産と農学
兼任	教授	久保山 勉 (54) ＜平成30年4月＞ 博士(農学)
		食料の安定生産と農学
兼任	教授	黒田 久雄 (57) ＜平成30年4月＞ 博士(農学)
		霞ヶ浦環境科学概論
兼任	教授	小松崎 将一 (54) ＜平成30年4月＞ 農学博士
		地域サステナビリティ農学概論
兼任	教授	成澤 才彦 (55) ＜平成30年4月＞ 博士(農学)
		地域サステナビリティ農学概論
兼任	教授	中川 光弘 (64) ＜平成30年4月＞ 博士(農学)
		持続社会システム論Ⅰ
兼任	准教授	松村 邦仁 (50) ＜平成30年4月＞ 博士(工学)
		連携ネット共通講座Ⅱ
兼任	准教授	細川 卓也 (43) ＜平成30年4月＞ 博士(理学)
		応用解析特論

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	准教授	藤田 昌史 (44) <平成30年4月> 博士(工学)
		霞ヶ浦環境科学概論
兼任	准教授	塚原 伸治 (33) <平成30年4月> 博士(文学)
		人間システム基礎論Ⅰ
兼任	准教授	長田 華子 (34) <平成30年4月> 博士(社会科学)
		人間システム基礎論Ⅰ
兼任	准教授	富江 直子 (43) <平成30年4月> 博士(社会学)
		人間システム基礎論Ⅰ
兼任	准教授	関 友作 (52) <平成30年4月> 博士(学術)
		人間システム基礎論Ⅱ
兼任	准教授	中嶋 哲也 (34) <平成30年4月> 博士(スポーツ科学)
		研究と教育—知の往還をめぐって—

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	准教授	飯沼 裕美 (46) <平成30年4月> 博士(理学)
		量子ビーム応用解析
兼任	准教授	庄村 康人 (42) <平成30年4月> 博士(理学)
		量子ビーム応用解析
兼任	准教授	藤田 昌史 (45) <平成30年4月> 博士(工学)
		霞ヶ浦環境科学概論
兼任	准教授	田嶋 美砂子 (45) <平成30年4月> 博士(教育学)
		国際コミュニケーション基礎A 国際コミュニケーション基礎B 実践国際コミュニケーションA 実践国際コミュニケーションB
兼任	准教授	寺地 幹人 (35) <平成30年4月> 修士(学術)
		人間システム基礎論Ⅰ
兼任	准教授	塚原 伸治 (34) <平成30年4月> 博士(文学)
		人間システム基礎論Ⅰ
兼任	准教授	富江 直子 (44) <平成30年4月> 博士(社会学)
		人間システム基礎論Ⅰ
兼任	准教授	関 友作 (53) <平成30年4月> 博士(学術)
		人間システム基礎論Ⅱ
兼任	准教授	中嶋 哲也 (35) <平成30年4月> 博士(スポーツ科学)
		研究と教育—知の往還をめぐって—

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	准教授	飯沼 裕美 (47) <平成30年4月> 博士(理学)
		量子ビーム応用解析
兼任	准教授	庄村 康人 (43) <平成30年4月> 博士(理学)
		量子ビーム応用解析
兼任	准教授	藤田 昌史 (46) <平成30年4月> 博士(工学)
		霞ヶ浦環境科学概論
兼任	准教授	田嶋 美砂子 (46) <平成30年4月> 博士(教育学)
		国際コミュニケーション基礎A 国際コミュニケーション基礎B 実践国際コミュニケーションA 実践国際コミュニケーションB
兼任	准教授	寺地 幹人 (36) <平成30年4月> 修士(学術)
		人間システム基礎論Ⅰ
兼任	准教授	塚原 伸治 (35) <平成30年4月> 博士(文学)
		人間システム基礎論Ⅰ
兼任	准教授	長田 華子 (36) <平成30年4月> 博士(社会科学)
		人間システム基礎論Ⅰ
兼任	准教授	関 友作 (54) <平成30年4月> 博士(学術)
		人間システム基礎論Ⅱ
兼任	准教授	中嶋 哲也 (36) <平成30年4月> 博士(スポーツ科学)
		研究と教育—知の往還をめぐって—

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
兼任	准教授	片口 直樹 (39) ＜平成30年4月＞ 修士(芸術)
		研究と教育—知の往還をめぐる—
兼任	准教授	吉田 貢士 (42) ＜平成30年4月＞ 博士(農学)
		霞ヶ浦環境科学概論
兼任	准教授	中島 雅己 (49) ＜平成30年4月＞ 博士(農学)
		食料の安定生産と農学
兼任	准教授	北嶋 康樹 (48) ＜平成30年4月＞ 博士(農学)
		食料の安定生産と農学
兼任	准教授	中里 亮治 (49) ＜平成30年4月＞ 博士(理学)
		霞ヶ浦環境科学概論
兼任	准教授	田村 誠 (40) ＜平成30年4月＞ 博士(学術)
		持続社会システム論Ⅱ
兼任	講師	伊多波 正徳 (48) ＜平成30年4月＞ 博士(工学)
		計算機応用特論A 計算機応用特論B
兼任	助教	阿部 敏一 (30) ＜平成30年4月＞ 博士(理学)
		数理工学特論
兼任	助教	古谷 綾子 (40) ＜平成30年4月＞ 博士(農学)
		バイオテクノロジーと社会
兼任	講師	高木 有美 (44) ＜平成30年4月＞ Ph. D. (English)
		国際コミュニケーション演習A 国際コミュニケーション演習C

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
兼任	准教授	片口 直樹 (40) ＜平成30年4月＞ 修士(芸術)
		研究と教育—知の往還をめぐる—
兼任	准教授	吉田 貢士 (43) ＜平成30年4月＞ 博士(農学)
		霞ヶ浦環境科学概論
兼任	准教授	中島 雅己 (50) ＜平成30年4月＞ 博士(農学)
		食料の安定生産と農学
兼任	准教授	北嶋 康樹 (49) ＜平成30年4月＞ 博士(農学)
		食料の安定生産と農学
兼任	准教授	中里 亮治 (50) ＜平成30年4月＞ 博士(理学)
		霞ヶ浦環境科学概論
兼任	准教授	田村 誠 (41) ＜平成30年4月＞ 博士(学術)
		持続社会システム論Ⅱ
兼任	講師	伊多波 正徳 (49) ＜平成30年4月＞ 博士(工学)
		計算機応用特論A 計算機応用特論B
兼任	助教	阿部 敏一 (31) ＜平成30年4月＞ 博士(理学)
		数理工学特論
兼任	助教	古谷 綾子 (41) ＜平成30年4月＞ 博士(農学)
		バイオテクノロジーと社会
兼任	講師	高木 有美 (45) ＜平成30年4月＞ Ph. D. (English)
		国際コミュニケーション演習A 国際コミュニケーション演習C

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
兼任	准教授	片口 直樹 (41) ＜平成30年4月＞ 修士(芸術)
		研究と教育—知の往還をめぐる—
兼任	准教授	吉田 貢士 (44) ＜平成30年4月＞ 博士(農学)
		霞ヶ浦環境科学概論
兼任	准教授	中島 雅己 (51) ＜平成30年4月＞ 博士(農学)
		食料の安定生産と農学
兼任	准教授	北嶋 康樹 (50) ＜平成30年4月＞ 博士(農学)
		食料の安定生産と農学
兼任	准教授	中里 亮治 (51) ＜平成30年4月＞ 博士(理学)
		霞ヶ浦環境科学概論
兼任	准教授	田村 誠 (42) ＜平成30年4月＞ 博士(学術)
		持続社会システム論Ⅱ
兼任	准教授	伊多波 正徳 (50) ＜平成30年4月＞ 博士(工学)
		計算機応用特論A 計算機応用特論B
兼任	助教	阿部 敏一 (32) ＜平成30年4月＞ 博士(理学)
		数理工学特論
兼任	助教	古谷 綾子 (42) ＜平成30年4月＞ 博士(農学)
		バイオテクノロジーと社会
兼任	講師	高木 有美 (46) ＜平成30年4月＞ Ph. D. (English)
		国際コミュニケーション演習A 国際コミュニケーション演習C

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
兼任 講師		岩重 理香 (53) ＜平成30年4月＞ 修士(文学)
		国際コミュニケーション演習B 国際コミュニケーション演習D
兼任 講師		鬼澤 慎人 (54) ＜平成30年4月＞
		組織運営とリーダーシップ
兼任 講師		林 真理 (54) ＜平成30年4月＞
		科学史 現代科学における倫理
兼任 講師		小泉 忍 (60) ＜平成30年4月＞ 工学修士
		組込みシステム開発特論
兼任 講師		壁谷 彰慶 (41) ＜平成30年4月＞ 博士(文学)
		研究者倫理
兼任 講師		村中 均 (40) ＜平成30年4月＞ 博士(学術)
		企業戦略特講 マーケティング戦略特論
兼任 講師		伊藤 篤 (57) ＜平成30年4月＞
		開発の安全/セキュリティ 組込みソフトウェア工学演習 ソフトウェア概論
兼任 講師		小泉 忍 (60) ＜平成30年4月＞ 工学修士
		リアルタイム組込みシステム開 発論 リアルタイムプログラミングと RTOS
兼任 講師		大野 克己 (55) ＜平成30年4月＞ 経済学士
		ソフトウェアビジネスモデル開 発演習
兼任 講師		長谷川 光司 (50) ＜平成30年4月＞
		経営工学エッセンシャル特論

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
兼任 講師		岩重 理香 (54) ＜平成30年4月＞ 修士(文学)
		国際コミュニケーション演習B 国際コミュニケーション演習D
兼任 講師		鬼澤 慎人 (55) ＜平成30年4月＞
		組織運営とリーダーシップ
兼任 講師		林 真理 (55) ＜平成30年4月＞
		科学史 現代科学における倫理
兼任 講師		小泉 忍 (61) ＜平成30年4月＞ 工学修士
		組込みシステム開発特論
兼任 講師		壁谷 彰慶 (42) ＜平成30年4月＞ 博士(文学)
		研究者倫理
兼任 講師		村中 均 (41) ＜平成30年4月＞ 博士(学術)
		企業戦略特講 マーケティング戦略特論
兼任 講師		伊藤 篤 (58) ＜平成30年4月＞
		開発の安全/セキュリティ 組込みソフトウェア工学演習 ソフトウェア概論
兼任 講師		小泉 忍 (61) ＜平成30年4月＞ 工学修士
		リアルタイム組込みシステム開 発論 リアルタイムプログラミングと RTOS
兼任 講師		大野 克己 (56) ＜平成30年4月＞ 経済学士
		ソフトウェアビジネスモデル開 発演習
兼任 講師		長谷川 光司 (51) ＜平成30年4月＞
		経営工学エッセンシャル特論

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
兼任 講師		岩重 理香 (55) ＜平成30年4月＞ 修士(文学)
		国際コミュニケーション演習B 国際コミュニケーション演習D
兼任 講師		鬼澤 慎人 (55) ＜平成30年4月＞
		組織運営とリーダーシップ
兼任 講師		林 真理 (55) ＜平成30年4月＞
		科学史 現代科学における倫理
兼任 講師		小泉 忍 (62) ＜平成30年4月＞ 工学修士
		組込みシステム開発特論
兼任 講師		壁谷 彰慶 (43) ＜平成30年4月＞ 博士(文学)
		研究者倫理
兼任 講師		村中 均 (42) ＜平成30年4月＞ 博士(学術)
		企業戦略特講 マーケティング戦略特論
兼任 講師		伊藤 篤 (58) ＜平成30年4月＞
		開発の安全/セキュリティ 組込みソフトウェア工学演習 ソフトウェア概論
兼任 講師		小泉 忍 (62) ＜平成30年4月＞ 工学修士
		リアルタイム組込みシステム開 発論 リアルタイムプログラミングと RTOS
兼任 講師		大野 克己 (57) ＜平成30年4月＞ 経済学士
		ソフトウェアビジネスモデル開 発演習
兼任 講師		長谷川 光司 (51) ＜平成30年4月＞
		経営工学エッセンシャル特論

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
兼任	講師	立川 雅司 (55) ＜平成30年4月＞ バイオテクノロジーと社会
兼任	講師	大場 恭子 (44) ＜平成30年4月＞ 原子科学と倫理
兼任	講師	小田 康裕 (43) ＜平成30年4月＞ 知的所有権特論
兼任	講師	菊池 賢司 (66) ＜平成30年4月＞ 工学博士 原子科学と倫理
兼任	講師	豊田 義元 (47) ＜平成30年4月＞ 修士(電気通信学) 知的所有権特論
兼任	講師	中江 延男 (67) ＜平成30年4月＞ 工学博士 原子科学と倫理
兼任	講師	藤井 芳昭 (58) ＜平成30年4月＞ 理学博士 原子科学と倫理
兼任	講師	望月 弘保 (68) ＜平成30年4月＞ 原子科学と倫理

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
兼任	講師	石田 智行 (36) ＜平成30年4月＞ 博士(ソフトウェア情報学) バーチャルデザイン演習
兼任	講師	大島 正弘 (61) ＜平成30年4月＞ バイオテクノロジーと社会
兼任	講師	大場 恭子 (45) ＜平成30年4月＞ 原子科学と倫理
兼任	講師	小田 康裕 (44) ＜平成30年4月＞ 知的所有権特論
兼任	講師	菊池 賢司 (67) ＜平成30年4月＞ 工学博士 原子科学と倫理
兼任	講師	高橋 梢 (40) ＜平成30年4月＞ 持続社会システム論Ⅰ
兼任	講師	豊田 義元 (48) ＜平成30年4月＞ 修士(電気通信学) 知的所有権特論
兼任	講師	中江 延男 (68) ＜平成30年4月＞ 工学博士 原子科学と倫理
兼任	講師	藤井 芳昭 (59) ＜平成30年4月＞ 理学博士 原子科学と倫理
兼任	講師	望月 弘保 (69) ＜平成30年4月＞ 原子科学と倫理

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
兼任	講師	石田 智行 (37) ＜平成30年4月＞ 博士(ソフトウェア情報学) バーチャルデザイン演習
兼任	講師	大島 正弘 (62) ＜平成30年4月＞ バイオテクノロジーと社会
兼任	講師	大場 恭子 (46) ＜平成30年4月＞ 原子科学と倫理
兼任	講師	小田 康裕 (45) ＜平成30年4月＞ 知的所有権特論
兼任	講師	菊池 賢司 (68) ＜平成30年4月＞ 工学博士 原子科学と倫理
兼任	講師	高橋 梢 (41) ＜平成30年4月＞ 持続社会システム論Ⅰ
兼任	講師	豊田 義元 (49) ＜平成30年4月＞ 修士(電気通信学) 知的所有権特論
兼任	講師	中江 延男 (69) ＜平成30年4月＞ 工学博士 原子科学と倫理
兼任	講師	藤井 芳昭 (60) ＜平成30年4月＞ 理学博士 原子科学と倫理
兼任	講師	望月 弘保 (70) ＜平成30年4月＞ 原子科学と倫理

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
兼任	講師	虎田 真一郎 (64) ＜平成30年4月＞ 修士(工学)
		原子科学と倫理
兼任	講師	金子 信博 (58) ＜平成30年4月＞
		地域サステナビリティ農学概論
兼任	講師	増田 敬祐 (36) ＜平成30年4月＞
		持続社会システム論 I
兼任	講師	島田 敏 (51) ＜平成30年4月＞
		持続社会システム論 I
兼任	講師	湯元 昇 (62) ＜平成30年4月＞
		科学と倫理
兼任	講師	畑中 泰道 (48) ＜平成30年4月＞
		学術英会話 I 学術英会話 II
兼任	講師	鈴木 千加子 (69) ＜平成30年4月＞ 修士(教育学)
		国際コミュニケーション基礎A 国際コミュニケーション基礎B 実践国際コミュニケーションA 実践国際コミュニケーションB

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
兼任	講師	金子 信博 (59) ＜平成30年4月＞
		地域サステナビリティ農学概論
兼任	講師	増田 敬祐 (37) ＜平成30年4月＞
		持続社会システム論 I
兼任	講師	島田 敏 (52) ＜平成30年4月＞
		持続社会システム論 I
兼任	講師	湯元 昇 (63) ＜平成30年4月＞
		科学と倫理
兼任	講師	畑中 泰道 (49) ＜平成30年4月＞
		学術英会話 I 学術英会話 II
兼任	講師	未定 () ＜平成30年9月＞
		先端情報通信基礎特論
兼任	講師	未定 () ＜平成30年9月＞
		先端情報通信基礎特論
兼任	講師	未定 () ＜平成30年9月＞
		先端情報通信基礎特論

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
兼任	講師	金子 信博 (60) ＜平成30年4月＞
		地域サステナビリティ農学概論
兼任	講師	増田 敬祐 (38) ＜平成30年4月＞
		持続社会システム論 I
兼任	講師	島田 敏 (53) ＜平成30年4月＞
		持続社会システム論 I
兼任	講師	湯元 昇 (64) ＜平成30年4月＞
		科学と倫理
兼任	講師	若松 弘子 (46) ＜平成31年4月＞
		学術英会話 I 学術英会話 II
兼任	講師	未定 () ＜令和元年9月＞
		先端情報通信基礎特論
兼任	講師	未定 () ＜令和元年9月＞
		先端情報通信基礎特論
兼任	講師	未定 () ＜令和元年9月＞
		先端情報通信基礎特論

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
兼任	講師	未定 () ＜平成30年4月＞
		先端科学トピックス I
兼任	講師	未定 () ＜平成30年4月＞
		先端科学トピックス I
兼任	講師	未定 () ＜平成30年4月＞
		先端科学トピックス I
兼任	講師	未定 () ＜平成30年4月＞
		先端科学トピックス I
兼任	講師	未定 () ＜平成30年4月＞
		先端科学トピックス I
兼任	講師	未定 () ＜平成30年4月＞
		先端科学トピックス I
兼任	講師	未定 () ＜平成30年4月＞
		先端科学トピックス I
兼任	講師	未定 () ＜平成31年4月＞
		先端科学トピックス II
兼任	講師	未定 () ＜平成31年4月＞
		先端科学トピックス II
兼任	講師	未定 () ＜平成31年4月＞
		先端科学トピックス II
兼任	講師	未定 () ＜平成31年4月＞
		先端科学トピックス II

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
兼任	講師	未定 () ＜平成31年4月＞
		先端科学トピックス II
兼任	講師	未定 () ＜平成31年4月＞
		先端科学トピックス II
兼任	講師	未定 () ＜平成31年4月＞
		先端科学トピックス II
兼任	講師	未定 () ＜平成31年4月＞
		先端科学トピックス II

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
兼任	講師	未定 () ＜令和元年9月＞
		先端科学トピックス II
兼任	講師	未定 () ＜令和元年9月＞
		先端科学トピックス II
兼任	講師	未定 () ＜令和元年9月＞
		先端科学トピックス II
兼任	講師	未定 () ＜令和元年9月＞
		先端科学トピックス II

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	未定 () <平成31年4月>
		先端科学トピックスⅡ
兼任	講師	未定 () <平成31年4月>
		先端科学トピックスⅡ
兼任	講師	未定 () <平成31年4月>
		先端科学トピックスⅡ
兼任	講師	未定 () <平成31年4月>
		先端科学トピックスⅡ

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	未定 () <平成31年4月>
		先端科学トピックスⅡ
兼任	講師	未定 () <平成31年4月>
		先端科学トピックスⅡ
兼任	講師	未定 () <平成31年4月>
		先端科学トピックスⅡ
兼任	講師	未定 () <平成31年4月>
		先端科学トピックスⅡ

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	未定 () <令和元年9月>
		先端科学トピックスⅡ
兼任	講師	未定 () <令和元年9月>
		先端科学トピックスⅡ
兼任	講師	未定 () <令和元年9月>
		先端科学トピックスⅡ
兼任	講師	未定 () <令和元年9月>
		先端科学トピックスⅡ

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。**
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
 - ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
 - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実み)、兼任、兼任の順に記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) 一②担当教員表に関する変更内容

【平成30年度】

- ・石田智行講師が退職。
- ・准教授を計画していたが教員採用審査の結果、講師として原口春海が就任。教員審査省略。

【令和元年度】

- ・笹井一人准教授が就任。教員審査省略。

- (注) ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、**大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（平成29年度開設であれば平成28年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要研究 指導教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数	完成年度時における 設置基準上の必要研究 指導補助教員数
4	3	3
名	名	名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第百七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数【大学院】

設置時の計画					現在（報告時）の状況				
教授	准教授	講師	助教	計（A）	教授	准教授	講師	助教	計（B）
7	4	5	3	19	7	4	5	2	18
(7)	(3)	(5)	(2)	(17)					
研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数			研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数		
9	10	0			11	7	0		
(9)	(8)	(0)							
現在（報告時）の完成年度時の状況					現在（報告時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計（C）	教授	准教授	講師	助教	計（D）
7	4	5	2	18	7	4	5	2	18
[0]	[0]	[0]	[Δ1]	[Δ1]	[0]	[0]	[0]	[Δ1]	[Δ1]
研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数			研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数		
11	7	0			11	7	0		
[2]	[Δ3]	[0]			[2]	[Δ3]	[0]		

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（ ）内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を要受済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）
 ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 （B））の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 （C））の教員 うち、定年を延長し て採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況（C）}}{\text{設置時の計画（A）}} = \frac{18}{19} = \boxed{94.73} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況（B）}} = \frac{0}{18} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況 **該当なし**

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由
合計（D）						後任補充状況の集計（E）	
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことで、就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
1	講師	石田 智行	1後	必修	ICTソリューション実践Ⅰ	①	H30.3.31付け私事都合のため辞任（30）
			1後	必修	ICTソリューション実践Ⅱ	①	
			1前	選択	バーチャルデザイン演習	②	
			1後	必修	OFF-CLASS-PROJECT	①	
合計（F）						後任補充状況の集計（G）	
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）
1	人	必修	1	科目	必修	1	科目
		選択	2	科目	選択	1	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	3	科目	計	2	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について**に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(3) - ③ 上記(3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計(D) + (F)			後任補充状況の集計(E) + (G)					
辞任等した教員数	担当科目数の合計(a) + (b) + (c)		①の合計数(a)		②の合計数(b)		③の合計数(c)	
1	必修	1 科目	必修	1 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
	選択	2 科目	選択	1 科目	選択	1 科目	選択	0 科目
	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
	計	3 科目	計	2 科目	計	1 科目	計	0 科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計(D)+(F)}}{(2) - ② \text{設置時の計画(A)}} = \frac{1}{19} = \boxed{5.26} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況 **該当なし**

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由		
合計			後任補充状況の集計					
辞任した教員数	担当科目数の合計(a) + (b) + (c)		①の合計数(a)		②の合計数(b)		③の合計数(c)	
0	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等 該当なし

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
認 可 時 (〇〇年)		留意事項	履行中
設置計画履行状況 調 査 時 (〇〇年)	・〇〇学部〇〇学科において、～を是正すること。	是正意見	履行済
設置計画履行状況 調 査 時 (△△年)	・同一設置者が設置する既設学部等(◆◆学科)の～改善に努めること。	改善意見	履行済
設置計画履行状況 調 査 時 (□□年)	・大学設置基準に抵触するため、改めること。(△△学部△△学科)	指摘事項 (法令違反)	履行済
設置計画履行状況 調 査 時 (□□年)	・～については是正すること。	指摘事項 (是正)	履行中
設置計画履行状況 調 査 時 (□□年)	・〇〇大学の既設学部等(◆◆学科、●●学科)の～改善に努めること。	指摘事項 (改善)	履行中

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、調査結果が公表された年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<理工学研究科 情報工学専攻>

(1) 設置計画変更事項等 **該当なし**

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

A. 教育改善委員会 B. ②産学協同カリキュラム改良委員会

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

A. 学期始めを中心に、年6回程度開催 B. 年1回～2回程度開催

c 委員会の審議事項等

A. -1 授業アンケート及び学科教育点検に関すること

-2 FD及び推奨授業に関すること

-3 JABEEに関すること

B. カリキュラム及び授業に関すること

② 実施状況

a 実施内容

A. 第1回（H30.4.18 出席者10名）推奨授業について、JABEEについて 他

第2回（H30.5.16 出席者10名）授業アンケートについて、学科教育点検について、学科FDについて 他

第3回（H30.6.20 出席者10名）学科教育点検について、推奨授業について、JABEEについて 他

第4回（H30.7.25 出席者 8名）学科教育点検について、学生支援FDについて 他

第5回（H30.10.24 出席者 9名）推奨授業について、授業アンケートについて、学科FDについて 他

第6回（H31.1.23 出席者 8名）学部FDについて、アドバイザーボードについて、学科教育点検について 他

第7回（H31.2.28 出席者 7名）学部FDについて、学科教育点検について 他

第8回（H31.3.29 出席者 4名）学部FDについて、学科教育点検について 他

・FD研修会の実施（H31.3.8 出席者93名）

B. 第1回（H30.11.8 出席者21名）学部及び大学院の授業について

第2回（H31.3.1 出席者20名）学部及び大学院の授業について

- b 実施方法
上記のとおり
- c 開催状況（教員の参加状況含む）
上記のとおり
- d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況
上記A及びBの審議を踏まえ、学科長から所属各教員に改善内容を周知し、それぞれが改善に取り組んでいる。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

- a 実施の有無及び実施時期
各学期の講義最終回にアンケートを実施している。
- b 教員や学生への公開状況、方法等
結果を担当教員に周知するほか、学科内で共有を図っている。
学生に対して公表はしていない。

(注) ・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項 **該当なし**

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

① 体制

- a 委員会の設置状況（各区分を踏まえた委員構成を踏まえた委員の追加や交代状況含む）
- b 委員会の開催状況（回数や開催日など）
- c 委員会の審議事項等
- d その他

② 審議状況

- a 審議した内容

記入例)

- ・ 地域との連携に関する〇〇の観点から教育課程に対する提案内容
- ・ 産業界との連携に関する〇〇の観点から教育課程に対する提案内容

- b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

- c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

計画どおり実施している。引き続き、設置の趣旨・目的に沿って計画どおり教育研究活動を実施する。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・ 2019年7月30日 公表

b 公表方法

・ 大学ホームページ上に公開予定（2019年7月末を予定）

③ 認証評価を受ける計画

・ 2022年度に評価機関（大学改革支援・学位授与機構）の評価を受けるべく、学内で検討中

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和元年度）

a ホームページへの公表予定の有無 (有 ・ 無)

b 公表有の場合の公表（予定）時期 (2019年 9月 1日)

b 公表無の場合の特段の理由 ()

(注) ・ 今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。

注3

大学番号：015

[平成30年度設置]

計画の区分： 研究科の専攻の設置又は課程の変更

注1

事前伺い

茨城大学大学院 理工学研究科 都市システム工学専攻(M)

注2

【事前伺い】 設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人茨城大学
令和元年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 総務部総務課

職名・氏名 法規係長
長谷川 慎吾

電話番号 029-228-8009

（夜間） 029-228-8035

F A X 029-228-8019

e-mail iba-houki@ml.ibaraki.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に

()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成31年4月2日付事務連絡「履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

理工学研究科

＜都市システム工学専攻(M)＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	14
4. 既設大学等の状況	15
5. 教員組織の状況	18
6. 附帯事項等に対する履行状況等	42
7. その他全般的事項	44

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人茨城大学

(2) 大学名

茨城大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒316-8511
茨城県日立市中成沢町4-12-1

[〒310-8512
茨城県水戸市文京2-1-1]

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(ミムラ ノブオ) 三村 信男 (平成26年9月)		
研究科長	(マスザワ トオル) 増澤 徹 (平成30年4月)		
専攻長	(コバヤシ カオル) 小林 薫 (平成30年4月)	(ウ ズスエン) 呉 智深 (平成31年4月)	任期満了のため 平成31年4月1日(元)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成30年度に報告済の内容 → (30)

令和元年度に報告する内容 → (元)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
- ・ 様式は、平成27年度開設の4年制の学科の完成年度を超えて報告する場合（令和元年度までの5年間）ですが、完成年度を超えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
理工学研究科 都市システム工学専攻 修士（工学）	工学関係	2年	27人	年次人	54人	基礎となる学部等工学部

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	27 (-) [-]	-	27 (-) [-]	-	- (-) [-]	-	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	1.18倍	-	
志願者数	32 (-) [-]	-	41 (-) [10]	-	- (-) [-]	-	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]			
受験者数	32 (-) [6]	-	40 (-) [10]	-	- (-) [-]	-	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]			
合格者数	30 (-) [4]	-	39 (-) [10]	-	- (-) [-]	-	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]			
B 入学者数	28 (-) [4]	-	36 (-) [8]	-	- (-) [-]	-	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]			
入学定員超過率 B/A	1.03		1.33		-		-		-				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ （ ）内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、（（ ）書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	28 [4] (-)	- [-] (-)	36 [8] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	
2年次	/		28 [4] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	
3年次	/		/		- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	
4年次	/		/		- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	
計	28 [4] (-)		64 [12] (-)		- [-] (-)		- [-] (-)		- [-] (-)		

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成30年度	28 人	0 人	平成30年度	0 人	0 人	
令和元年度	64 人	0 人	平成30年度	0 人	0 人	
			令和元年度	0 人	0 人	
合 計		0 人		0 人	0 人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{28} = \boxed{0} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{64} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<理工学研究科 都市システム工学専攻>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
大学院 共通科目	学術英会話Ⅰ	1前	1								兼1
	学術英会話Ⅱ	1前	1								兼1
	国際コミュニケーション基礎A	1前	1								兼1
	国際コミュニケーション基礎B	1前	1								兼1
	実践国際コミュニケーションA	1前	1								兼1
	実践国際コミュニケーションB	1前	1								兼1
	地球環境システム論Ⅰ	1前	1		1						兼1
	地球環境システム論Ⅱ	1後	1								兼2
	持続社会システム論Ⅰ	1後	1								兼4
	持続社会システム論Ⅱ	1前	1								兼2
	学術情報リテラシー	1前	1								兼1
	霞ヶ浦環境科学概論	1前	1				1				兼3
	人間システム基礎論Ⅰ	1後	1								兼3
	人間システム基礎論Ⅱ	1前	1								兼3
	食料の安定生産と農学	1前	1								兼5
	地域サステナビリティ農学概論	1後	1								兼3
	研究と教育—知の往還をめぐる—	1後	2								兼5
	バイオテクノロジーと社会	1前	1								兼3
	知的所有権特論	1前	1								兼4
	環境情報センシング特論	1後	1								兼1
科学と倫理	1前	2								兼1	
原子科学と倫理	1前	1								兼5	
小計(22科目)	-										
研究科 共通科目	応用数学特論	1後	2								兼1
	解析学特論	1前	2								兼1
	数理工学特論	1前	2								兼1
	応用解析特論	1前	2								兼1
	連携ネット共通講座Ⅰ	1前	2								兼8
	連携ネット共通講座Ⅱ	1後	2								兼8
	量子ビーム応用解析	1前	1								兼3
	国際コミュニケーション演習A	1後	1								兼1
	国際コミュニケーション演習B	1後	1								兼1
	国際コミュニケーション演習C	1後	1								兼1
	国際コミュニケーション演習D	1後	1								兼1
	科学技術日本語特論	1後	2								兼1
	組織運営とリーダーシップ	1後	1								兼1
	社会における科学技術	1前	1								兼1
	科学史	1前	1								兼1
	先端科学トピックスⅠ	1通	1								兼8
	先端科学トピックスⅡ	1通	1								兼8
	計算機応用特論A	1前	1								兼1
	計算機応用特論B	1前	1								兼1
	組込みシステム開発特論	1後	2								兼1
LSI設計・開発技術特論	1前	2								兼1	
情報システムモデル論	1後	1								兼1	
データ解析論	1後	1								兼1	
情報ネットワーク論	1前	1								兼1	
現代科学における倫理	1前	1								兼1	
研究者倫理	1前	1								兼1	
OFF-CLASS-PROJECT	1後	1			8	5	1	1		兼1	
小計(27科目)	-										
プログラム 横断	地震工学特論	1前	2		1						
	地盤防災工学特論	1前	2			1					
	リスクマネジメント特論	1前	2			1					
	維持管理工学特論	1前	2		1						
	国土空間情報特論	1前	2								兼1

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
大学院 共通科目	学術英会話Ⅰ	1前	1								兼1
	学術英会話Ⅱ	1前	1								兼1
	国際コミュニケーション基礎A	1前	1								兼1
	国際コミュニケーション基礎B	1前	1								兼1
	実践国際コミュニケーションA	1前	1								兼1
	実践国際コミュニケーションB	1前	1								兼1
	地球環境システム論Ⅰ	1前	1					1			兼1
	地球環境システム論Ⅱ	1後	1								兼2
	持続社会システム論Ⅰ	1後	1								兼4
	持続社会システム論Ⅱ	1前	1								兼2
	学術情報リテラシー	1前	1								兼1
	霞ヶ浦環境科学概論	1前	1						1		兼3
	人間システム基礎論Ⅰ	1後	1								兼3
	人間システム基礎論Ⅱ	1前	1								兼3
	食料の安定生産と農学	1前	1								兼4
	地域サステナビリティ農学概論	1後	1								兼3
	研究と教育—知の往還をめぐる—	1後	2								兼5
	バイオテクノロジーと社会	1前	1								兼3
	知的所有権特論	1後	1								兼3
	環境情報センシング特論	1後	1								兼1
科学と倫理	2									兼1	
原子科学と倫理	1前	1								兼6	
小計(22科目)	-										
研究科 共通科目	応用数学特論	1前	2								兼1
	解析学特論	1前	2								兼1
	数理工学特論	1前	2								兼1
	応用解析特論	1前	2								兼1
	連携ネット共通講座Ⅰ	1前	2								兼2
	連携ネット共通講座Ⅱ	1後	2								兼2
	量子ビーム応用解析	1前	1								兼7
	国際コミュニケーション演習A	1後	1								兼1
	国際コミュニケーション演習B	1後	1								兼1
	国際コミュニケーション演習C	1後	1								兼1
	国際コミュニケーション演習D	1後	1								兼1
	科学技術日本語特論	1後	2								兼1
	組織運営とリーダーシップ	1後	1								兼1
	社会における科学技術	1前	1								兼1
	科学史	1前	1								兼1
	先端科学トピックスⅠ	1通	1								兼5
	先端科学トピックスⅡ	1通	1								兼8
	計算機応用特論A	1前	1								兼1
	計算機応用特論B	1前	1								兼1
	組込みシステム開発特論	1後	2								兼1
LSI設計・開発技術特論	1前	2								兼1	
情報システムモデル論	1後	1								兼1	
データ解析論	1後	1								兼1	
情報ネットワーク論	1前	1								兼1	
現代科学における倫理	1前	1								兼1	
研究者倫理	1前	1								兼1	
OFF-CLASS-PROJECT	1後	1			8	8		2		兼2	
小計(27科目)	-										
プログラム 横断	地震工学特論	1前	2		1						
	地盤防災工学特論	1前	2			1					
	リスクマネジメント特論	1前	2			1					
	維持管理工学特論	1前	2		1						
	国土空間情報特論	1前	2								兼1

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
プログラム横断科目	水質工学特論	1前		2			1					
	建築材料学特論	1後		2		1						
	建築都市デザインスタジオⅠ	1前		4			1					
	建築環境デザイン演習	1後		2				1				
	建築構造デザイン演習	1前		2			1					
	建築材料演習	2		2		1						
	サステイナビリティ学インターンシップ	1後		2		8	5	1	1			兼1
	都市システム工学専攻学外実習	1後		2		8	5	1	1			兼1
	建築実務実習	1後		2		8	5	1	1			兼1
	小計(14科目)	-										
社会基盤デザインプログラム	社会基盤デザイン特別演習Ⅰ	1前		2		8	4					兼1
	社会基盤デザイン特別演習Ⅱ	1後		2		8	4					兼1
	社会基盤デザイン特別研究Ⅰ	2前		2		8	4					兼1
	社会基盤デザイン特別研究Ⅱ	2後		2		8	4					兼1
	構造解析学特論	1前		2			1					
	社会基盤情報処理特論	1後		2		1						
	応用土質力学特論	1前		2		1						
	応用水理学特論	1前		2		1						
	土木計画学特論	1前		2		1						
	交通計画特論	1後		2		1						
小計(10科目)	-											
建築デザインプログラム	建築デザイン特別演習Ⅰ	1前		2		8	4					兼1
	建築デザイン特別演習Ⅱ	1後		2		8	4					兼1
	建築デザイン特別研究Ⅰ	2前		2		8	4					兼1
	建築デザイン特別研究Ⅱ	2後		2		8	4					兼1
	建築構造デザイン学特論	1前		2			1					
	建築都市計画学特論	1前		2			1					
	建築環境設計学特論	1前		2				1				
	建築史・意匠特論	1前		2					1			
	建築都市デザインスタジオⅡ	1前		2						1		兼1
	建築都市デザインスタジオⅢ	1後		2							1	兼1
ワークショップ	1通		2					1			兼1	
小計(11科目)	-											
サステイナビリティ学プログラム	サステイナビリティ学特別演習Ⅰ	1前		2		8	4					兼1
	サステイナビリティ学特別演習Ⅱ	1後		2		8	4					兼1
	サステイナビリティ学特別研究Ⅰ	2前		2		8	4					兼1
	サステイナビリティ学特別研究Ⅱ	2後		2		8	4					兼1
	サステイナビリティ学最前線	1前		2		1						兼1
	生態系保全再生・モニタリング特論	1通		2		1	1					兼1
	沿岸環境形成工学特論	1後		2		1						兼1
	国際実践教育演習	1通		2								兼3
	国内実践教育演習	1通		2								兼3
	フシリテーション能力開発演習Ⅰ	1前		1								兼1
フシリテーション能力開発演習Ⅱ	1前		1								兼1	
小計(11科目)	-											
社会人マスタプログラム	問題発見解決実習Ⅰ	1前後		2		8	5	1	1			兼1
	問題発見解決実習Ⅱ	1前後		2		8	5	1	1			兼1
	問題発見解決実習Ⅲ	1前後		2		8	5	1	1			兼1
	都市システム工学特別講義Ⅰ	1前後		2		8	5	1	1			兼1
	都市システム工学特別講義Ⅱ	1前後		2		8	5	1	1			兼1
	最先端技術特論	1前後		2		8	5	1	1			兼1
	小計(6科目)	-										
合計(101科目)	-											

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
プログラム横断科目	水質工学特論	1前		2			1					
	建築材料学特論	1後		2		1						
	建築都市デザインスタジオⅠ	1前		4			1					
	建築環境デザイン演習	1後		2				1				
	建築構造デザイン演習	1前		2			1					
	建築材料演習	2		2		1						
	サステイナビリティ学インターンシップ	1後		2		8	8			2		兼2
	都市システム工学専攻学外実習	1後		2		8	8			2		兼2
	建築実務実習	1後		2		8	8			2		兼2
	小計(14科目)	-										
社会基盤デザインプログラム	社会基盤デザイン特別演習Ⅰ	1前		2		8	6					兼1
	社会基盤デザイン特別演習Ⅱ	1後		2		8	6					兼1
	社会基盤デザイン特別研究Ⅰ	2前		2		8	6					兼1
	社会基盤デザイン特別研究Ⅱ	2後		2		8	6					兼1
	構造解析学特論	1前		2		2		1				
	社会基盤情報処理特論	1後		2		1						
	応用土質力学特論	1前		2		1						
	応用水理学特論	1前		2		1						
	土木計画学特論	1前		2		1						
	交通計画特論	1後		2		1						
小計(10科目)	-											
建築デザインプログラム	建築デザイン特別演習Ⅰ	1前		2		8	6					兼1
	建築デザイン特別演習Ⅱ	1後		2		8	6					兼1
	建築デザイン特別研究Ⅰ	2前		2		8	6					兼1
	建築デザイン特別研究Ⅱ	2後		2		8	6					兼1
	建築構造デザイン学特論	1前		2			1					
	建築都市計画学特論	1前		2			1					
	建築環境設計学特論	1前		2				1				
	建築史・意匠特論	1前		2						1		
	建築都市デザインスタジオⅡ	1前		2				1				兼1
	建築都市デザインスタジオⅢ	1後		4						1		兼1
ワークショップ	1通		2						1	2		
小計(11科目)	-											
サステイナビリティ学プログラム	サステイナビリティ学特別演習Ⅰ	1前		2		8	6					兼1
	サステイナビリティ学特別演習Ⅱ	1後		2		8	6					兼1
	サステイナビリティ学特別研究Ⅰ	2前		2		8	6					兼1
	サステイナビリティ学特別研究Ⅱ	2後		2		8	6					兼1
	サステイナビリティ学最前線	1前		2		1						兼1
	生態系保全再生・モニタリング特論	1通		2		1	1					兼2
	沿岸環境形成工学特論	1後		2		1						兼1
	国際実践教育演習	1通		2								兼3
	国内実践教育演習	1通		2								兼3
	フシリテーション能力開発演習Ⅰ	1前		1								兼1
フシリテーション能力開発演習Ⅱ	1前		1								兼1	
小計(11科目)	-											
社会人マスタプログラム	問題発見解決実習Ⅰ	1前後		2		8	8			2		兼2
	問題発見解決実習Ⅱ	1前後		2		8	8			2		兼2
	問題発見解決実習Ⅲ	1前後		2		8	8			2		兼2
	都市システム工学特別講義Ⅰ	1前後		2		8	8			2		兼2
	都市システム工学特別講義Ⅱ	1前後		2		8	8			2		兼2
	最先端技術特論	1前後		2		8	8			2		兼2
	小計(6科目)	-										
合計(101科目)	-											

【認可時又は届出時】

卒業要件及び履修方法
<p>1 修了要件 2年以上在学し、30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、学位論文又は特定の課題についての研究の成果の審査並びに最終試験に合格することとする。ただし、在学期間に関しては、優れた業績を上げた者については、1年以上在学すれば足りるものとする。</p> <p>2 履修方法 ＜社会基盤デザインプログラム、建築デザインプログラム、サステナビリティ学プログラム＞ ○共通科目として、大学院共通科目から2単位以上、研究科共通科目から3単位以上、計5単位以上を以下の要件を満たしたうえで修得すること。 ・倫理科目、英語科目、社会理解科目、情報系科目、体験型科目のカテゴリーからそれぞれ1単位以上を修得すること。 ○専攻科目から以下のとおり25単位以上を修得すること。 ・プログラムコア科目14単位以上必修8単位(サステナビリティ学プログラムにおいては10単位)、選択必修6単位以上(サステナビリティ学プログラムにおいては4単位以上) ・プログラム横断科目11単位以上(選択必修6単位以上) ＜社会人マスタープログラム＞ ○選択したプログラムにおける『プログラムコア科目』の必修8単位(サステナビリティ学プログラムにおいては必修10単位)のほかは、指導教員の履修指導に基づき、大学院共通科目、研究科共通科目、プログラムコア科目(必修科目を除く。)、プログラム横断科目、社会人マスタープログラム科目から22単位以上(サステナビリティ学プログラムにおいては20単位以上)を修得するものとする。</p>

【令和元年度】

卒業要件及び履修方法
<p>1 修了要件 2年以上在学し、30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、学位論文又は特定の課題についての研究の成果の審査並びに最終試験に合格することとする。ただし、在学期間に関しては、優れた業績を上げた者については、1年以上在学すれば足りるものとする。</p> <p>2 履修方法 ＜社会基盤デザインプログラム、建築デザインプログラム、サステナビリティ学プログラム＞ ○共通科目として、大学院共通科目から2単位以上、研究科共通科目から3単位以上、計5単位以上を以下の要件を満たしたうえで修得すること。 ・倫理科目、英語科目、社会理解科目、情報系科目、体験型科目のカテゴリーからそれぞれ1単位以上を修得すること。 ○専攻科目から以下のとおり25単位以上を修得すること。 ・プログラムコア科目14単位以上必修8単位(サステナビリティ学プログラムにおいては10単位)、選択必修6単位以上(サステナビリティ学プログラムにおいては4単位以上) ・プログラム横断科目11単位以上(選択必修6単位以上) ＜社会人マスタープログラム＞ ○選択したプログラムにおける『プログラムコア科目』の必修8単位(サステナビリティ学プログラムにおいては必修10単位)のほかは、指導教員の履修指導に基づき、大学院共通科目、研究科共通科目、プログラムコア科目(必修科目を除く。)、プログラム横断科目、社会人マスタープログラム科目から22単位以上(サステナビリティ学プログラムにおいては20単位以上)を修得するものとする。</p>

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
大学院共通科目	学術英会話Ⅰ	1前		1								兼1
	学術英会話Ⅱ	1前		1								兼1
	国際コミュニケーション基礎A	1前		1								兼1
	国際コミュニケーション基礎B	1前		1								兼1
	実践国際コミュニケーションA	1前		1								兼1
	実践国際コミュニケーションB	1前		1								兼1
	地球環境システム論Ⅰ	1前		1		1						兼1
	地球環境システム論Ⅱ	1後		1								兼2
	持続社会システム論Ⅰ	1後		1								兼4
	持続社会システム論Ⅱ	1前		1								兼2
	学術情報リテラシー	1前		1								兼1
	霞ヶ浦環境科学概論	1前		1			1					兼3
	人間システム基礎論Ⅰ	1後		1								兼4
	人間システム基礎論Ⅱ	1前		1								兼3
	食料の安定生産と農学	1前		1								兼4
	地域サステナビリティ農学概論	1後		1								兼3
	研究と教育—知の往還をめぐって—	1後		2								兼5
	バイオテクノロジーと社会	1前		1								兼3
	知的所有権特論	1後		1								兼3
	環境情報センシング特論	1後		1								兼1
	科学と倫理	1前		2								兼1
	原子科学と倫理	1前		1								兼5
小計(22科目)	—											
研究科共通科目	応用数学特論	1前		2								兼1
	解析学特論	1前		2								兼1
	数理工学特論	1前		2								兼1
	応用解析特論	1前		2								兼1
	連携ネット共通講座Ⅰ	1前		2								兼2
	連携ネット共通講座Ⅱ	1後		2								兼2
	量子ビーム応用解析	1前		1								兼7
	国際コミュニケーション演習A	1後		1								兼1
	国際コミュニケーション演習B	1後		1								兼1
	国際コミュニケーション演習C	1後		1								兼1
	国際コミュニケーション演習D	1後		1								兼1
	科学技術日本語特論	1後		2								兼1
	組織運営とリーダーシップ	1後		1								兼1
	社会における科学技術	1前		1								兼1
	科学史	1前		1								兼1
	先端科学トピックスⅠ	1通		1								兼5
	先端科学トピックスⅡ	1通		1								兼8
	計算機応用特論A	1前		1								兼1
	計算機応用特論B	1前		1								兼1
	組込みシステム開発特論	1後		2								兼1
	LSI設計・開発技術特論	1前		2								兼1
	情報システムモデル論	1後		1								兼1
データ解析論	1後		1								兼1	
情報ネットワーク論	1前		1								兼1	
現代科学における倫理	1前		1								兼1	
研究者倫理	1前		1								兼1	
OFF-CLASS-PROJECT	1後		1		8	7	1	1			兼2	
小計(27科目)	—											
プログラム横断	地震工学特論	1前		2		1						
	地盤防災工学特論	1前		2			1					
	リスクマネジメント特論	1前		2			1					
	維持管理工学特論	1前		2		1						
	国土空間情報特論	1前		2								兼1

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
プログラム横断科目	水質工学特論	1前		2			1					
	建築材料学特論	1後		2		1						
	建築都市デザインスタジオⅠ	1前		4			1					
	建築環境デザイン演習	1後		2				1				
	建築構造デザイン演習	1前		2			1					
	建築材料演習	1後		2		1						
	サステイナビリティ学インターンシップ	1後		2		8	7	1	1			兼2
	都市システム工学専攻学外実習	1後		2		8	7	1	1			兼2
	建築実務実習	1後		2		8	7	1	1			兼2
	小計(14科目)	-										
社会基盤デザインプログラム	社会基盤デザイン特別演習Ⅰ	1前		2		8	5	1				兼1
	社会基盤デザイン特別演習Ⅱ	1後		2		8	5	1				兼1
	社会基盤デザイン特別研究Ⅰ	2前		2		8	5	1				兼1
	社会基盤デザイン特別研究Ⅱ	2後		2		8	5	1				兼1
	構造解析学特論	1前		2			1					
	社会基盤情報処理特論	1後		2		1						
	応用土質力学特論	1前		2		1						
	応用水理学特論	1前		2		1						
	土木計画学特論	1前		2		1						
	交通計画特論	1後		2		1						
小計(10科目)	-											
建築デザインプログラム	建築デザイン特別演習Ⅰ	1前		2		8	5	1				兼1
	建築デザイン特別演習Ⅱ	1後		2		8	5	1				兼1
	建築デザイン特別研究Ⅰ	2前		2		8	5	1				兼1
	建築デザイン特別研究Ⅱ	2後		2		8	5	1				兼1
	建築構造デザイン学特論	1前		2			1					
	建築都市計画学特論	1前		2			1					
	建築環境設計学特論	1前		2				1				
	建築史・意匠特論	1前		2					1			
	建築都市デザインスタジオⅡ	1前		4			1					
	建築都市デザインスタジオⅢ	1後		4								兼1
ワークショップ	1通		2					1			兼1	
小計(11科目)	-											
サステイナビリティ学プログラム	サステイナビリティ学特別演習Ⅰ	1前		2		8	5	1				兼1
	サステイナビリティ学特別演習Ⅱ	1後		2		8	5	1				兼1
	サステイナビリティ学特別研究Ⅰ	2前		2		8	5	1				兼1
	サステイナビリティ学特別研究Ⅱ	2後		2		8	5	1				兼1
	サステイナビリティ学最前線	1前		2		1						兼1
	生態系保全再生・モニタリング特論	1通		2		1	1					兼2
	沿岸環境形成工学特論	1後		2		1						兼1
	国際実践教育演習	1通		2								兼3
	国内実践教育演習	1通		2								兼3
	ファシリテーション能力開発演習Ⅰ	1前		1		1						兼1
ファシリテーション能力開発演習Ⅱ	1前		1		1						兼1	
小計(11科目)	-											
社会人マスタプログラム	問題発見解決実習Ⅰ	1前後		2		8	7	1	1			兼2
	問題発見解決実習Ⅱ	1前後		2		8	7	1	1			兼2
	問題発見解決実習Ⅲ	1前後		2		8	7	1	1			兼2
	都市システム工学特別講義Ⅰ	1前後		2		8	7	1	1			兼2
	都市システム工学特別講義Ⅱ	1前後		2		8	7	1	1			兼2
	最先端技術特論	1前後		2		8	7	1	1			兼2
小計(6科目)	-											
合計(101科目)	-											

【平成30年度】

卒業要件及び履修方法

1 修了要件

2年以上在学し、30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、学位論文又は特定の課題についての研究の成果の審査並びに最終試験に合格することとする。ただし、在学期間に関しては、優れた業績を上げた者については、1年以上在学すれば足りるものとする。

2 履修方法

＜社会基盤デザインプログラム、建築デザインプログラム、サステイナビリティ学プログラム＞

○共通科目として、大学院共通科目から2単位以上、研究科共通科目から3単位以上、計5単位以上を以下の要件を満たしたうえで修得すること。

・倫理科目、英語科目、社会理解科目、情報系科目、体験型科目のカテゴリーからそれぞれ1単位以上を修得すること。

○専攻科目から以下のとおり25単位以上を修得すること。

・プログラムコア科目14単位以上必修8単位（サステイナビリティ学プログラムにおいては10単位）、選択必修6単位以上（サステイナビリティ学プログラムにおいては4単位以上）

・プログラム横断科目11単位以上（選択必修6単位以上）

＜社会人マスタープログラム＞

○選択したプログラムにおける『プログラムコア科目』の必修8単位（サステイナビリティ学プログラムにおいては必修10単位）のほかは、指導教員の履修指導に基づき、大学院共通科目、研究科共通

科目、プログラムコア科目（必修科目を除く。）、プログラム横断科目、社会人マスタープログラム科目から22単位以上（サステイナビリティ学プログラムにおいては20単位以上）を修得するものとする。

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 本授業科目表は、開設年度から提出年度までの間において実際に実施された授業科目に関する情報として記入してください。
 - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号（その2の1）に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て（兼任、兼担教員が担当する科目を含む。）を黒字で記入してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度（平成29年度開設であれば平成28年度）の表は適宜削除してください。
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成30年度】

- ・担当教員見直しのため、「人間システム基礎論Ⅰ」の兼任・兼担を「兼3」から「兼4」に変更。
- ・担当教員見直しのため、「食料の安定生産と農学」の兼任・兼担を「兼5」から「兼4」に変更。
- ・時間割の見直しにより、「知的所有権特論」の配当年次を「1前」から「1後」に変更。
- ・担当教員見直しのため、「知的所有権特論」の兼任・兼担を「兼4」から「兼3」に変更。
- ・時間割の見直しにより、「応用数学特論」の配当年次を「1後」から「1前」に変更。
- ・担当教員見直しのため、「連携ネット共通講座Ⅰ」の兼任・兼担を「兼8」から「兼2」に変更。
- ・担当教員見直しのため、「連携ネット共通講座Ⅱ」の兼任・兼担を「兼8」から「兼2」に変更。
- ・担当教員見直しのため、「量子ビーム応用解析」の兼任・兼担を「兼3」から「兼7」に変更。
- ・担当教員見直しのため、「先端科学トピックスⅠ」の兼任・兼担を「兼8」から「兼5」に変更。
- ・新規任用及び担当教員見直しのため、「OFF-CLASS-PROJECT」の専任教員等の配置を「教授8、准教授5、講師1、助教1」から「教授8、准教授7、講師1、助教1」に、兼任・兼担を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・新規任用及び担当教員見直しのため、「サステナビリティ学インターンシップ」の専任教員等の配置を「教授8、准教授5、講師1、助教1」から「教授8、准教授7、講師1、助教1」に、兼任・兼担を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・新規任用及び担当教員見直しのため、「都市システム工学専攻学外実習」の専任教員等の配置を「教授8、准教授5、講師1、助教1」から「教授8、准教授7、講師1、助教1」に、兼任・兼担を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・新規任用及び担当教員見直しのため、「建築実務実習」の専任教員等の配置を「教授8、准教授5、講師1、助教1」から「教授8、准教授7、講師1、助教1」に、兼任・兼担を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・教員の研究指導資格取得のため、「社会基盤デザイン特別演習Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授8、准教授4」から「教授8、准教授5、講師1」に変更。
- ・教員の研究指導資格取得のため、「社会基盤デザイン特別演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授8、准教授4」から「教授8、准教授5、講師1」に変更。
- ・教員の研究指導資格取得のため、「社会基盤デザイン特別研究Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授8、准教授4」から「教授8、准教授5、講師1」に変更。
- ・教員の研究指導資格取得のため、「社会基盤デザイン特別研究Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授8、准教授4」から「教授8、准教授5、講師1」に変更。
- ・教員の研究指導資格取得のため、「建築デザイン特別演習Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授8、准教授4」から「教授8、准教授5、講師1」に変更。
- ・教員の研究指導資格取得のため、「建築デザイン特別演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授8、准教授4」から「教授8、准教授5、講師1」に変更。
- ・教員の研究指導資格取得のため、「建築デザイン特別研究Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授8、准教授4」から「教授8、准教授5、講師1」に変更。
- ・教員の研究指導資格取得のため、「建築デザイン特別研究Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授8、准教授4」から「教授8、准教授5、講師1」に変更。
- ・申請時の記載誤りにより、「建築都市デザインスタジオⅡ」の単位数を「2」から「4」に変更。
- ・常勤教員が担当可能となったため、「建築都市デザインスタジオⅡ」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に兼任・兼担を「兼1」から「兼0」に変更。
- ・申請時の記載誤りにより、「建築都市デザインスタジオⅢ」の単位数を「2」から「4」に変更。
- ・教員の研究指導資格取得のため、「サステナビリティ学特別演習Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授8、准教授4」から「教授8、准教授5、講師1」に変更。
- ・教員の研究指導資格取得のため、「サステナビリティ学特別演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授8、准教授4」から「教授8、准教授5、講師1」に変更。
- ・教員の研究指導資格取得のため、「サステナビリティ学特別研究Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授8、准教授4」から「教授8、准教授5、講師1」に変更。
- ・教員の研究指導資格取得のため、「サステナビリティ学特別研究Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授8、准教授4」から「教授8、准教授5、講師1」に変更。
- ・担当教員見直しにより、「生態系保全再生・モニタリング特論」の兼任・兼担を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・担当教員見直しにより、「沿岸環境形成工学特論」の兼任・兼担を「兼0」から「兼1」に変更。
- ・新規任用及び担当教員見直しのため、「問題発見解決実習Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授8、准教授5、講師1、助教1」から「教授8、准教授7、講師1、助教1」に兼任・兼担を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・新規任用及び担当教員見直しのため、「問題発見解決実習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授8、准教授5、講師1、助教1」から「教授8、准教授7、講師1、助教1」に兼任・兼担を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・新規任用及び担当教員見直しのため、「問題発見解決実習Ⅲ」の専任教員等の配置を「教授8、准教授5、講師1、助教1」から「教授8、准教授7、講師1、助教1」に兼任・兼担を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・新規任用及び担当教員見直しのため、「都市システム工学特別講義Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授8、准教授5、講師1、助教1」から「教授8、准教授7、講師1、助教1」に兼任・兼担を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・新規任用及び担当教員見直しのため、「都市システム工学特別講義Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授8、准教授5、講師1、助教1」から「教授8、准教授7、講師1、助教1」に兼任・兼担を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・新規任用及び担当教員見直しのため、「最先端技術特論」の専任教員等の配置を「教授8、准教授5、講師1、助教1」から「教授8、准教授7、講師1、助教1」に兼任・兼担を「兼1」から「兼2」に変更。

【令和元年度】

<ul style="list-style-type: none"> ・担当教員見直しのため、「原子科学と倫理」の兼任・兼任を「兼5」から「兼6」に変更 ・担当教員見直し及び昇進、新規採用のため、「OFF-CLASS-PROJECT」の専任教員等の配置を「教授8、准教授7、講師1、助教1」から「教授8、准教授8、助教2」に変更。 ・昇進のため、「建築環境デザイン演習」を講師「1」から准教授「1」へ変更 ・担当教員見直し及び昇進、新規採用のため、「サステナビリティ学インターンシップ」の専任教員等の配置を「教授8、准教授7、講師1、助教1」から「教授8、准教授8、助教2」に変更。 ・担当教員見直し及び昇進、新規採用のため、「都市システム工学専攻学外実習」の専任教員等の配置を「教授8、准教授7、講師1、助教1」から「教授8、准教授8、助教2」に変更。 ・担当教員見直し及び昇進、新規採用のため、「建築実務実習」の専任教員等の配置を「教授8、准教授7、講師1、助教1」から「教授8、准教授8、助教2」に変更。 ・担当教員見直し及び昇進のため、「社会基盤デザイン特別演習Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授8、准教授5、講師1」から「教授8、准教授6」に変更。 ・担当教員見直し及び昇進のため、「社会基盤デザイン特別演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授8、准教授5、講師1」から「教授8、准教授6」に変更。 ・担当教員見直し及び昇進のため、「社会基盤デザイン特別研究Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授8、准教授5、講師1」から「教授8、准教授6」に変更。 ・担当教員見直し及び昇進のため、「社会基盤デザイン特別研究Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授8、准教授5、講師1」から「教授8、准教授6」に変更。 ・担当教員見直し及び昇進のため、「建築デザイン特別演習Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授8、准教授5、講師1」から「教授8、准教授6」に変更。 ・担当教員見直し及び昇進のため、「建築デザイン特別演習Ⅱ」の准教授を「4」から「6」に変更専任教員等の配置を「教授8、准教授5、講師1」から「教授8、准教授6」に変更。 ・担当教員見直し及び昇進のため、「建築デザイン特別研究Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授8、准教授5、講師1」から「教授8、准教授6」に変更。 ・担当教員見直し及び昇進のため、「建築デザイン特別研究Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授8、准教授5、講師1」から「教授8、准教授6」に変更。 ・昇進のため、「建築環境設計学特論」の専任教員等の配置を「講師1」から「准教授1」へ変更。 ・新規採用のため「建築都市デザインスタジオⅢ」の専任教員等の配置を「兼1」から「講師1」へ変更。 ・昇進及び新規採用のため「ワークショップ」の専任教員等の配置を「助教1、兼1」から「講師1、助教2」へ変更。 ・担当教員見直し及び昇進のため、「サステナビリティ学特別演習Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授8、准教授5、講師1」から「教授8、准教授6」に変更。 ・担当教員見直し及び昇進のため、「サステナビリティ学特別演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授8、准教授5、講師1」から「教授8、准教授6」に変更。 ・担当教員見直し及び昇進のため、「サステナビリティ学特別研究Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授8、准教授5、講師1」から「教授8、准教授6」に変更。 ・担当教員見直し及び昇進のため、「サステナビリティ学特別研究Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授8、准教授5、講師1」から「教授8、准教授6」に変更。 ・担当教員見直し及び昇進、新規採用のため、「問題発見解決実習Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授8、准教授7、講師1、助教1」から「教授8、准教授8、助教2」に変更。 ・担当教員見直し及び昇進、新規採用のため、「問題発見解決実習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授8、准教授7、講師1、助教1」から「教授8、准教授8、助教2」に変更。 ・担当教員見直し及び昇進、新規採用のため、「問題発見解決実習Ⅲ」の専任教員等の配置を「教授8、准教授7、講師1、助教1」から「教授8、准教授8、助教2」に変更。 ・担当教員見直し及び昇進、新規採用のため、「都市システム工学特別講義Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授8、准教授7、講師1、助教1」から「教授8、准教授8、助教2」に変更。 ・担当教員見直し及び昇進、新規採用のため、「都市システム工学特別講義Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授8、准教授7、講師1、助教1」から「教授8、准教授8、助教2」に変更。 ・担当教員見直し及び昇進、新規採用のため、「最先端技術特論」の専任教員等の配置を「教授8、准教授7、講師1、助教1」から「教授8、准教授8、助教2」に変更。

- (注) ・ 2 (1) ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を簡潔書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 ・ 不要な年度（平成29年度開設であれば平成28年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
1 科目	100 科目	0 科目	101 科目	1 科目 [0]	100 科目 [0]	0 科目 [0]	101 科目 [0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）
 (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目 該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目 該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目 (3) と廃止科目 (4) の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計 (A)}} = \frac{0}{101} = \boxed{} 0\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3) 未開講科目」と「(4) 廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考						
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計							
	校舎敷地	369,215㎡	㎡	㎡	369,215㎡							
	運動場用地	114,255㎡	㎡	㎡	114,255㎡							
	小 計	483,470㎡	㎡	㎡	483,470㎡							
	そ の 他	315,124㎡	㎡	㎡	315,124㎡							
	合 計	798,594㎡	㎡	㎡	798,594㎡							
(2) 校舎	専 用	149,667㎡	共 用	共用する他の学校等の専用	計	工学部車庫建替(元)△73㎡ 農学部総合研究棟新営(元)2,075㎡						
	(147,665㎡)	()	()	()	(147,665㎡)							
(3) 教室等	講義室	52室	演習室	42室	実験実習室	390室	情報処理学習施設	0室	語学学習施設	0室		
					(補助職員 人)		(補助職員 人)		(補助職員 人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数			平成31年3月専任教員1名退職、平成30年6月専任教員1名採用、平成31年4月専任教員1名大学院授業担当資格取得のため(元)					
	理工学研究科 都市システム工学専攻(M)			18 -7							室	
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書	学術雑誌	電子ジャーナル	視聴覚資料	機械・器具	標 本	学部単位での特定不能なため、大学全体の数 【図書及び視聴覚資料】 新規購入による増加のため(元) 【学術雑誌】 購入タイトル見直しによる減少のため(元)				
		〔うち外国書〕	〔うち外国書〕									〔うち外国書〕
	冊	種	〔うち外国書〕	点	点	点						
	理工学研究科 都市システム工学専攻(M)	1,010,420 [283,424] 1,008,926 [282,013]	16,459 [4,707] 16,462 [4,704]	2,394 [2,393] 2,430 [2,429]	3,151 3,123	()	()					
計	1,010,420 [283,424] 1,008,926 [282,013]	16,459 [4,707] 16,462 [4,704]	2,394 [2,393] 2,430 [2,429]	3,151 3,123	()	()						
(6) 図書館	面 積		閲覧座席数		収 納 可 能 冊 数		大学全体					
	11,986㎡		997		958,000							
(7) 体育館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体					
	3,160㎡		テニスコート7面 プール(25m×15m)1基									
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度				
		教員1人当たり研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円				
		共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円				
	学生1人当たり納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次					
		千円	千円	千円	千円	千円	千円					
	学生納付金以外の維持方法の概要											

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和元年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(元)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	茨城大学									備考
	既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	
	年	人	年次人	人		倍	年度	年度	年度	
人文社会科学部	4	360	-	1440	-	1.03	-	平成29	-	
現代社会学科	4	130	-	520	学士(現代社会学)	1.05	-	平成29	茨城県水戸市文京2-1-1	
法律経済学科	4	120	-	480	学士(社会科学)	1.04	-	平成29	同上	
人間文化学科	4	110	-	440	学士(人文科学)	1.03	-	平成29	同上	
人文学部	4	-	-	-	-	-	-	昭和42	同上	
人文コミュニケーション学科	4	-	-	-	学士(人文科学)	-	-	平成18	同上	平成29年度より学生募集停止
社会科学科	4	-	-	-	学士(社会科学)	-	-	昭和50	同上	平成29年度より学生募集停止
教育学部	4	275	-	1100	-	1.04	-	昭和24	-	
学校教育教員養成課程	4	240	-	960	学士(教育学)	1.04	-	平成8	茨城県水戸市文京2-1-1	
養護教諭養成課程	4	35	-	140	学士(教育学)	1.02	-	昭和50	同上	
情報文化課程	4	-	-	-	学士(教養)	-	-	平成元	同上	平成29年度より学生募集停止
人間環境教育課程	4	-	-	-	学士(教養)	-	-	平成11	同上	平成29年度より学生募集停止
理学部	4	205	3年次4	828	学士(理学)	1.05	-	昭和42	-	
理学科	4	205	3年次4	828	学士(理学)	1.05	-	平成17	茨城県水戸市文京2-1-1	
工学部	4	545	3年次20	2220	学士(工学)	1.02	-	昭和24	-	
機械システム工学科	4	130	3年次6	532	学士(工学)	1.03	-	平成30	茨城県日立市中成沢町4-12-1	
機械システム工学科(夜)	4	40	-	160	学士(工学)	1.01	-	平成30	同上	
電気電子システム工学科	4	125	3年次5	510	学士(工学)	1.02	-	平成30	同上	
物質科学工学科	4	110	3年次3	446	学士(工学)	1.00	-	平成30	同上	
情報工学科	4	80	3年次4	328	学士(工学)	1.02	-	平成30	同上	
都市システム工学科	4	60	3年次2	244	学士(工学)	1.09	-	平成30	同上	
機械工学科	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	平成2	同上	平成30年度より学生募集停止
生体分子機能工学科	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	平成17	同上	平成30年度より学生募集停止
マテリアル工学科	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	平成17	同上	平成30年度より学生募集停止
電気電子工学科	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	平成2	同上	平成30年度より学生募集停止
メディア通信工学科	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	平成8	同上	平成30年度より学生募集停止
知能システム工学科	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	平成17	同上	平成30年度より学生募集停止
知能システム工学科(B)	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	平成17	同上	平成30年度より学生募集停止
農学部	4	160	3年次10	660	学士(農学)	1.04	-	昭和27	-	
食生命科学科	4	80	3年次5	330	学士(農学)	1.03	-	平成29	茨城県福敷郡阿見町中央3-21-1	
地域総合農学科	4	80	3年次5	330	学士(農学)	1.06	-	平成29	同上	
生物生産科学科	4	-	-	-	学士(農学)	-	-	平成12	同上	平成29年度より学生募集停止

資源生物科学科	4	-	-	-	学士 (農学)	-	-	昭和62	同上	平成29年度より学生募集停止
地域環境科学科	4	-	-	-	学士 (農学)	-	-	平成12	同上	平成29年度より学生募集停止
大学全体 (学部)	4	1545	34	6248	-	1.04	-	-	-	
人文社会科学研究科	2	25	-	50	修士 (学術)	0.98	-	平成29	-	
文化科学専攻	2	13	-	26	修士 (学術)	0.80	-	平成21	茨城県水戸市文京2-1-1	
社会科学専攻	2	12	-	24	修士 (学術)	1.16	-	平成26	同上	
地域政策専攻	2	-	-	-	修士 (学術)	-	-	平成6	同上	平成26年度より学生募集停止
教育学研究科	2	52	-	104	-	0.99	-	昭和63	-	
障害児教育専攻	2	3	-	6	修士 (教育学)	1.16	-	昭和63	茨城県水戸市文京2-1-1	
教科教育専攻	2	22	-	44	修士 (教育学)	0.86	-	昭和63	同上	
養護教育専攻	2	3	-	6	修士 (教育学)	1.33	-	平成9	同上	
学校臨床心理専攻	2	9	-	18	修士 (教育学)	1.11	-	平成13	同上	
教育実践高度化専攻	2	15	-	30	教職修士 (専門職)	1.03	-	平成28	同上	
理工学研究科 (博士前期課程)	2	348	-	696	-	1.14	-	平成7	-	
量子線科学専攻	2	102	-	204	修士(理学) 修士(工学)	0.97	-	平成28	茨城県水戸市文京2-1-1 茨城県日立市中成沢町4-12-1	
理学専攻	2	45	-	90	修士 (理学)	1.13	-	平成21	茨城県水戸市文京2-1-1	
機械システム工学専攻	2	86	-	172	修士 (工学)	1.35	-	平成30	茨城県日立市中成沢町4-12-1	
電気電子システム工学専攻	2	58	-	116	修士 (工学)	1.09	-	平成30	同上	
情報工学専攻	2	30	-	60	修士 (工学)	1.26	-	平成30	同上	
都市システム工学専攻	2	27	-	54	修士 (工学)	1.18	-	平成30	同上	
機械工学専攻	2	-	-	-	修士 (工学)	-	-	平成7	同上	平成30年度より学生募集停止
電気電子工学専攻	2	-	-	-	修士 (工学)	-	-	平成7	同上	平成30年度より学生募集停止
メディア通信工学専攻	2	-	-	-	修士 (工学)	-	-	平成12	同上	平成30年度より学生募集停止
知能システム工学専攻	2	-	-	-	修士 (工学)	-	-	平成21	同上	平成30年度より学生募集停止
応用粒子線科学専攻	2	-	-	-	修士(理学) 修士(工学)	-	-	平成16	同上	平成28年度より学生募集停止
農学研究科	2	48	-	96	修士 (農学)	0.84	-	昭和45	-	
農学専攻	2	48	-	96	修士 (農学)	0.84	-	平成29	茨城県稲敷郡阿見町中央3-21-1	
生物生産科学専攻	2	-	-	-	修士 (農学)	-	-	平成16	同上	平成29年度より学生募集停止
資源生物科学専攻	2	-	-	-	修士 (農学)	-	-	平成3	同上	平成29年度より学生募集停止
地域環境科学専攻	2	-	-	-	修士 (農学)	-	-	平成16	同上	平成29年度より学生募集停止
大学全体 (大学院)	2	473	-	946	-	1.09	-	-	-	
理工学研究科 (博士後期課程)	3	38	-	114	博士(理学) 博士(工学) 博士(学術)	0.65	-	平成7	-	
量子線科学専攻	3	20	-	60	博士(理学) 博士(工学) 博士(学術)	0.56	-	平成28	茨城県水戸市文京2-1-1 茨城県日立市中成沢町4-12-1	
複雑系システム科学専攻	3	10	-	30	博士(理学) 博士(工学) 博士(学術)	0.83	-	平成28	同上	

社会インフラシステム科学専攻	3	8	-	24	博士(理学) 博士(工学) 博士(学術)	0.66	-	平成28	同上	
物質科学専攻	3	-	-	-	博士(理学) 博士(工学) 博士(学術)	-	-	平成7	茨城県日立市中成沢町4-12-1	平成28年度より学生募集停止
生産科学専攻	3	-	-	-	博士(理学) 博士(工学) 博士(学術)	-	-	平成7	同上	平成28年度より学生募集停止
情報・システム科学専攻	3	-	-	-	博士(理学) 博士(工学) 博士(学術)	-	-	平成7	同上	平成28年度より学生募集停止
宇宙地球システム科学専攻	3	-	-	-	博士(理学) 博士(工学) 博士(学術)	-	-	平成7	茨城県水戸市文京2-1-1	平成28年度より学生募集停止
環境機能科学専攻	3	-	-	-	博士(理学) 博士(工学) 博士(学術)	-	-	平成8	同上	平成28年度より学生募集停止
応用粒子線科学専攻	3	-	-	-	博士(理学) 博士(工学) 博士(学術)	-	-	平成16	茨城県日立市中成沢町4-12-1	平成28年度より学生募集停止
大学全体(大学院(博士))	3	38	-	114	-	0.65	-	-	-	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校種ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(専攻科及び別科を除く)。
- ・学部/学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めず。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」の考え方は「大学設置等に係る提出書類の作成の手引き(平成31年度改訂版)」と同じです。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<理工学研究科 都市システム工学専攻>

(1) -① 担当教員表

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		担当授業科目名
専	教授	横木 裕宗 (51) <平成30年4月> 博士(工学)
		地球環境システム論Ⅰ 生態系保全再生・モニタリング特論 沿岸環境形成工学特論 サステナビリティ学最前線 サステナビリティ学インターンシップ 都市システム工学専攻学外実習 建築実務実習 社会基盤デザイン特別演習Ⅰ 社会基盤デザイン特別演習Ⅱ 社会基盤デザイン特別研究Ⅰ 社会基盤デザイン特別研究Ⅱ 建築デザイン特別演習Ⅰ 建築デザイン特別演習Ⅱ 建築デザイン特別研究Ⅰ 建築デザイン特別研究Ⅱ サステナビリティ学特別演習Ⅰ サステナビリティ学特別演習Ⅱ サステナビリティ学特別研究Ⅰ サステナビリティ学特別研究Ⅱ 問題発見解決実習Ⅰ 問題発見解決実習Ⅱ 問題発見解決実習Ⅲ 都市システム工学特別講義Ⅰ 都市システム工学特別講義Ⅱ 最先端技術特論 OFF-CLASS-PROJECT
専	教授	呉智深 (55) <平成30年4月> 工学博士
		地震工学特論 維持管理工学特論 サステナビリティ学インターンシップ 都市システム工学専攻学外実習 建築実務実習 社会基盤デザイン特別演習Ⅰ 社会基盤デザイン特別演習Ⅱ 社会基盤デザイン特別研究Ⅰ 社会基盤デザイン特別研究Ⅱ 建築デザイン特別演習Ⅰ 建築デザイン特別演習Ⅱ 建築デザイン特別研究Ⅰ 建築デザイン特別研究Ⅱ サステナビリティ学特別演習Ⅰ サステナビリティ学特別演習Ⅱ サステナビリティ学特別研究Ⅰ サステナビリティ学特別研究Ⅱ 問題発見解決実習Ⅰ 問題発見解決実習Ⅱ 問題発見解決実習Ⅲ 都市システム工学特別講義Ⅰ 都市システム工学特別講義Ⅱ 最先端技術特論 OFF-CLASS-PROJECT

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		担当授業科目名
専	教授	横木 裕宗 (52) <平成30年4月> 博士(工学)
		地球環境システム論Ⅰ 生態系保全再生・モニタリング特論 沿岸環境形成工学特論 サステナビリティ学最前線 サステナビリティ学インターンシップ 都市システム工学専攻学外実習 建築実務実習 社会基盤デザイン特別演習Ⅰ 社会基盤デザイン特別演習Ⅱ 社会基盤デザイン特別研究Ⅰ 社会基盤デザイン特別研究Ⅱ 建築デザイン特別演習Ⅰ 建築デザイン特別演習Ⅱ 建築デザイン特別研究Ⅰ 建築デザイン特別研究Ⅱ サステナビリティ学特別演習Ⅰ サステナビリティ学特別演習Ⅱ サステナビリティ学特別研究Ⅰ サステナビリティ学特別研究Ⅱ 問題発見解決実習Ⅰ 問題発見解決実習Ⅱ 問題発見解決実習Ⅲ 都市システム工学特別講義Ⅰ 都市システム工学特別講義Ⅱ 最先端技術特論 OFF-CLASS-PROJECT
専	教授	呉智深 (56) <平成30年4月> 工学博士
		地震工学特論 維持管理工学特論 サステナビリティ学インターンシップ 都市システム工学専攻学外実習 建築実務実習 社会基盤デザイン特別演習Ⅰ 社会基盤デザイン特別演習Ⅱ 社会基盤デザイン特別研究Ⅰ 社会基盤デザイン特別研究Ⅱ 建築デザイン特別演習Ⅰ 建築デザイン特別演習Ⅱ 建築デザイン特別研究Ⅰ 建築デザイン特別研究Ⅱ サステナビリティ学特別演習Ⅰ サステナビリティ学特別演習Ⅱ サステナビリティ学特別研究Ⅰ サステナビリティ学特別研究Ⅱ 問題発見解決実習Ⅰ 問題発見解決実習Ⅱ 問題発見解決実習Ⅲ 都市システム工学特別講義Ⅰ 都市システム工学特別講義Ⅱ 最先端技術特論 OFF-CLASS-PROJECT

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		担当授業科目名
専	教授	横木 裕宗 (53) <平成30年4月> 博士(工学)
		地球環境システム論Ⅰ 生態系保全再生・モニタリング特論 沿岸環境形成工学特論 サステナビリティ学最前線 サステナビリティ学インターンシップ 都市システム工学専攻学外実習 建築実務実習 社会基盤デザイン特別演習Ⅰ 社会基盤デザイン特別演習Ⅱ 社会基盤デザイン特別研究Ⅰ 社会基盤デザイン特別研究Ⅱ 建築デザイン特別演習Ⅰ 建築デザイン特別演習Ⅱ 建築デザイン特別研究Ⅰ 建築デザイン特別研究Ⅱ サステナビリティ学特別演習Ⅰ サステナビリティ学特別演習Ⅱ サステナビリティ学特別研究Ⅰ サステナビリティ学特別研究Ⅱ 問題発見解決実習Ⅰ 問題発見解決実習Ⅱ 問題発見解決実習Ⅲ 都市システム工学特別講義Ⅰ 都市システム工学特別講義Ⅱ 最先端技術特論 OFF-CLASS-PROJECT
専	教授	呉智深 (57) <平成30年4月> 工学博士
		地震工学特論 維持管理工学特論 サステナビリティ学インターンシップ 都市システム工学専攻学外実習 建築実務実習 社会基盤デザイン特別演習Ⅰ 社会基盤デザイン特別演習Ⅱ 社会基盤デザイン特別研究Ⅰ 社会基盤デザイン特別研究Ⅱ 建築デザイン特別演習Ⅰ 建築デザイン特別演習Ⅱ 建築デザイン特別研究Ⅰ 建築デザイン特別研究Ⅱ サステナビリティ学特別演習Ⅰ サステナビリティ学特別演習Ⅱ サステナビリティ学特別研究Ⅰ サステナビリティ学特別研究Ⅱ 問題発見解決実習Ⅰ 問題発見解決実習Ⅱ 問題発見解決実習Ⅲ 都市システム工学特別講義Ⅰ 都市システム工学特別講義Ⅱ 最先端技術特論 OFF-CLASS-PROJECT

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	沼尾 達弥 (62) <平成30年4月> 博士(工学)
		建築材料学特論 建築材料演習 サステイナビリティ学インターンシップ 都市システム工学専攻学外実習 建築実務実習 社会基盤デザイン特別演習Ⅰ 社会基盤デザイン特別演習Ⅱ 社会基盤デザイン特別研究Ⅰ 社会基盤デザイン特別研究Ⅱ 建築デザイン特別演習Ⅰ 建築デザイン特別演習Ⅱ 建築デザイン特別研究Ⅰ 建築デザイン特別研究Ⅱ サステイナビリティ学特別演習Ⅰ サステイナビリティ学特別演習Ⅱ サステイナビリティ学特別研究Ⅰ サステイナビリティ学特別研究Ⅱ 問題発見解決実習Ⅰ 問題発見解決実習Ⅱ 問題発見解決実習Ⅲ 都市システム工学特別講義Ⅰ 都市システム工学特別講義Ⅱ 最先端技術特論 OFF-CLASS-PROJECT
専	教授	原田 隆郎 (50) <平成30年4月> 博士(工学)
		社会基盤情報処理特論 サステイナビリティ学インターンシップ 都市システム工学専攻学外実習 建築実務実習 社会基盤デザイン特別演習Ⅰ 社会基盤デザイン特別演習Ⅱ 社会基盤デザイン特別研究Ⅰ 社会基盤デザイン特別研究Ⅱ 建築デザイン特別演習Ⅰ 建築デザイン特別演習Ⅱ 建築デザイン特別研究Ⅰ 建築デザイン特別研究Ⅱ サステイナビリティ学特別演習Ⅰ サステイナビリティ学特別演習Ⅱ サステイナビリティ学特別研究Ⅰ サステイナビリティ学特別研究Ⅱ 問題発見解決実習Ⅰ 問題発見解決実習Ⅱ 問題発見解決実習Ⅲ 都市システム工学特別講義Ⅰ 都市システム工学特別講義Ⅱ 最先端技術特論 OFF-CLASS-PROJECT

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	沼尾 達弥 (63) <平成30年4月> 博士(工学)
		建築材料学特論 建築材料演習 サステイナビリティ学インターンシップ 都市システム工学専攻学外実習 建築実務実習 社会基盤デザイン特別演習Ⅰ 社会基盤デザイン特別演習Ⅱ 社会基盤デザイン特別研究Ⅰ 社会基盤デザイン特別研究Ⅱ 建築デザイン特別演習Ⅰ 建築デザイン特別演習Ⅱ 建築デザイン特別研究Ⅰ 建築デザイン特別研究Ⅱ サステイナビリティ学特別演習Ⅰ サステイナビリティ学特別演習Ⅱ サステイナビリティ学特別研究Ⅰ サステイナビリティ学特別研究Ⅱ 問題発見解決実習Ⅰ 問題発見解決実習Ⅱ 問題発見解決実習Ⅲ 都市システム工学特別講義Ⅰ 都市システム工学特別講義Ⅱ 最先端技術特論 OFF-CLASS-PROJECT
専	教授	原田 隆郎 (51) <平成30年4月> 博士(工学)
		社会基盤情報処理特論 サステイナビリティ学インターンシップ 都市システム工学専攻学外実習 建築実務実習 社会基盤デザイン特別演習Ⅰ 社会基盤デザイン特別演習Ⅱ 社会基盤デザイン特別研究Ⅰ 社会基盤デザイン特別研究Ⅱ 建築デザイン特別演習Ⅰ 建築デザイン特別演習Ⅱ 建築デザイン特別研究Ⅰ 建築デザイン特別研究Ⅱ サステイナビリティ学特別演習Ⅰ サステイナビリティ学特別演習Ⅱ サステイナビリティ学特別研究Ⅰ サステイナビリティ学特別研究Ⅱ 問題発見解決実習Ⅰ 問題発見解決実習Ⅱ 問題発見解決実習Ⅲ 都市システム工学特別講義Ⅰ 都市システム工学特別講義Ⅱ 最先端技術特論 OFF-CLASS-PROJECT

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	原田 隆郎 (52) <平成30年4月> 博士(工学)
		社会基盤情報処理特論 サステイナビリティ学インターンシップ 都市システム工学専攻学外実習 建築実務実習 社会基盤デザイン特別演習Ⅰ 社会基盤デザイン特別演習Ⅱ 社会基盤デザイン特別研究Ⅰ 社会基盤デザイン特別研究Ⅱ 建築デザイン特別演習Ⅰ 建築デザイン特別演習Ⅱ 建築デザイン特別研究Ⅰ 建築デザイン特別研究Ⅱ サステイナビリティ学特別演習Ⅰ サステイナビリティ学特別演習Ⅱ サステイナビリティ学特別研究Ⅰ サステイナビリティ学特別研究Ⅱ 問題発見解決実習Ⅰ 問題発見解決実習Ⅱ 問題発見解決実習Ⅲ 都市システム工学特別講義Ⅰ 都市システム工学特別講義Ⅱ 最先端技術特論 OFF-CLASS-PROJECT

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	小林 薫 (56) <平成30年4月> 博士(工学)
		応用土質力学特論 サステイナビリティ学インター ンシップ 都市システム工学専攻学外実習 建築実務実習 社会基盤デザイン特別演習Ⅰ 社会基盤デザイン特別演習Ⅱ 社会基盤デザイン特別研究Ⅰ 社会基盤デザイン特別研究Ⅱ 建築デザイン特別演習Ⅰ 建築デザイン特別演習Ⅱ 建築デザイン特別研究Ⅰ 建築デザイン特別研究Ⅱ サステイナビリティ学特別演習 Ⅰ サステイナビリティ学特別演習 Ⅱ サステイナビリティ学特別研究 Ⅰ サステイナビリティ学特別研究 Ⅱ 問題発見解決実習Ⅰ 問題発見解決実習Ⅱ 問題発見解決実習Ⅲ 都市システム工学特別講義Ⅰ 都市システム工学特別講義Ⅱ 最先端技術特論 OFF-CLASS-PROJECT
専	教授	信岡 尚道 (48) <平成30年4月> 博士(工学)
		応用水理学特論 サステイナビリティ学インター ンシップ 都市システム工学専攻学外実習 建築実務実習 社会基盤デザイン特別演習Ⅰ 社会基盤デザイン特別演習Ⅱ 社会基盤デザイン特別研究Ⅰ 社会基盤デザイン特別研究Ⅱ 建築デザイン特別演習Ⅰ 建築デザイン特別演習Ⅱ 建築デザイン特別研究Ⅰ 建築デザイン特別研究Ⅱ サステイナビリティ学特別演習 Ⅰ サステイナビリティ学特別演習 Ⅱ サステイナビリティ学特別研究 Ⅰ サステイナビリティ学特別研究 Ⅱ 問題発見解決実習Ⅰ 問題発見解決実習Ⅱ 問題発見解決実習Ⅲ 都市システム工学特別講義Ⅰ 都市システム工学特別講義Ⅱ 最先端技術特論 OFF-CLASS-PROJECT

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	小林 薫 (57) <平成30年4月> 博士(工学)
		応用土質力学特論 サステイナビリティ学インター ンシップ 都市システム工学専攻学外実習 建築実務実習 社会基盤デザイン特別演習Ⅰ 社会基盤デザイン特別演習Ⅱ 社会基盤デザイン特別研究Ⅰ 社会基盤デザイン特別研究Ⅱ 建築デザイン特別演習Ⅰ 建築デザイン特別演習Ⅱ 建築デザイン特別研究Ⅰ 建築デザイン特別研究Ⅱ サステイナビリティ学特別演習 Ⅰ サステイナビリティ学特別演習 Ⅱ サステイナビリティ学特別研究 Ⅰ サステイナビリティ学特別研究 Ⅱ 問題発見解決実習Ⅰ 問題発見解決実習Ⅱ 問題発見解決実習Ⅲ 都市システム工学特別講義Ⅰ 都市システム工学特別講義Ⅱ 最先端技術特論 OFF-CLASS-PROJECT
専	教授	信岡 尚道 (49) <平成30年4月> 博士(工学)
		応用水理学特論 サステイナビリティ学インター ンシップ 都市システム工学専攻学外実習 建築実務実習 社会基盤デザイン特別演習Ⅰ 社会基盤デザイン特別演習Ⅱ 社会基盤デザイン特別研究Ⅰ 社会基盤デザイン特別研究Ⅱ 建築デザイン特別演習Ⅰ 建築デザイン特別演習Ⅱ 建築デザイン特別研究Ⅰ 建築デザイン特別研究Ⅱ サステイナビリティ学特別演習 Ⅰ サステイナビリティ学特別演習 Ⅱ サステイナビリティ学特別研究 Ⅰ サステイナビリティ学特別研究 Ⅱ 問題発見解決実習Ⅰ 問題発見解決実習Ⅱ 問題発見解決実習Ⅲ 都市システム工学特別講義Ⅰ 都市システム工学特別講義Ⅱ 最先端技術特論 OFF-CLASS-PROJECT

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	小林 薫 (58) <平成30年4月> 博士(工学)
		応用土質力学特論 サステイナビリティ学インター ンシップ 都市システム工学専攻学外実習 建築実務実習 社会基盤デザイン特別演習Ⅰ 社会基盤デザイン特別演習Ⅱ 社会基盤デザイン特別研究Ⅰ 社会基盤デザイン特別研究Ⅱ 建築デザイン特別演習Ⅰ 建築デザイン特別演習Ⅱ 建築デザイン特別研究Ⅰ 建築デザイン特別研究Ⅱ サステイナビリティ学特別演習 Ⅰ サステイナビリティ学特別演習 Ⅱ サステイナビリティ学特別研究 Ⅰ サステイナビリティ学特別研究 Ⅱ 問題発見解決実習Ⅰ 問題発見解決実習Ⅱ 問題発見解決実習Ⅲ 都市システム工学特別講義Ⅰ 都市システム工学特別講義Ⅱ 最先端技術特論 OFF-CLASS-PROJECT
専	教授	信岡 尚道 (50) <平成30年4月> 博士(工学)
		応用水理学特論 サステイナビリティ学インター ンシップ 都市システム工学専攻学外実習 建築実務実習 社会基盤デザイン特別演習Ⅰ 社会基盤デザイン特別演習Ⅱ 社会基盤デザイン特別研究Ⅰ 社会基盤デザイン特別研究Ⅱ 建築デザイン特別演習Ⅰ 建築デザイン特別演習Ⅱ 建築デザイン特別研究Ⅰ 建築デザイン特別研究Ⅱ サステイナビリティ学特別演習 Ⅰ サステイナビリティ学特別演習 Ⅱ サステイナビリティ学特別研究 Ⅰ サステイナビリティ学特別研究 Ⅱ 問題発見解決実習Ⅰ 問題発見解決実習Ⅱ 問題発見解決実習Ⅲ 都市システム工学特別講義Ⅰ 都市システム工学特別講義Ⅱ 最先端技術特論 OFF-CLASS-PROJECT

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
専	教授	金利昭 (61) ＜平成30年4月＞ 博士(工学)
		土木計画学特論 サステイナビリティ学インター ンシップ 都市システム工学専攻学外実習 建築実務実習 社会基盤デザイン特別演習Ⅰ 社会基盤デザイン特別演習Ⅱ 社会基盤デザイン特別研究Ⅰ 社会基盤デザイン特別研究Ⅱ 建築デザイン特別演習Ⅰ 建築デザイン特別演習Ⅱ 建築デザイン特別研究Ⅰ 建築デザイン特別研究Ⅱ サステイナビリティ学特別演習 Ⅰ サステイナビリティ学特別演習 Ⅱ サステイナビリティ学特別研究 Ⅰ サステイナビリティ学特別研究 Ⅱ 問題発見解決実習Ⅰ 問題発見解決実習Ⅱ 問題発見解決実習Ⅲ 都市システム工学特別講義Ⅰ 都市システム工学特別講義Ⅱ 最先端技術特論 OFF-CLASS-PROJECT
専	教授	山田 稔 (59) ＜平成30年4月＞ 工学博士
		交通計画特論 サステイナビリティ学インター ンシップ 都市システム工学専攻学外実習 建築実務実習 社会基盤デザイン特別演習Ⅰ 社会基盤デザイン特別演習Ⅱ 社会基盤デザイン特別研究Ⅰ 社会基盤デザイン特別研究Ⅱ 建築デザイン特別演習Ⅰ 建築デザイン特別演習Ⅱ 建築デザイン特別研究Ⅰ 建築デザイン特別研究Ⅱ サステイナビリティ学特別演習 Ⅰ サステイナビリティ学特別演習 Ⅱ サステイナビリティ学特別研究 Ⅰ サステイナビリティ学特別研究 Ⅱ 問題発見解決実習Ⅰ 問題発見解決実習Ⅱ 問題発見解決実習Ⅲ 都市システム工学特別講義Ⅰ 都市システム工学特別講義Ⅱ 最先端技術特論 OFF-CLASS-PROJECT

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
専	教授	金利昭 (62) ＜平成30年4月＞ 博士(工学)
		土木計画学特論 サステイナビリティ学インター ンシップ 都市システム工学専攻学外実習 建築実務実習 社会基盤デザイン特別演習Ⅰ 社会基盤デザイン特別演習Ⅱ 社会基盤デザイン特別研究Ⅰ 社会基盤デザイン特別研究Ⅱ 建築デザイン特別演習Ⅰ 建築デザイン特別演習Ⅱ 建築デザイン特別研究Ⅰ 建築デザイン特別研究Ⅱ サステイナビリティ学特別演習 Ⅰ サステイナビリティ学特別演習 Ⅱ サステイナビリティ学特別研究 Ⅰ サステイナビリティ学特別研究 Ⅱ 問題発見解決実習Ⅰ 問題発見解決実習Ⅱ 問題発見解決実習Ⅲ 都市システム工学特別講義Ⅰ 都市システム工学特別講義Ⅱ 最先端技術特論 OFF-CLASS-PROJECT
専	教授	山田 稔 (60) ＜平成30年4月＞ 工学博士
		交通計画特論 サステイナビリティ学インター ンシップ 都市システム工学専攻学外実習 建築実務実習 社会基盤デザイン特別演習Ⅰ 社会基盤デザイン特別演習Ⅱ 社会基盤デザイン特別研究Ⅰ 社会基盤デザイン特別研究Ⅱ 建築デザイン特別演習Ⅰ 建築デザイン特別演習Ⅱ 建築デザイン特別研究Ⅰ 建築デザイン特別研究Ⅱ サステイナビリティ学特別演習 Ⅰ サステイナビリティ学特別演習 Ⅱ サステイナビリティ学特別研究 Ⅰ サステイナビリティ学特別研究 Ⅱ 問題発見解決実習Ⅰ 問題発見解決実習Ⅱ 問題発見解決実習Ⅲ 都市システム工学特別講義Ⅰ 都市システム工学特別講義Ⅱ 最先端技術特論 OFF-CLASS-PROJECT

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
専	教授	金利昭 (63) ＜平成30年4月＞ 博士(工学)
		土木計画学特論 サステイナビリティ学インター ンシップ 都市システム工学専攻学外実習 建築実務実習 社会基盤デザイン特別演習Ⅰ 社会基盤デザイン特別演習Ⅱ 社会基盤デザイン特別研究Ⅰ 社会基盤デザイン特別研究Ⅱ 建築デザイン特別演習Ⅰ 建築デザイン特別演習Ⅱ 建築デザイン特別研究Ⅰ 建築デザイン特別研究Ⅱ サステイナビリティ学特別演習 Ⅰ サステイナビリティ学特別演習 Ⅱ サステイナビリティ学特別研究 Ⅰ サステイナビリティ学特別研究 Ⅱ 問題発見解決実習Ⅰ 問題発見解決実習Ⅱ 問題発見解決実習Ⅲ 都市システム工学特別講義Ⅰ 都市システム工学特別講義Ⅱ 最先端技術特論 OFF-CLASS-PROJECT
専	教授	山田 稔 (61) ＜平成30年4月＞ 工学博士
		交通計画特論 サステイナビリティ学インター ンシップ 都市システム工学専攻学外実習 建築実務実習 社会基盤デザイン特別演習Ⅰ 社会基盤デザイン特別演習Ⅱ 社会基盤デザイン特別研究Ⅰ 社会基盤デザイン特別研究Ⅱ 建築デザイン特別演習Ⅰ 建築デザイン特別演習Ⅱ 建築デザイン特別研究Ⅰ 建築デザイン特別研究Ⅱ サステイナビリティ学特別演習 Ⅰ サステイナビリティ学特別演習 Ⅱ サステイナビリティ学特別研究 Ⅰ サステイナビリティ学特別研究 Ⅱ 問題発見解決実習Ⅰ 問題発見解決実習Ⅱ 問題発見解決実習Ⅲ 都市システム工学特別講義Ⅰ 都市システム工学特別講義Ⅱ 最先端技術特論 OFF-CLASS-PROJECT

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	准教授	藤田 昌史 (44) <平成30年4月> 博士(工学)
		霞ヶ浦環境科学概論 水質工学特論 生態系保全再生・モニタリング特論 サステナビリティ学インターンシップ 都市システム工学専攻学外実習 建築実務実習 社会基盤デザイン特別演習Ⅰ 社会基盤デザイン特別演習Ⅱ 社会基盤デザイン特別研究Ⅰ 社会基盤デザイン特別研究Ⅱ 建築デザイン特別演習Ⅰ 建築デザイン特別演習Ⅱ 建築デザイン特別研究Ⅰ 建築デザイン特別研究Ⅱ サステナビリティ学特別演習Ⅰ サステナビリティ学特別演習Ⅱ サステナビリティ学特別研究Ⅰ サステナビリティ学特別研究Ⅱ 問題発見解決実習Ⅰ 問題発見解決実習Ⅱ 問題発見解決実習Ⅲ 都市システム工学特別講義Ⅰ 都市システム工学特別講義Ⅱ 最先端技術特論 OFF-CLASS-PROJECT
専	准教授	平田 輝満 (40) <平成30年4月> 博士(工学)
		リスクマネジメント特論 サステナビリティ学インターンシップ 都市システム工学専攻学外実習 建築実務実習 社会基盤デザイン特別演習Ⅰ 社会基盤デザイン特別演習Ⅱ 社会基盤デザイン特別研究Ⅰ 社会基盤デザイン特別研究Ⅱ 建築デザイン特別演習Ⅰ 建築デザイン特別演習Ⅱ 建築デザイン特別研究Ⅰ 建築デザイン特別研究Ⅱ サステナビリティ学特別演習Ⅰ サステナビリティ学特別演習Ⅱ サステナビリティ学特別研究Ⅰ サステナビリティ学特別研究Ⅱ 問題発見解決実習Ⅰ 問題発見解決実習Ⅱ 問題発見解決実習Ⅲ 都市システム工学特別講義Ⅰ 都市システム工学特別講義Ⅱ 最先端技術特論 OFF-CLASS-PROJECT

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	准教授	藤田 昌史 (45) <平成30年4月> 博士(工学)
		霞ヶ浦環境科学概論 水質工学特論 生態系保全再生・モニタリング特論 サステナビリティ学インターンシップ 都市システム工学専攻学外実習 建築実務実習 社会基盤デザイン特別演習Ⅰ 社会基盤デザイン特別演習Ⅱ 社会基盤デザイン特別研究Ⅰ 社会基盤デザイン特別研究Ⅱ 建築デザイン特別演習Ⅰ 建築デザイン特別演習Ⅱ 建築デザイン特別研究Ⅰ 建築デザイン特別研究Ⅱ サステナビリティ学特別演習Ⅰ サステナビリティ学特別演習Ⅱ サステナビリティ学特別研究Ⅰ サステナビリティ学特別研究Ⅱ 問題発見解決実習Ⅰ 問題発見解決実習Ⅱ 問題発見解決実習Ⅲ 都市システム工学特別講義Ⅰ 都市システム工学特別講義Ⅱ 最先端技術特論 OFF-CLASS-PROJECT
専	准教授	平田 輝満 (41) <平成30年4月> 博士(工学)
		リスクマネジメント特論 サステナビリティ学インターンシップ 都市システム工学専攻学外実習 建築実務実習 社会基盤デザイン特別演習Ⅰ 社会基盤デザイン特別演習Ⅱ 社会基盤デザイン特別研究Ⅰ 社会基盤デザイン特別研究Ⅱ 建築デザイン特別演習Ⅰ 建築デザイン特別演習Ⅱ 建築デザイン特別研究Ⅰ 建築デザイン特別研究Ⅱ サステナビリティ学特別演習Ⅰ サステナビリティ学特別演習Ⅱ サステナビリティ学特別研究Ⅰ サステナビリティ学特別研究Ⅱ 問題発見解決実習Ⅰ 問題発見解決実習Ⅱ 問題発見解決実習Ⅲ 都市システム工学特別講義Ⅰ 都市システム工学特別講義Ⅱ 最先端技術特論 OFF-CLASS-PROJECT

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	准教授	藤田 昌史 (46) <平成30年4月> 博士(工学)
		霞ヶ浦環境科学概論 水質工学特論 生態系保全再生・モニタリング特論 サステナビリティ学インターンシップ 都市システム工学専攻学外実習 建築実務実習 社会基盤デザイン特別演習Ⅰ 社会基盤デザイン特別演習Ⅱ 社会基盤デザイン特別研究Ⅰ 社会基盤デザイン特別研究Ⅱ 建築デザイン特別演習Ⅰ 建築デザイン特別演習Ⅱ 建築デザイン特別研究Ⅰ 建築デザイン特別研究Ⅱ サステナビリティ学特別演習Ⅰ サステナビリティ学特別演習Ⅱ サステナビリティ学特別研究Ⅰ サステナビリティ学特別研究Ⅱ 問題発見解決実習Ⅰ 問題発見解決実習Ⅱ 問題発見解決実習Ⅲ 都市システム工学特別講義Ⅰ 都市システム工学特別講義Ⅱ 最先端技術特論 OFF-CLASS-PROJECT
専	准教授	平田 輝満 (42) <平成30年4月> 博士(工学)
		リスクマネジメント特論 サステナビリティ学インターンシップ 都市システム工学専攻学外実習 建築実務実習 社会基盤デザイン特別演習Ⅰ 社会基盤デザイン特別演習Ⅱ 社会基盤デザイン特別研究Ⅰ 社会基盤デザイン特別研究Ⅱ 建築デザイン特別演習Ⅰ 建築デザイン特別演習Ⅱ 建築デザイン特別研究Ⅰ 建築デザイン特別研究Ⅱ サステナビリティ学特別演習Ⅰ サステナビリティ学特別演習Ⅱ サステナビリティ学特別研究Ⅰ サステナビリティ学特別研究Ⅱ 問題発見解決実習Ⅰ 問題発見解決実習Ⅱ 問題発見解決実習Ⅲ 都市システム工学特別講義Ⅰ 都市システム工学特別講義Ⅱ 最先端技術特論 OFF-CLASS-PROJECT

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	准教授	熊澤 貴之 (44) <平成30年4月> 博士(工学)
		建築都市デザインスタジオ I 建築都市計画学特論 サステイナビリティ学インターンシップ 都市システム工学専攻学外実習 建築実務実習 社会基盤デザイン特別演習 I 社会基盤デザイン特別演習 II 社会基盤デザイン特別研究 I 社会基盤デザイン特別研究 II 建築デザイン特別演習 I 建築デザイン特別演習 II 建築デザイン特別研究 I 建築デザイン特別研究 II サステイナビリティ学特別演習 I サステイナビリティ学特別演習 II サステイナビリティ学特別研究 I サステイナビリティ学特別研究 II 問題発見解決実習 I 問題発見解決実習 II 問題発見解決実習 III 都市システム工学特別講義 I 都市システム工学特別講義 II 最先端技術特論 OFF-CLASS-PROJECT
専	准教授	成田 和彦 (62) <平成30年4月> 博士(工学)
		建築構造デザイン演習 建築構造デザイン学特論 サステイナビリティ学インターンシップ 都市システム工学専攻学外実習 建築実務実習 問題発見解決実習 I 問題発見解決実習 II 問題発見解決実習 III 都市システム工学特別講義 I 都市システム工学特別講義 II 最先端技術特論 OFF-CLASS-PROJECT

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	准教授	熊澤 貴之 (45) <平成30年4月> 博士(工学)
		建築都市デザインスタジオ I 建築都市計画学特論 サステイナビリティ学インターンシップ 都市システム工学専攻学外実習 建築実務実習 社会基盤デザイン特別演習 I 社会基盤デザイン特別演習 II 社会基盤デザイン特別研究 I 社会基盤デザイン特別研究 II 建築デザイン特別演習 I 建築デザイン特別演習 II 建築デザイン特別研究 I 建築デザイン特別研究 II サステイナビリティ学特別演習 I サステイナビリティ学特別演習 II サステイナビリティ学特別研究 I サステイナビリティ学特別研究 II 問題発見解決実習 I 問題発見解決実習 II 問題発見解決実習 III 都市システム工学特別講義 I 都市システム工学特別講義 II 最先端技術特論 OFF-CLASS-PROJECT
専	准教授	成田 和彦 (63) <平成30年4月> 博士(工学)
		建築構造デザイン演習 建築構造デザイン学特論 サステイナビリティ学インターンシップ 都市システム工学専攻学外実習 建築実務実習 問題発見解決実習 I 問題発見解決実習 II 問題発見解決実習 III 都市システム工学特別講義 I 都市システム工学特別講義 II 最先端技術特論 OFF-CLASS-PROJECT

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	准教授	熊澤 貴之 (46) <平成30年4月> 博士(工学)
		建築都市デザインスタジオ I 建築都市計画学特論 サステイナビリティ学インターンシップ 都市システム工学専攻学外実習 建築実務実習 社会基盤デザイン特別演習 I 社会基盤デザイン特別演習 II 社会基盤デザイン特別研究 I 社会基盤デザイン特別研究 II 建築デザイン特別演習 I 建築デザイン特別演習 II 建築デザイン特別研究 I 建築デザイン特別研究 II サステイナビリティ学特別演習 I サステイナビリティ学特別演習 II サステイナビリティ学特別研究 I サステイナビリティ学特別研究 II 問題発見解決実習 I 問題発見解決実習 II 問題発見解決実習 III 都市システム工学特別講義 I 都市システム工学特別講義 II 最先端技術特論 OFF-CLASS-PROJECT
専	准教授	成田 和彦 (64) <平成30年4月> 博士(工学)
		建築構造デザイン演習 建築構造デザイン学特論 サステイナビリティ学インターンシップ 都市システム工学専攻学外実習 建築実務実習 問題発見解決実習 I 問題発見解決実習 II 問題発見解決実習 III 都市システム工学特別講義 I 都市システム工学特別講義 II 最先端技術特論 OFF-CLASS-PROJECT

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	准教授	車谷 麻緒 (37) <平成30年4月> 博士(工学)
		構造解析学特論 サステイナビリティ学インターンシップ 都市システム工学専攻学外実習 建築実務実習 社会基盤デザイン特別演習Ⅰ 社会基盤デザイン特別演習Ⅱ 社会基盤デザイン特別研究Ⅰ 社会基盤デザイン特別研究Ⅱ 建築デザイン特別演習Ⅰ 建築デザイン特別演習Ⅱ 建築デザイン特別研究Ⅰ 建築デザイン特別研究Ⅱ サステイナビリティ学特別演習Ⅰ サステイナビリティ学特別演習Ⅱ サステイナビリティ学特別研究Ⅰ サステイナビリティ学特別研究Ⅱ 問題発見解決実習Ⅰ 問題発見解決実習Ⅱ 問題発見解決実習Ⅲ 都市システム工学特別講義Ⅰ 都市システム工学特別講義Ⅱ 最先端技術特論 OFF-CLASS-PROJECT
専	准教授	専任教員 () <平成30年4月>
		地盤防災工学特論 サステイナビリティ学インターンシップ 都市システム工学専攻学外実習 建築実務実習 社会基盤デザイン特別演習Ⅰ 社会基盤デザイン特別演習Ⅱ 社会基盤デザイン特別研究Ⅰ 社会基盤デザイン特別研究Ⅱ 建築デザイン特別演習Ⅰ 建築デザイン特別演習Ⅱ 建築デザイン特別研究Ⅰ 建築デザイン特別研究Ⅱ サステイナビリティ学特別演習Ⅰ サステイナビリティ学特別演習Ⅱ サステイナビリティ学特別研究Ⅰ サステイナビリティ学特別研究Ⅱ 問題発見解決実習Ⅰ 問題発見解決実習Ⅱ 問題発見解決実習Ⅲ 都市システム工学特別講義Ⅰ 都市システム工学特別講義Ⅱ 最先端技術特論 OFF-CLASS-PROJECT

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	准教授	車谷 麻緒 (38) <平成30年4月> 博士(工学)
		構造解析学特論 サステイナビリティ学インターンシップ 都市システム工学専攻学外実習 建築実務実習 社会基盤デザイン特別演習Ⅰ 社会基盤デザイン特別演習Ⅱ 社会基盤デザイン特別研究Ⅰ 社会基盤デザイン特別研究Ⅱ 建築デザイン特別演習Ⅰ 建築デザイン特別演習Ⅱ 建築デザイン特別研究Ⅰ 建築デザイン特別研究Ⅱ サステイナビリティ学特別演習Ⅰ サステイナビリティ学特別演習Ⅱ サステイナビリティ学特別研究Ⅰ サステイナビリティ学特別研究Ⅱ 問題発見解決実習Ⅰ 問題発見解決実習Ⅱ 問題発見解決実習Ⅲ 都市システム工学特別講義Ⅰ 都市システム工学特別講義Ⅱ 最先端技術特論 OFF-CLASS-PROJECT
専	准教授	榎本 忠夫 (36) <平成30年4月> 博士(工学)
		地盤防災工学特論 サステイナビリティ学インターンシップ 都市システム工学専攻学外実習 建築実務実習 社会基盤デザイン特別演習Ⅰ 社会基盤デザイン特別演習Ⅱ 社会基盤デザイン特別研究Ⅰ 社会基盤デザイン特別研究Ⅱ 建築デザイン特別演習Ⅰ 建築デザイン特別演習Ⅱ 建築デザイン特別研究Ⅰ 建築デザイン特別研究Ⅱ サステイナビリティ学特別演習Ⅰ サステイナビリティ学特別演習Ⅱ サステイナビリティ学特別研究Ⅰ サステイナビリティ学特別研究Ⅱ 問題発見解決実習Ⅰ 問題発見解決実習Ⅱ 問題発見解決実習Ⅲ 都市システム工学特別講義Ⅰ 都市システム工学特別講義Ⅱ 最先端技術特論 OFF-CLASS-PROJECT

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	准教授	車谷 麻緒 (39) <平成30年4月> 博士(工学)
		構造解析学特論 サステイナビリティ学インターンシップ 都市システム工学専攻学外実習 建築実務実習 社会基盤デザイン特別演習Ⅰ 社会基盤デザイン特別演習Ⅱ 社会基盤デザイン特別研究Ⅰ 社会基盤デザイン特別研究Ⅱ 建築デザイン特別演習Ⅰ 建築デザイン特別演習Ⅱ 建築デザイン特別研究Ⅰ 建築デザイン特別研究Ⅱ サステイナビリティ学特別演習Ⅰ サステイナビリティ学特別演習Ⅱ サステイナビリティ学特別研究Ⅰ サステイナビリティ学特別研究Ⅱ 問題発見解決実習Ⅰ 問題発見解決実習Ⅱ 問題発見解決実習Ⅲ 都市システム工学特別講義Ⅰ 都市システム工学特別講義Ⅱ 最先端技術特論 OFF-CLASS-PROJECT
専	准教授	榎本 忠夫 (37) <平成30年4月> 博士(工学)
		地盤防災工学特論 サステイナビリティ学インターンシップ 都市システム工学専攻学外実習 建築実務実習 社会基盤デザイン特別演習Ⅰ 社会基盤デザイン特別演習Ⅱ 社会基盤デザイン特別研究Ⅰ 社会基盤デザイン特別研究Ⅱ 建築デザイン特別演習Ⅰ 建築デザイン特別演習Ⅱ 建築デザイン特別研究Ⅰ 建築デザイン特別研究Ⅱ サステイナビリティ学特別演習Ⅰ サステイナビリティ学特別演習Ⅱ サステイナビリティ学特別研究Ⅰ サステイナビリティ学特別研究Ⅱ 問題発見解決実習Ⅰ 問題発見解決実習Ⅱ 問題発見解決実習Ⅲ 都市システム工学特別講義Ⅰ 都市システム工学特別講義Ⅱ 最先端技術特論 OFF-CLASS-PROJECT

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	講師	辻村 壮平 (37) <平成30年4月> 博士(工学) 建築環境デザイン演習 建築環境設計学特論 サステイナビリティ学インター ンシップ 都市システム工学専攻学外実習 建築実務実習 問題発見解決実習Ⅰ 問題発見解決実習Ⅱ 問題発見解決実習Ⅲ 都市システム工学特別講義Ⅰ 都市システム工学特別講義Ⅱ 最先端技術特論 OFF-CLASS-PROJECT
専	助教	一ノ瀬 彩 (39) <平成30年4月> 博士(デザイン学) 建築史・意匠特論 ワークショップ サステイナビリティ学インター ンシップ 都市システム工学専攻学外実習 建築実務実習 問題発見解決実習Ⅰ 問題発見解決実習Ⅱ 問題発見解決実習Ⅲ 都市システム工学特別講義Ⅰ 都市システム工学特別講義Ⅱ 最先端技術特論 OFF-CLASS-PROJECT

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	准教授	久野 靖広 (45) <平成30年4月> 修士(工学) 建築都市デザインスタジオⅡ サステイナビリティ学インター ンシップ 都市システム工学専攻学外実習 建築実務実習 問題発見解決実習Ⅰ 問題発見解決実習Ⅱ 問題発見解決実習Ⅲ 都市システム工学特別講義Ⅰ 都市システム工学特別講義Ⅱ 最先端技術特論 OFF-CLASS-PROJECT
専	講師	辻村 壮平 (38) <平成30年4月> 博士(工学) 建築環境デザイン演習 建築環境設計学特論 サステイナビリティ学インター ンシップ 都市システム工学専攻学外実習 建築実務実習 社会基盤デザイン特別演習Ⅰ 社会基盤デザイン特別演習Ⅱ 社会基盤デザイン特別研究Ⅰ 社会基盤デザイン特別研究Ⅱ 建築デザイン特別演習Ⅰ 建築デザイン特別演習Ⅱ 建築デザイン特別研究Ⅰ 建築デザイン特別研究Ⅱ サステイナビリティ学特別演習 Ⅰ サステイナビリティ学特別演習 Ⅱ サステイナビリティ学特別研究 Ⅰ サステイナビリティ学特別研究 Ⅱ 問題発見解決実習Ⅰ 問題発見解決実習Ⅱ 問題発見解決実習Ⅲ 都市システム工学特別講義Ⅰ 都市システム工学特別講義Ⅱ 最先端技術特論 OFF-CLASS-PROJECT
専	助教	一ノ瀬 彩 (40) <平成30年4月> 博士(デザイン学) 建築史・意匠特論 ワークショップ サステイナビリティ学インター ンシップ 都市システム工学専攻学外実習 建築実務実習 問題発見解決実習Ⅰ 問題発見解決実習Ⅱ 問題発見解決実習Ⅲ 都市システム工学特別講義Ⅰ 都市システム工学特別講義Ⅱ 最先端技術特論 OFF-CLASS-PROJECT

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	准教授	久野 靖広 (46) <平成30年4月> 修士(工学) 建築都市デザインスタジオⅡ サステイナビリティ学インター ンシップ 都市システム工学専攻学外実習 建築実務実習 問題発見解決実習Ⅰ 問題発見解決実習Ⅱ 問題発見解決実習Ⅲ 都市システム工学特別講義Ⅰ 都市システム工学特別講義Ⅱ 最先端技術特論 OFF-CLASS-PROJECT
専	准教授	辻村 壮平 (39) <平成30年4月> 博士(工学) 建築環境デザイン演習 建築環境設計学特論 サステイナビリティ学インター ンシップ 都市システム工学専攻学外実習 建築実務実習 社会基盤デザイン特別演習Ⅰ 社会基盤デザイン特別演習Ⅱ 社会基盤デザイン特別研究Ⅰ 社会基盤デザイン特別研究Ⅱ 建築デザイン特別演習Ⅰ 建築デザイン特別演習Ⅱ 建築デザイン特別研究Ⅰ 建築デザイン特別研究Ⅱ サステイナビリティ学特別演習 Ⅰ サステイナビリティ学特別演習 Ⅱ サステイナビリティ学特別研究 Ⅰ サステイナビリティ学特別研究 Ⅱ 問題発見解決実習Ⅰ 問題発見解決実習Ⅱ 問題発見解決実習Ⅲ 都市システム工学特別講義Ⅰ 都市システム工学特別講義Ⅱ 最先端技術特論 OFF-CLASS-PROJECT
専	助教	一ノ瀬 彩 (41) <平成30年4月> 博士(デザイン学) 建築史・意匠特論 ワークショップ サステイナビリティ学インター ンシップ 都市システム工学専攻学外実習 建築実務実習 問題発見解決実習Ⅰ 問題発見解決実習Ⅱ 問題発見解決実習Ⅲ 都市システム工学特別講義Ⅰ 都市システム工学特別講義Ⅱ 最先端技術特論 OFF-CLASS-PROJECT

【認可時又は届出時】

専任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名

【平成30年度】

専任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名

【令和元年度】

専任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	助教	稲用 隆一 (37) <令和元年4月> 博士(工学)
		ワークショップ サステナビリティ学インター ンシップ 都市システム工学専攻学外実習 建築実務実習 問題発見解決実習Ⅰ 問題発見解決実習Ⅱ 問題発見解決実習Ⅲ 都市システム工学特別講義Ⅰ 都市システム工学特別講義Ⅱ 最先端技術特論 OFF-CLASS-PROJECT
専	教授	未定 () <令和元年9月>
		建築材料学特論 建築材料演習 サステナビリティ学インター ンシップ 都市システム工学専攻学外実習 建築実務実習 社会基盤デザイン特別演習Ⅰ 社会基盤デザイン特別演習Ⅱ 社会基盤デザイン特別研究Ⅰ 社会基盤デザイン特別研究Ⅱ 建築デザイン特別演習Ⅰ 建築デザイン特別演習Ⅱ 建築デザイン特別研究Ⅰ 建築デザイン特別研究Ⅱ サステナビリティ学特別演習Ⅰ サステナビリティ学特別演習Ⅱ サステナビリティ学特別研究Ⅰ サステナビリティ学特別研究Ⅱ 問題発見解決実習Ⅰ 問題発見解決実習Ⅱ 問題発見解決実習Ⅲ 都市システム工学特別講義Ⅰ 都市システム工学特別講義Ⅱ 最先端技術特論 OFF-CLASS-PROJECT
専	講師	内藤 将俊 (46) <平成30年6月> 工学修士
		建築都市デザインスタジオⅢ ワークショップ

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
兼任	教授	桑原 祐史 (49) ＜平成30年4月＞ 博士(工学)
		国土空間情報特論 生態系保全再生・モニタリング特論 サステイナビリティ学インターンシップ 都市システム工学専攻学外実習建築実務実習 社会基盤デザイン特別演習Ⅰ 社会基盤デザイン特別演習Ⅱ 社会基盤デザイン特別研究Ⅰ 社会基盤デザイン特別研究Ⅱ 建築デザイン特別演習Ⅰ 建築デザイン特別演習Ⅱ 建築デザイン特別研究Ⅰ 建築デザイン特別研究Ⅱ サステイナビリティ学特別演習Ⅰ サステイナビリティ学特別演習Ⅱ サステイナビリティ学特別研究Ⅰ サステイナビリティ学特別研究Ⅱ 問題発見解決実習Ⅰ 問題発見解決実習Ⅱ 問題発見解決実習Ⅲ 都市システム工学特別講義Ⅰ 都市システム工学特別講義Ⅱ 最先端技術特論 OFF-CLASS-PROJECT
		伊藤 哲司 (52) ＜平成30年4月＞ 博士(心理学)
		国際実践教育演習 国内実践教育演習 人間システム基礎論Ⅰ
		田村 誠 (40) ＜平成30年4月＞ 博士(学術)
		国際実践教育演習 国内実践教育演習 サステイナビリティ学最前線 持続社会システム論Ⅱ
		長田 華子 (34) ＜平成30年4月＞ 博士(社会科学)
国際実践教育演習 国内実践教育演習 人間システム基礎論Ⅰ		
兼任	教授	岡 裕和 (52) ＜平成30年4月＞ 博士(理学)
		応用数学特論
兼任	教授	平澤 剛 (46) ＜平成30年4月＞ 博士(理学)
		解析学特論

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
兼任	教授	桑原 祐史 (50) ＜平成30年4月＞ 博士(工学)
		国土空間情報特論 生態系保全再生・モニタリング特論 サステイナビリティ学インターンシップ 都市システム工学専攻学外実習建築実務実習 社会基盤デザイン特別演習Ⅰ 社会基盤デザイン特別演習Ⅱ 社会基盤デザイン特別研究Ⅰ 社会基盤デザイン特別研究Ⅱ 建築デザイン特別演習Ⅰ 建築デザイン特別演習Ⅱ 建築デザイン特別研究Ⅰ 建築デザイン特別研究Ⅱ サステイナビリティ学特別演習Ⅰ サステイナビリティ学特別演習Ⅱ サステイナビリティ学特別研究Ⅰ サステイナビリティ学特別研究Ⅱ 問題発見解決実習Ⅰ 問題発見解決実習Ⅱ 問題発見解決実習Ⅲ 都市システム工学特別講義Ⅰ 都市システム工学特別講義Ⅱ 最先端技術特論 OFF-CLASS-PROJECT
		伊藤 哲司 (53) ＜平成30年4月＞ 博士(心理学)
		国際実践教育演習 国内実践教育演習 人間システム基礎論Ⅰ
		田村 誠 (41) ＜平成30年4月＞ 博士(学術)
		国際実践教育演習 国内実践教育演習 サステイナビリティ学最前線 持続社会システム論Ⅱ
		長田 華子 (35) ＜平成30年4月＞ 博士(社会科学)
国際実践教育演習 国内実践教育演習		
兼任	教授	岡 裕和 (53) ＜平成30年4月＞ 博士(理学)
		応用数学特論
兼任	教授	平澤 剛 (47) ＜平成30年4月＞ 博士(理学)
		解析学特論

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
兼任	教授	桑原 祐史 (51) ＜平成30年4月＞ 博士(工学)
		国土空間情報特論 生態系保全再生・モニタリング特論 サステイナビリティ学インターンシップ 都市システム工学専攻学外実習建築実務実習 社会基盤デザイン特別演習Ⅰ 社会基盤デザイン特別演習Ⅱ 社会基盤デザイン特別研究Ⅰ 社会基盤デザイン特別研究Ⅱ 建築デザイン特別演習Ⅰ 建築デザイン特別演習Ⅱ 建築デザイン特別研究Ⅰ 建築デザイン特別研究Ⅱ サステイナビリティ学特別演習Ⅰ サステイナビリティ学特別演習Ⅱ サステイナビリティ学特別研究Ⅰ サステイナビリティ学特別研究Ⅱ 問題発見解決実習Ⅰ 問題発見解決実習Ⅱ 問題発見解決実習Ⅲ 都市システム工学特別講義Ⅰ 都市システム工学特別講義Ⅱ 最先端技術特論 OFF-CLASS-PROJECT
		伊藤 哲司 (54) ＜平成30年4月＞ 博士(心理学)
		国際実践教育演習 国内実践教育演習 人間システム基礎論Ⅰ
		田村 誠 (42) ＜平成30年4月＞ 博士(学術)
		国際実践教育演習 国内実践教育演習 サステイナビリティ学最前線 持続社会システム論Ⅱ
		長田 華子 (36) ＜平成30年4月＞ 博士(社会科学)
国際実践教育演習 国内実践教育演習		
兼任	教授	岡 裕和 (54) ＜平成30年4月＞ 博士(理学)
		応用数学特論
兼任	教授	平澤 剛 (48) ＜平成30年4月＞ 博士(理学)
		解析学特論

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	立花 章 (59) <平成30年4月> 理学博士
		連携ネット共通講座Ⅰ 連携ネット共通講座Ⅱ
兼任	教授	関東 康祐 (59) <平成30年4月> 工学博士
		連携ネット共通講座Ⅰ
兼任	教授	武田 茂樹 (43) <平成30年4月> 博士(工学)
		L S I 設計・開発技術特論
兼任	教授	大山 研司 (55) <平成30年4月> 博士(理学)
		量子ビーム応用解析
兼任	教授	久保田 俊夫 (63) <平成30年4月> 工学博士
		量子ビーム応用解析
兼任	教授	小泉 智 (52) <平成30年4月> 博士(工学)
		量子ビーム応用解析
兼任	教授	村上 雄太郎 (61) <平成30年4月> 文学博士
		科学技術日本語特論
兼任	教授	高妻 孝光 (56) <平成30年4月> 学術博士
		社会における科学技術

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	立花 章 (60) <平成30年4月> 理学博士
		連携ネット共通講座Ⅰ 連携ネット共通講座Ⅱ
兼任	教授	関東 康祐 (60) <平成30年4月> 工学博士
		連携ネット共通講座Ⅰ
兼任	教授	武田 茂樹 (44) <平成30年4月> 博士(工学)
		L S I 設計・開発技術特論
兼任	教授	大山 研司 (56) <平成30年4月> 博士(理学)
		量子ビーム応用解析
兼任	教授	久保田 俊夫 (64) <平成30年4月> 工学博士
		量子ビーム応用解析
兼任	教授	小泉 智 (53) <平成30年4月> 博士(工学)
		量子ビーム応用解析
兼任	教授	金 幸夫 (56) <平成30年4月> 理学博士
		量子ビーム応用解析
兼任	教授	田中 伊知朗 (52) <平成30年4月> 博士(理学)
		量子ビーム応用解析
兼任	教授	村上 雄太郎 (62) <平成30年4月> 文学博士
		科学技術日本語特論
兼任	教授	高妻 孝光 (57) <平成30年4月> 学術博士
		社会における科学技術
兼任	教授	島影 尚 (54) <平成30年4月> 工学博士
		先端科学トピックスⅠ

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	立花 章 (61) <平成30年4月> 理学博士
		連携ネット共通講座Ⅰ 連携ネット共通講座Ⅱ
兼任	教授	関東 康祐 (61) <平成30年4月> 工学博士
		原子科学と倫理 連携ネット共通講座Ⅰ
兼任	教授	武田 茂樹 (45) <平成30年4月> 博士(工学)
		L S I 設計・開発技術特論
兼任	教授	大山 研司 (57) <平成30年4月> 博士(理学)
		量子ビーム応用解析
兼任	教授	久保田 俊夫 (65) <平成30年4月> 工学博士
		量子ビーム応用解析
兼任	教授	小泉 智 (54) <平成30年4月> 博士(工学)
		量子ビーム応用解析
兼任	教授	金 幸夫 (57) <平成30年4月> 理学博士
		量子ビーム応用解析
兼任	教授	田中 伊知朗 (53) <平成30年4月> 博士(理学)
		量子ビーム応用解析
兼任	教授	村上 雄太郎 (63) <平成30年4月> 文学博士
		科学技術日本語特論
兼任	教授	高妻 孝光 (58) <平成30年4月> 学術博士
		社会における科学技術
兼任	教授	島影 尚 (55) <平成30年4月> 工学博士
		先端科学トピックスⅠ

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	湊 淳 (55) <平成30年4月> 博士(工学)
		環境情報センシング特論
兼任	教授	羽瀨 裕真 (53) <平成30年4月> 博士(学術)
		学術情報リテラシー
兼任	教授	梅比良 正弘 (61) <平成30年4月> 博士(工学)
		知的所有権特論
兼任	教授	蓮井 誠一郎 (45) <平成30年4月> 修士(国際学)
		持続社会システム論Ⅱ
兼任	教授	阿部 信一郎 (50) <平成30年4月> 博士(水産学)
		地球環境システム論Ⅱ
兼任	教授	伊藤 孝 (52) <平成30年4月> 博士(理学)
		研究と教育—知の往還をめぐって—
兼任	教授	小林 英美 (49) <平成30年4月> 学術博士
		研究と教育—知の往還をめぐって—

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	大友 李哉 (52) <平成30年4月> 博士(工学)
		先端科学トピックスⅠ
兼任	教授	奥 隆之 (48) <平成30年4月> 博士(工学)
		先端科学トピックスⅠ
兼任	教授	目時 直人 (55) <平成30年4月> 理学博士
		先端科学トピックスⅠ
兼任	教授	永目 諭一郎 (64) <平成30年4月> 理学博士
		先端科学トピックスⅠ
兼任	教授	湊 淳 (56) <平成30年4月> 博士(工学)
		環境情報センシング特論
兼任	教授	羽瀨 裕真 (54) <平成30年4月> 博士(学術)
		学術情報リテラシー
兼任	教授	梅比良 正弘 (62) <平成30年4月> 博士(工学)
		知的所有権特論
兼任	教授	蓮井 誠一郎 (46) <平成30年4月> 修士(国際学)
		持続社会システム論Ⅱ
兼任	教授	阿部 信一郎 (51) <平成30年4月> 博士(水産学)
		人間システム基礎論Ⅱ 研究と教育—知の往還をめぐって—
兼任	教授	小林 英美 (50) <平成30年4月> 学術博士
		研究と教育—知の往還をめぐって—

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	大友 李哉 (53) <平成30年4月> 博士(工学)
		先端科学トピックスⅠ
兼任	教授	奥 隆之 (49) <平成30年4月> 博士(工学)
		先端科学トピックスⅠ
兼任	教授	目時 直人 (56) <平成30年4月> 理学博士
		先端科学トピックスⅠ
兼任	教授	永目 諭一郎 (65) <平成30年4月> 理学博士
		先端科学トピックスⅠ
兼任	教授	湊 淳 (57) <平成30年4月> 博士(工学)
		環境情報センシング特論
兼任	教授	羽瀨 裕真 (55) <平成30年4月> 博士(学術)
		学術情報リテラシー
兼任	教授	梅比良 正弘 (63) <平成30年4月> 博士(工学)
		知的所有権特論
兼任	教授	蓮井 誠一郎 (47) <平成30年4月> 修士(国際学)
		持続社会システム論Ⅱ
兼任	教授	阿部 信一郎 (52) <平成30年4月> 博士(水産学)
		人間システム基礎論Ⅱ 研究と教育—知の往還をめぐって—
兼任	教授	小林 英美 (51) <平成30年4月> 学術博士
		研究と教育—知の往還をめぐって—

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	上地 勝 (47) <平成30年4月> 博士(医学)
		人間システム基礎論Ⅱ
兼任	教授	増子 和男 (63) <平成30年4月> 文学修士
		研究と教育一知の往還をめぐってー
兼任	教授	岡田 誠 (52) <平成30年4月> 博士(理学)
		地球環境システム論Ⅱ
兼任	教授	北 和之 (53) <平成30年4月> 理学博士
		地球環境システム論Ⅰ
兼任	教授	山村 靖夫 (62) <平成30年4月> 理学博士
		地球環境システム論Ⅱ
兼任	准教授	安西 弘行 (60) <平成30年4月> 農学博士
		バイオテクノロジーと社会
兼任	教授	井上 栄一 (49) <平成30年4月> 博士(農学)
		食料の安定生産と農学
兼任	教授	久保山 勉 (52) <平成30年4月> 博士(農学)
		食料の安定生産と農学
兼任	教授	黒田 久雄 (55) <平成30年4月> 博士(農学)
		霞ヶ浦環境科学概論
兼任	教授	小松崎 将一 (52) <平成30年4月> 農学博士
		地域サステナビリティ農学概論

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	上地 勝 (48) <平成30年4月> 博士(医学)
		人間システム基礎論Ⅱ
兼任	教授	増子 和男 (64) <平成30年4月> 文学修士
		研究と教育一知の往還をめぐってー
兼任	教授	岡田 誠 (53) <平成30年4月> 博士(理学)
		地球環境システム論Ⅱ
兼任	教授	北 和之 (54) <平成30年4月> 理学博士
		地球環境システム論Ⅰ
兼任	教授	山村 靖夫 (63) <平成30年4月> 理学博士
		地球環境システム論Ⅱ
兼任	教授	安西 弘行 (61) <平成30年4月> 農学博士
		バイオテクノロジーと社会
兼任	教授	井上 栄一 (50) <平成30年4月> 博士(農学)
		食料の安定生産と農学
兼任	教授	久保山 勉 (53) <平成30年4月> 博士(農学)
		食料の安定生産と農学
兼任	教授	黒田 久雄 (56) <平成30年4月> 博士(農学)
		霞ヶ浦環境科学概論
兼任	教授	小松崎 将一 (53) <平成30年4月> 農学博士
		地域サステナビリティ農学概論

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	上地 勝 (48) <平成30年4月> 博士(医学)
		人間システム基礎論Ⅱ
兼任	准教授	宮崎 尚子 (44) <平成31年4月> 修士(文学)
		研究と教育一知の往還をめぐってー
兼任	教授	岡田 誠 (54) <平成30年4月> 博士(理学)
		地球環境システム論Ⅱ
兼任	教授	北 和之 (55) <平成30年4月> 理学博士
		地球環境システム論Ⅰ
兼任	教授	山村 靖夫 (64) <平成30年4月> 理学博士
		地球環境システム論Ⅱ
兼任	教授	安西 弘行 (62) <平成30年4月> 農学博士
		バイオテクノロジーと社会
兼任	教授	井上 栄一 (51) <平成30年4月> 博士(農学)
		食料の安定生産と農学
兼任	教授	久保山 勉 (54) <平成30年4月> 博士(農学)
		食料の安定生産と農学
兼任	教授	黒田 久雄 (57) <平成30年4月> 博士(農学)
		霞ヶ浦環境科学概論
兼任	教授	小松崎 将一 (54) <平成30年4月> 農学博士
		地域サステナビリティ農学概論

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	成澤 才彦 (53) <平成30年4月> 博士(農学)
		地域サステナビリティ農学概論
兼任	教授	中川 光弘 (62) <平成30年4月> 博士(農学)
		持続社会システム論 I
兼任	教授	新田 洋司 (53) <平成30年4月>
		食料の安定生産と農学
兼任	准教授	松村 邦仁 (48) <平成30年4月> 博士(工学)
		連携ネット共通講座 II
兼任	准教授	細川 卓也 (41) <平成30年4月> 博士(理学)
		応用解析特論
兼任	准教授	塚原 伸治 (33) <平成30年4月> 博士(文学)
		人間システム基礎論 I

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	成澤 才彦 (54) <平成30年4月> 博士(農学)
		地域サステナビリティ農学概論
兼任	教授	中川 光弘 (63) <平成30年4月> 博士(農学)
		持続社会システム論 I
兼任	准教授	松村 邦仁 (49) <平成30年4月> 博士(工学)
		連携ネット共通講座 II
兼任	准教授	細川 卓也 (42) <平成30年4月> 博士(理学)
		応用解析特論
兼任	准教授	飯沼 裕美 (46) <平成30年4月> 博士(理学)
		量子ビーム応用解析
兼任	准教授	庄村 康人 (42) <平成30年4月> 博士(理学)
		量子ビーム応用解析
兼任	准教授	田嶋 美砂子 (45) <平成30年4月> 博士(教育学)
		国際コミュニケーション基礎A 国際コミュニケーション基礎B 実践国際コミュニケーションA 実践国際コミュニケーションB
兼任	准教授	寺地 幹人 (35) <平成30年4月> 修士(学術)
		人間システム基礎論 I
兼任	准教授	塚原 伸治 (34) <平成30年4月> 博士(文学)
		人間システム基礎論 I

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	成澤 才彦 (55) <平成30年4月> 博士(農学)
		地域サステナビリティ農学概論
兼任	教授	中川 光弘 (64) <平成30年4月> 博士(農学)
		持続社会システム論 I
兼任	准教授	松村 邦仁 (50) <平成30年4月> 博士(工学)
		連携ネット共通講座 II
兼任	准教授	細川 卓也 (43) <平成30年4月> 博士(理学)
		応用解析特論
兼任	准教授	飯沼 裕美 (47) <平成30年4月> 博士(理学)
		量子ビーム応用解析
兼任	准教授	庄村 康人 (43) <平成30年4月> 博士(理学)
		量子ビーム応用解析
兼任	准教授	田嶋 美砂子 (46) <平成30年4月> 博士(教育学)
		国際コミュニケーション基礎A 国際コミュニケーション基礎B 実践国際コミュニケーションA 実践国際コミュニケーションB
兼任	准教授	寺地 幹人 (36) <平成30年4月> 修士(学術)
		人間システム基礎論 I
兼任	准教授	塚原 伸治 (35) <平成30年4月> 博士(文学)
		人間システム基礎論 I

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
兼任	准教授	富江 直子 (43) ＜平成30年4月＞ 博士(社会学)
		人間システム基礎論Ⅰ
兼任	准教授	関 友作 (52) ＜平成30年4月＞ 博士(学術)
		人間システム基礎論Ⅱ
兼任	准教授	中嶋 哲也 (34) ＜平成30年4月＞ 博士(スポーツ科学)
		研究と教育—知の往還をめぐって—
兼任	准教授	片口 直樹 (39) ＜平成30年4月＞ 修士(芸術)
		研究と教育—知の往還をめぐって—
兼任	准教授	吉田 貢士 (42) ＜平成30年4月＞ 博士(農学)
		霞ヶ浦環境科学概論
兼任	准教授	中島 雅己 (49) ＜平成30年4月＞ 博士(農学)
		食料の安定生産と農学
兼任	准教授	北嶋 康樹 (48) ＜平成30年4月＞ 博士(農学)
		食料の安定生産と農学
兼任	准教授	中里 亮治 (49) ＜平成30年4月＞ 博士(理学)
		霞ヶ浦環境科学概論
兼任	講師	伊多波 正徳 (48) ＜平成30年4月＞ 博士(工学)
		計算機応用特論A 計算機応用特論B
兼任	助教	古谷 綾子 (40) ＜平成30年4月＞ 博士(農学)
		バイオテクノロジーと社会

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
兼任	准教授	富江 直子 (44) ＜平成30年4月＞ 博士(社会学)
		人間システム基礎論Ⅰ
兼任	准教授	関 友作 (53) ＜平成30年4月＞ 博士(学術)
		人間システム基礎論Ⅱ
兼任	准教授	中嶋 哲也 (35) ＜平成30年4月＞ 博士(スポーツ科学)
		研究と教育—知の往還をめぐって—
兼任	准教授	片口 直樹 (39) ＜平成30年4月＞ 修士(芸術)
		研究と教育—知の往還をめぐって—
兼任	准教授	吉田 貢士 (43) ＜平成30年4月＞ 博士(農学)
		霞ヶ浦環境科学概論
兼任	准教授	中島 雅己 (50) ＜平成30年4月＞ 博士(農学)
		食料の安定生産と農学
兼任	准教授	北嶋 康樹 (49) ＜平成30年4月＞ 博士(農学)
		食料の安定生産と農学
兼任	准教授	中里 亮治 (50) ＜平成30年4月＞ 博士(理学)
		霞ヶ浦環境科学概論
兼任	講師	伊多波 正徳 (49) ＜平成30年4月＞ 博士(工学)
		計算機応用特論A 計算機応用特論B
兼任	助教	古谷 綾子 (41) ＜平成30年4月＞ 博士(農学)
		バイオテクノロジーと社会

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
兼任	准教授	長田 華子 (36) ＜平成30年4月＞ 博士(社会科学)
		人間システム基礎論Ⅰ
兼任	准教授	関 友作 (54) ＜平成30年4月＞ 博士(学術)
		人間システム基礎論Ⅱ
兼任	准教授	中嶋 哲也 (36) ＜平成30年4月＞ 博士(スポーツ科学)
		研究と教育—知の往還をめぐって—
兼任	准教授	片口 直樹 (41) ＜平成30年4月＞ 修士(芸術)
		研究と教育—知の往還をめぐって—
兼任	准教授	吉田 貢士 (44) ＜平成30年4月＞ 博士(農学)
		霞ヶ浦環境科学概論
兼任	准教授	中島 雅己 (51) ＜平成30年4月＞ 博士(農学)
		食料の安定生産と農学
兼任	准教授	北嶋 康樹 (50) ＜平成30年4月＞ 博士(農学)
		食料の安定生産と農学
兼任	准教授	中里 亮治 (51) ＜平成30年4月＞ 博士(理学)
		霞ヶ浦環境科学概論
兼任	准教授	伊多波 正徳 (50) ＜平成30年4月＞ 博士(工学)
		計算機応用特論A 計算機応用特論B
兼任	助教	古谷 綾子 (42) ＜平成30年4月＞ 博士(農学)
		バイオテクノロジーと社会

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	助教	阿部 敏一 (30) <平成30年4月> 博士(理学)
		数理工学特論
兼任	助教	高橋 竜一 (32) <平成30年4月> 博士(工学)
		情報システムモデル論
兼任	助教	小花 聖輝 (32) <平成30年4月> 博士(理工学)
		データ解析論
兼任	助教	小澤 佑介 (33) <平成30年4月> 博士(工学)
		情報ネットワーク論
兼任	講師	高木 有美 (44) <平成30年4月> Ph. D. (English)
		国際コミュニケーション演習A 国際コミュニケーション演習C
兼任	講師	岩重 理香 (53) <平成30年4月> 修士(文学)
		国際コミュニケーション演習B 国際コミュニケーション演習D
兼任	講師	鬼澤 慎人 (54) <平成30年4月>
		組織運営とリーダーシップ
兼任	講師	林 真理 (54) <平成30年4月>
		科学史 現代科学における倫理

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	助教	阿部 敏一 (31) <平成30年4月> 博士(理学)
		数理工学特論
兼任	助教	高橋 竜一 (33) <平成30年4月> 博士(工学)
		情報システムモデル論
兼任	助教	小花 聖輝 (33) <平成30年4月> 博士(理工学)
		データ解析論
兼任	助教	小澤 佑介 (34) <平成30年4月> 博士(工学)
		情報ネットワーク論
兼任	助教	増永 英治 (30) <平成30年4月> 博士(海洋科学)
		沿岸環境形成工学特論 生態系保全再生・モニタリング 特論 サステイナビリティ学インター ンシップ 都市システム工学専攻学外実習 建築実務実習 問題発見解決実習Ⅰ 問題発見解決実習Ⅱ 問題発見解決実習Ⅲ 都市システム工学特別講義Ⅰ 都市システム工学特別講義Ⅱ 最先端技術特論 OFF-CLASS-PROJECT
兼任	講師	高木 有美 (45) <平成30年4月> Ph. D. (English)
		国際コミュニケーション演習A 国際コミュニケーション演習C
兼任	講師	岩重 理香 (54) <平成30年4月> 修士(文学)
		国際コミュニケーション演習B 国際コミュニケーション演習D
兼任	講師	鬼澤 慎人 (55) <平成30年4月>
		組織運営とリーダーシップ
兼任	講師	林 真理 (55) <平成30年4月>
		科学史 現代科学における倫理

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	助教	阿部 敏一 (32) <平成30年4月> 博士(理学)
		数理工学特論
兼任	助教	高橋 竜一 (34) <平成30年4月> 博士(工学)
		情報システムモデル論
兼任	助教	小花 聖輝 (34) <平成30年4月> 博士(理工学)
		データ解析論
兼任	助教	小澤 佑介 (35) <平成30年4月> 博士(工学)
		情報ネットワーク論
兼任	助教	増永 英治 (31) <平成30年4月> 博士(海洋科学)
		沿岸環境形成工学特論 生態系保全再生・モニタリング 特論 サステイナビリティ学インター ンシップ 都市システム工学専攻学外実習 建築実務実習 問題発見解決実習Ⅰ 問題発見解決実習Ⅱ 問題発見解決実習Ⅲ 都市システム工学特別講義Ⅰ 都市システム工学特別講義Ⅱ 最先端技術特論 OFF-CLASS-PROJECT
兼任	講師	高木 有美 (46) <平成30年4月> Ph. D. (English)
		国際コミュニケーション演習A 国際コミュニケーション演習C
兼任	講師	岩重 理香 (55) <平成30年4月> 修士(文学)
		国際コミュニケーション演習B 国際コミュニケーション演習D
兼任	講師	鬼澤 慎人 (56) <平成30年4月>
		組織運営とリーダーシップ
兼任	講師	林 真理 (56) <平成30年4月>
		科学史 現代科学における倫理

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	小泉 忍 (60) <平成30年4月> 工学修士
		組込みシステム開発特論
兼任	講師	壁谷 彰慶 (41) <平成30年4月> 博士(文学)
		研究者倫理
兼任	講師	山岸 裕 (52) <平成30年4月> 修士(教育フシリテーション)
		フシリテーション能力開発演習Ⅰ フシリテーション能力開発演習Ⅱ
兼任	講師	内藤 将俊 (44) <平成30年4月> 工学修士
		建築都市デザインスタジオⅢ ワークショップ
兼任	講師	立川 雅司 (55) <平成30年4月>
		バイオテクノロジーと社会
兼任	講師	大場 恭子 (44) <平成30年4月>
		原子科学と倫理
兼任	講師	小田 康裕 (43) <平成30年4月>
		知的所有権特論
兼任	講師	菊池 賢司 (66) <平成30年4月> 工学博士
		原子科学と倫理
兼任	講師	豊田 義元 (47) <平成30年4月> 修士(電気通信学)
		知的所有権特論

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	小泉 忍 (61) <平成30年4月> 工学修士
		組込みシステム開発特論
兼任	講師	壁谷 彰慶 (42) <平成30年4月> 博士(文学)
		研究者倫理
兼任	講師	山岸 裕 (53) <平成30年4月> 修士(教育フシリテーション)
		フシリテーション能力開発演習Ⅰ フシリテーション能力開発演習Ⅱ
兼任	講師	内藤 将俊 (45) <平成30年4月> 工学修士
		建築都市デザインスタジオⅢ ワークショップ
兼任	講師	大島 正弘 (61) <平成30年4月>
		バイオテクノロジーと社会
兼任	講師	大場 恭子 (45) <平成30年4月>
		原子科学と倫理
兼任	講師	小田 康裕 (44) <平成30年4月>
		知的所有権特論
兼任	講師	菊池 賢司 (67) <平成30年4月> 工学博士
		原子科学と倫理
兼任	講師	高橋 梢 (40) <平成30年4月>
		持続社会システム論Ⅰ
兼任	講師	豊田 義元 (48) <平成30年4月> 修士(電気通信学)
		知的所有権特論

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	小泉 忍 (62) <平成30年4月> 工学修士
		組込みシステム開発特論
兼任	講師	壁谷 彰慶 (43) <平成30年4月> 博士(文学)
		研究者倫理
兼任	講師	山岸 裕 (54) <平成30年4月> 修士(教育フシリテーション)
		フシリテーション能力開発演習Ⅰ フシリテーション能力開発演習Ⅱ
兼任	講師	大島 正弘 (62) <平成30年4月>
		バイオテクノロジーと社会
兼任	講師	大場 恭子 (46) <平成30年4月>
		原子科学と倫理
兼任	講師	小田 康裕 (45) <平成30年4月>
		知的所有権特論
兼任	講師	菊池 賢司 (68) <平成30年4月> 工学博士
		原子科学と倫理
兼任	講師	高橋 梢 (41) <平成30年4月>
		持続社会システム論Ⅰ
兼任	講師	豊田 義元 (49) <平成30年4月> 修士(電気通信学)
		知的所有権特論

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
兼任	講師	中江 延男 (67) ＜平成30年4月＞ 工学博士
		原子科学と倫理
兼任	講師	藤井 芳昭 (58) ＜平成30年4月＞ 理学博士
		原子科学と倫理
兼任	講師	望月 弘保 (68) ＜平成30年4月＞ 工学博士
		原子科学と倫理
兼任	講師	虎田 真一郎 (64) ＜平成30年4月＞ 修士(工学)
		原子科学と倫理
兼任	講師	金子 信博 (58) ＜平成30年4月＞
		地域サステナビリティ農学概論
兼任	講師	増田 敬祐 (36) ＜平成30年4月＞
		持続社会システム論Ⅰ
兼任	講師	島田 敏 (51) ＜平成30年4月＞
		持続社会システム論Ⅰ
兼任	講師	湯元 昇 (62) ＜平成30年4月＞
		科学と倫理
兼任	講師	畑中 泰道 (48) ＜平成30年4月＞
		学術英会話Ⅰ 学術英会話Ⅱ
兼任	講師	鈴木 千加子 (69) ＜平成30年4月＞ 修士(教育学)
		国際コミュニケーション基礎A 国際コミュニケーション基礎B 実践国際コミュニケーションA 実践国際コミュニケーションB

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
兼任	講師	中江 延男 (68) ＜平成30年4月＞ 工学博士
		原子科学と倫理
兼任	講師	藤井 芳昭 (59) ＜平成30年4月＞ 理学博士
		原子科学と倫理
兼任	講師	望月 弘保 (69) ＜平成30年4月＞ 工学博士
		原子科学と倫理
兼任	講師	金子 信博 (59) ＜平成30年4月＞
		地域サステナビリティ農学概論
兼任	講師	増田 敬祐 (37) ＜平成30年4月＞
		持続社会システム論Ⅰ
兼任	講師	島田 敏 (52) ＜平成30年4月＞
		持続社会システム論Ⅰ
兼任	講師	湯元 昇 (63) ＜平成30年4月＞
		科学と倫理
兼任	講師	畑中 泰道 (49) ＜平成30年4月＞
		学術英会話Ⅰ 学術英会話Ⅱ
兼任	講師	若松 弘子 (46) ＜平成31年4月＞
		学術英会話Ⅰ 学術英会話Ⅱ
兼任	講師	鈴木 千加子 (69) ＜平成30年4月＞ 修士(教育学)
		国際コミュニケーション基礎A 国際コミュニケーション基礎B 実践国際コミュニケーションA 実践国際コミュニケーションB

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
兼任	講師	中江 延男 (69) ＜平成30年4月＞ 工学博士
		原子科学と倫理
兼任	講師	藤井 芳昭 (60) ＜平成30年4月＞ 理学博士
		原子科学と倫理
兼任	講師	望月 弘保 (70) ＜平成30年4月＞ 工学博士
		原子科学と倫理
兼任	講師	金子 信博 (60) ＜平成30年4月＞
		地域サステナビリティ農学概論
兼任	講師	増田 敬祐 (38) ＜平成30年4月＞
		持続社会システム論Ⅰ
兼任	講師	島田 敏 (53) ＜平成30年4月＞
		持続社会システム論Ⅰ
兼任	講師	湯元 昇 (64) ＜平成30年4月＞
		科学と倫理
兼任	講師	若松 弘子 (46) ＜平成31年4月＞
		学術英会話Ⅰ 学術英会話Ⅱ
兼任	講師	鈴木 千加子 (69) ＜平成30年4月＞ 修士(教育学)
		国際コミュニケーション基礎A 国際コミュニケーション基礎B 実践国際コミュニケーションA 実践国際コミュニケーションB

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	未定 () <平成31年4月>
		先端科学トピックスⅡ
兼任	講師	未定 () <平成31年4月>
		先端科学トピックスⅡ
兼任	講師	未定 () <平成31年4月>
		先端科学トピックスⅡ

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	未定 () <平成31年4月>
		先端科学トピックスⅡ
兼任	講師	未定 () <平成31年4月>
		先端科学トピックスⅡ
兼任	講師	未定 () <平成31年4月>
		先端科学トピックスⅡ

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	未定 () <令和元年9月>
		先端科学トピックスⅡ
兼任	講師	未定 () <令和元年9月>
		先端科学トピックスⅡ
兼任	講師	未定 () <令和元年9月>
		先端科学トピックスⅡ

- (注)
- ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
- その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。**
- ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
 - ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
 - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実み)、兼任、兼任の順に記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) 一②担当教員表に関する変更内容

【平成30年度】

- ・久野靖広准教授が就任。教員審査省略。
- ・榎本忠夫助教が研究指導教員資格を取得。
- ・辻村壮平助教が研究指導教員資格を取得。

【令和元年度】

- ・沼尾達弥教授が早期退職。
- ・辻村壮平助教が准教授に昇進。
- ・内藤将俊講師が就任。教員審査省略。
- ・稲用隆一助教が授業担当教員資格を取得。

- (注) ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、**大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（平成29年度開設であれば平成28年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要研究 指導教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数	完成年度時における 設置基準上の必要研究 指導補助教員数
4	3	3
名	名	名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数【大学院】

設置時の計画					現在（報告時）の状況				
教授	准教授	講師	助教	計（A）	教授	准教授	講師	助教	計（B）
8	5	1	1	15	7	8	1	2	18
(8)	(7)	(1)	(1)	(17)					
研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数			研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数		
12	3	0			13	5	0		
(14)	(3)	(0)							
現在（報告時）の完成年度時の状況					現在（報告時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計（C）	教授	准教授	講師	助教	計（D）
7	8	1	2	18	7	8	1	2	18
[Δ1]	[3]	[0]	[1]	[3]	[Δ1]	[3]	[0]	[1]	[3]
研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数			研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数		
13	5	0			13	5	0		
[1]	[2]	[3]			[1]	[2]	[3]		

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（ ）内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を要受済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）
 ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 （B））の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 （C））の教員 うち、定年を延長 して採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 []内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況（C）}}{\text{設置時の計画（A）}} = \frac{18}{15} = \boxed{120} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況（B）}} = \frac{0}{18} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況 該当なし

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由
合計 (D)					後任補充状況の集計 (E)		
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
1	教授	沼尾 達弥	H31.3	選択	建築材料学特論	③	H31.3.31付け早期退職のため辞任（元）
				選択	建築材料演習	③	
				必修	サステイナビリティ学インターンシップ	③	
				必修	都市システム工学専攻学外実習	③	
				必修	建築実務実習	③	
				必修	社会基盤デザイン特別演習Ⅰ	③	
				必修	社会基盤デザイン特別演習Ⅱ	③	
				必修	社会基盤デザイン特別研究Ⅰ	③	
				必修	社会基盤デザイン特別研究Ⅱ	③	
				必修	建築デザイン特別演習Ⅰ	③	
				必修	建築デザイン特別演習Ⅱ	③	
				必修	建築デザイン特別研究Ⅰ	③	
				必修	建築デザイン特別研究Ⅱ	③	
				必修	サステイナビリティ学特別演習Ⅰ	③	
				必修	サステイナビリティ学特別演習Ⅱ	③	
				必修	サステイナビリティ学特別研究Ⅰ	③	
				必修	サステイナビリティ学特別研究Ⅱ	③	
				合計 (F)			
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
1	人	必修	22	科目	必修	0	科目
		選択	2	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	24	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(3) - ③ 上記(3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計(D) + (F)				後任補充状況の集計(E) + (G)								
辞任等した教員数	担当科目数の合計(a) + (b) + (c)			①の合計数(a)	②の合計数(b)		③の合計数(c)					
1 人	必修	22	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	22	科目
	選択	2	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	2	科目
	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
	計	24	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	24	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{1}{15} = \boxed{6.66} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況 **該当なし**

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
合計				後任補充状況の集計					
辞任した教員数	担当科目数の合計(a) + (b) + (c)			①の合計数(a)	②の合計数(b)		③の合計数(c)		
0 人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<ul style="list-style-type: none"> ・ 「建築材料学特論」「建築材料演習」については選択科目で学生の課程への影響は薄いものの、予定せぬ早期退職のため、後任はまだ未定。 ・ 「サステナビリティ学インターンシップ」「都市システム工学専攻学外実習」「建築実務実習」「社会基盤デザイン特別演習Ⅰ」「社会基盤デザイン特別演習Ⅱ」「社会基盤デザイン特別研究Ⅰ」「社会基盤デザイン特別研究Ⅱ」「建築デザイン特別演習Ⅰ」「建築デザイン特別演習Ⅱ」「建築デザイン特別研究Ⅰ」「建築デザイン特別研究Ⅱ」「サステナビリティ学特別演習Ⅰ」「サステナビリティ学特別演習Ⅱ」「サステナビリティ学特別研究Ⅰ」「サステナビリティ学特別研究Ⅱ」「問題発見解決実習Ⅰ」「問題発見解決実習Ⅱ」「問題発見解決実習Ⅲ」「都市システム工学特別講義Ⅰ」「都市システム工学特別講義Ⅱ」「最先端技術特論」「OFF-CLASS-PROJECT」は必修科目であるものの、複数教員で担当する授業のため、学生の課程への影響はない。 ・ 後任が決定次第、掲示板、ポータルシステム上及び、メール等で周知
--

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等 該当なし

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
認 可 時 (〇〇年)		留意事項	履行中
設置計画履行状況 調 査 時 (〇〇年)	・〇〇学部〇〇学科において、～を是正すること。	是正意見	履行済
設置計画履行状況 調 査 時 (△△年)	・同一設置者が設置する既設学部等(◆◆学科)の～改善に努めること。	改善意見	履行済
設置計画履行状況 調 査 時 (□□年)	・大学設置基準に抵触するため、改めること。(△△学部△△学科)	指摘事項 (法令違反)	履行済
設置計画履行状況 調 査 時 (□□年)	・～については是正すること。	指摘事項 (是正)	履行中
設置計画履行状況 調 査 時 (□□年)	・〇〇大学の既設学部等(◆◆学科、●●学科)の～改善に努めること。	指摘事項 (改善)	履行中

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、調査結果が公表された年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<理工学研究科 都市システム工学専攻>

(1) 設置計画変更事項等 **該当なし**

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

A. 教育改善委員会 B. ②産学協同カリキュラム改良委員会

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

A. 学期始めを中心に、年6回程度開催 B. 年1回～2回程度開催

c 委員会の審議事項等

A. -1 授業アンケート及び学科教育点検に関すること

-2 FD及び推奨授業に関すること

-3 JABEEに関すること

B. カリキュラム及び授業に関すること

② 実施状況

a 実施内容

A. 第1回（H30.4.18 出席者10名）推奨授業について、JABEEについて 他

第2回（H30.5.16 出席者10名）授業アンケートについて、学科教育点検について、学科FDについて 他

第3回（H30.6.20 出席者10名）学科教育点検について、推奨授業について、JABEEについて 他

第4回（H30.7.25 出席者 8名）学科教育点検について、学生支援FDについて 他

第5回（H30.10.24 出席者 9名）推奨授業について、授業アンケートについて、学科FDについて 他

第6回（H31.1.23 出席者 8名）学部FDについて、アドバイザーボードについて、学科教育点検について 他

第7回（H31.2.28 出席者 7名）学部FDについて、学科教育点検について 他

第8回（H31.3.29 出席者 4名）学部FDについて、学科教育点検について 他

・FD研修会の実施（H31.3.8 出席者93名）

B. 第1回（H30.12.27 出席者16名）学部及び大学院の授業について

第2回（H31.3.25 出席者25名）学部及び大学院の授業について

- b 実施方法
上記のとおり
- c 開催状況（教員の参加状況含む）
上記のとおり
- d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況
上記A及びBの審議を踏まえ、学科長から所属各教員に改善内容を周知し、それぞれが改善に取り組んでいる。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

- a 実施の有無及び実施時期
各学期の講義最終回にアンケートを実施している。
- b 教員や学生への公開状況、方法等
結果を担当教員に周知するほか、学科内で共有を図っている。
学生に対して公表はしていない。

(注) ・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項 **該当なし**

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

① 体制

- a 委員会の設置状況（各区分を踏まえた委員構成を踏まえた委員の追加や交代状況含む）
- b 委員会の開催状況（回数や開催日など）
- c 委員会の審議事項等
- d その他

② 審議状況

- a 審議した内容

記入例)

- ・ 地域との連携に関する〇〇の観点から教育課程に対する提案内容
- ・ 産業界との連携に関する〇〇の観点から教育課程に対する提案内容

- b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

- c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

計画どおり実施している。引き続き、設置の趣旨・目的に沿って計画どおり教育研究活動を実施する。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・ 2019年7月30日 公表

b 公表方法

・ 大学ホームページ上に公開予定（2019年7月末を予定）

③ 認証評価を受ける計画

・ 2022年度に評価機関（大学改革支援・学位授与機構）の評価を受けるべく、学内で検討中

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和元年度）

a ホームページへの公表予定の有無 (有 ・ 無)

b 公表有の場合の公表（予定）時期 (2019年 9月 1日)

b 公表無の場合の特段の理由 ()

(注) ・ 今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。